

平成20年度 神奈川区区民意識調査

調査結果報告書

平成21年1月

横浜市神奈川区

平成20年度 神奈川区区民意識調査

目 次

調査概要.....	1
Ⅰ. 回答者の属性.....	2
Ⅱ. 集計分析結果.....	8
1. 地球温暖化をはじめとする地球環境問題について.....	8
2. 地域での支えあいについて.....	90
3. 区役所が行っている事業等について.....	121
4. 区役所の利用について.....	125
5. 最近困っていること、心配ごとについて.....	136
6. 神奈川区への居住意向.....	144
調 査 票.....	154

調査概要

◆調査対象

調査対象数 3,000 人(神奈川区に居住する 20 歳以上の人・無作為抽出による)

回収数 1,518 件

回収率 50.6%

◆調査方法

郵送によるアンケート形式

◆調査期間

平成 20 年 11 月

◆調査実施機関

株式会社 地域環境計画

【注1】 図(グラフ)の中で使用されているアルファベットの意味は次の通りです。

MA :複数回答(マルチアンサー)の設問

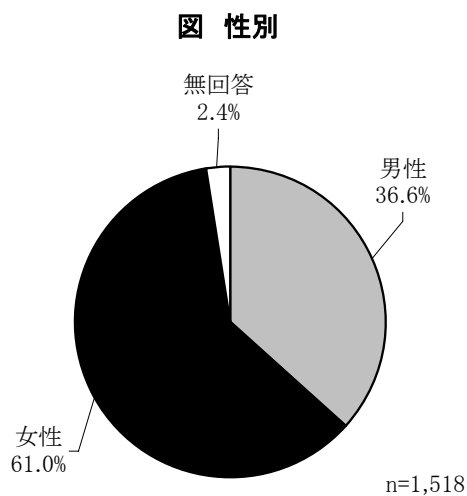
n :その設問に対する回答者数

【注2】 割合(%)については、四捨五入の関係で、必ずしも合計が 100.0%にならない場合があります。

I. 回答者の属性

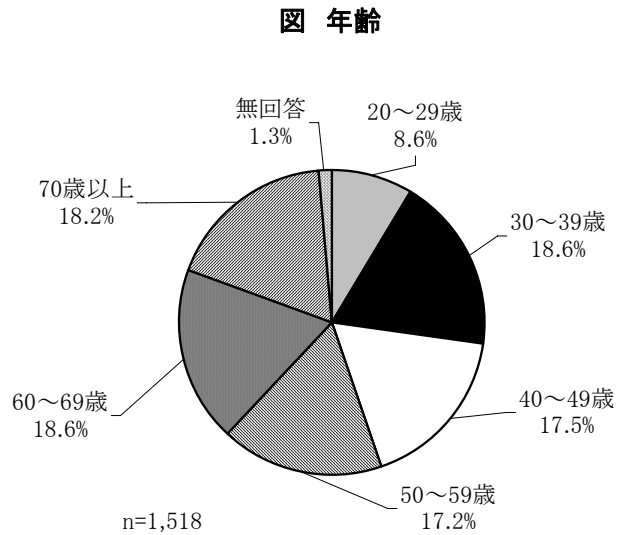
F1 性別

- ・ 女性が 61.0%、男性が 36.6%と、女性が全体の 6 割を占めている。



F2 年齢

- ・ 最も多いのが 30 歳代と 60 歳代の 18.6%、少ないのが 20 歳代の 8.6%である。20 歳代がやや少ない以外はほぼ均等に分散している。



F3 居住地

- ・ 最も多いのは「青木」の10.5%、最も少ないのは「羽沢」で5.2%となっている。

図 居住地

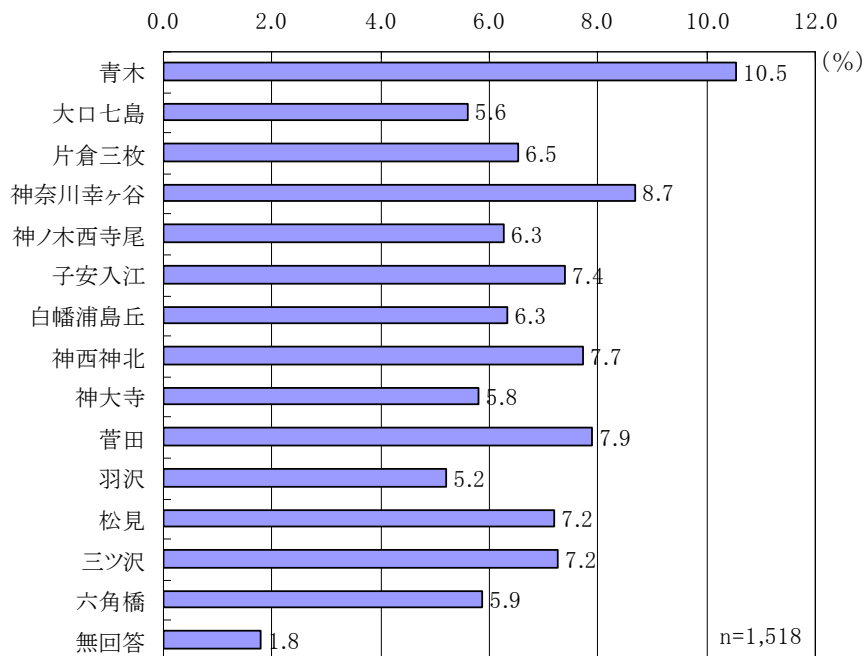


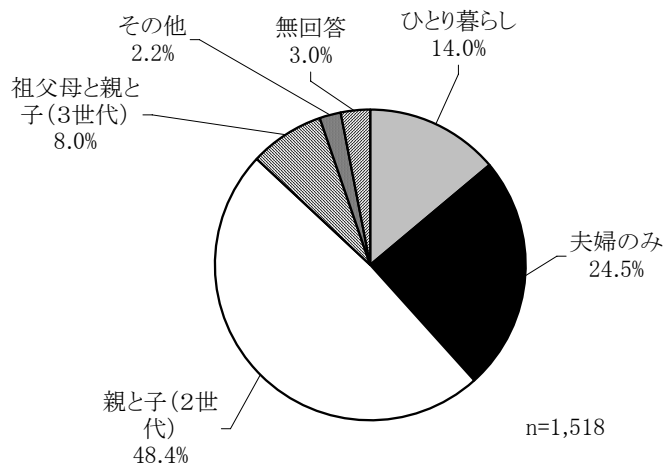
表 地区区分一覧

地区名	町名
青木	高島台, 広台太田町, 旭ヶ丘, 栗田谷, 松本町1~6丁目, 泉町, 反町1~4丁目, 沢渡, 松ヶ丘, 桐畑, 上反町1~2丁目, 鶴屋町1~3丁目, 台町,
大口七島	大口通, 大口仲町, 七島町, 西大口
片倉三枚	片倉1~5丁目, 三枚町
神奈川幸ヶ谷	神奈川1~2丁目, 神奈川本町, 東神奈川1~2丁目, 亀住町, 新町, 浦島町, 星野町, 橋本町1~3丁目, 千若町1~3丁目, 新浦島町1~4丁目, 出田町, 恵比須町, 宝町, 鈴繁町, 瑞穂町, 守屋町1~4丁目, 山内町, 幸ヶ谷, 金港町, 栄町, 大野町, 青木町
神ノ木西寺尾	神之木台, 神之木町, 西寺尾1~4丁目,
子安入江	子安通2~3丁目, 新子安1~2丁目, 子安台1~2丁目, 子安通1丁目, 入江1~2丁目
白幡浦島丘	白幡東町, 白幡南町, 白幡西町, 白幡仲町, 白幡向町, 白幡上町, 白幡町, 浦島丘
神西神北	二ツ谷町, 西神奈川1~3丁目, 富家町, 鳥越, 立町, 二本榎, 平川町, 斉藤分町, 中丸, 白楽
神大寺	神大寺1~4丁目
菅田	菅田町
羽沢	羽沢町, 羽沢南1~4丁目
松見	松見町1~4丁目
三ツ沢	三ツ沢上町, 三ツ沢下町, 三ツ沢中町, 三ツ沢東町, 三ツ沢南町, 三ツ沢西町
六角橋	六角橋1~6丁目

F4 家族構成

- 最も多いのは「親と子（2世代）」の 48.4%で、全体のほぼ半数を占める。次いで「夫婦のみ」が 24.5%で全体の約4分の1、以下「ひとり暮らし」（14.0%）、「祖父母と親と子（3世代）」（8.0%）、「その他」 2.2%の順となっている。

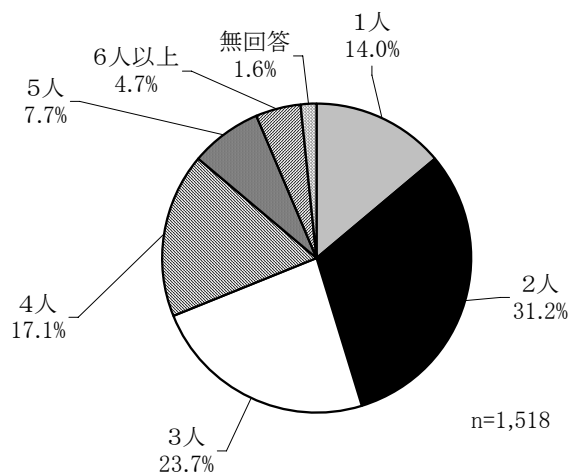
図 家族構成



F5 同居家族(本人を含む)の人数

- 最も多いのは「2人」の 31.2%で、全体の約3割である。次いで「3人」が 23.7%、以下「4人」（17.1%）、「1人」（14.0%）、「5人」（7.7%）、「6人以上」（4.7%）の順となっている。

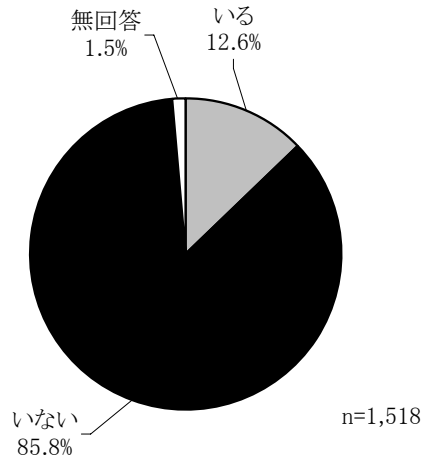
図 同居家族の人数



F6 未就学児の有無

- ・ 「いない」が85.8%と、全体の9割近くに達している。「いる」は12.6%と、1割強に留まっている。

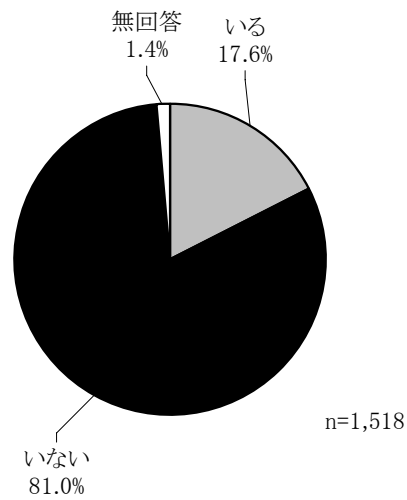
図 未就学児の有無



F7 小学生以上18歳未満の子どもの有無

- ・ 「いない」が81.0%で、全体の8割強を占める。「いる」は17.6%である。

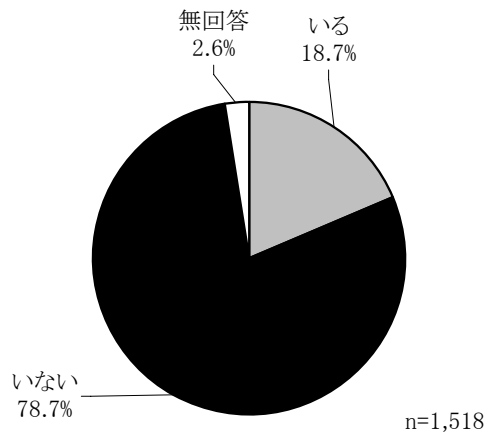
図 小学生以上18歳未満の子どもの有無



F8 65～74 歳までの高齢者の有無

- ・ 「いない」が78.7%で、全体の7割弱である。「いる」は18.7%となっている。

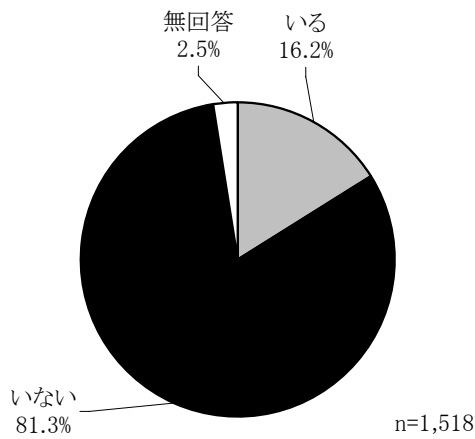
図 65～74 歳までの高齢者の有無



F9 75 歳以上の高齢者の有無

- ・ 「いない」が81.3%で全体の8割強である。「いる」は16.2%となっている。

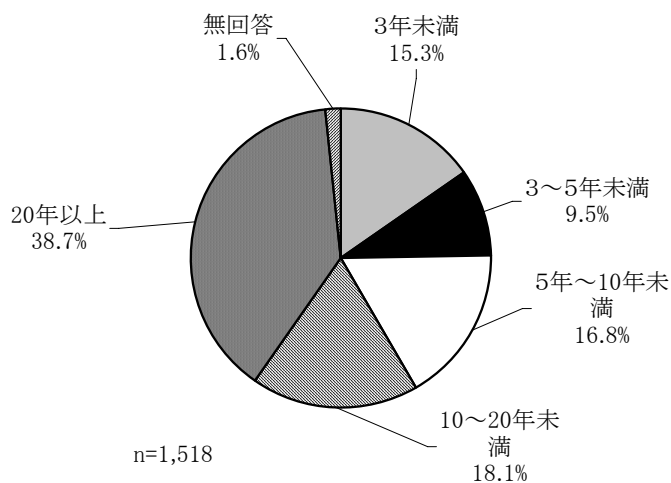
図 75 歳以上の高齢者の有無



F10 居住年数

- 「20年以上」が最も多く38.7%と、全体の4割近くに達する。次いで「10～20年未満」の18.1%、以下「5年～10年未満」16.8%、「3年未満」(15.3%)、「3～5年未満」(9.5%)の順である。

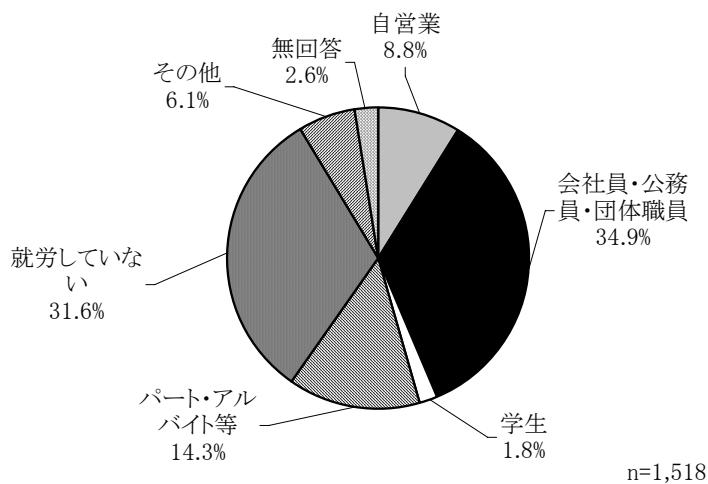
図 居住年数



F11 就労状況

- 最も多いのは「会社員・公務員・団体職員」で34.9%、次に「就労していない」が31.6%で続き、それぞれ全体の3分の1前後となっている。以下「パート・アルバイト等」(14.3%)、「自営業」(8.8%)、「その他」(6.1%)、「学生」(1.8%)となっている。

図 就労状況



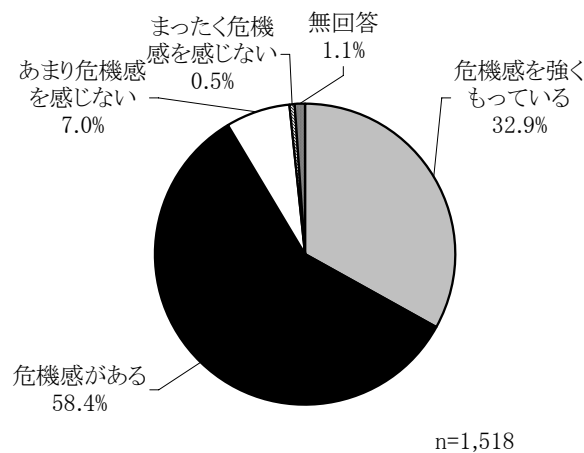
Ⅱ. 集計分析結果

1. 地球温暖化をはじめとする地球環境問題について

問1 あなたは地球環境問題のひとつである地球温暖化に対して危機感をもっていますか。(○は1つ)

- 最も多いのは「危機感がある」の58.4%、次いで「危機感を強くもっている」が32.9%となっており、この2つを合わせると9割以上の方が地球温暖化に対して何らかの危機感を感じているとしている。「あまり危機感を感じない」は7.0%、「まったく危機感を感じない」は0.5%に留まっている。

図 地球温暖化に対する危機感



■ 年齢別 地球温暖化に対する危機感(問1 × F2)

- いずれの年代も「危機感がある」が5～6割台で最も多い。なお、年代が高い層の方が「危機感を強くもっている」率が高い傾向にある一方、20代では低くなっている。

図 年齢別 地球温暖化に対する危機感

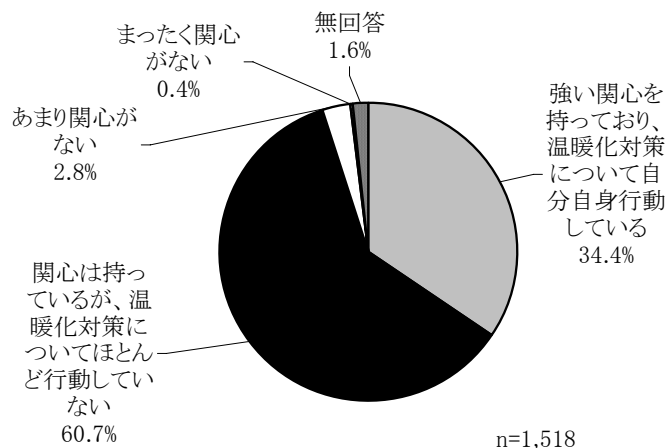
問1 地球温暖化に対して危機感をもっていますか

		全体	危機感を強くもっている	危機感がある	あまり危機感を感じない	まったく危機感を感じない	無回答
全体		1,518	500	886	107	8	17
		100.0	32.9	58.4	7.0	0.5	1.1
F 2 年齢	20～29歳	131	18.3	64.1	14.5	2.3	0.8
	30～39歳	282	28.4	64.2	7.4	0.0	0.0
	40～49歳	266	30.1	65.0	4.5	0.4	0.0
	50～59歳	261	36.0	55.2	7.3	0.4	1.1
	60～69歳	282	39.7	53.5	5.3	0.4	1.1
	70歳以上	276	37.3	52.5	6.5	0.7	2.9
	無回答	20	35.0	40.0	15.0	0.0	10.0

問2 あなたは「地球温暖化問題」に関心をもっていますか。(〇は1つ)

- 「関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない」が最も多く 60.7%で、関心はあるが行動はしていない人が全体の6割となっている。次いで「強い関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している」が 34.4%で全体の約3分の1である。「あまり関心がない」は 2.8%、「まったく関心がない」は 0.4%と、地球温暖化問題に関心がない人はごく少数となっている。

図 「地球温暖化問題」への関心



■ 年齢別「地球温暖化問題」への関心(問2× F2)

- いずれの年代も「関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない」が最も多い。特に 20 代ではやや数値が高い一方、「強い関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している」の割合が他世代に比べて低くなっている。

図 年齢別「地球温暖化問題」への関心

問2 「地球温暖化問題」に関心をもっていますか

		全体	強い関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している	関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
全体		1,518	522	922	43	6	25
		100.0	34.4	60.7	2.8	0.4	1.6
F 2 年齢	20～29歳	131	22.1	70.2	5.3	1.5	0.8
	30～39歳	282	35.1	61.7	3.2	0.0	0.0
	40～49歳	266	34.2	62.8	1.9	0.4	0.8
	50～59歳	261	37.9	57.1	3.4	0.0	1.5
	60～69歳	282	37.2	59.2	1.8	0.4	1.4
	70歳以上	276	33.3	59.8	1.8	0.7	4.3
	無回答	20	35.0	40.0	15.0	0.0	10.0

問2-1 問2で「3 あまり関心がない」「4 まったく関心がない」と答えた方におたずねします。あなたがそうお答えになった理由は何ですか。(○は1つ)

- ・ 「地球温暖化よりも気にしなければならないことがある」が最も多く 22.4%の人が挙げている。次いで「自分の生活にあまり関係がない」(20.4%)、「難しくよくわからない」(18.4%)、「個人で地球温暖化対策を進めても効果があるとは思えない」(16.3%)、「その他」(14.3%)、「地球温暖化対策は国や企業に取り組めばいい」(4.1%)、「地球温暖化が緊急の問題だとは思っていない」(2.0%)の順となっている。
- ・ 「その他」は14.3%となっているが、総数が少ないため具体的な記述があった件数は7件であった。内容としては「対策の実効性に疑問がある」3件などである。

図 地球温暖化問題に関心がない理由

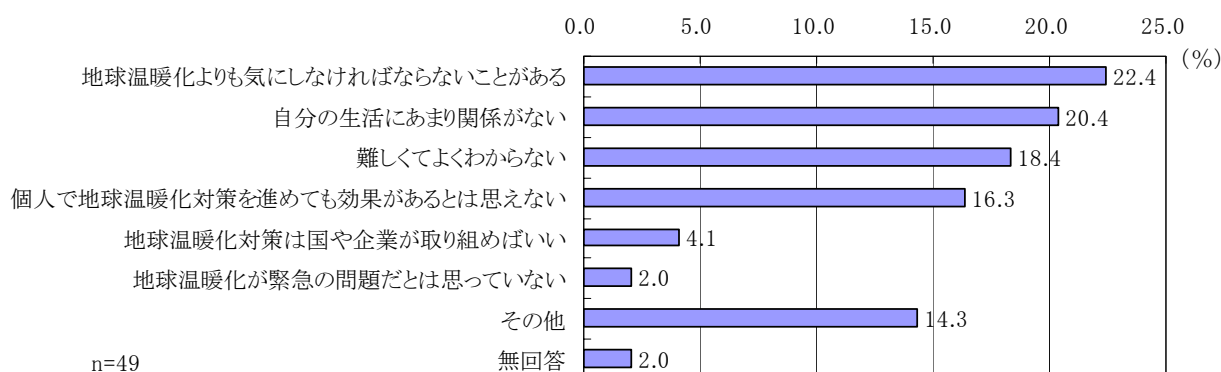


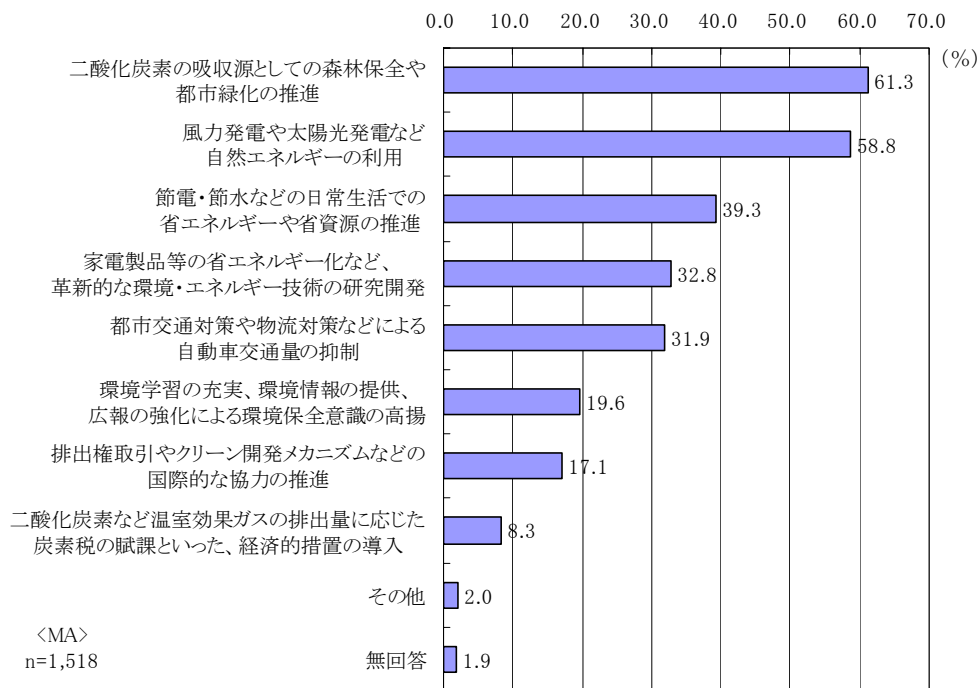
図 「その他」意見内容

意見内容	件数
対策の実効性に疑問があるから	3
現在の状況が本当に温暖化なのかわからないから	1
温暖化の原因は周期によるものだから	1
今以上に対策のしようがないから	1
自分が環境破壊の加害者ではないから	1
計	7

問3 あなたは環境保全のための以下の取組のうち、どれが重要だと思いますか(○は3つまで)

- 「二酸化炭素の吸収源としての森林保全や都市緑化の推進」が最も多く全体の6割強(61.3%)、次いで「風力発電や太陽光発電など自然エネルギーの利用」も6割弱(58.8%)の人が挙げており、この2点が多くなっている。以下「節電・節水などの日常生活での省エネルギーや省資源の推進」(39.3%)、「家電製品等の省エネルギー化など、革新的な環境・エネルギー技術の研究開発」(32.8%)、「都市交通対策や物流対策などによる自動車交通量の抑制」(31.9%)、「環境学習の充実、環境情報の提供、広報の強化による環境保全意識の高揚」(19.6%)、「排出権取引やクリーン開発メカニズムなどの国際的な協力の推進」(17.1%)、「二酸化炭素など温室効果ガスの排出量に応じた炭素税の賦課といった、経済的措置の導入」(8.3%)、「その他」(2.0%)と続く。

図 環境保全のために重要と思われる取組



■ 年齢別 環境保全のために重要と思われる取組(問3× F2)

- 30代と70代以上で「風力発電や太陽光発電など自然エネルギーの利用」が最も多く、それ以外では「二酸化炭素の吸収源としての森林保全や都市緑化の推進」が最も多くなっている。

図 年齢別 環境保全のために重要と思われる取組

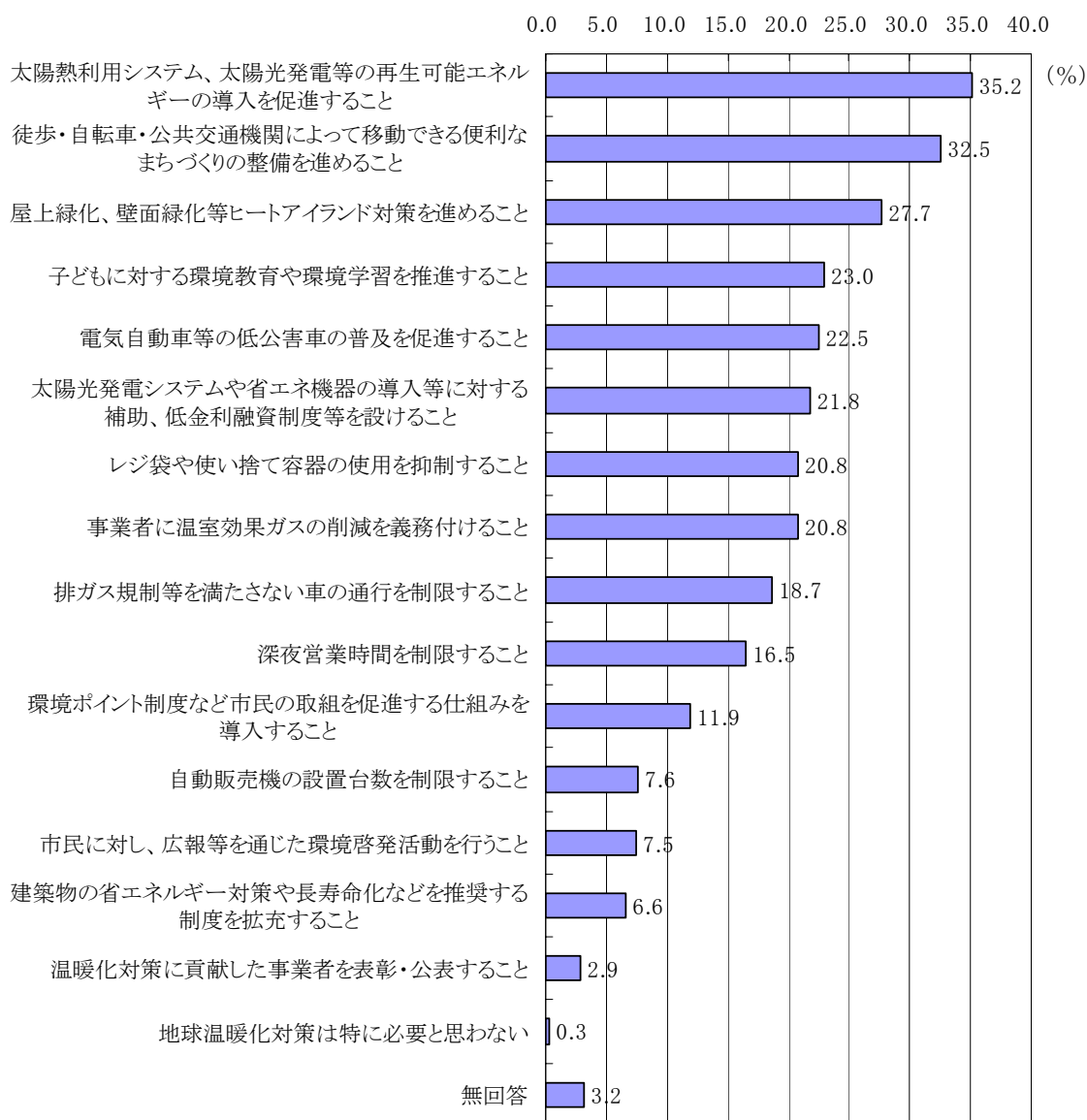
問3 環境保全のための以下の取組のうち、どれが重要だと思いますか(3つまで回答)

		全体	風力発電や太陽光発電など自然エネルギーの利用	家電製品等の省エネルギー化など、革新的な環境・エネルギー技術の研究開発	都市交通対策や物流対策などによる自動車交通量の抑制	節電・節水などの日常生活での省エネルギーや省資源の推進	二酸化炭素の吸収源としての森林保全や都市緑化の推進	環境学習の充実、環境情報の提供、広報の強化による環境保全意識の高揚	二酸化炭素など温室効果ガスの排出量に応じた炭素税の賦課といった、経済的措置の導入	排出権取引やクリーン開発メカニズムなどの国際的な協力の推進	その他	無回答
全体		1,518	892	498	484	597	930	298	126	259	31	29
		—	58.8	32.8	31.9	39.3	61.3	19.6	8.3	17.1	2.0	1.9
F2 年齢	20~29歳	131	51.9	30.5	29.8	35.9	61.8	26.7	13.0	17.6	1.5	2.3
	30~39歳	282	63.8	32.3	27.7	37.9	62.8	22.7	8.2	17.4	2.1	0.7
	40~49歳	266	63.2	33.1	30.8	35.7	66.9	20.3	9.4	16.5	3.0	0.4
	50~59歳	261	57.9	34.5	33.3	34.9	64.4	19.9	7.7	19.2	2.3	1.5
	60~69歳	282	55.0	33.7	35.8	41.8	61.3	16.3	8.9	18.1	1.8	1.8
	70歳以上	276	59.1	31.9	33.7	47.5	53.3	16.3	5.4	14.5	1.1	3.6
	無回答	20	35.0	30.0	20.0	40.0	30.0	10.0	5.0	10.0	5.0	20.0

問4 あなたが、横浜市が特に力を入れるべきだと思う環境政策は何ですか。(〇は3つまで)

- 最も多いのは「太陽熱利用システム、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を促進すること」の35.2%、次いで「徒歩・自転車・公共交通機関によって移動できる便利なまちづくりの整備を進めること」が32.5%、「屋上緑化、壁面緑化等ヒートアイランド対策を進めること」が27.7%で、いずれも3割前後の人が挙げている。回答は比較的分散し、以下「子どもに対する環境教育や環境学習を推進すること」(23.0%)、「電気自動車等の低公害車の普及を促進すること」(22.5%)、「太陽光発電システムや省エネ機器の導入等に対する補助、低金利融資制度等を設けること」(21.8%)、「レジ袋や使い捨て容器の使用を抑制すること」「事業者に温室効果ガスの削減を義務付けること」(共に20.8%)、「排ガス規制等を満たさない車の通行を制限すること」(18.7%)、「深夜営業時間を制限すること」(16.5%)、「環境ポイント制度など市民の取組を促進する仕組みを導入すること」(11.9%)、「自動販売機の設置台数を制限すること」(7.6%)、「市民に対し、広報等を通じた環境啓発活動を行うこと」(7.5%)、「建築物の省エネルギー対策や長寿命化などを推奨する制度を拡充すること」(6.6%)、「温暖化対策に貢献した事業者を表彰・公表すること」(2.9%)と続き、「地球温暖化対策は特に必要と思わない」とした人は0.3%に留まっている。

図 横浜市が特に力を入れるべきだと思う環境政策



■ 年齢別 横浜市が特に力を入れるべきだと思う環境政策(問4× F2)

- ・ 30代で「屋上緑化、壁面緑化等ヒートアイランド対策を進めること」が、それ以外の世代では「太陽熱利用システム、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を促進すること」が最も多くなっている。
- ・ また、20代では「環境ポイント制度など市民の取組を促進する仕組みを導入すること」「レジ袋や使い捨て容器の使用を抑制すること」の数値が他の世代に比べて高い。60代で「深夜営業時間を制限すること」、70代以上で「排ガス規制等を満たさない車の通行を制限すること」も、他に比べてやや高くなっている。

図 年齢別 横浜市が特に力を入れるべきだと思う環境政策

問4 横浜市が特に力を入れるべきだと思う環境政策は何ですか（3つまで回答）

全体		事業者に温室効果ガスの削減を義務付けること	排ガス規制等を満たさない車の通行を制限すること	電気自動車等の低公害車の普及を促進すること	太陽熱利用システム、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を促進すること	徒歩・自転車・公共交通機関によって移動できる便利なまちづくりの整備を進めること	屋上緑化、壁面緑化等ヒートアイランド対策を進めること	子どもに対する環境教育や環境学習を推進すること	市民に対し、広報等を通じて環境啓発活動を行うこと	建築物の省エネルギー対策や長寿命化などを推奨する制度を拡充すること	
全体		1,518 —	315 20.8	284 18.7	342 22.5	534 35.2	493 32.5	421 27.7	349 23.0	114 7.5	100 6.6
F2 年齢	20～29歳	131	22.1	13.7	20.6	33.6	29.0	26.0	24.4	3.1	9.2
	30～39歳	282	20.9	15.6	16.7	34.8	32.6	40.8	25.9	4.3	6.7
	40～49歳	266	19.9	16.2	22.6	39.1	33.5	38.7	24.4	7.5	7.5
	50～59歳	261	22.6	14.9	21.1	39.1	35.2	29.9	23.0	7.7	6.9
	60～69歳	282	19.5	20.9	27.0	31.6	31.2	18.1	22.3	9.6	5.7
	70歳以上	276	19.9	27.2	25.7	33.7	32.2	13.0	18.8	11.2	5.1
無回答		20	25.0	30.0	30.0	20.0	25.0	20.0	20.0	0.0	5.0

全体		太陽光発電システムや省エネ機器の導入等に対する補助、低金利融資制度等を設けること	温暖化対策に貢献した事業者を表彰・公表すること	環境ポイント制度など市民の取組を促進する仕組みを導入すること	レジ袋や使い捨て容器の使用を抑制すること	深夜営業時間を制限すること	自動販売機の設置台数を制限すること	地球温暖化対策は特に必要と思わない	無回答	
全体		1,518 —	331 21.8	44 2.9	180 11.9	315 20.8	251 16.5	115 7.6	4 0.3	48 3.2
F2 年齢	20～29歳	131	19.8	4.6	23.7	31.3	6.9	3.8	1.5	3.8
	30～39歳	282	23.4	3.2	16.3	14.2	11.7	5.3	0.4	3.2
	40～49歳	266	24.8	3.4	13.5	12.8	12.8	6.8	0.0	1.1
	50～59歳	261	23.0	1.9	10.0	19.5	17.2	6.9	0.4	1.9
	60～69歳	282	23.8	3.2	8.5	22.3	25.5	9.6	0.0	3.2
	70歳以上	276	16.3	1.8	5.8	29.7	19.2	11.2	0.0	5.4
無回答		20	5.0	5.0	5.0	20.0	25.0	5.0	0.0	10.0

問5 あなたの普段の生活における以下の環境行動に関して、次の3つの項目についてお答えください。

＜環境行動に関する必要性＞

- ・ 「電気・水道の節約」については、「環境面で必要性を感じる」と答えた方が最も多くなっているのは、「緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む（夏季の建物内の冷房効率を高める）」（65.7%）、「部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする」（53.0%）、「家族で一緒に過ごす時間を増やす（電力等の効率化）」（38.1%）の3件である。それ以外については「金銭面で必要性を感じる」が最も多くなっており、特に「冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする」では51.4%と、半数以上に上っている。「必要性を感じない」が最も多くなっていない項目はないが、「家族で一緒に過ごす時間を増やす（電力等の効率化）」で16.9%と他に比べてやや数値が高い。
- ・ 「ごみ」について、「ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する」では「環境面で必要性を感じる」が89.5%と、9割近くに達している。
- ・ 「買い物や食事の時の行動」については、いずれの項目も「環境面で必要性を感じる」が最も多くなっており、特に「過剰な包装、不必要なレジ袋は断る」（79.6%）、「買物袋（マイバッグ）を使っている」（75.8%）で8割近い数値となっている。
- ・ 「交通手段に関する行動」についても、いずれも「環境面で必要性を感じる」が過半数を超え、「車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ（うながす）」では7割近くとなっている。

図 環境行動に関する必要性＜電気・水道の節約＞

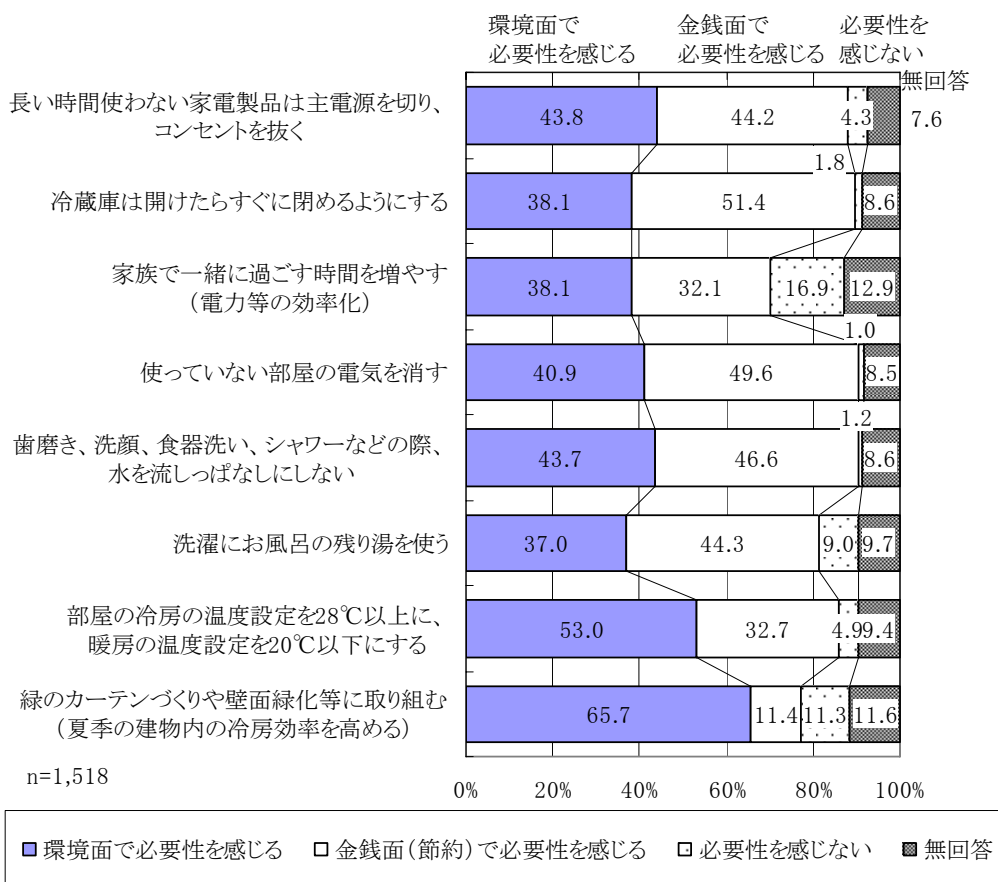


図 環境行動に関する必要性<ごみ>

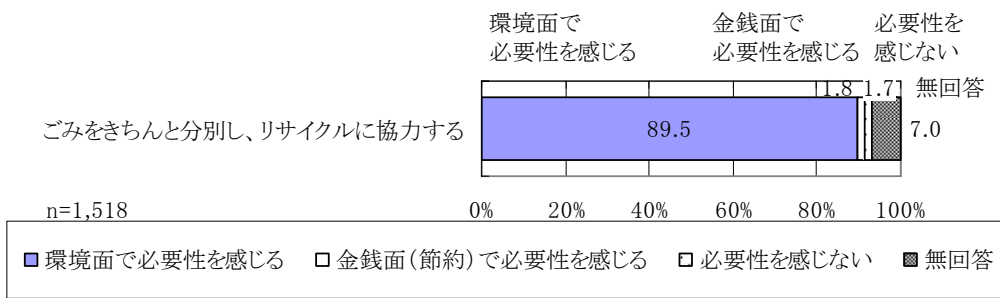


図 環境行動に関する必要性<買い物や食事の時の行動>

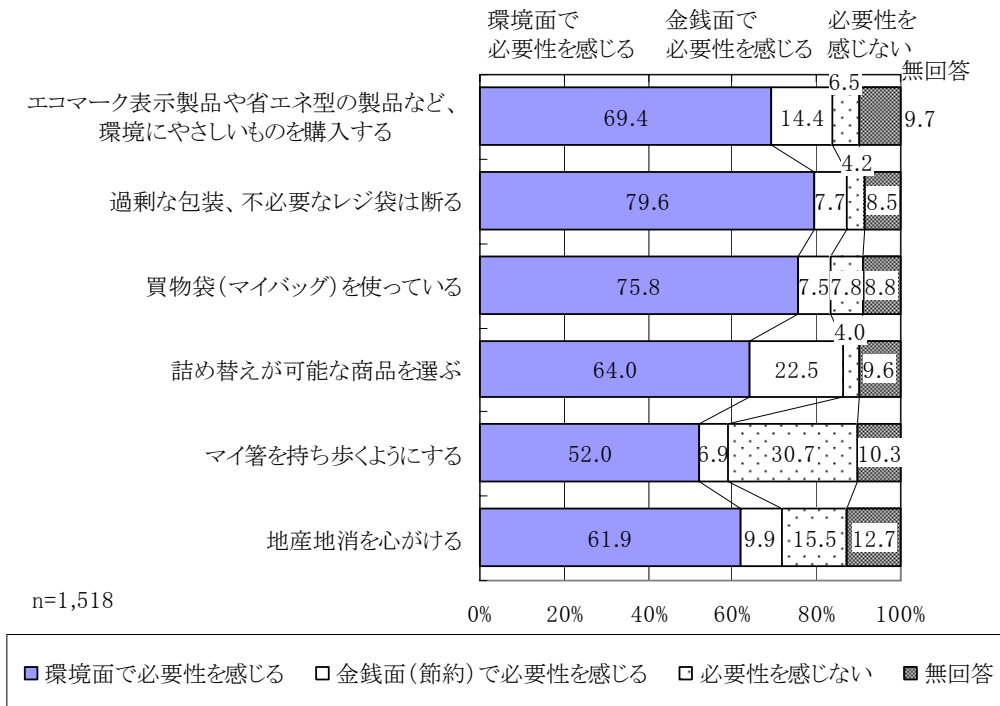
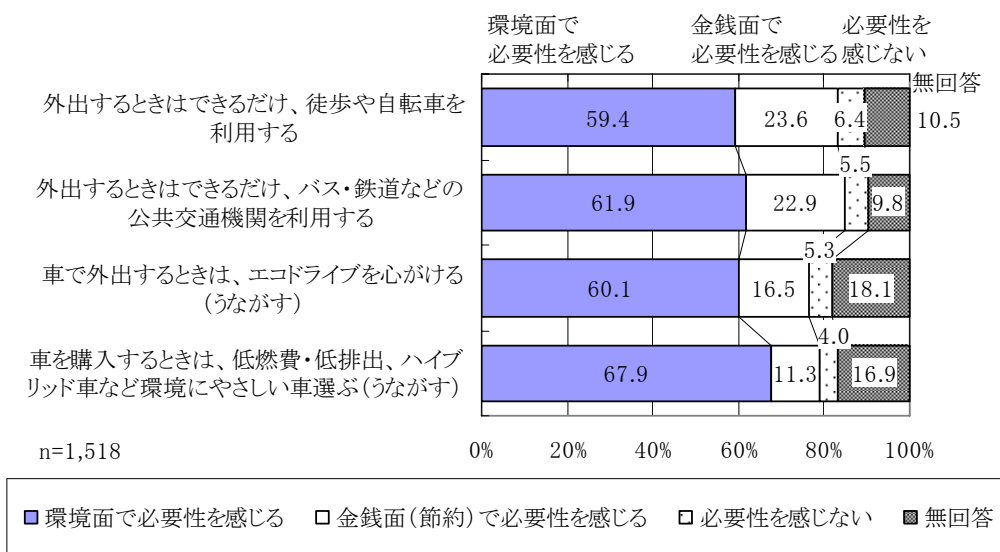


図 環境行動に関する必要性<交通手段に関する行動>



■ 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性(問5A× F1、F2、F3)

① 長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く

<男女別>

- ・ 男性は「金銭面で必要性を感じる」、女性は「環境面で必要性を感じる」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 20代から40代までの世代は「金銭面で必要性を感じる」が最も多く、若い世代ほど数値が高い。
50代以上では「環境面で必要性を感じる」が最も多く、50代を境に世代間で回答が分かれた。

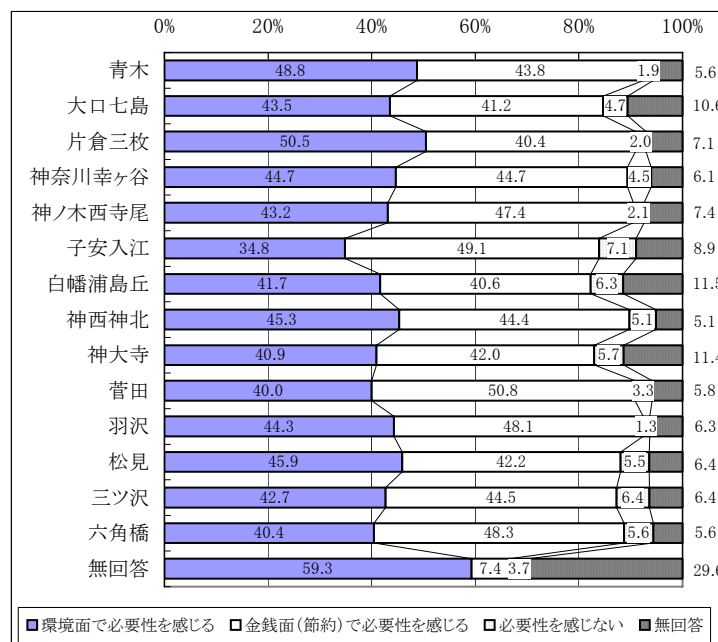
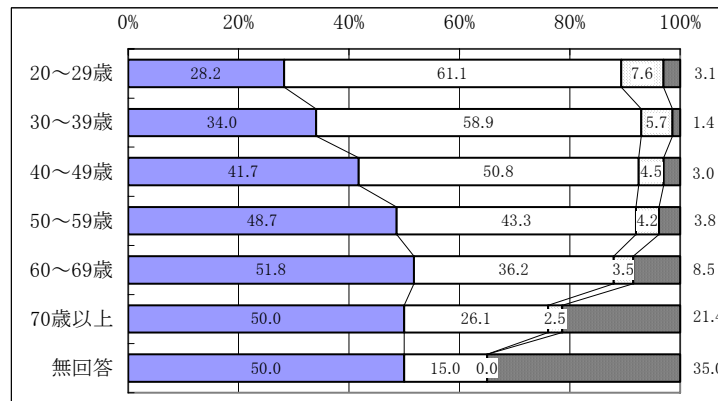
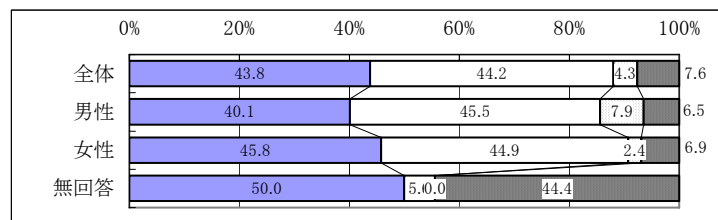
<地域別>

- ・ 「青木」「大口七島」「片倉三枚」「白幡浦島丘」「神西神北」「松見」で「環境面で必要性を感じる」、
「神奈川幸ヶ谷」では同率、それ以外の7地域では「金銭面で必要性を感じる」が最も多い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <電気・水道代の節約>

① 長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く

長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く



② 冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする

<男女別>

- ・ 男女とも「金銭面で必要性を感じる」が5割強を占める。

<年齢別>

- ・ 20代から50代までの世代では「金銭面で必要性を感じる」、70代では「環境面で必要性を感じる」が最も多く、60代で同率と、60代を境に回答が分かれた。

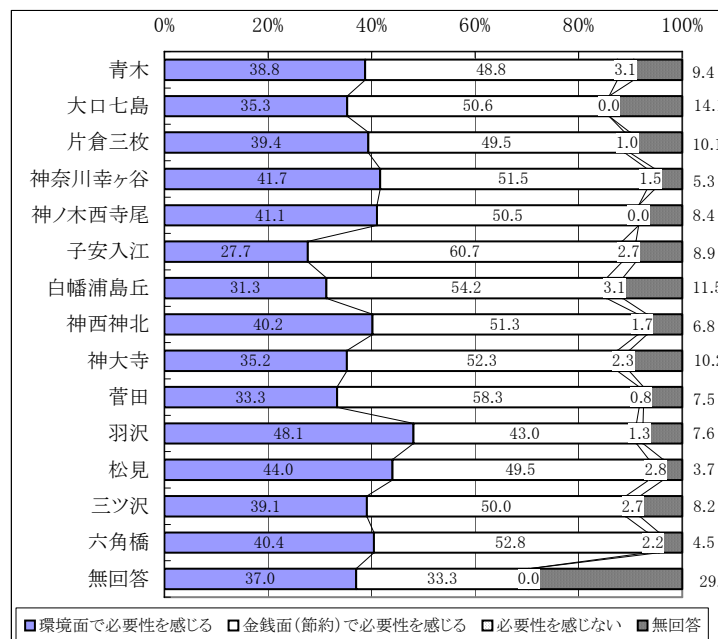
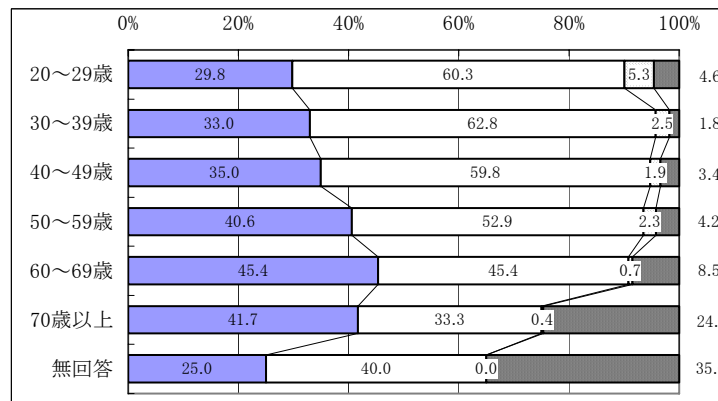
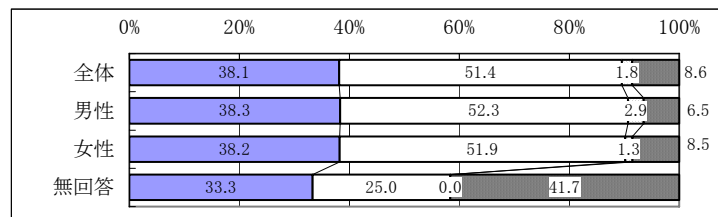
<地域別>

- ・ 「羽沢」で「環境面で必要性を感じる」が最も多いのを除き、「金銭面で必要性を感じる」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <電気・水道代の節約>

－ ② 冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする －

冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする



③ 家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が4割弱となっている。

<年齢別>

- ・ 50代で「金銭面で必要性を感じる」、それ以外は「環境面で必要性を感じる」が最も多くなっている。また、20代で「必要性を感じない」の数値が他世代に比べて高い。

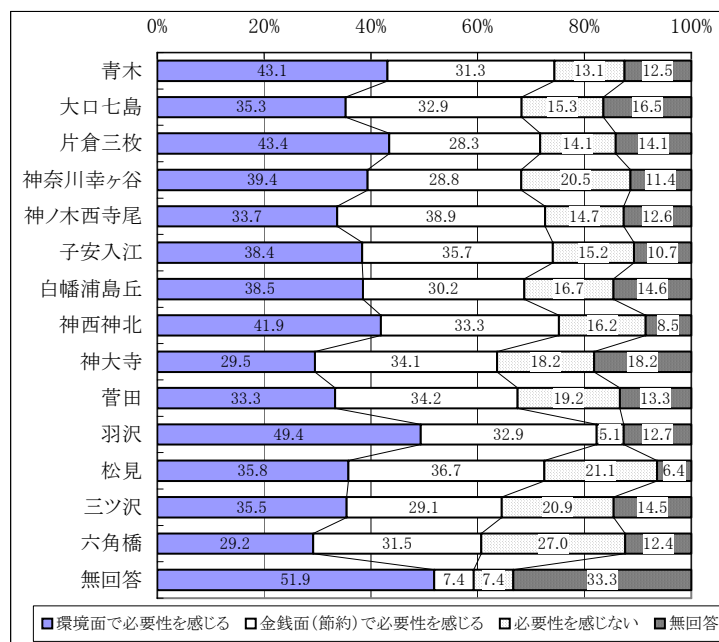
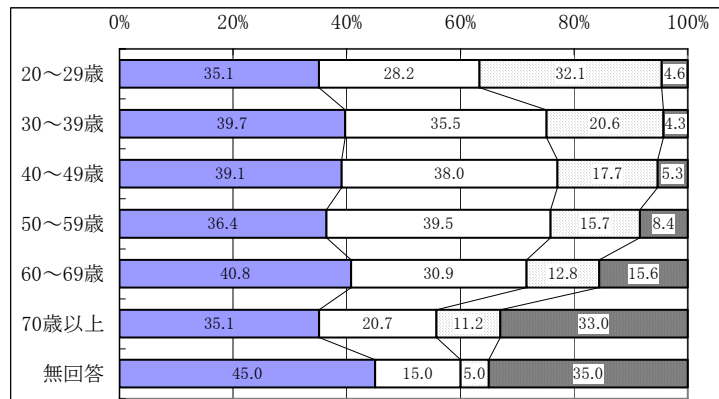
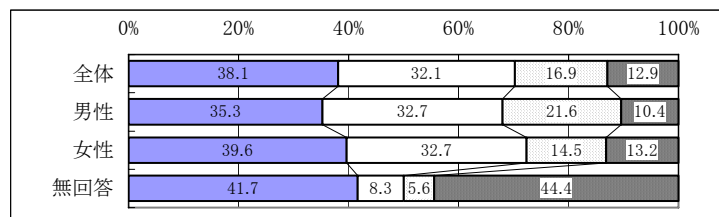
<地域別>

- ・ 「神ノ木西寺尾」「神大寺」「菅田」「松見」「六角橋」で「金銭面で必要性を感じる」、それ以外の8地域では「環境面で必要性を感じる」が最も多い。また「六角橋」で「必要性を感じない」の数値が他に比べて高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <電気・水道代の節約>

－ ③ 家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化) －

家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)



④ 使っていない部屋の電気を消す

<男女別>

- ・ 男女とも「金銭面で必要性を感じる」が5割を超えている。

<年齢別>

- ・ 20代から50代までは「金銭面で必要性を感じる」が最も多く、特に若い世代ほど数値が高い。
60代以上では「環境面で必要性を感じる」が最も多くなっている。

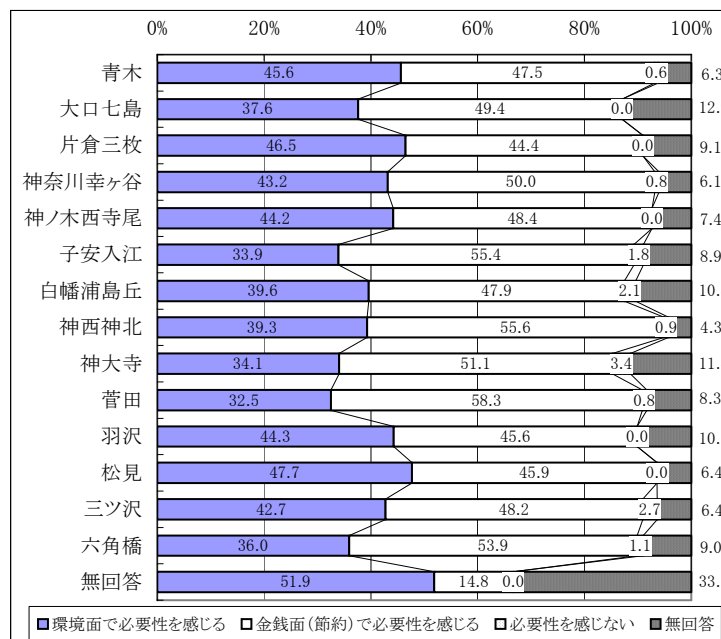
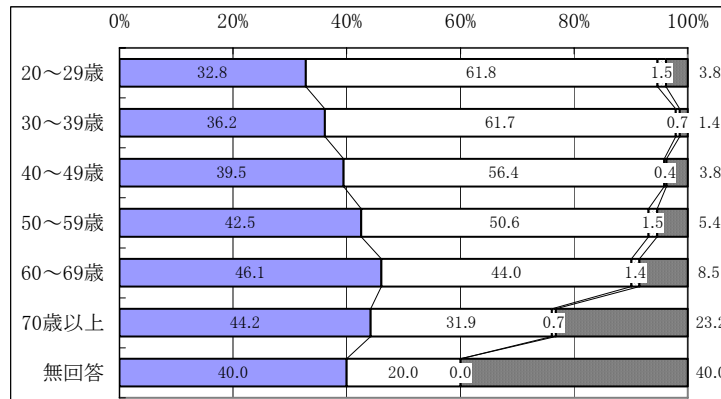
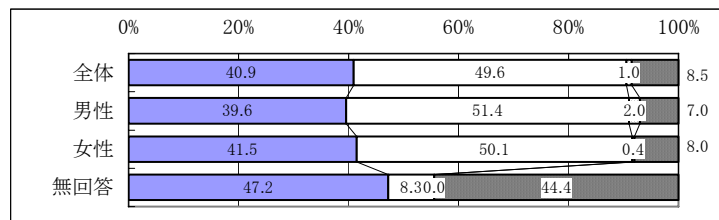
<地域別>

- ・ 概ね「金銭面で必要性を感じる」が最も多い。「片倉三枚」「松見」で「環境面で必要性を感じる」が最も多いが、「金銭面で必要性を感じる」との差は小さい。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <電気・水道代の節約>

－ ④ 使っていない部屋の電気を消す －

使っていない部屋の電気を消す



⑤ 歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない

＜男女別＞

- ・ 男性は「金銭面で必要性を感じる」が最多、女性は「環境面で必要性を感じる」と同率である。

＜年齢別＞

- ・ 20代、30代、60代では「金銭面で必要性を感じる」が、40代、50代、70代以上では「環境面で必要性を感じる」が最も多い。

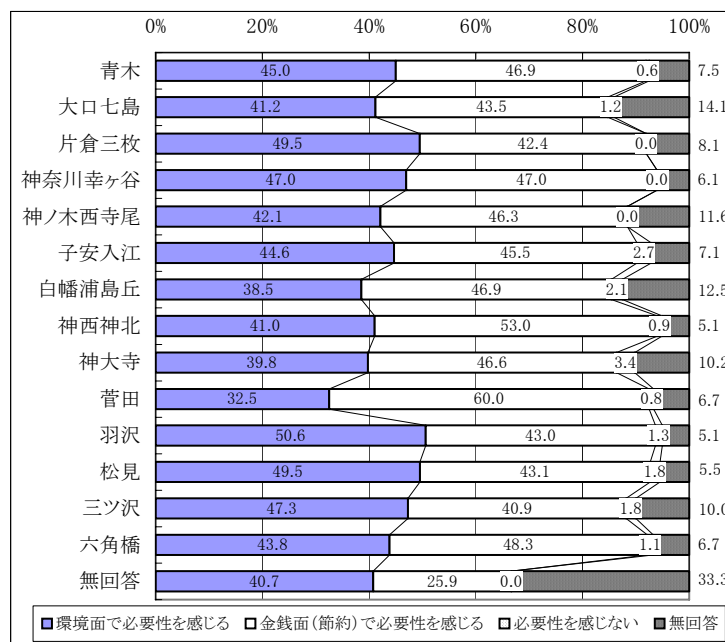
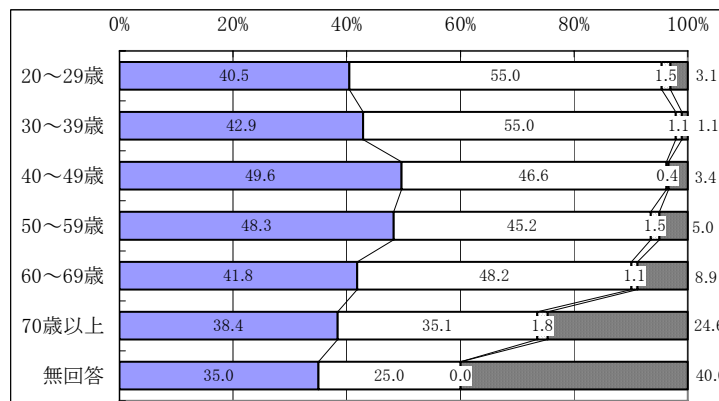
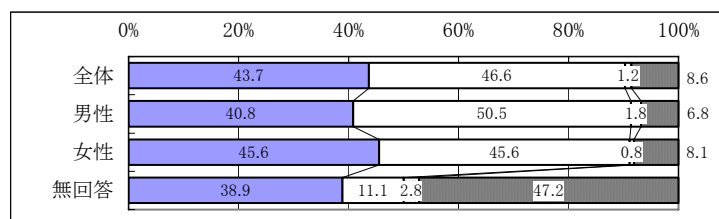
＜地域別＞

- ・ 「片倉三枚」「羽沢」「松見」「三ツ沢」で「環境面で必要性を感じる」、それ以外の地域では「金銭面で必要性を感じる」が最も多く「菅田」で数値が高い。「神奈川幸ヶ谷」では同率となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <電気・水道代の節約>

⑤ 歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない

歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない



⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使う

<男女別>

- ・ 男女とも「金銭面で必要性を感じる」が4割台の半ばとなっている。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「金銭面で必要性を感じる」が最も多くなっている。

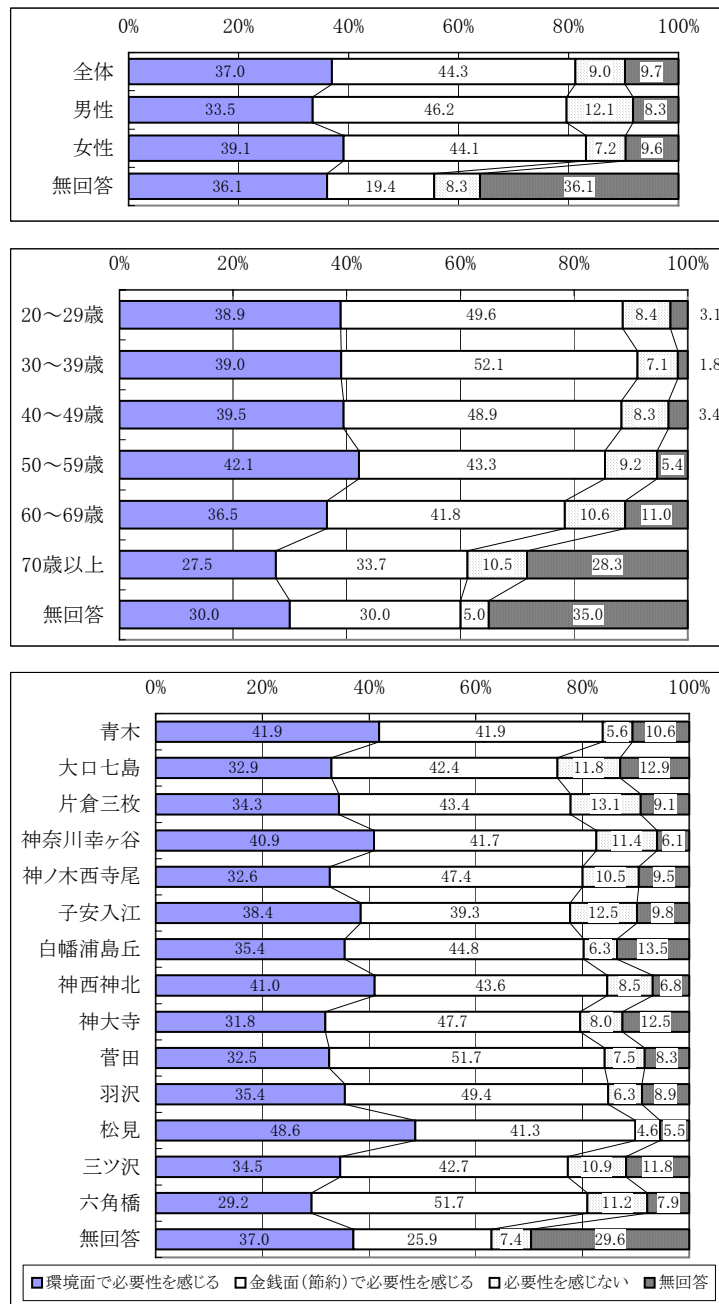
<地域別>

- ・ 「松見」で「環境面で必要性を感じる」が最も多く、「青木」でこれと「金銭面で必要性を感じる」と同率になっている以外は「金銭面で必要性を感じる」が最も多い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <電気・水道代の節約>

－ ⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使う －

洗濯にお風呂の残り湯を使う



⑦ 部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に女性は男性を14.6ポイント上回っている。

<年齢別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、若い世代で数値が高い。

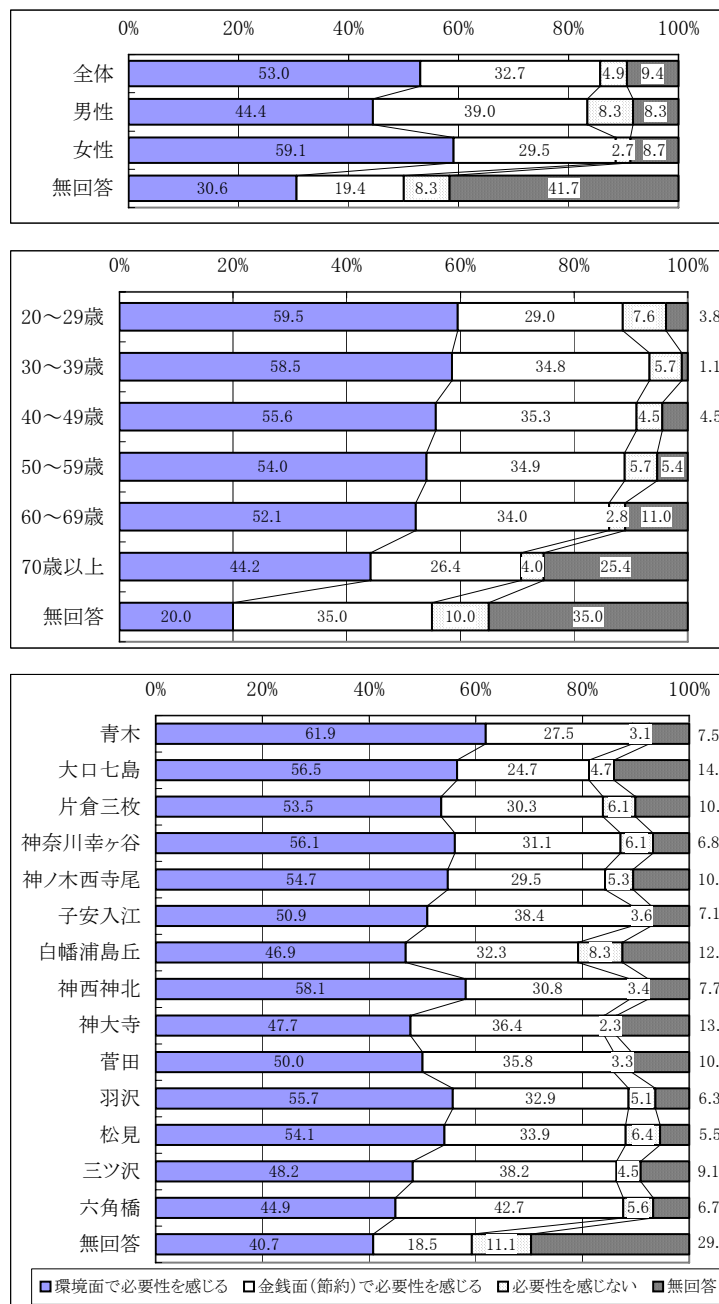
<地域別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多い。なお「六角橋」は他に比べて「金銭面で必要性を感じる」の数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <電気・水道代の節約>

－ ⑦ 部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする －

部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする



⑧ 緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める)

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が6割を超え、女性は男性を9.2ポイント上回る。

<年齢別>

- ・ どの世代も「環境面で必要性を感じる」が最も多く、3,40代を中心に、20代から50代では7割を超えている。

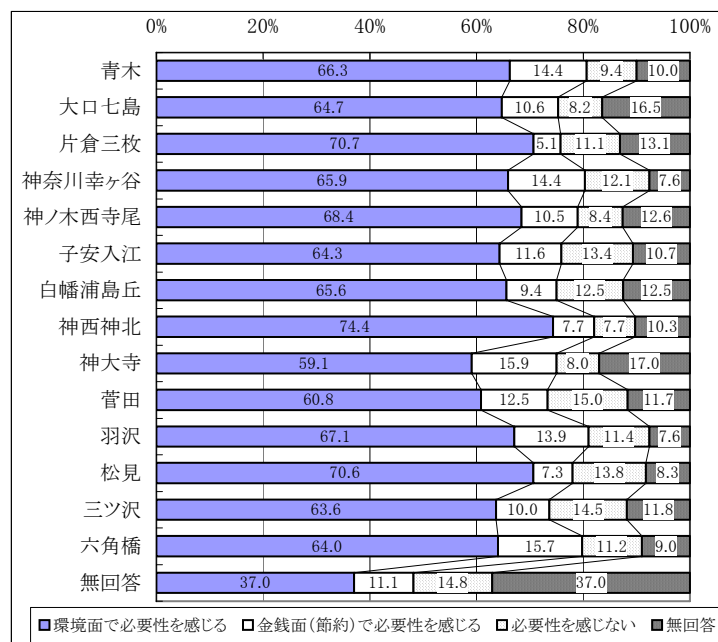
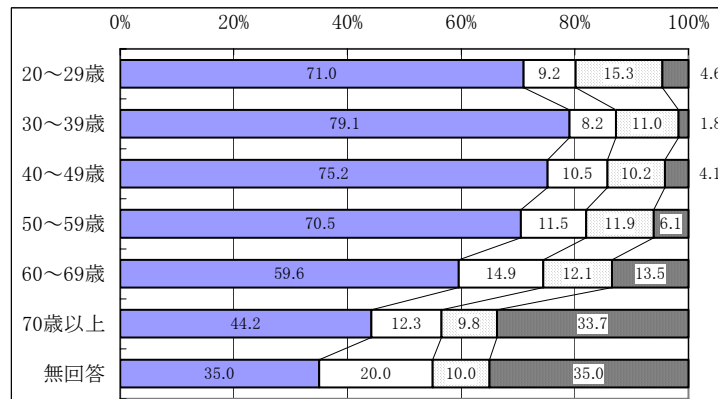
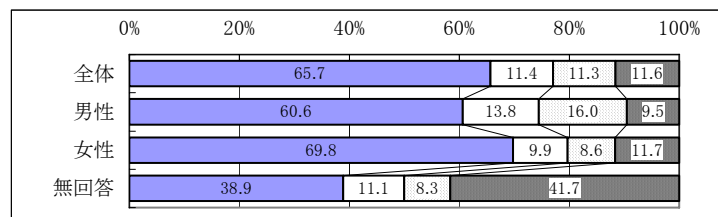
<地域別>

- ・ いずれの地域も「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に「神西神北」「片倉三枚」「松見」で7割を超えている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <電気・水道代の節約>

－ ⑧ 緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める) －

緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める)



⑨ ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く9割前後を占める。

<年齢別>

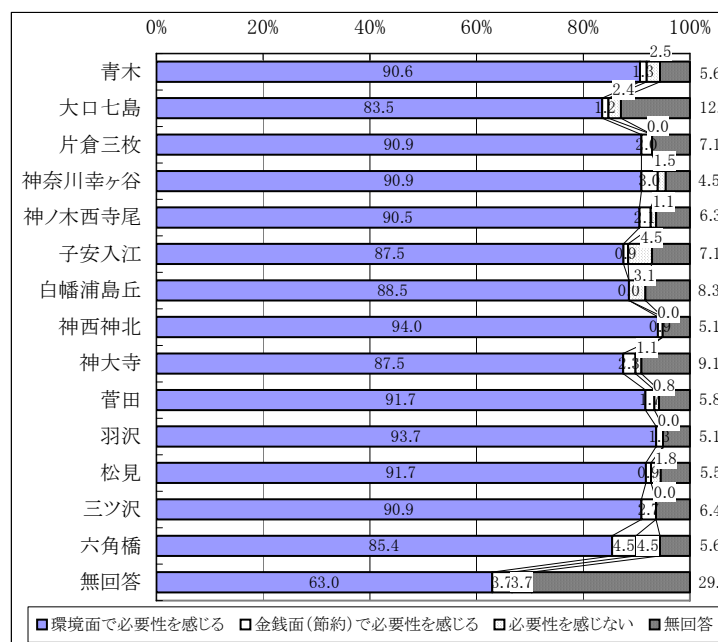
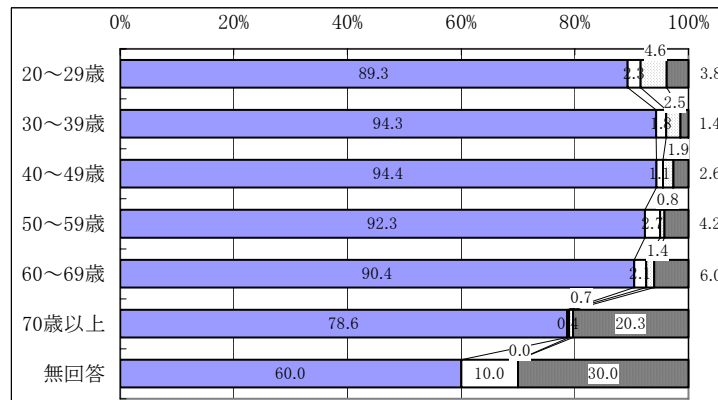
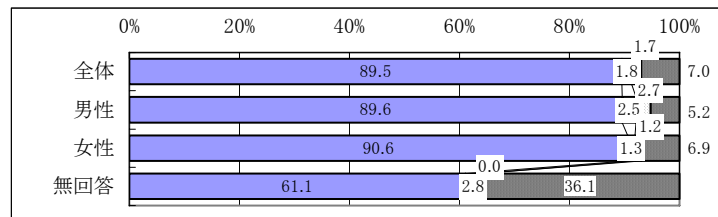
- ・ いずれの世代も「環境面で必要性を感じる」が最も多く、30代から60代で9割を超える。

<地域別>

- ・ どの地域も「環境面で必要性を感じる」が9割前後で最も多い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <ごみ>
 — ⑨ ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する —

ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する



⑩ エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に女性は男性より 11.7 ポイント高い。

<年齢別>

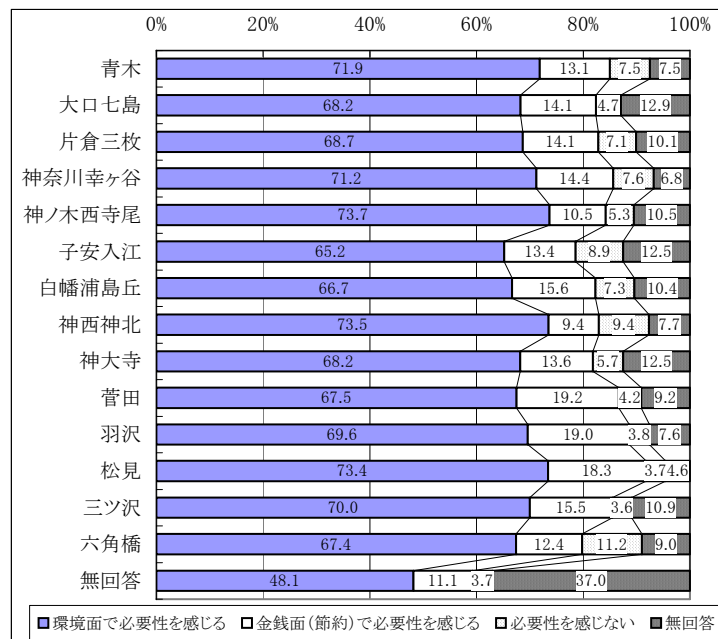
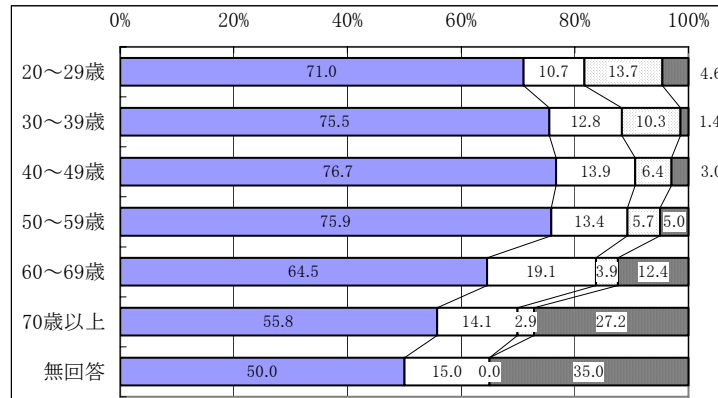
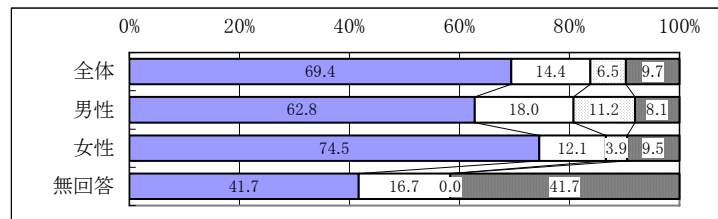
- ・ どの世代も「環境面で必要性を感じる」が最も多い。

<地域別>

- ・ どの地域も「環境面で必要性を感じる」が7割前後で、大きな地域差はみられない。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <買い物や食事の時の行動>
 — ⑩ エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する —

エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する



⑪ 過剰な包装、不必要なレジ袋は断る

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く8割前後である。

<年齢別>

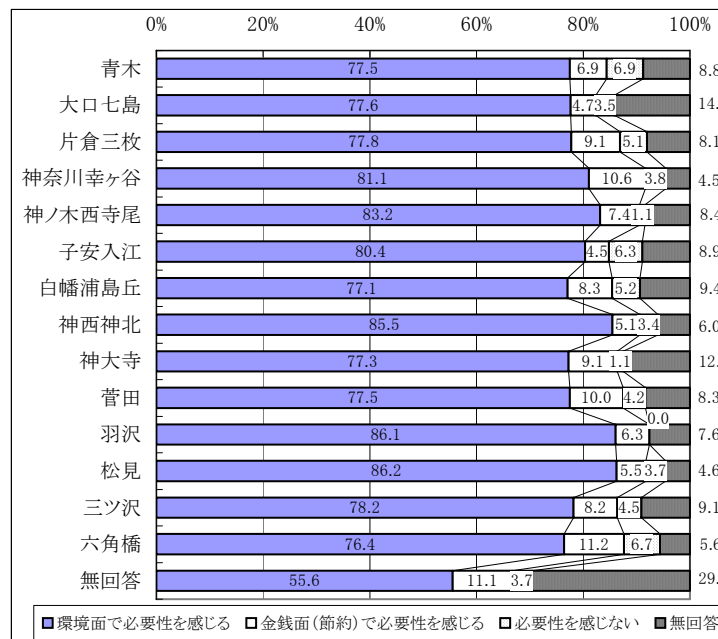
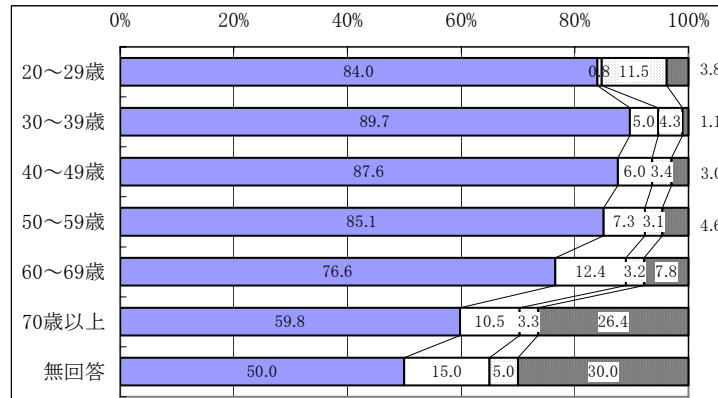
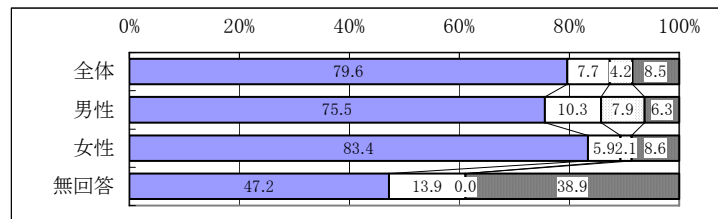
- ・ いずれの世代も「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に30代で数値が高い。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「環境面で必要性を感じる」が8割前後で最も多い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <買い物や食事の時の行動>
 — ⑪ 過剰な包装、不必要なレジ袋は断る —

過剰な包装、不必要なレジ袋は断る



⑫ 買物袋(マイバッグ)を使っている

<男女別>

- 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多いが、女性は男性を16.2ポイント上回っているほか、男性は「必要性を感じない」が女性より14.5ポイント高くなっている。

<年齢別>

- いずれの世代も「環境面で必要性を感じる」が最も多く、30代では数値が高い。一方20代では「必要性を感じない」の数値が他に比べてやや高い。

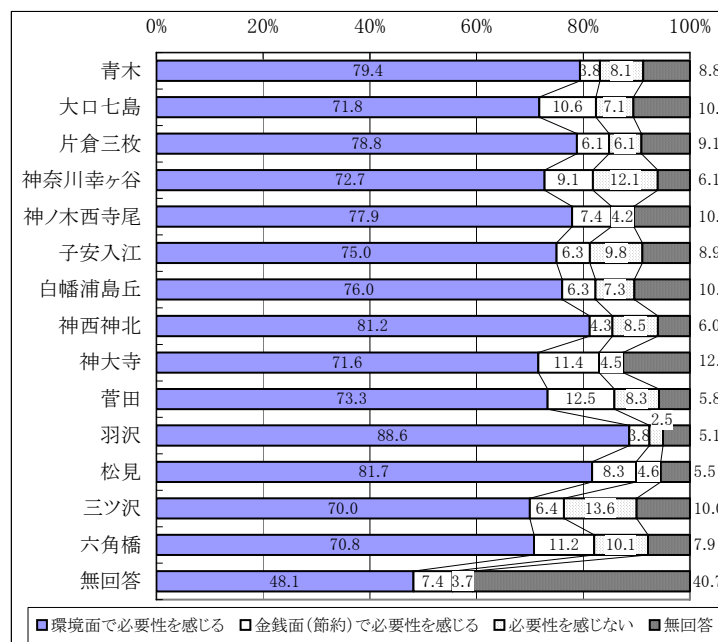
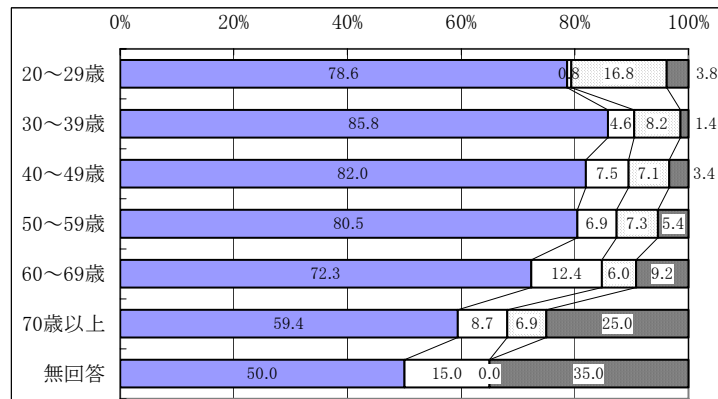
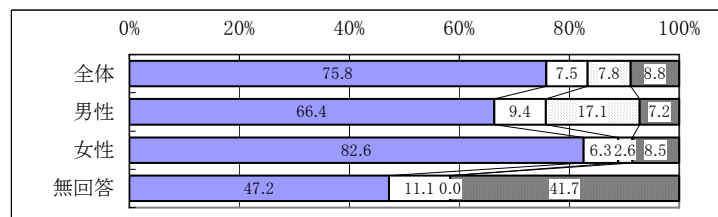
<地域別>

- いずれも「環境面で必要性を感じる」が7割を超え、特に「羽沢」で数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <買い物や食事の時の行動>

— ⑫ 買物袋(マイバッグ)を使っている —

買物袋(マイバッグ)を使っている



⑬ 詰め替えが可能な商品を選ぶ

<男女別>

- 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多いが、女性は男性より 14.6 ポイント高い。男性は「金銭面で必要性を感じる」が女性を 11.3 ポイント上回っている。

<年齢別>

- いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多いが、20代では「金銭面で必要性を感じる」が他に比べて高い数値となっている。

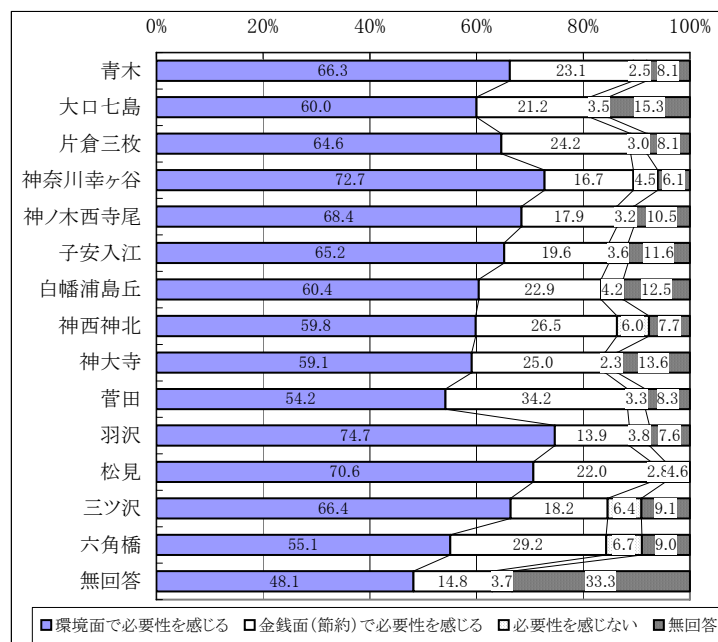
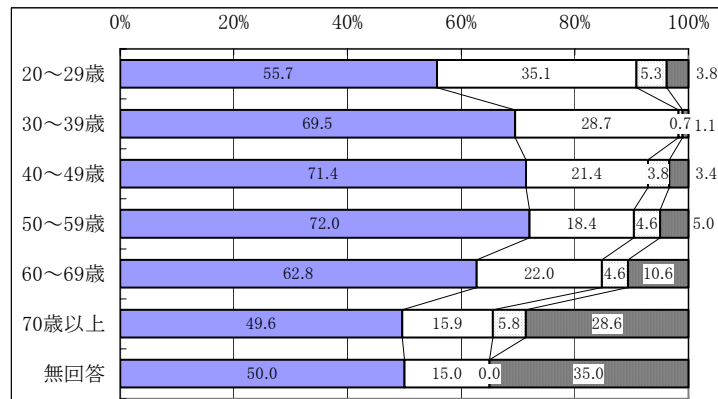
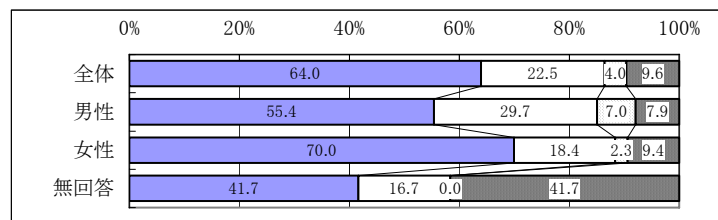
<地域別>

- いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多いが、「菅田」では他に比べて数値が低く、「金銭面で必要性を感じる」の数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <買い物や食事の時の行動>

— ⑬ 詰め替えが可能な商品を選ぶ —

詰め替えが可能な商品を選ぶ



⑭ マイ箸を持ち歩くようにする

<男女別>

- ・ 男性は「必要性を感じない」、女性は「環境面で必要性を感じる」が最も多くなっており、男女で回答が分かれた。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「環境面で必要性を感じる」が最も多い。

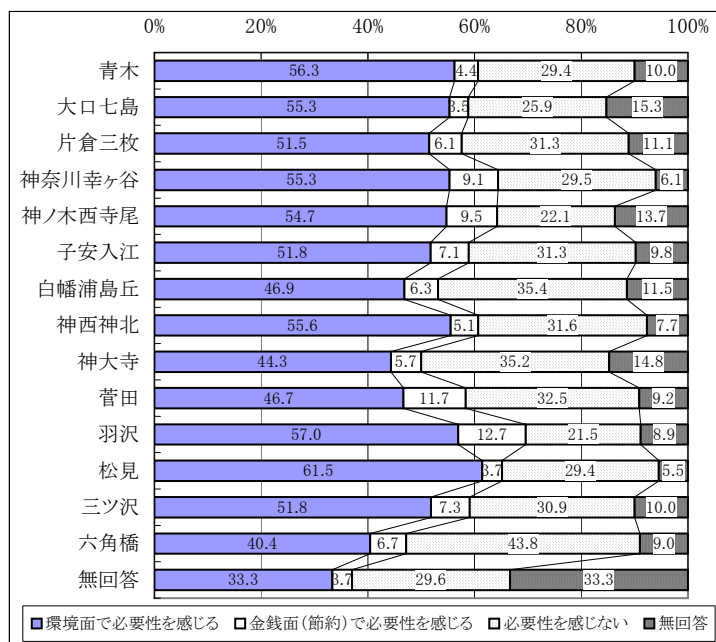
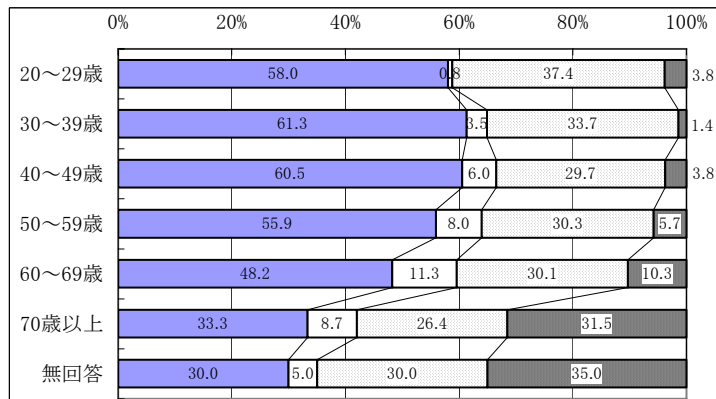
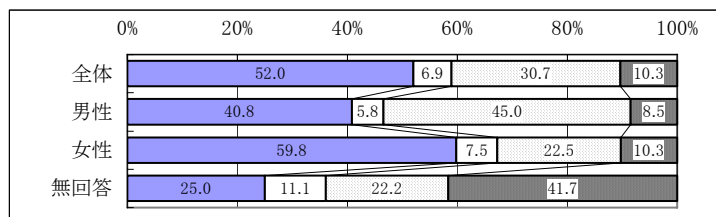
<地域別>

- ・ 概ね「環境面で必要性を感じる」が最多だが、「六角橋」のみ「必要性を感じない」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <買い物や食事の時の行動>

— ⑭ マイ箸を持ち歩くようにする —

マイ箸を持ち歩くようにする



⑮ 地産地消を心がける

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、女性は男性を 11.4 ポイント上回る。男性は女性より「必要性を感じない」が 10.7 ポイント高い。

<年齢別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、20代は他に比べて「必要性を感じない」の数値がやや高い。

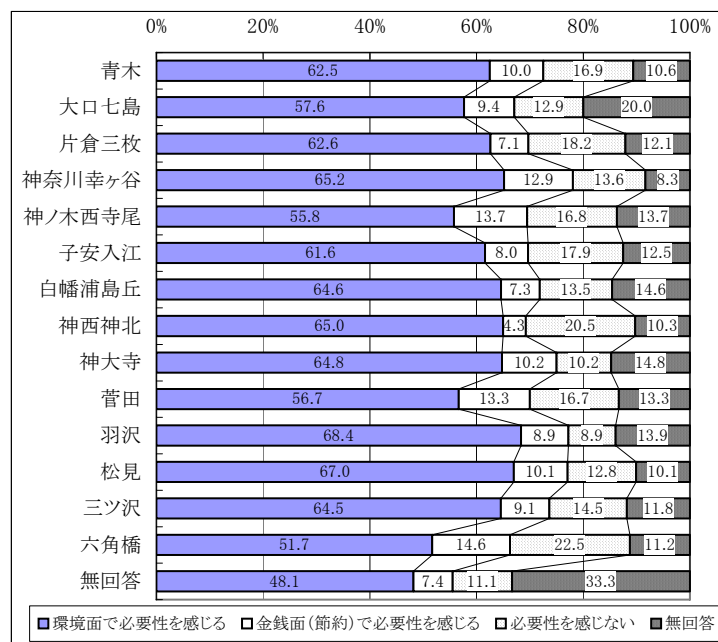
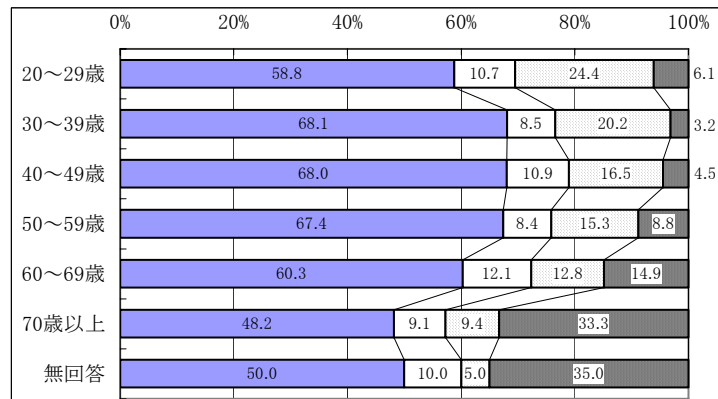
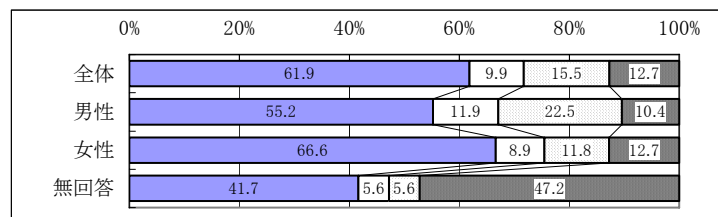
<地域別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多いが、「六角橋」では数値が低い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <買い物や食事の時の行動>

— ⑮ 地産地消を心がける —

地産地消を心がける



⑩ 外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、過半数となっている。

<年齢別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多い。2,30代では「金銭面で必要性を感じる」がそれ以上の世代より高くなっている。

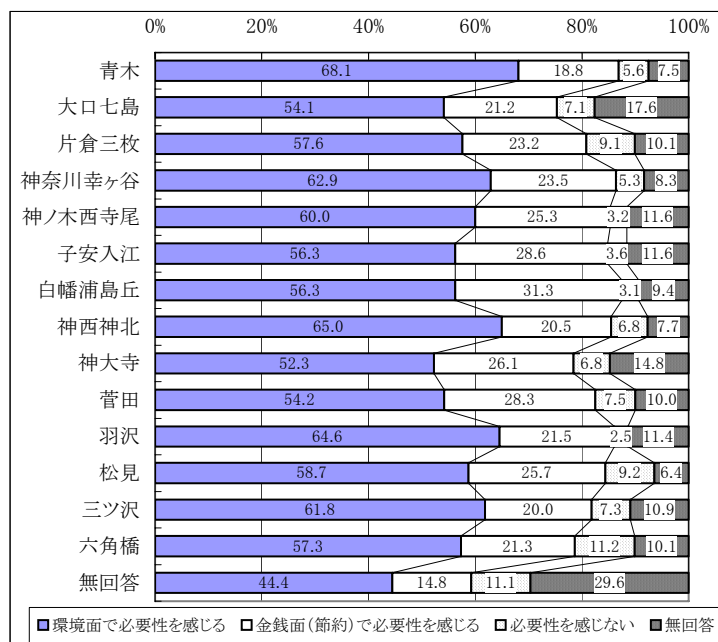
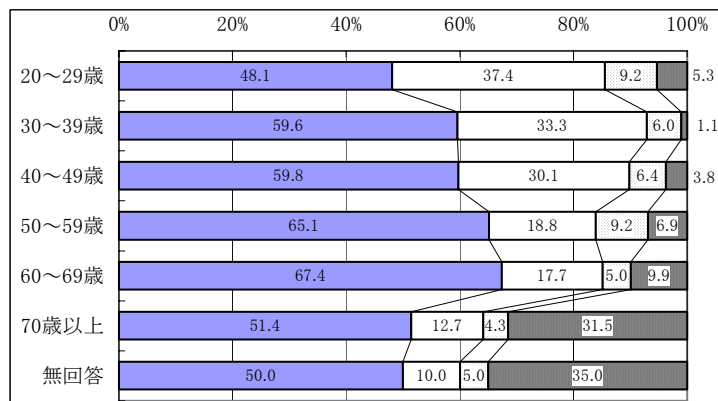
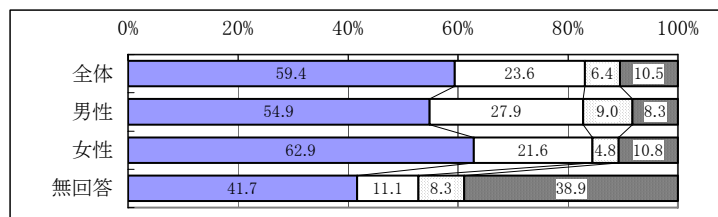
<地域別>

- ・ いずれの地域も「環境面で必要性を感じる」が最も多く、「青木」ではやや高めの数値になっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <交通手段に関する行動>

－ ⑩ 外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する －

外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する



⑰ 外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、女性は男性より 9.2 ポイント高い。

<年齢別>

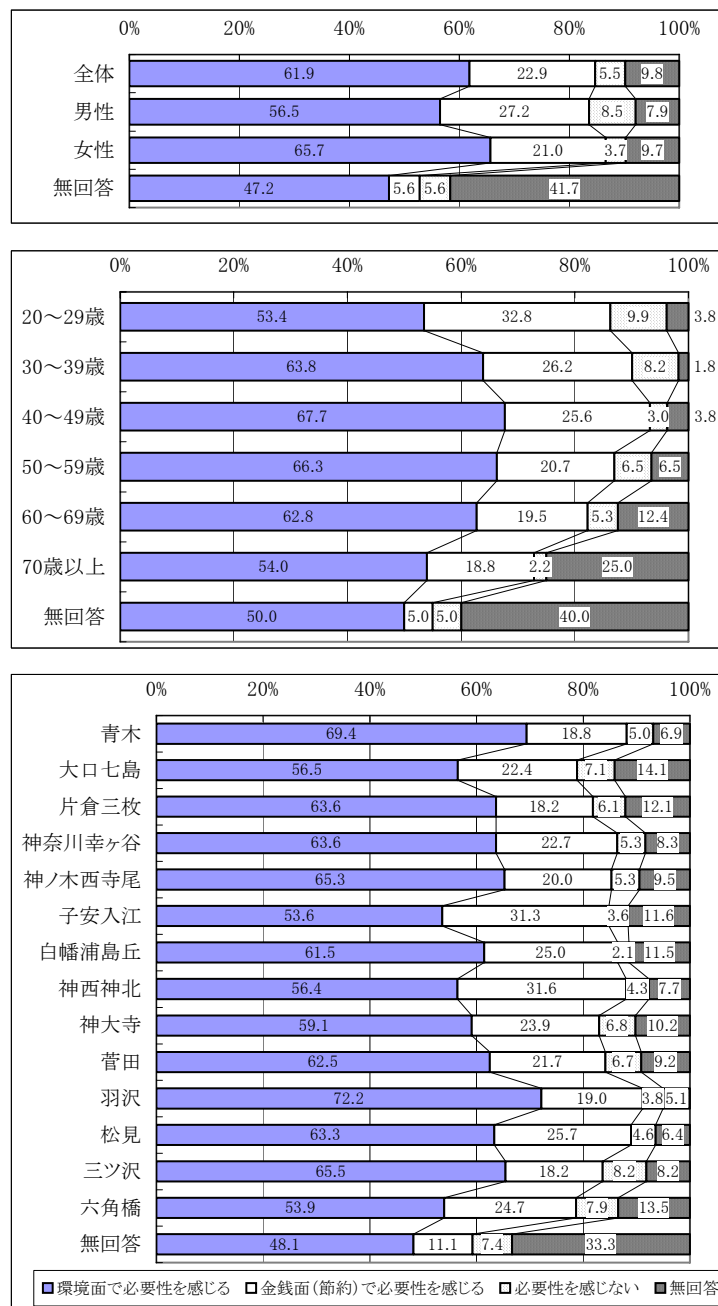
- ・ いずれの世代も「環境面で必要性を感じる」が過半数を占めるが、20代では「金銭面で必要性を感じる」が他に比べてやや高い数値となっている。

<地域別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に「羽沢」で他に比べて数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <交通手段に関する行動>
 — ⑰ 外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する —

外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する



⑩ 車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす)

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、女性は男性を 12.5 ポイント上回る。一方男性は「金銭面で必要性を感じる」が女性を 12.0 ポイント上回っている。

<年齢別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に 40 代で数値が高い。

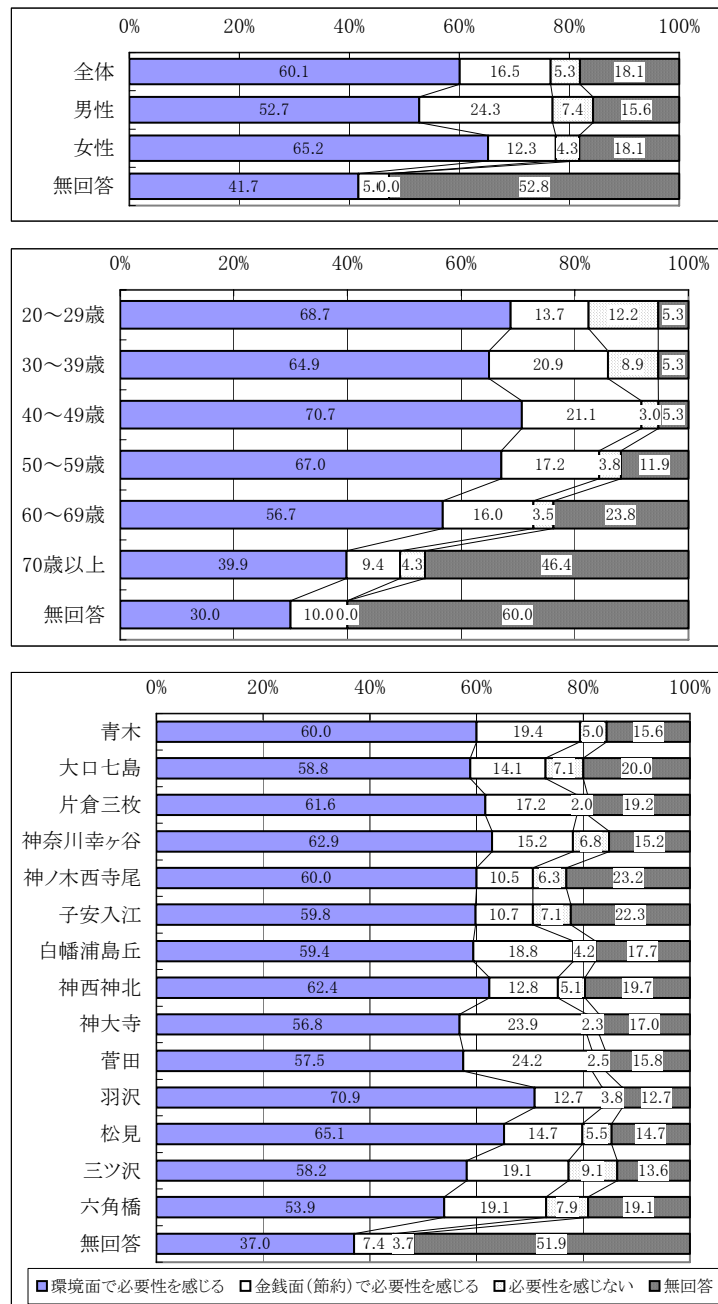
<地域別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に「羽沢」で他に比べて数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <交通手段に関する行動>

－ ⑩ 車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす) －

車で外出するときは、エコドライブを心がける (うながす)



⑱ 車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす)

<男女別>

- ・ 男女とも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に女性は男性を9.8ポイント上回る。

<年齢別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多く、特に40代で数値が高い。

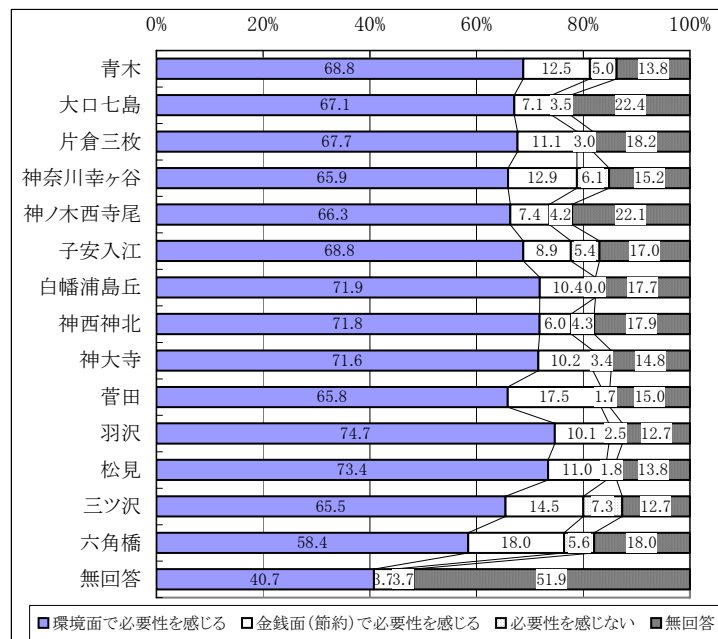
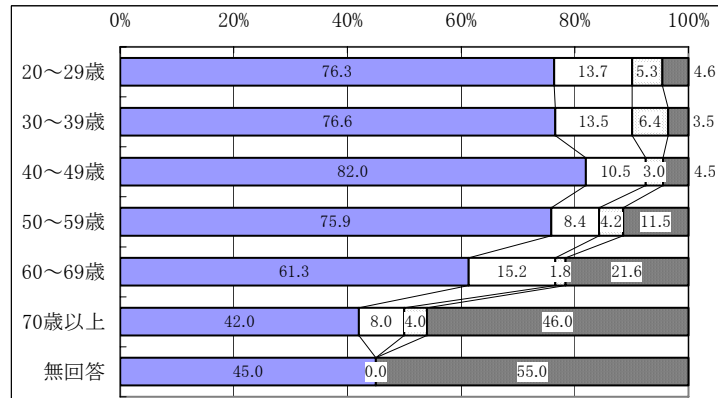
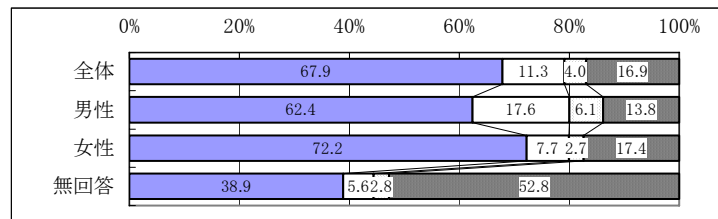
<地域別>

- ・ いずれも「環境面で必要性を感じる」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動に関する必要性 <交通手段に関する行動>

－ ⑱ 車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす) －

車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす)



<環境行動の実践>

- 「電気・水道の節約」については、「やっていない」の方が多くなっているのは「緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む（夏季の建物内の冷房効率を高める）」（72.7%）のみである。それ以外はいずれも「やっている」の方が高い割合となっており、特に「使っていない部屋の電気を消す」（88.3%）では9割近く、「冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする」（84.3%）、「歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない」（77.8%）でも8割前後と高い数値になっている。
- 「ごみ」について、「ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する」では「やっている」が90.8%と、9割を超えている。
- 「買い物や食事の時の行動」については、「やっていない」の方が多いのは「マイ箸を持ち歩くようにする」（81.4%）、「地産地消を心がける」（52.0%）の2項目である。それ以外については「やっている」が多く、特に「詰め替えが可能な商品を選ぶ」（78.9%）で8割近くに達している。
- 「交通手段に関する行動」については、「車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ（うながす）」でのみ「やっていない」が最も多い（42.6%）。それ以外については「やっている」の方が多く、「外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する」では68.4%と7割近い数値となっている。

図 環境行動の実践<電気・水道の節約>

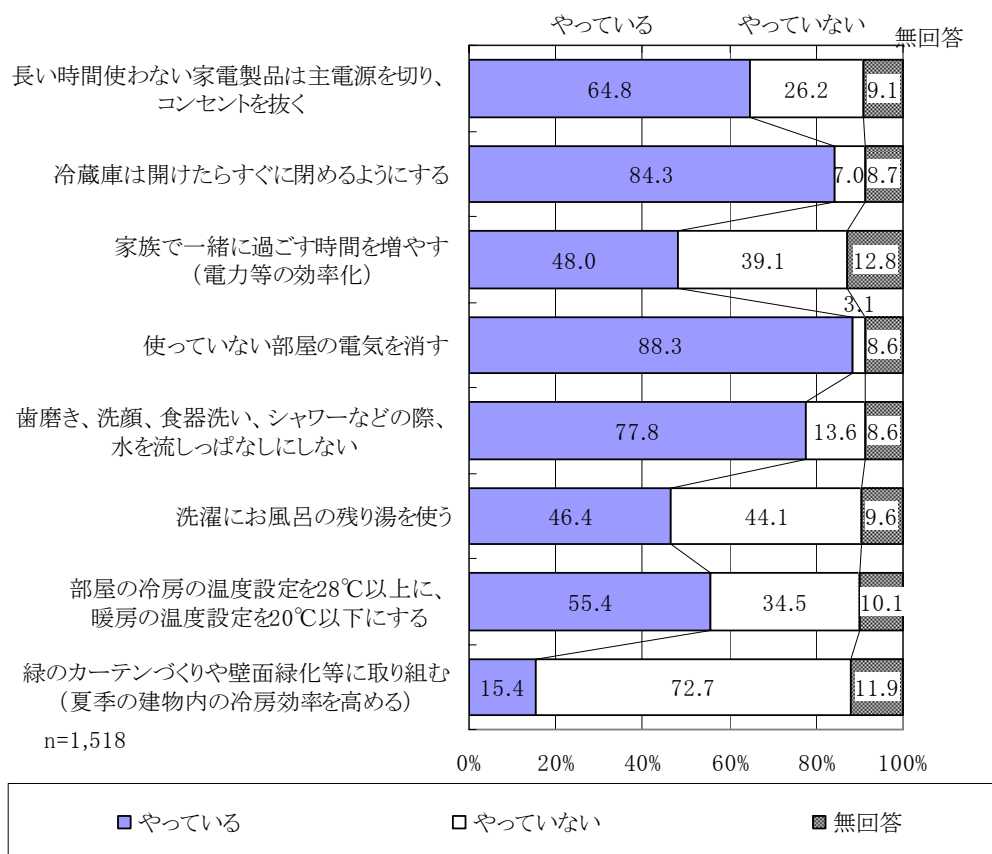


図 環境行動の実践<ごみ>

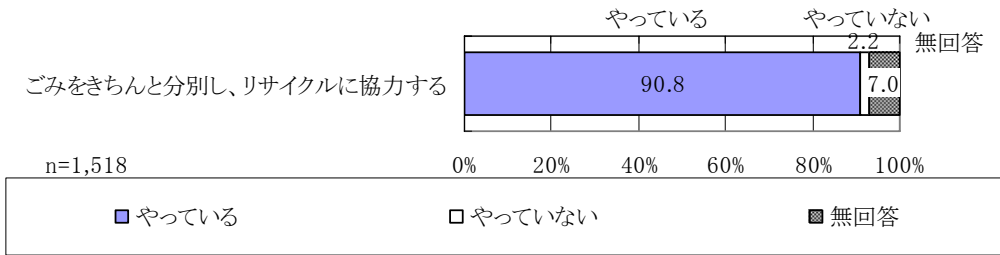


図 環境行動の実践<買い物や食事の時の行動>

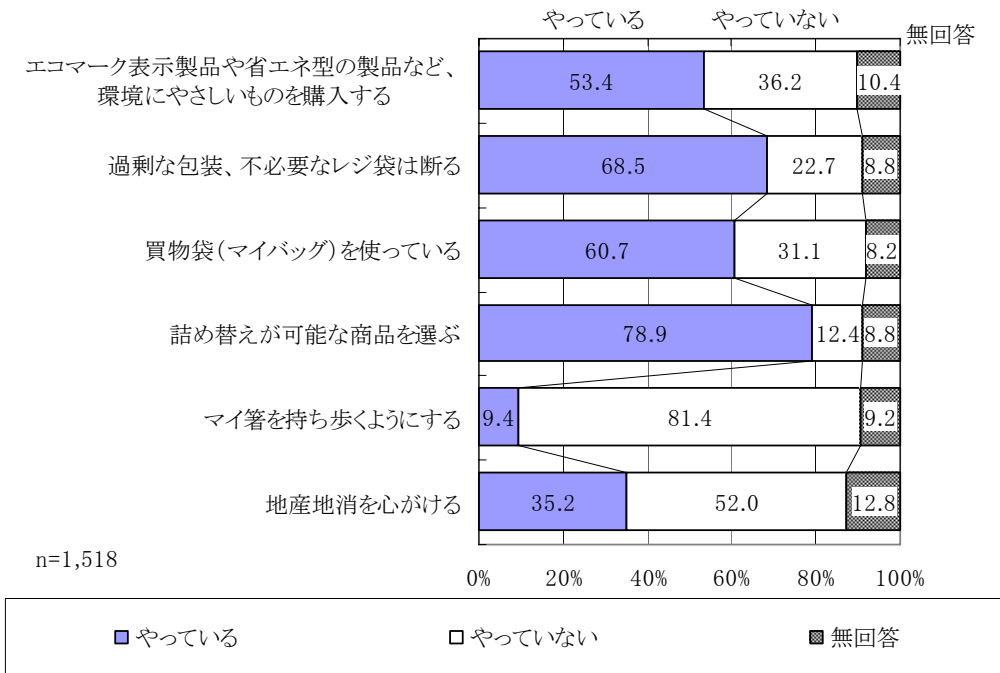
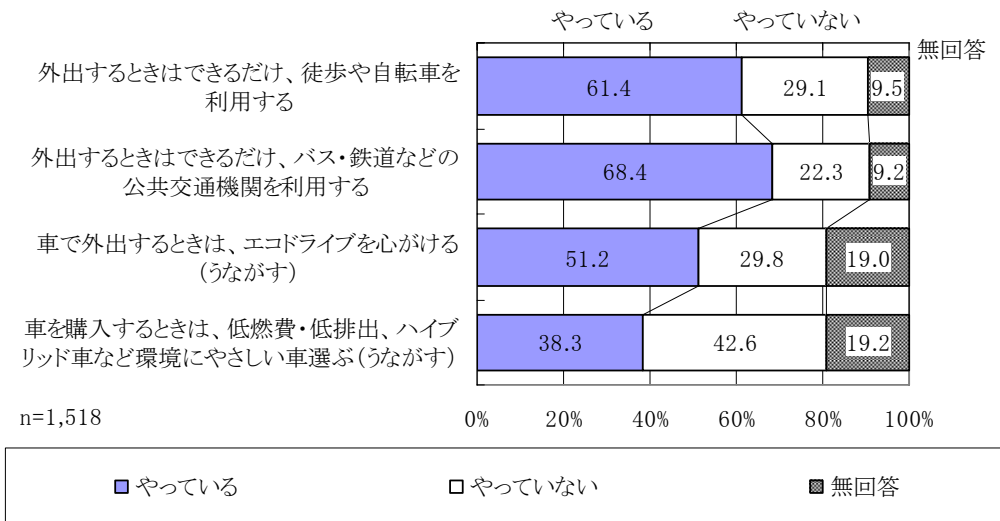


図 環境行動の実践<交通手段に関する行動>



■ 男女・年齢・地域別 環境行動の実践(問5B× F1、F2、F3)

① 長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く

<男女別>

・ 男女とも「やっている」の方が多く、6割を超える。

<年齢別>

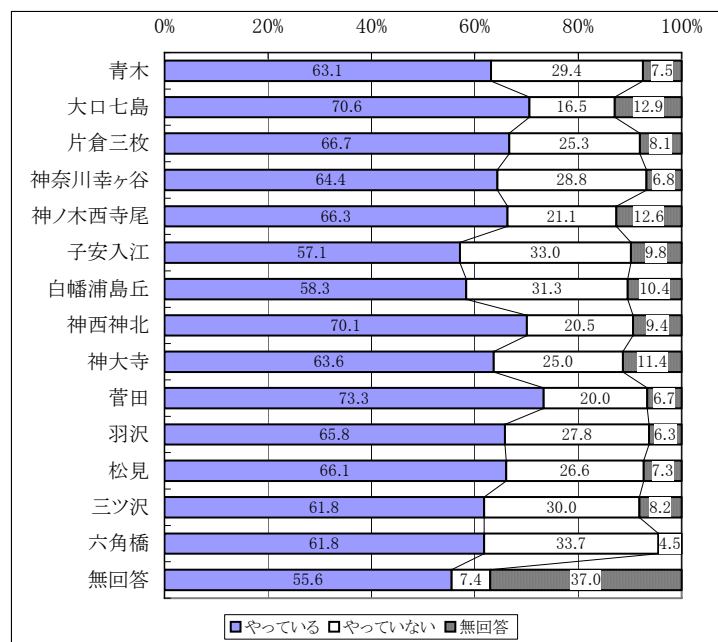
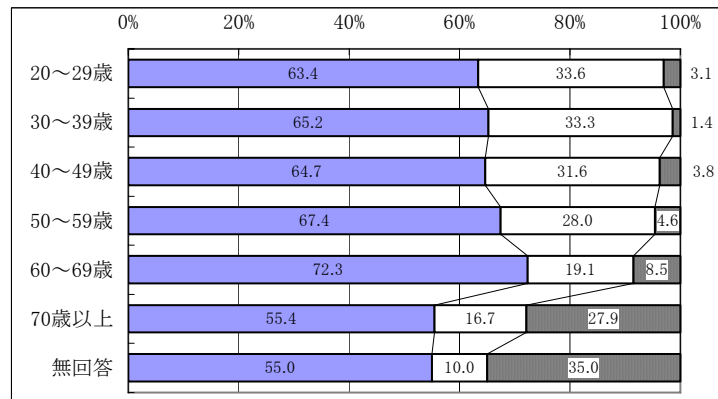
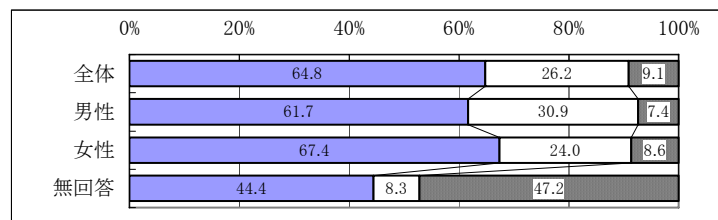
・ どの世代も「やっている」の方が多くなっている。

<地域別>

・ いずれの地域も「やっている」の方が多く6割前後～7割を占める。「菅田」では数値がやや高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <電気・水道代の節約>
 ① 長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く

長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く



② 冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする

<男女別>

- ・ 男女とも「やっている」の方が多く 8 割台で、男女差はみられない。

<年齢別>

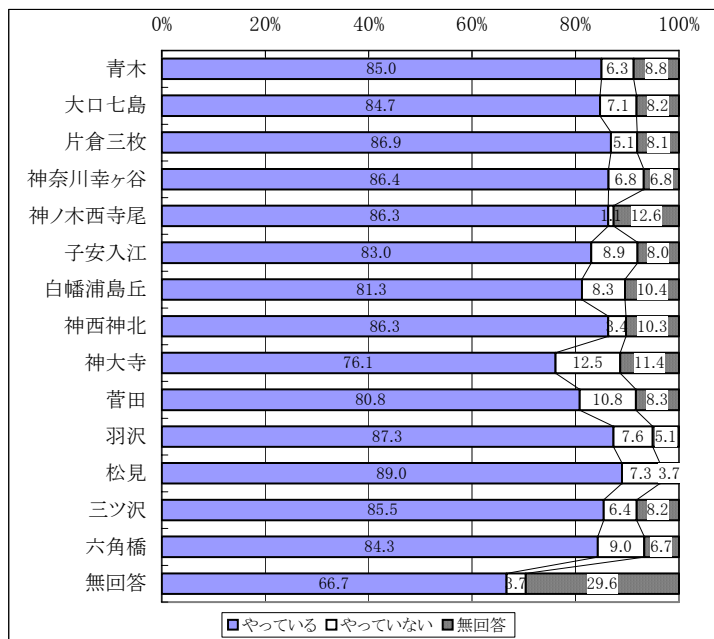
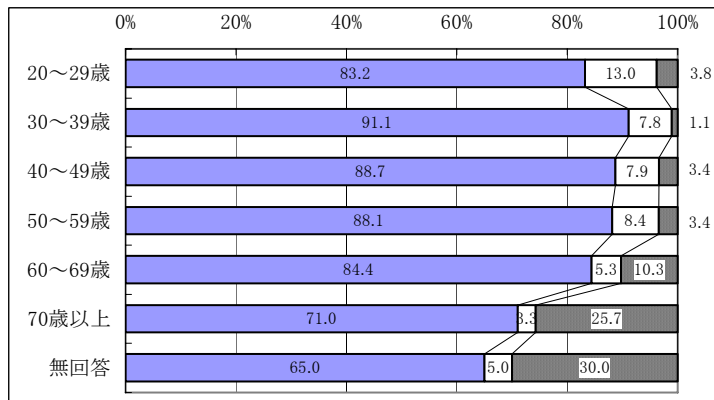
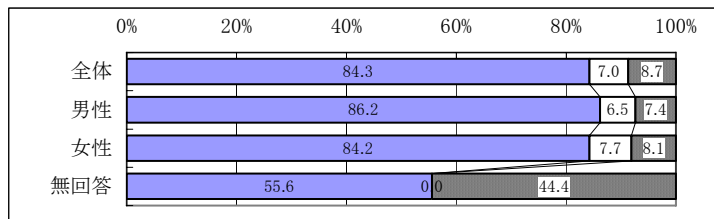
- ・ いずれの世代も「やっている」の方が多く、特に 30 代では 9 割を超える。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっている」の方が多く、概ね 8 割台となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <電気・水道代の節約>
 — ② 冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする —

冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする



③ 家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)

<男女別>

- ・ 男女とも「やっている」の方が多いが、女性は5割超が「やっている」としており、男性では「やっていない」との差は僅かである。

<年齢別>

- ・ 20代と50代では「やっていない」、それ以外は「やっている」の方が多くなっている。

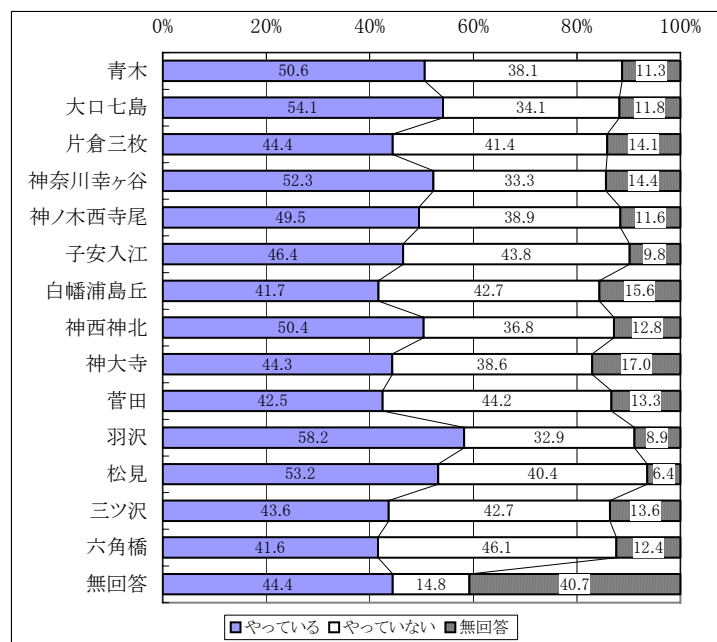
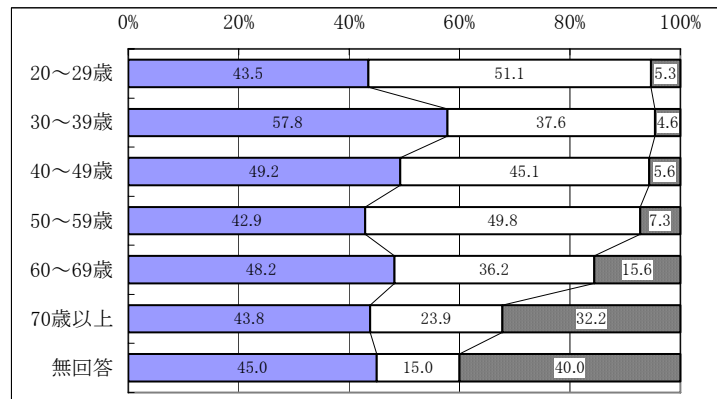
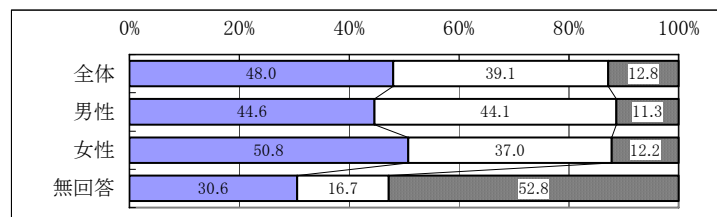
<地域別>

- ・ 「白幡浦島丘」「菅田」「六角橋」では小差ながら「やっていない」の方が多い。それ以外の地域では「やっている」の方が多く、特に「羽沢」では数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <電気・水道代の節約>

－ ③ 家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化) －

家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)



④ 使っていない部屋の電気を消す

<男女別>

- ・ 男女とも9割前後が「やっている」としている。

<年齢別>

- ・ どの世代も「やっている」の方が多く、20代から50代では9割を超える。

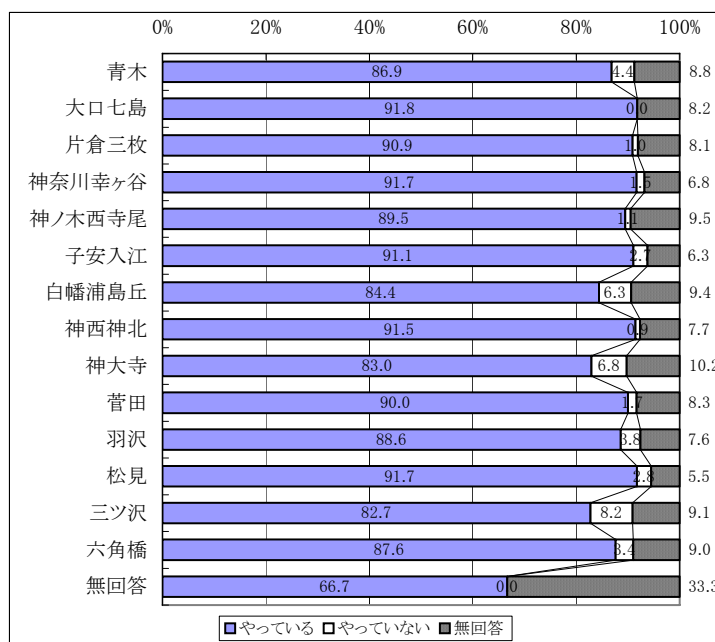
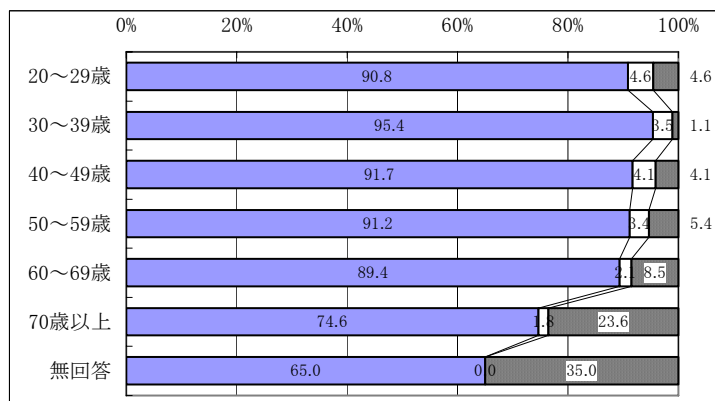
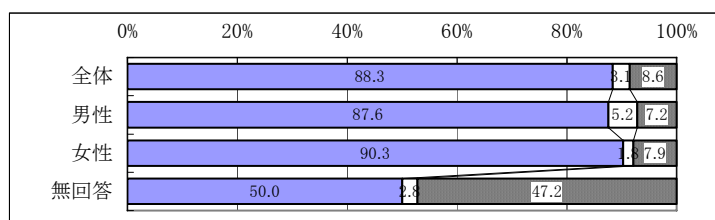
<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっている」の方が多く8割～9割を占め、顕著な地域差は見られない。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <電気・水道代の節約>

－ ④ 使っていない部屋の電気を消す －

使っていない部屋の電気を消す



⑤ 歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない

<男女別>

- ・ 男女とも8割弱が「やっている」とし、男女差はみられない。

<年齢別>

- ・ どの世代も「やっている」が7～8割を占める。

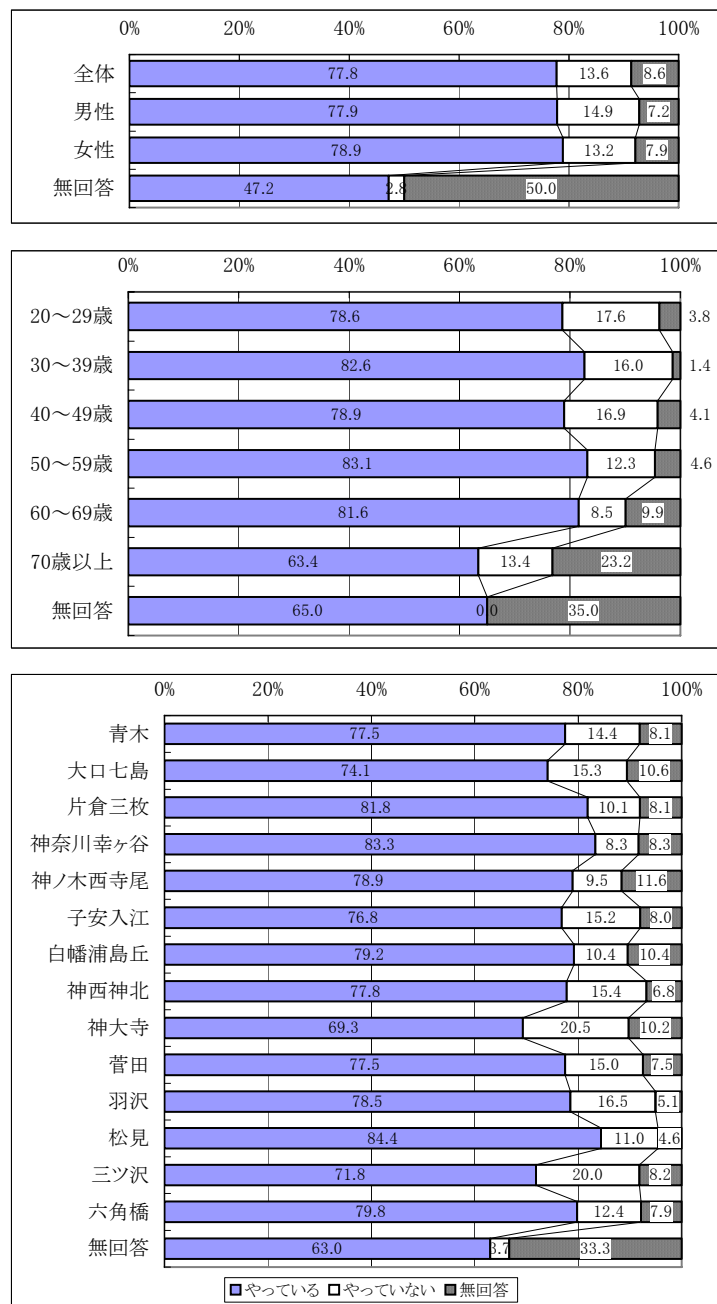
<地域別>

- ・ 「神大寺」でやや数値が低いのが、いずれの地域も「やっている」の方が多く、7～8割となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <電気・水道代の節約>

－ ⑤ 歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない －

歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない



⑦ 部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする

<男女別>

- ・ 男女とも5割超が「やっている」としている。

<年齢別>

- ・ どの世代も「やっている」の方が多く5割台だが、20代では「やっていない」の割合が他に比べて高い。

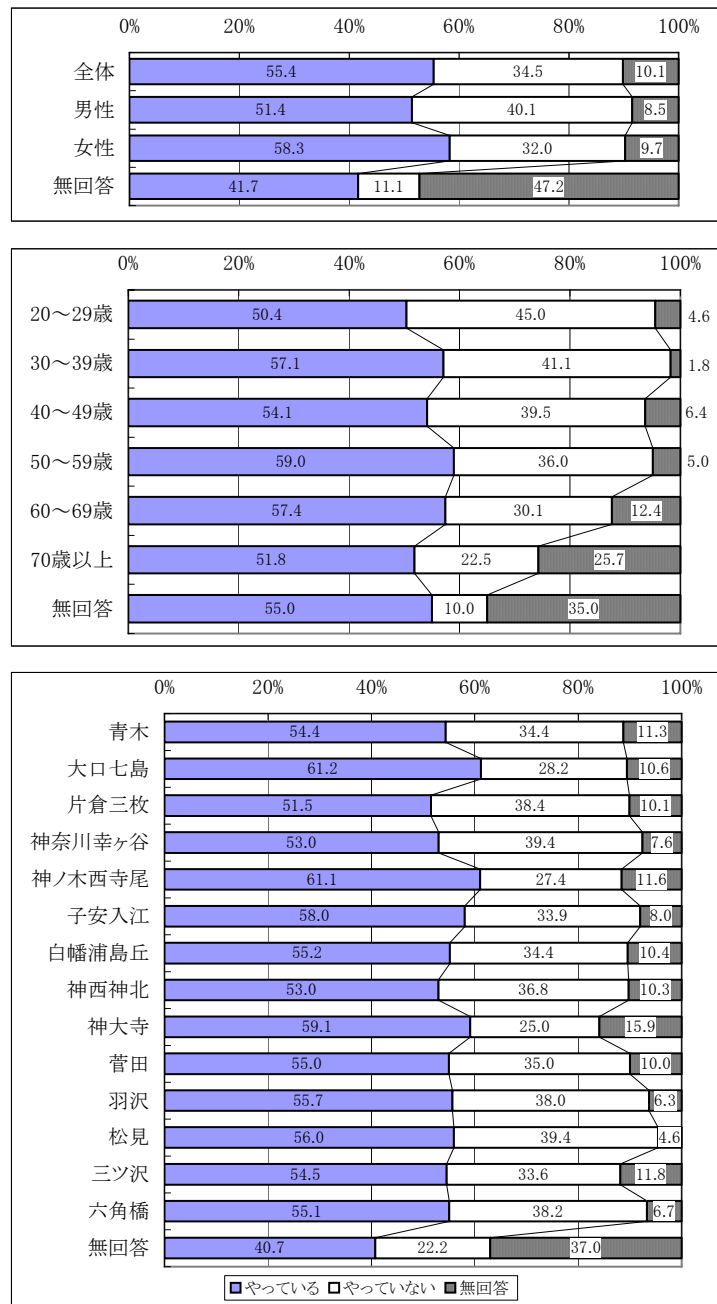
<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっている」が過半数で、さほど大きな地域差はみられなかった。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <電気・水道代の節約>

－ ⑦ 部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする －

部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする



⑧ 緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める)

<男女別>

- ・ 男女とも7割超が「やっていない」としている。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「やっていない」の方が多くなっている。

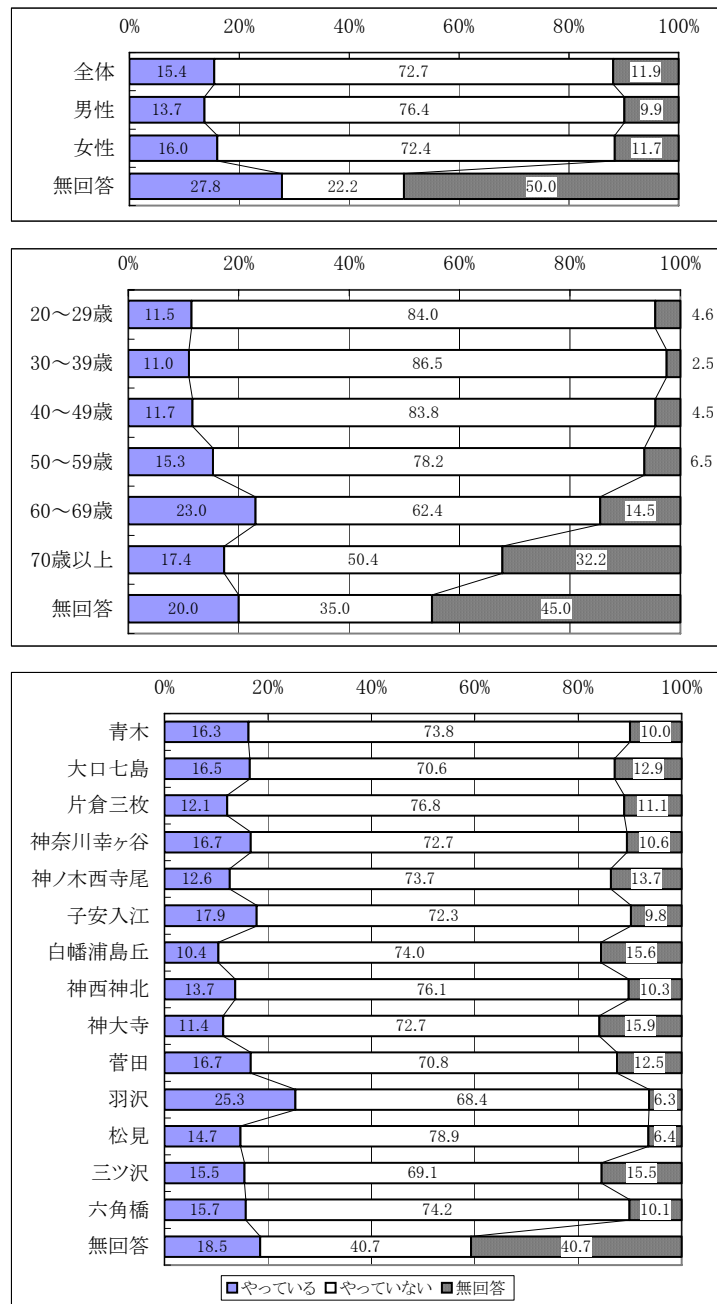
<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっていない」の方が多いが、「羽沢」では「やっている」が全体の4分の1と、他に比べて高い割合になっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <電気・水道代の節約>

－ ⑧ 緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める) －

緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む (夏季の建物内の冷房効率を高める)



⑨ ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する

<男女別>

- ・ 男女とも「やっている」の方が多く9割超で、男女差はなかった。

<年齢別>

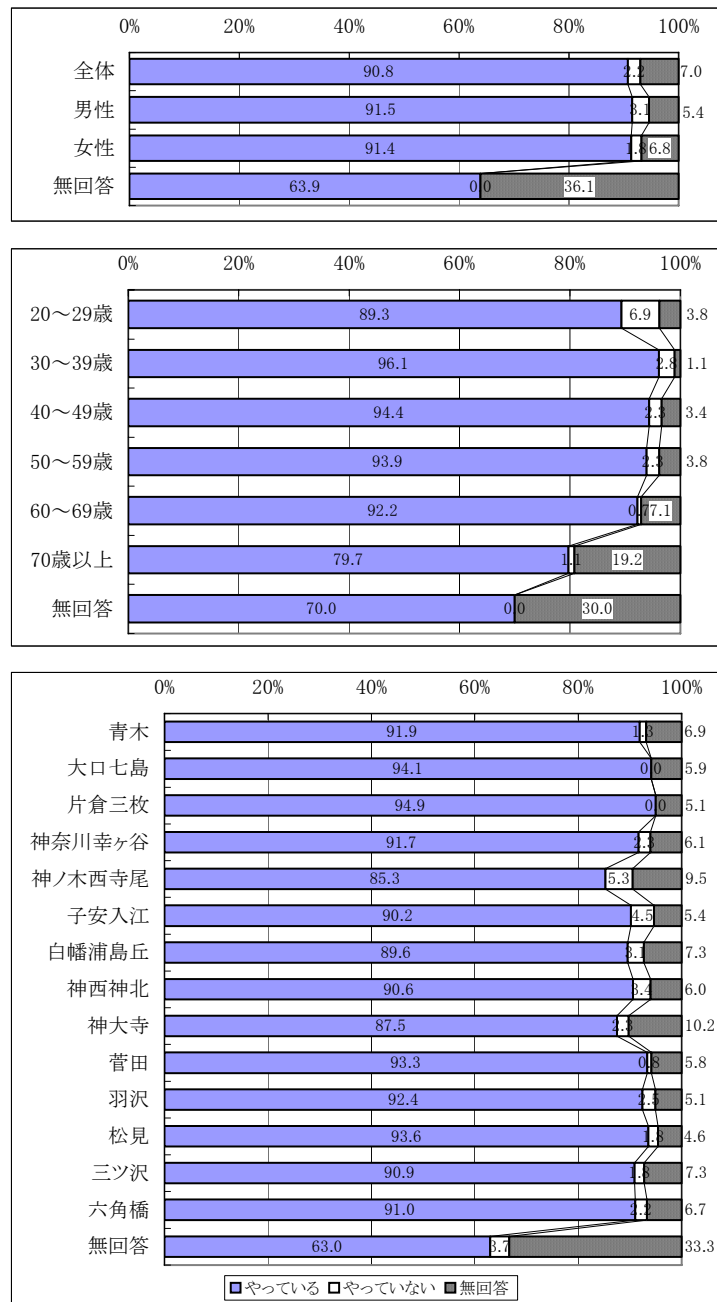
- ・ いずれの世代も「やっている」の方が多く8～9割を占め、特に30,40代の数値が高い。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっている」の方が多く9割前後を占め、大きな地域差はなかった。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <ごみ>
 — ⑨ ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する —

ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する



⑩ エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する

<男女別>

・ 男性は「やっていない」、女性は「やっている」の方が多く、男女で回答が分かれた。

<年齢別>

・ 20代では「やっていない」が6割に達している。それ以上の世代では「やっている」の方が多くなっている。

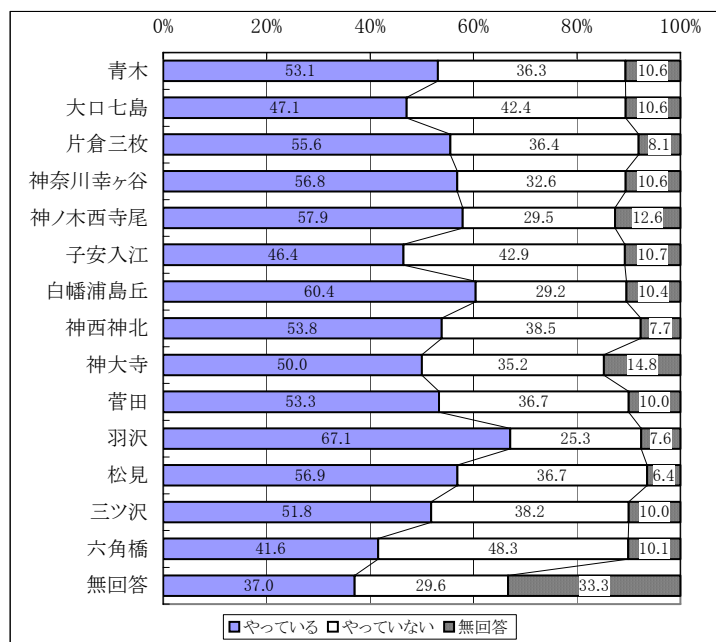
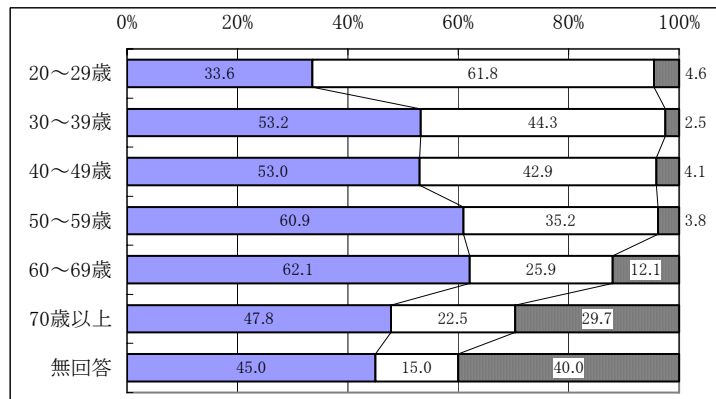
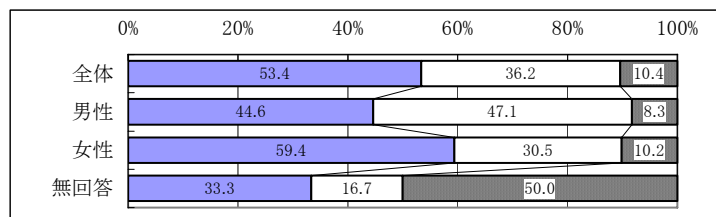
<地域別>

・ 「六角橋」のみ「やっていない」の方が多い。それ以外の地域は「やっている」の方が多く、特に「羽沢」では高い割合となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <買い物や食事の時の行動>

— ⑩ エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する —

エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する



⑪ 過剰な包装、 unnecessary レジ袋は断る

<男女別>

- ・ 男女とも「やっている」の方が多く、特に女性は男性より14ポイント高い。一方男性は「やっていない」が女性を15.6ポイント上回っている。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「やっている」の方が多くなっている。

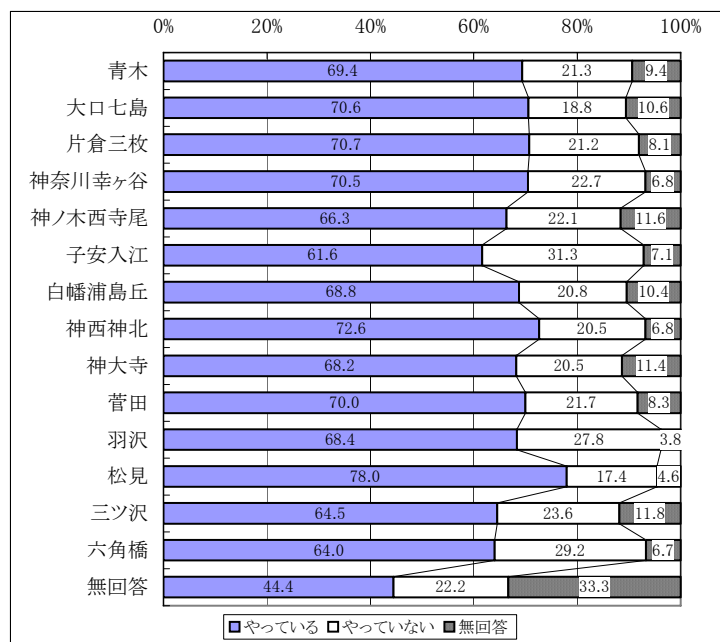
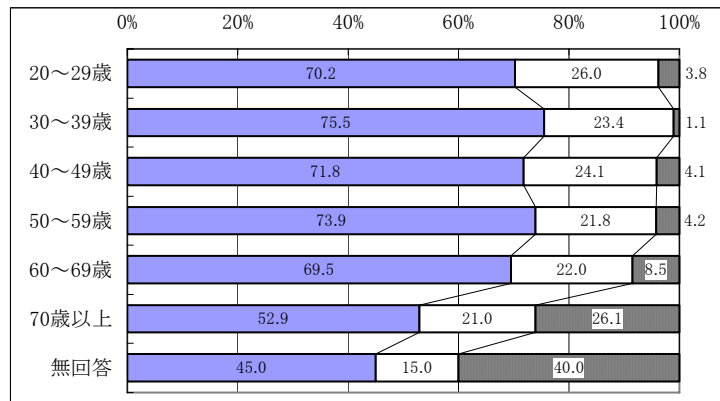
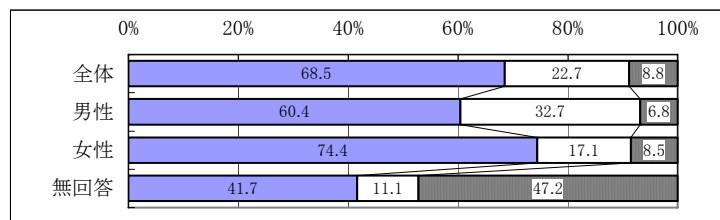
<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっている」が6割前後～7割を占め、特に「松見」ではやや高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <買い物や食事の時の行動>

－ ⑪ 過剰な包装、 unnecessary レジ袋は断る －

過剰な包装、 unnecessary レジ袋は断る



⑫ 買物袋(マイバッグ)を使っている

<男女別>

- ・ 男性は「やっていない」のほうやや多いが、女性は「やっている」が7割を超えており、男女間で回答が大きく分かれた。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「やっている」の方が多いが、20代では「やっている」「やっていない」の差は僅かである。

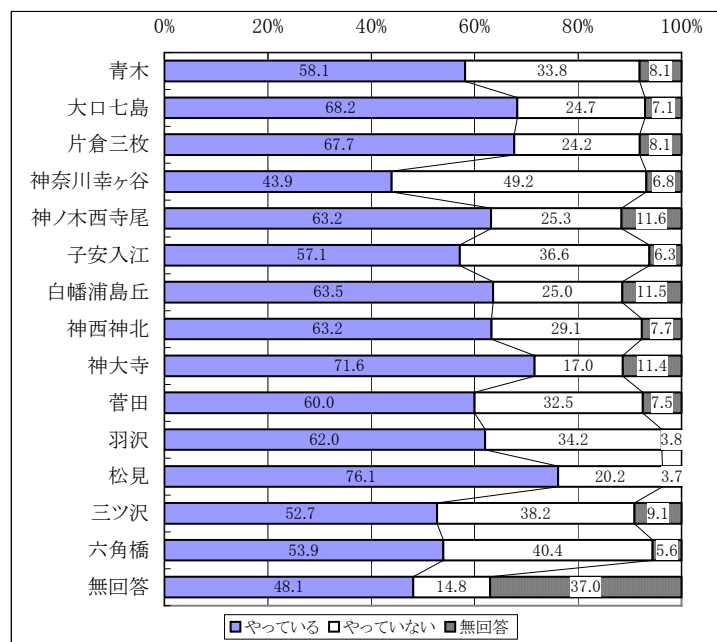
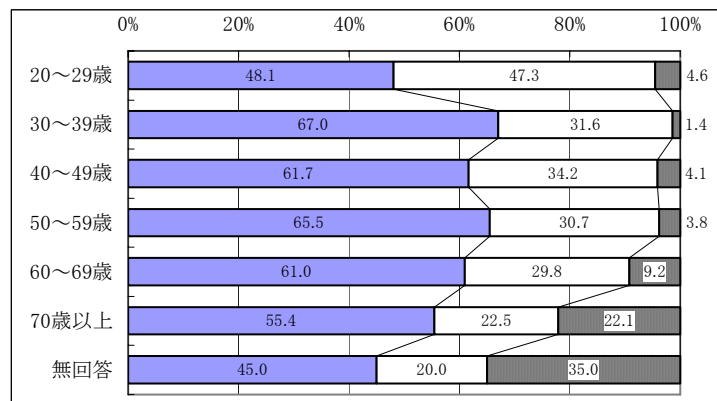
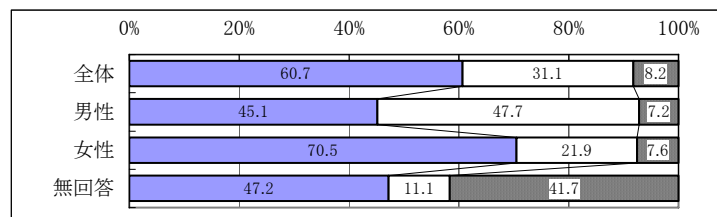
<地域別>

- ・ 「神奈川幸ヶ谷」のみ「やっていない」の方が多く、それ以外は「やっている」の方が多くなっており、特に「松見」と「神大寺」で数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <買い物や食事の時の行動>

－ ⑫ 買物袋(マイバッグ)を使っている －

買物袋(マイバッグ)を使っている



⑬ 詰め替えが可能な商品を選ぶ

<男女別>

- ・ 男女とも「やっている」の方が多いが、女性は男性より 12.7 ポイント高く、男性は「やっていない」が女性より 13 ポイント高くなっている。

<年齢別>

- ・ どの世代も「やっている」の方が多く、特に 30 代では 9 割を超える。

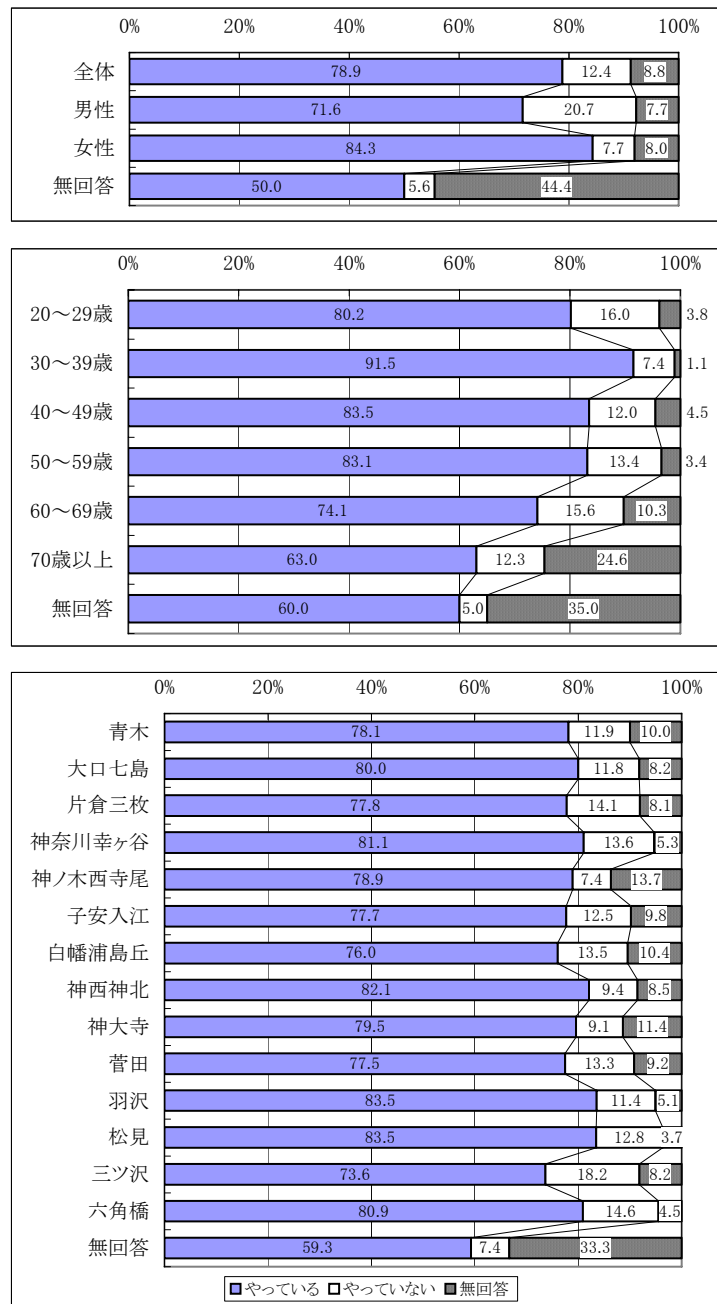
<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっている」が 7～8 割前後を占める。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <買い物や食事の時の行動>

－ ⑬ 詰め替えが可能な商品を選ぶ －

詰め替えが可能な商品を選ぶ



⑭ マイ箸を持ち歩くようにする

<男女別>

- ・ 男女とも「やっていない」が8割超で、それほど大きな男女差はなかった。

<年齢別>

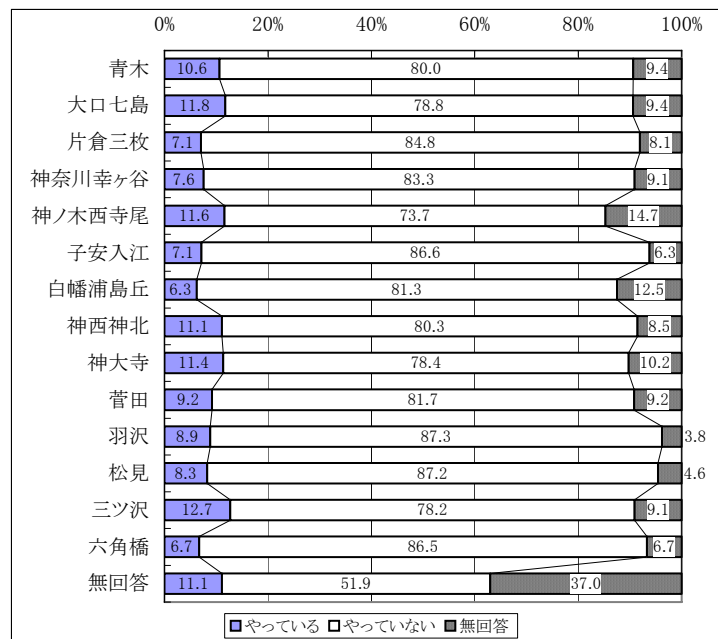
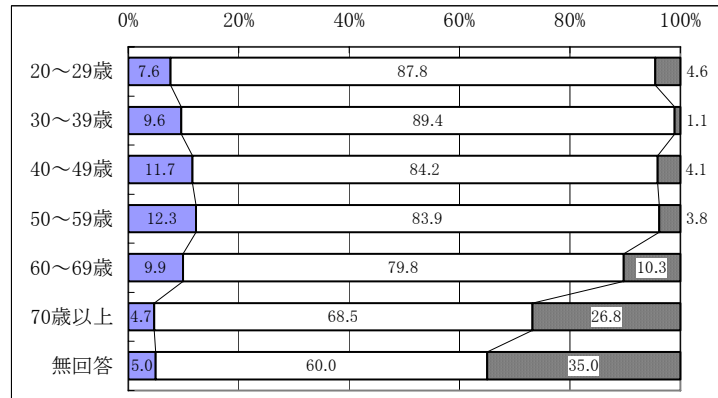
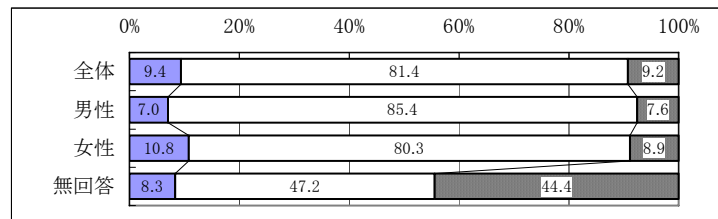
- ・ いずれの世代も「やっていない」の方が多く、大半を占める。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっていない」の方が多く、7～8割台を占める。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <買い物や食事の時の行動>
 — ⑭ マイ箸を持ち歩くようにする —

マイ箸を持ち歩くようにする



⑮ 地産地消を心がける

<男女別>

- ・ 男女とも「やっていない」の方が多いが、女性は「やっている」が男性より10.8ポイント高い。

<年齢別>

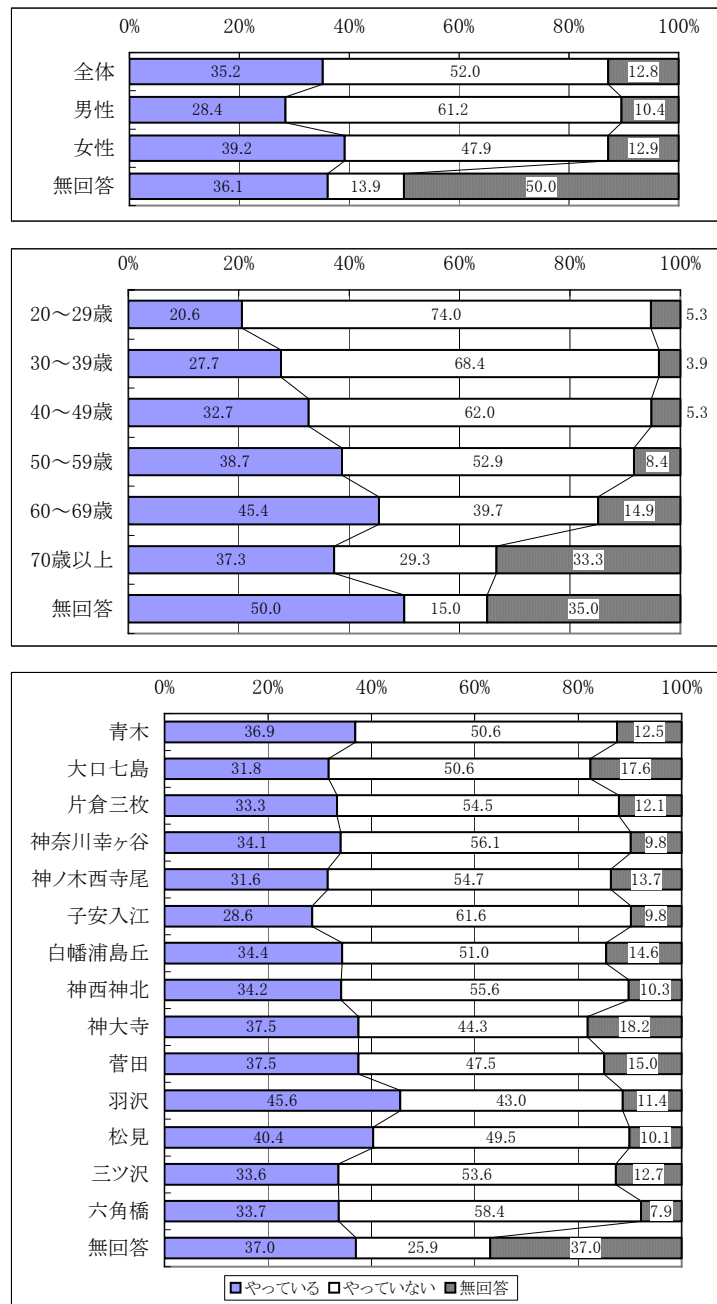
- ・ 20代から50代では「やっていない」、60代以上では「やっている」の方が多く、高齢者では地産地消を心がけていることが伺われる。

<地域別>

- ・ 羽沢では若干ながら「やっている」の方が多く、それ以外は「やっていない」が多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <買い物や食事の時の行動>
 - ⑮ 地産地消を心がける -

地産地消を心がける



⑩ 外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する

<男女別>

- ・ 男女とも「やっている」の方が多く6割超で、男女差はなかった。

<年齢別>

- ・ どの世代も「やっている」の方が多く、過半数を占める。

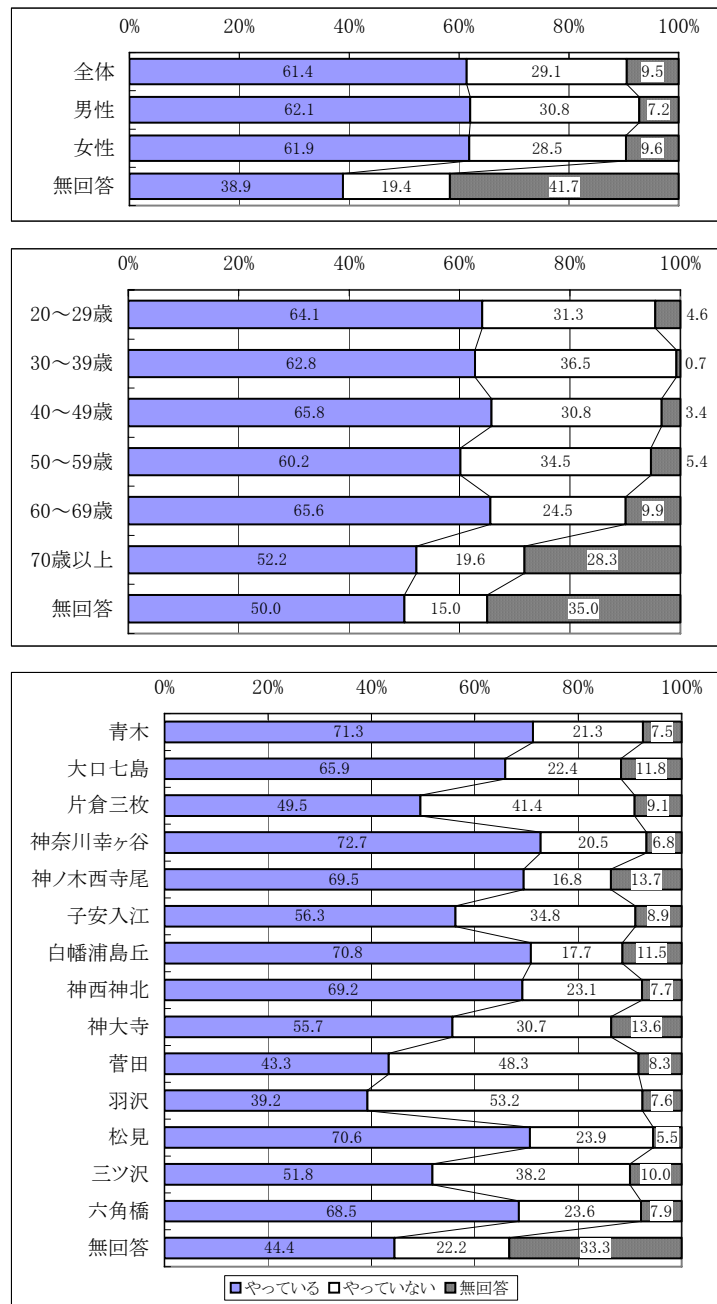
<地域別>

- ・ 「菅田」「羽沢」では「やっていない」の方が多い。それ以外の地域では「やっている」の方が多く、特に「神奈川幸ヶ谷」「青木」では高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <交通手段に関する行動>

－ ⑩ 外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する －

外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する



⑰ 外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する

<男女別>

- ・ 男女とも「やっている」の方が多く、7割前後である。

<年齢別>

- ・ どの世代も「やっている」が6～7割となっている。30代では「やっていない」が他世代に比べて高い。

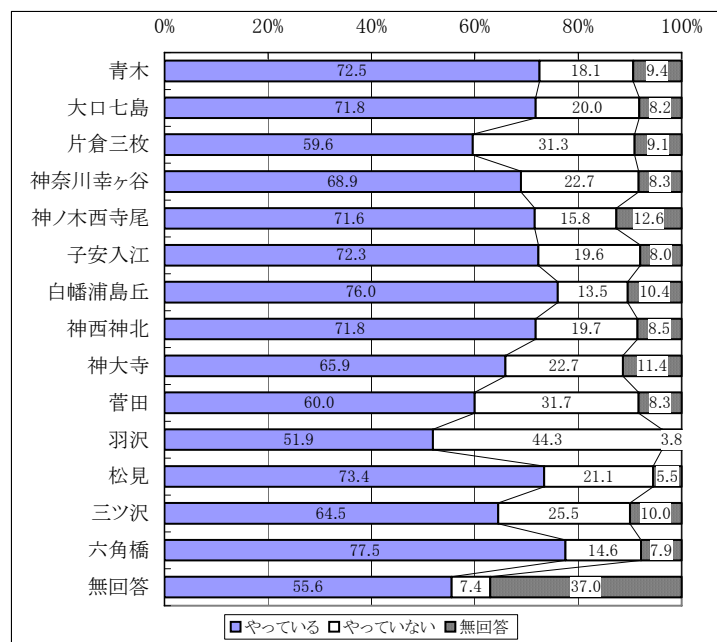
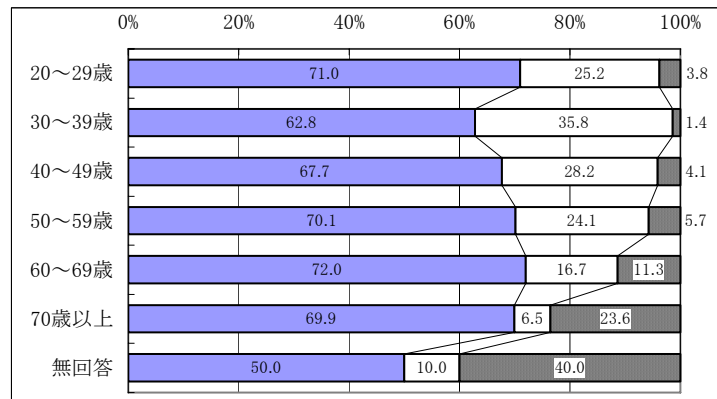
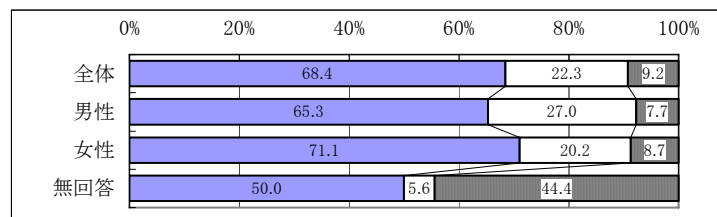
<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっている」の方が多く、特に「六角橋」は他に比べやや高い数値となっている一方、「羽沢」では「やっている」の数値が低く「やっていない」が他に比べて高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <交通手段に関する行動>

⑰ 外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する

外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する



⑩ 車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす)

<男女別>

- ・ 男女とも「やっている」の方が多く、5割前後である。

<年齢別>

- ・ 20代では「やっていない」、それ以外の世代については「やっている」の方が多くなっている。

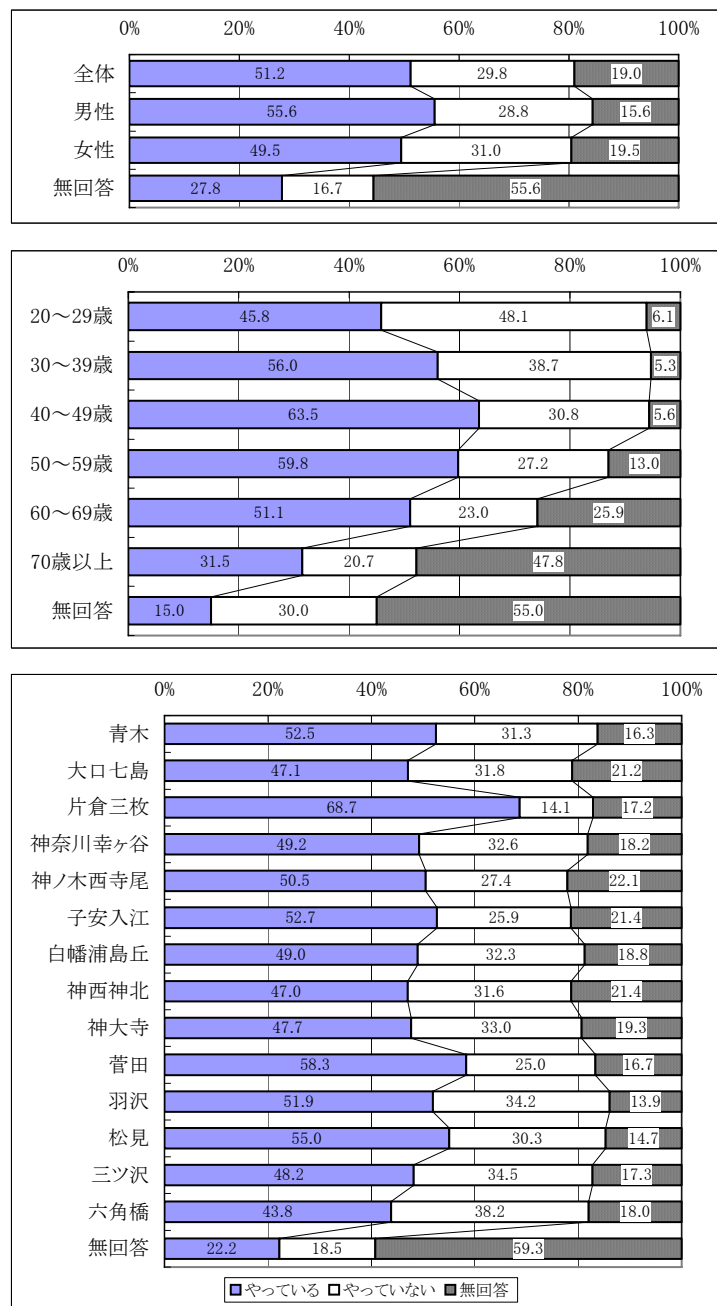
<地域別>

- ・ いずれの地域も「やっている」の方が多く、特に「片倉三枚」では7割近い高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <交通手段に関する行動>

－ ⑩ 車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす) －

車で外出するときは、エコドライブを心がける (うながす)



⑱ 車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす)

<男女別>

- ・ 男女とも「やっていない」の方がやや多い。

<年齢別>

- ・ 20代から50代では「やっていない」、60代以上の世代では「やっている」の方が多くなっている。

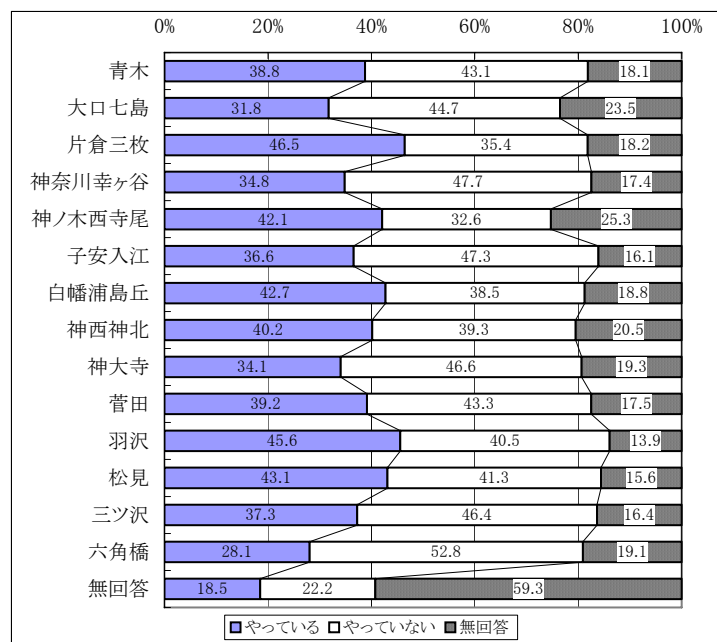
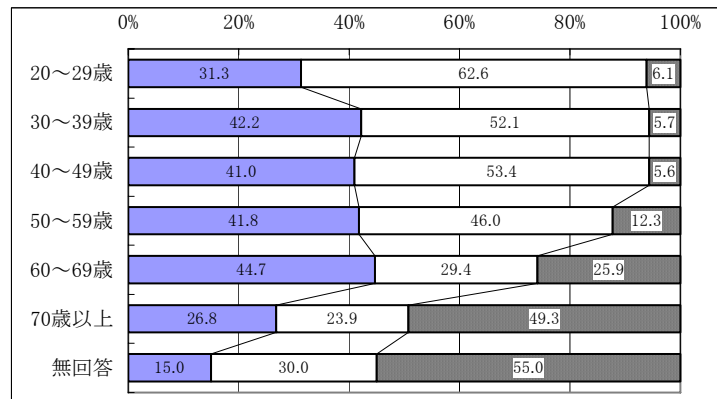
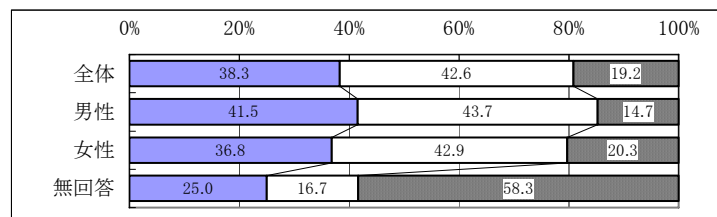
<地域別>

- ・ 「やっている」の方が多いのは「片倉三枚」「神ノ木西寺尾」「白幡浦島丘」「神西神北」「羽沢」「松見」の6地区である。それ以外の地域は「やっていない」の方が多く、「六角橋」では数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動の実践 <交通手段に関する行動>

－ ⑱ 車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす) －

車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす)



<環境行動への意欲>

- 「電気・水道の節約」については、「緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む（夏季の建物内の冷房効率を高める）」で「面倒だがやってみたい（やっている）」が最も多くなっている（33.9%）のを除き、いずれも「率先してやりたい（やっている）」が最も多く、特に「使っていない部屋の電気を消す」（80.2%）、「冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする」（71.3%）で高い数値となっている。なお「緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む」「洗濯にお風呂の残り湯を使う」「部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする」では他に比べて「やったほうがよいと思うがやりたくない」の数値がやや高い（26.7%、23.0%、18.8%）。
- 「ごみ」について、「ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する」では「率先してやりたい」が69.4%、「面倒だがやってみたい」が19.8%であり、全体で9割近くが意欲を持っている。
- 「買い物や食事の時の行動」については、「マイ箸を持ち歩くようにする」で「面倒だがやってみたい」が31.1%、「やったほうがよいと思うがやりたくない」が30.0%でほぼ拮抗している。それ以外についてはいずれも「率先してやりたい」が最も多く、特に「詰め替えが可能な商品を選ぶ」（66.1%）、「過剰な包装、不必要なレジ袋は断る」（56.7%）では「率先してやりたい」が過半数に達している。
- 「交通手段に関する行動」については、いずれも「率先してやりたい」が最も多く4割～5割、「面倒だがやってみたい」が2割台となっており、特に「外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する」では「率先してやりたい」が半数を超えている。

図 環境行動への意欲<電気・水道の節約>

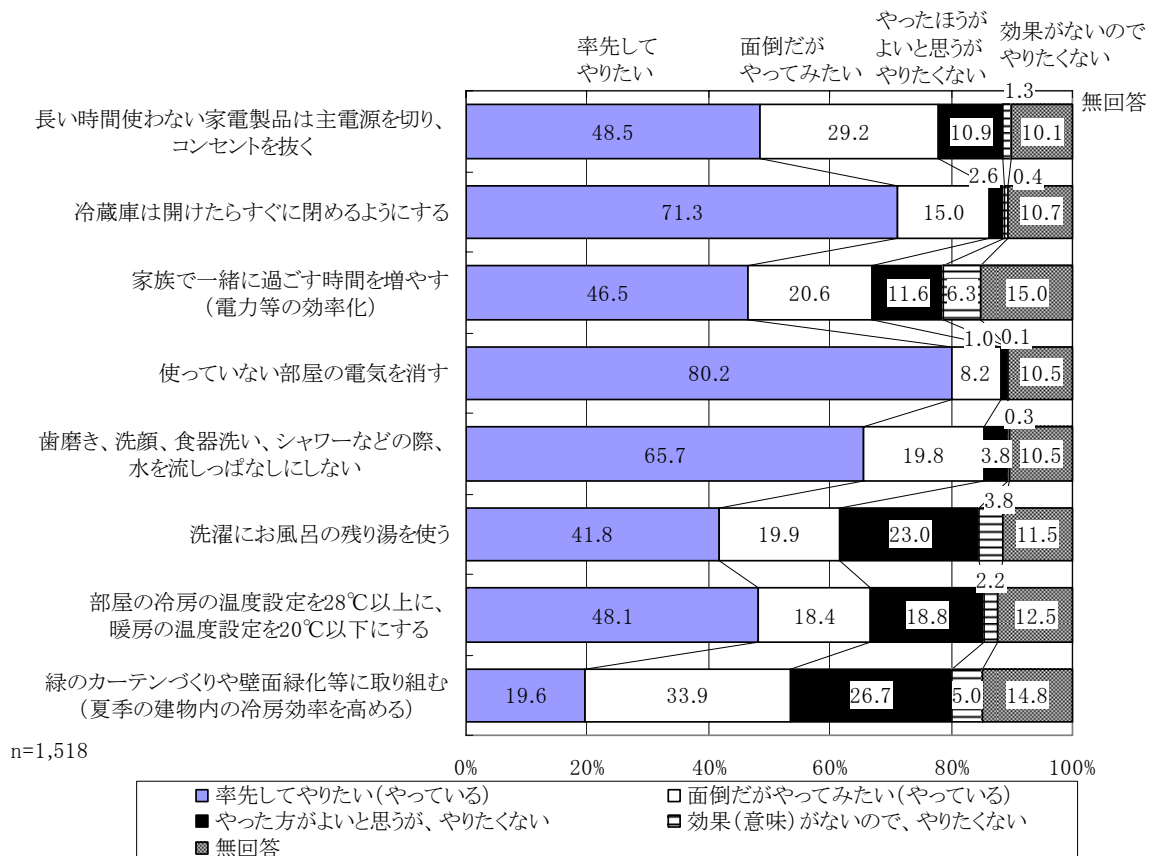


図 環境行動への意欲<ごみ>

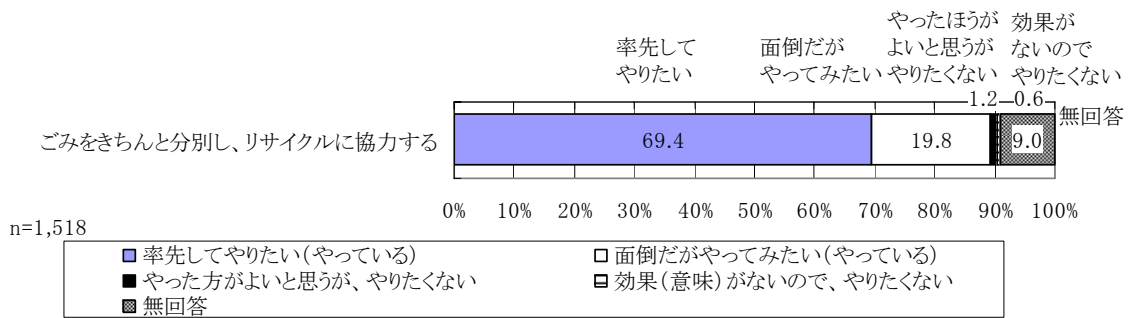


図 環境行動への意欲<買い物や食事の時の行動>

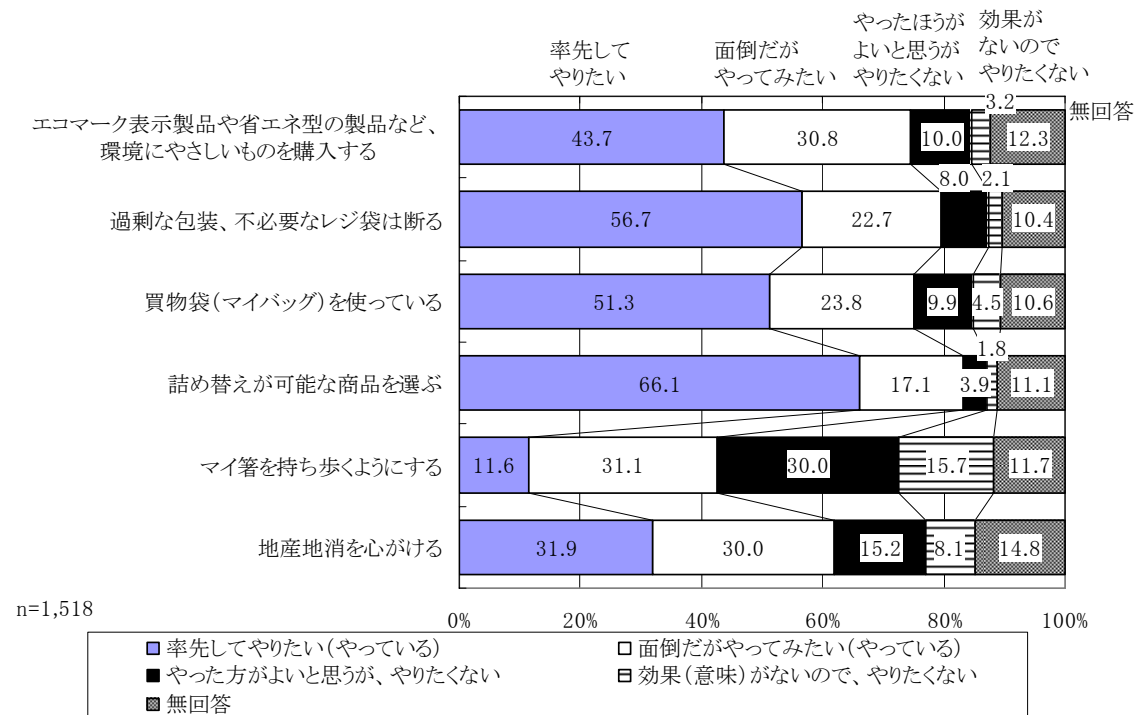
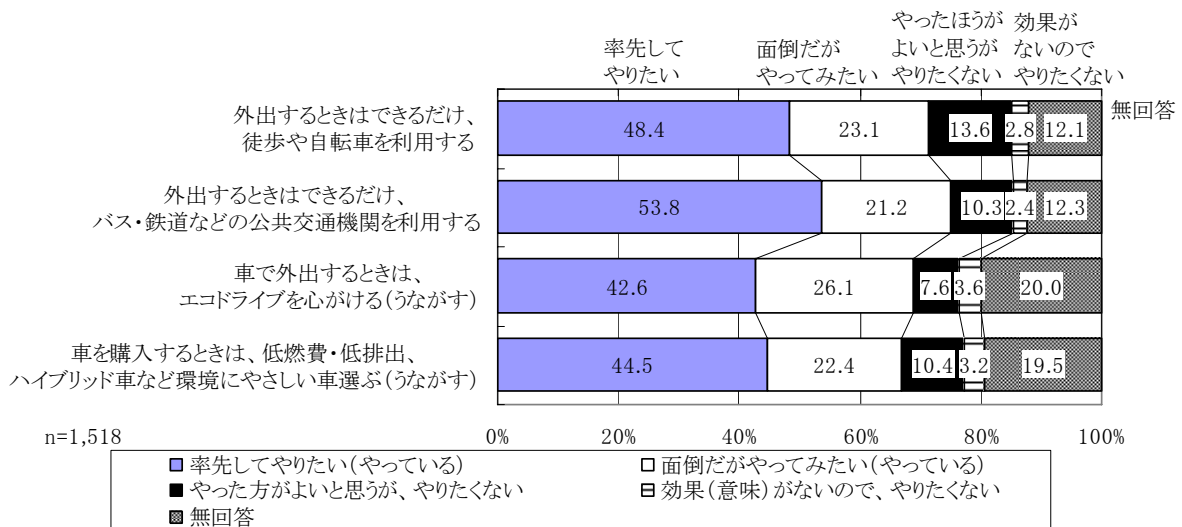


図 環境行動への意欲<交通手段に関する行動>



■ 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲(問5C× F1、F2、F3)

① 長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く半数前後である。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多くなっている。

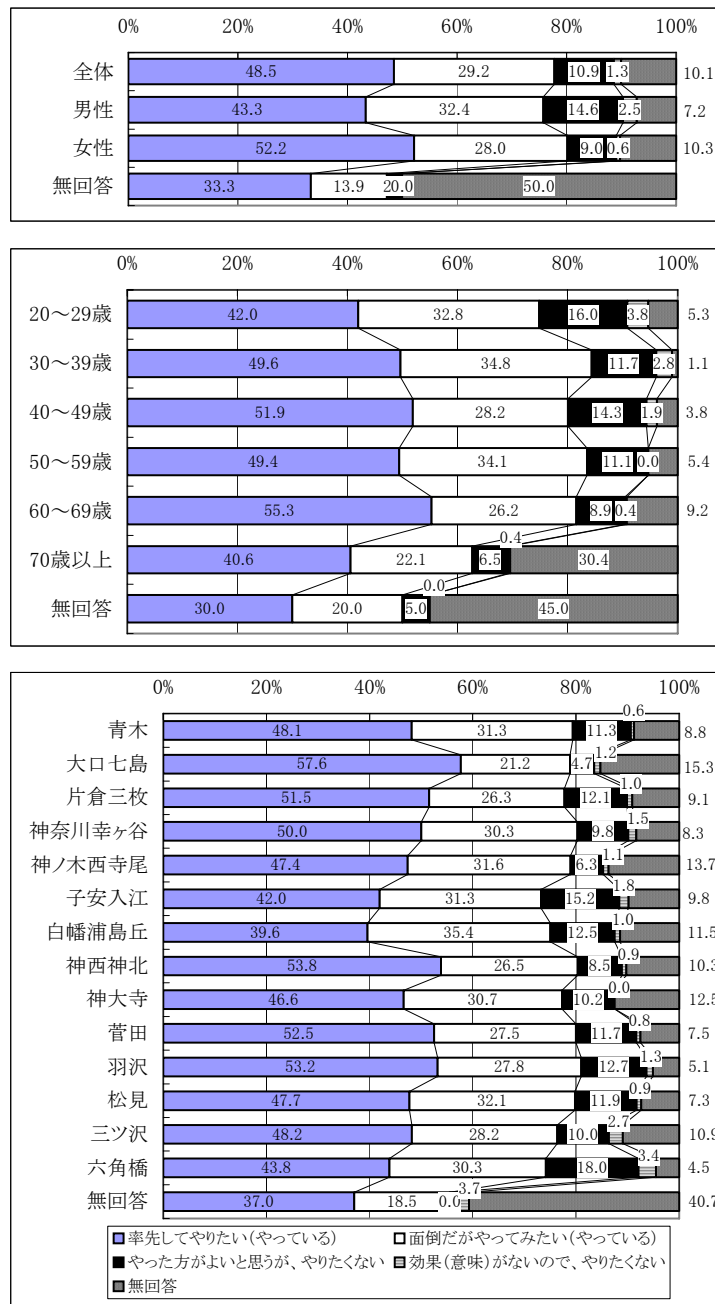
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多く、「大口七島」でやや数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <電気・水道代の節約>

① 長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く

長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く



② 冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が7割強を占め、男女差はみられない。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多く、6割前後から7割台である。30代では「率先してやりたい」「面倒だがやってみよう」を合わせると96.5%に達する。

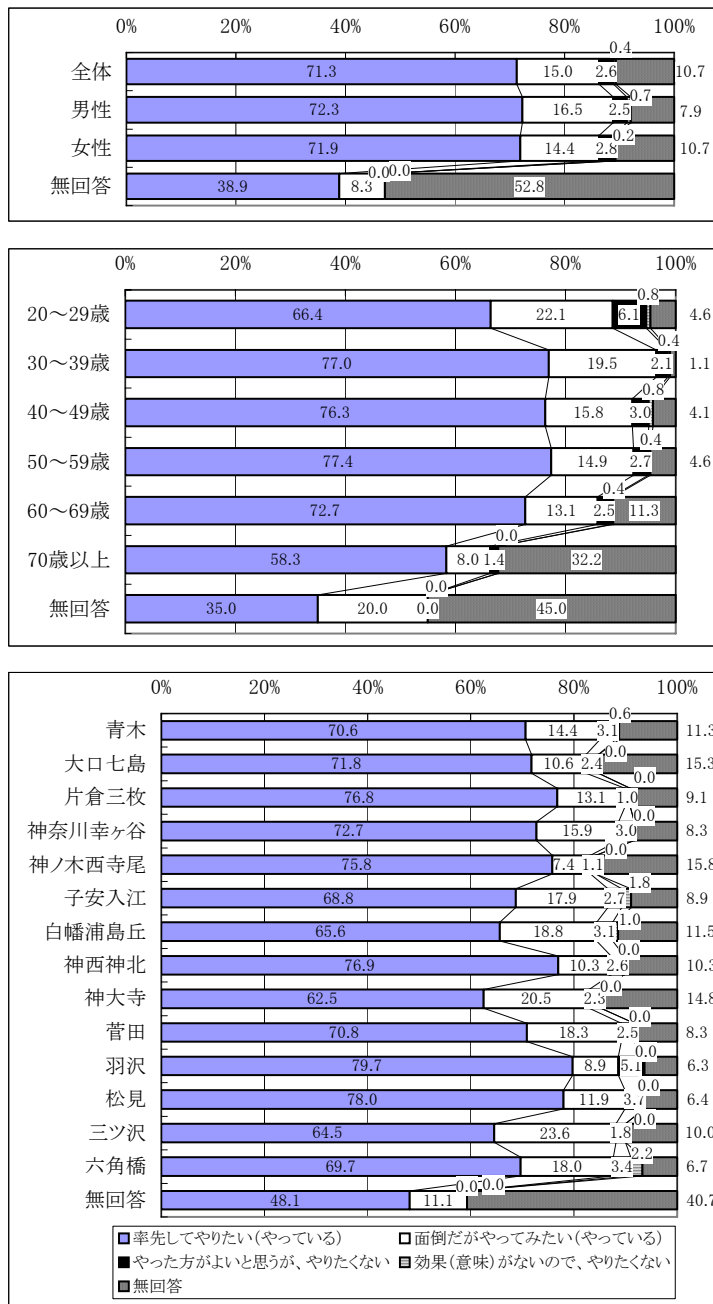
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が6～7割台となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <電気・水道代の節約>

－ ② 冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする －

冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする



③ 家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く半数弱である。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多く、特に30代で数値が高い。

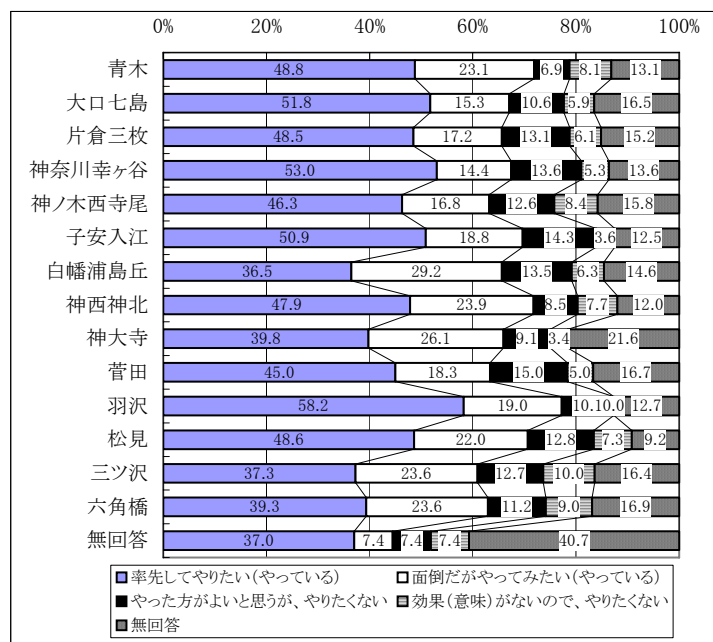
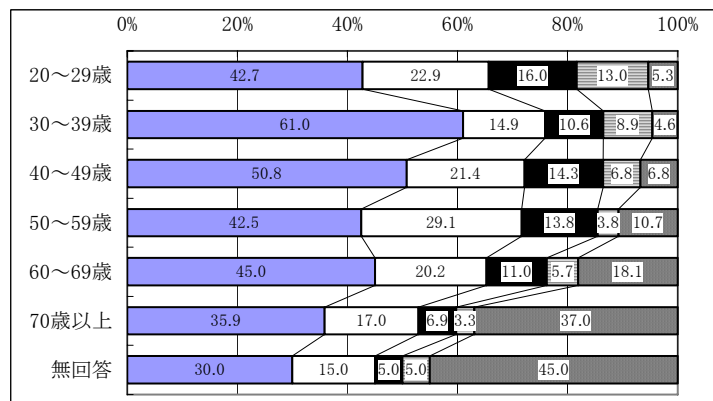
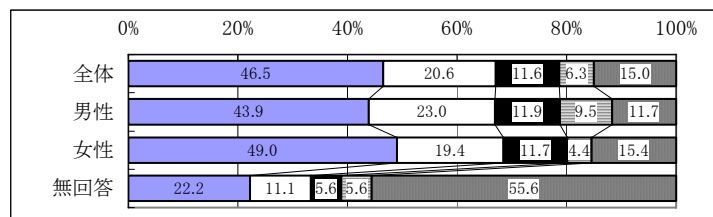
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多く「羽沢」では数値が高くなっている。一方「白幡浦島丘」では数値が低く、「面倒だがやってみよう」がやや高い。なお「羽沢」では「率先してやりたい」「面倒だがやってみよう」を合わせると8割近くに達する。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <電気・水道代の節約>

－ ③ 家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化) －

家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)



④ 使っていない部屋の電気を消す

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く8割前後である。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多い。30代ではこれと「面倒だがやってみよう」を合わせると97.5%に達する。40代以上の世代では「効果がないので、やりたくない」の数値が0となっている。

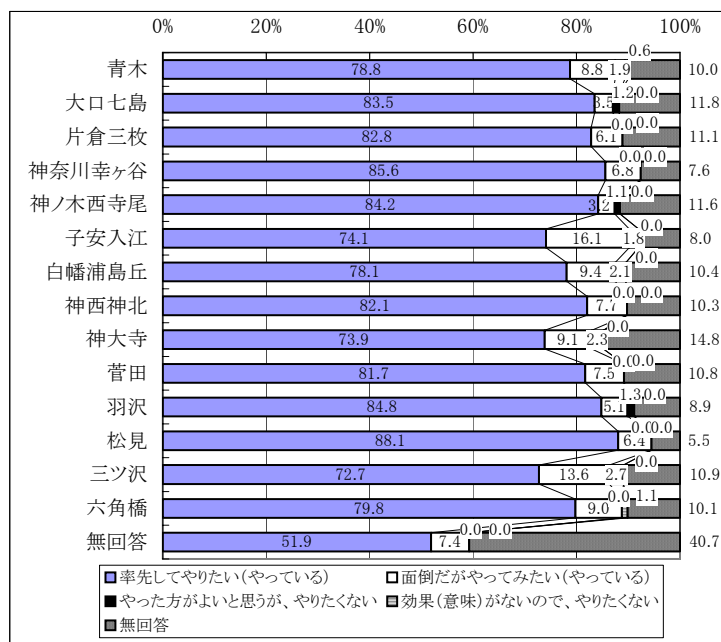
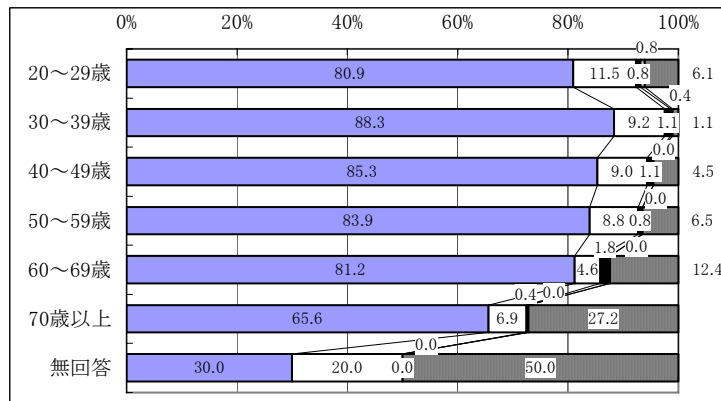
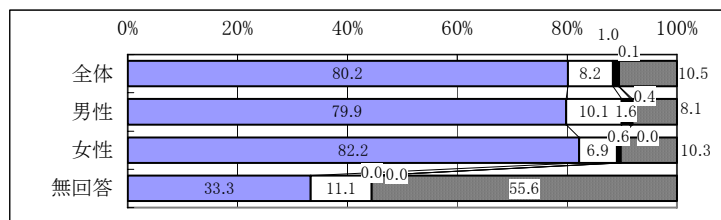
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多く7～8割台である。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <電気・水道代の節約>

－ ④ 使っていない部屋の電気を消す －

使っていない部屋の電気を消す



⑤ 歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く、6割台となっている。

<年齢別>

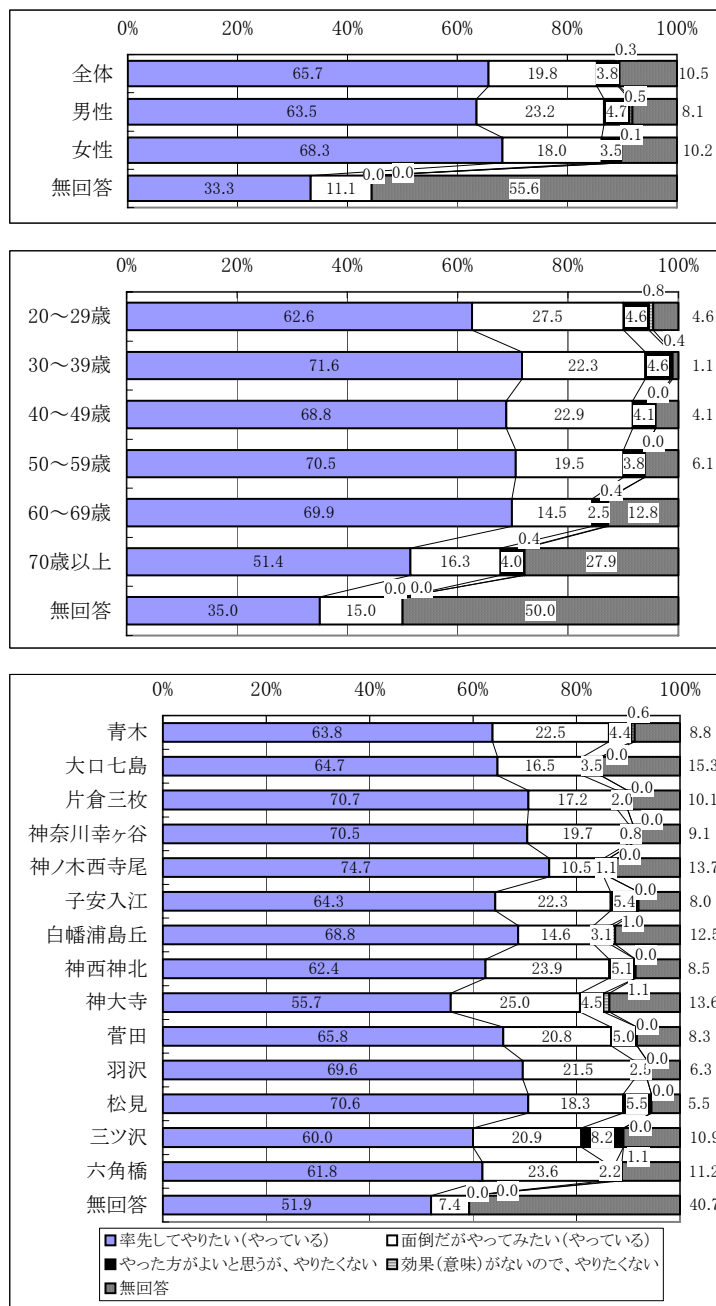
- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多い。また若い世代ほど「面倒だがやってみたい」の数値が高い傾向がみられる。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が6～7割台だが、「神大寺」では他に比べて数値が低い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <電気・水道代の節約>
 — ⑤ 歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない —

歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない



⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使う

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が4割前後である。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多い。次に多いのは、30代では「面倒だがやってみたい」、それ以外は「やった方がよいと思うが、やりたくない」が続いている。

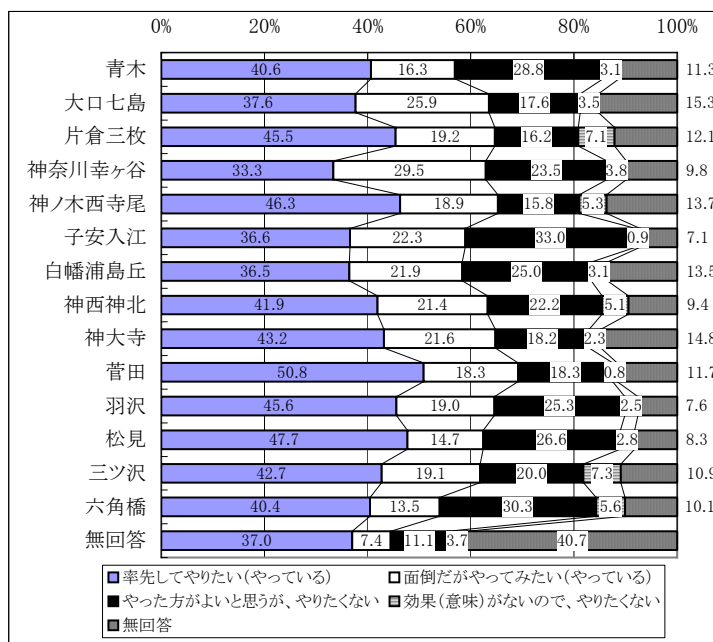
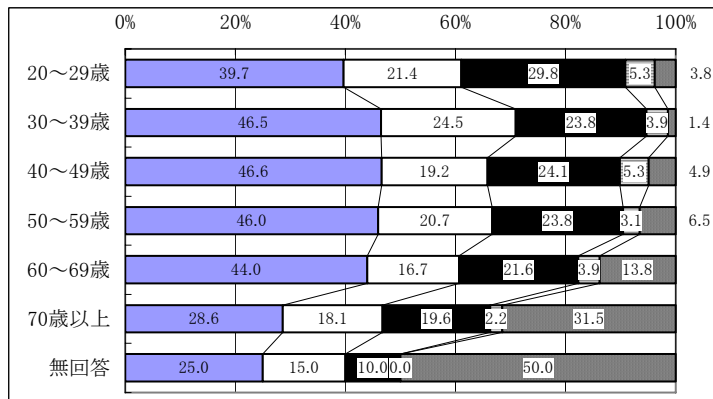
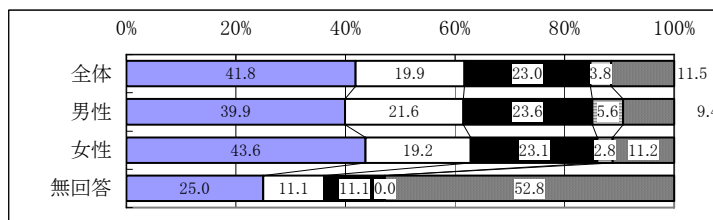
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多く、「菅田」は他に比べて数値がやや高い。「小安入江」では「やった方がよいと思うが、やりたくない」が他に比べて高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <電気・水道代の節約>

－ ⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使う －

洗濯にお風呂の残り湯を使う



⑦ 部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く、半数前後である。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多く、半数前後である。

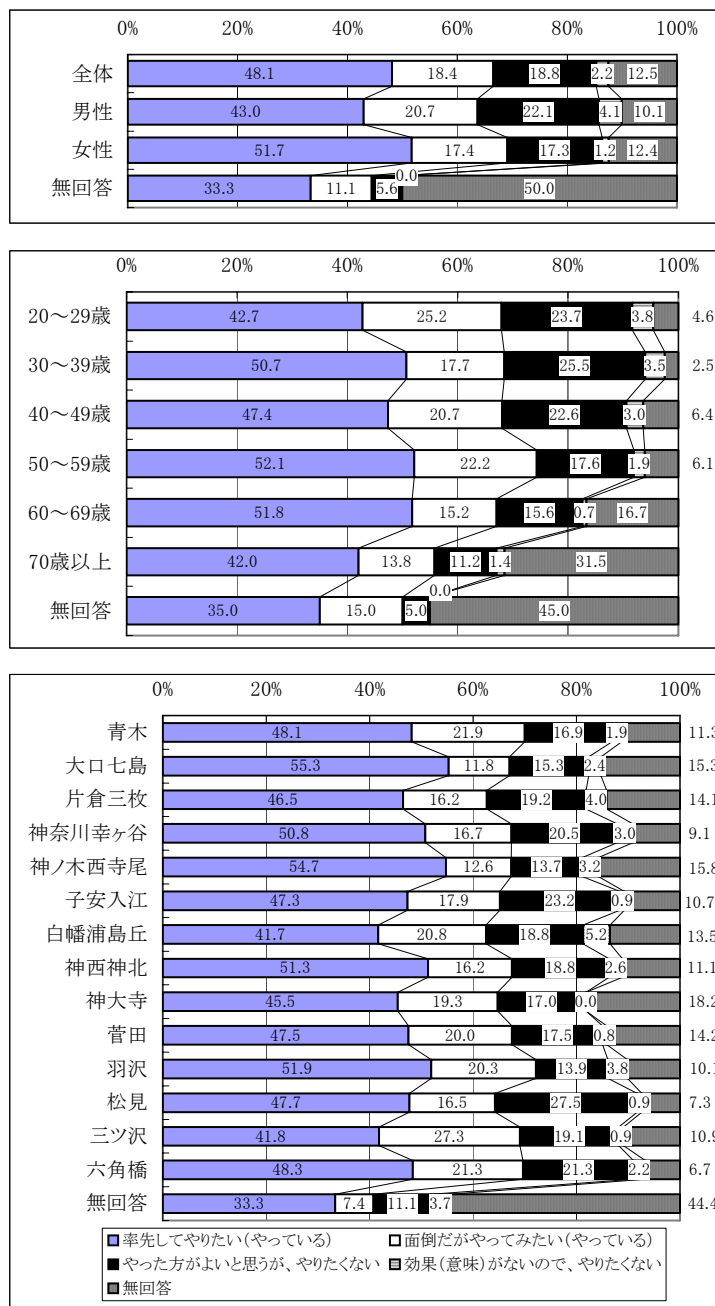
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多く、半数前後である。「三ツ沢」では「面倒だがやってみよう」、「松見」では「やった方がよいと思うが、やりたくない」が他に比べてやや高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <電気・水道代の節約>

－ ⑦ 部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする －

部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする



⑧ 緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める)

<男女別>

・ 男女とも「面倒だがやってみたい」が全体の3分の1程度で最も多く、男女差はなかった。

<年齢別>

・ 70代以上では「やった方がよいと思うが、やりたくない」、それ以外の世代では「面倒だがやってみたい」が最も多くなっている。

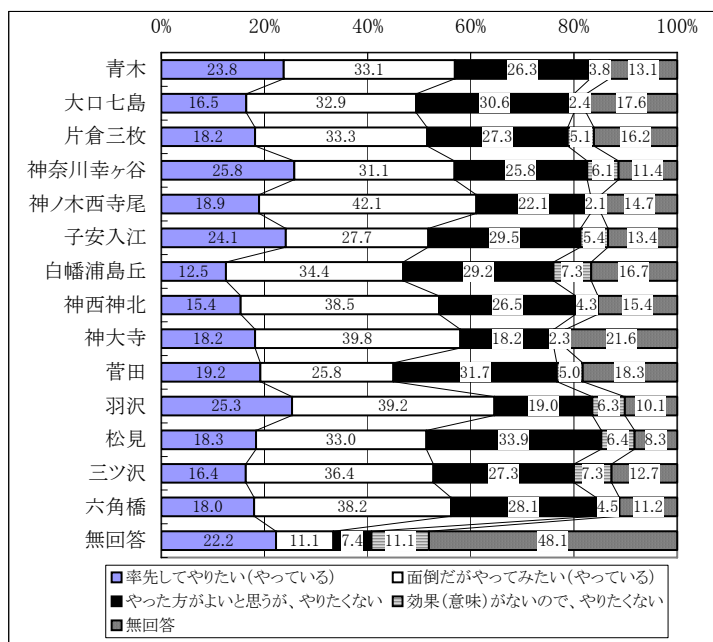
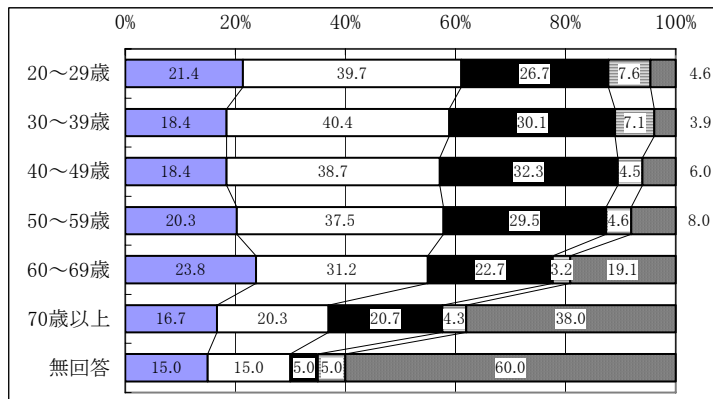
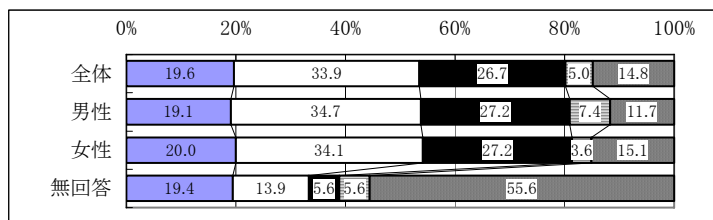
<地域別>

・ 「菅田」「子安入江」「松見」では「やった方がよいと思うが、やりたくない」、それ以外の地域では「面倒だがやってみたい」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <電気・水道代の節約>

－ ⑧ 緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める) －

緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める)



⑨ ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く7割前後である。

<年齢別>

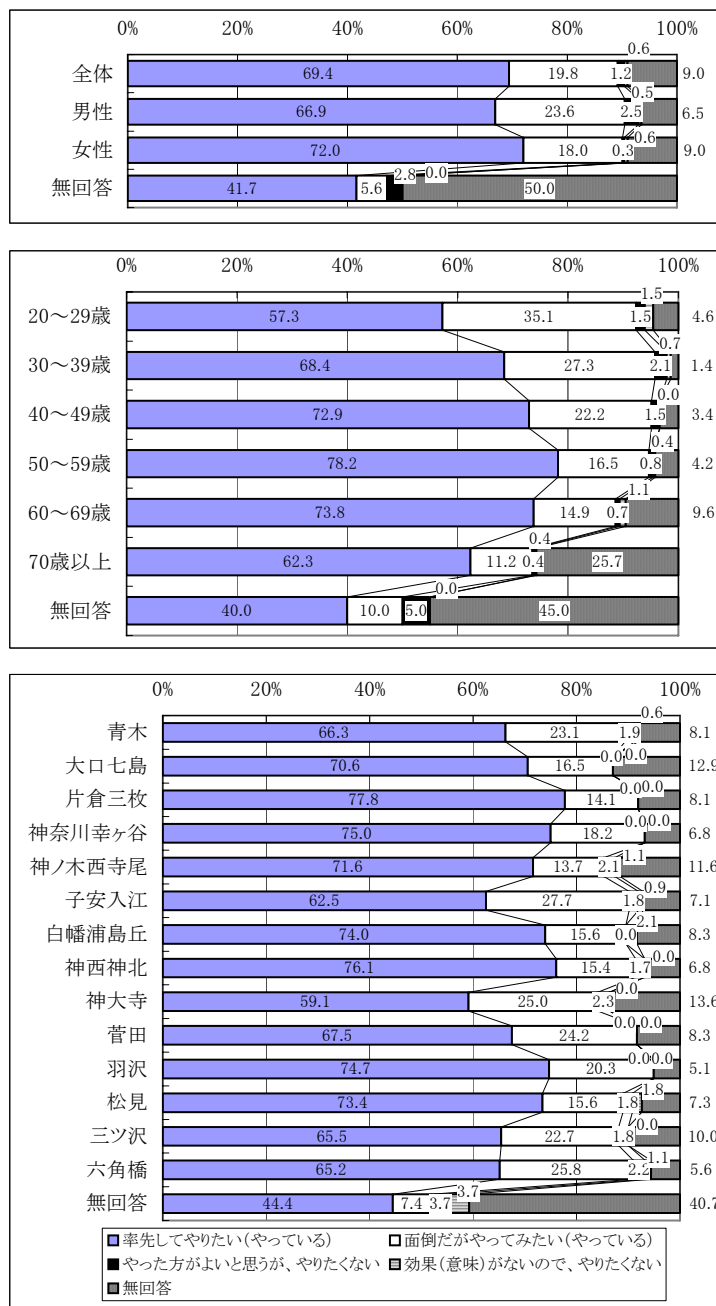
- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多いが、20代では「面倒だがやってみよう」の数値が他に比べて高くなっている。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多く6～7割で、「神大寺」では他より数値が低い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <ごみ>
 - ⑨ ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する -

ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する



⑩ エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く、特に女性は男性を8.6ポイント上回る。

<年齢別>

- ・ 20代では「面倒だがやってみたい」、それ以外の世代については「率先してやりたい」が最も多くなっている。

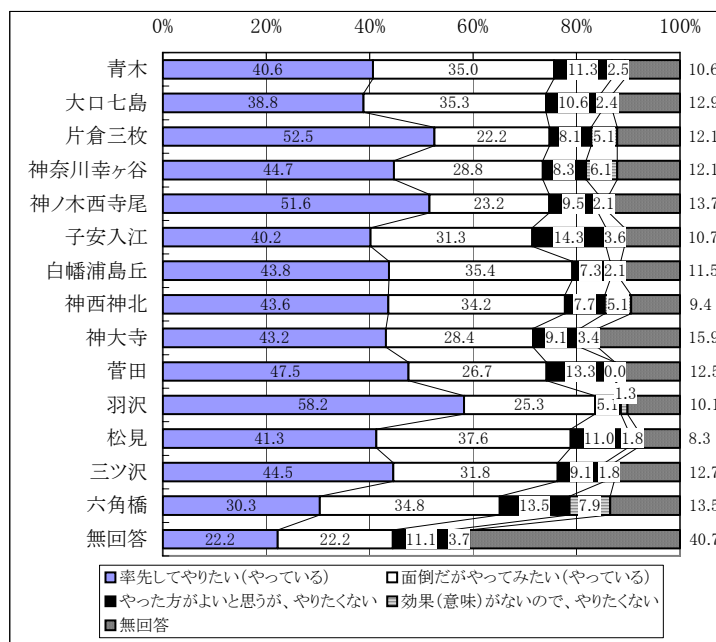
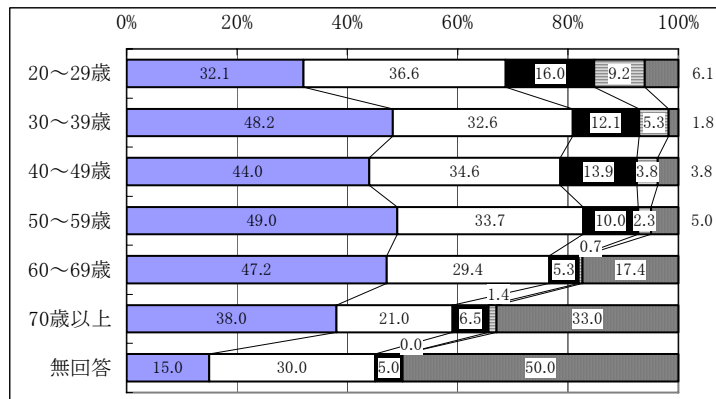
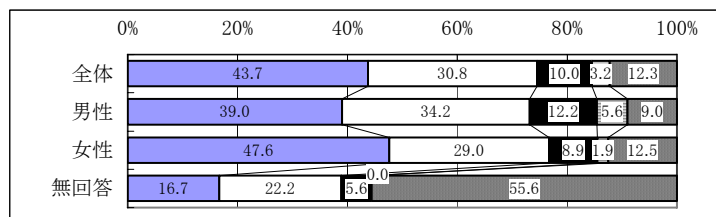
<地域別>

- ・ 「六角橋」では「面倒だがやってみたい」、それ以外の地域については「率先してやりたい」が最も多くなっており、特に「羽沢」では数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <買い物や食事の時の行動>

— ⑩ エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する —

エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する



⑪ 過剰な包装、 unnecessaryなレジ袋は断る

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が過半数で、女性は男性を11.2ポイント上回っている。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多くなっている。

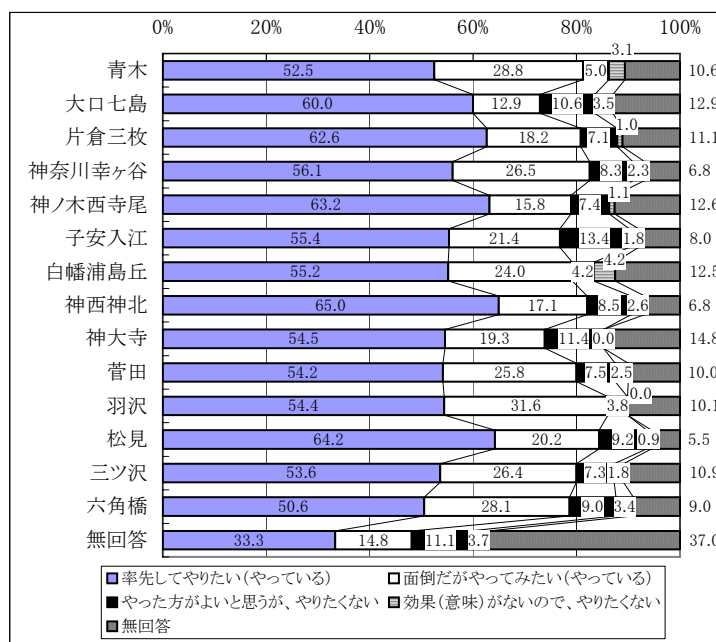
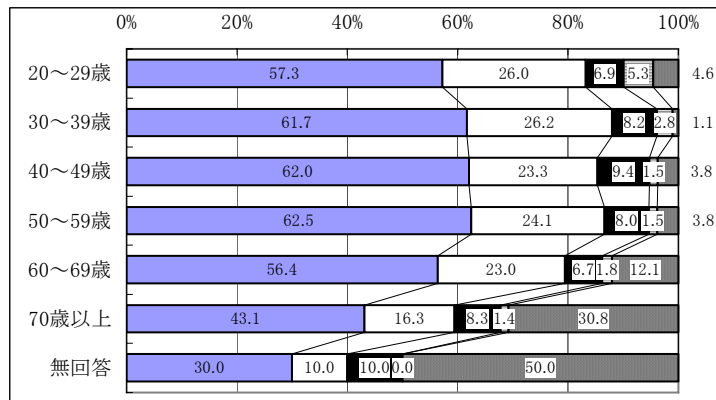
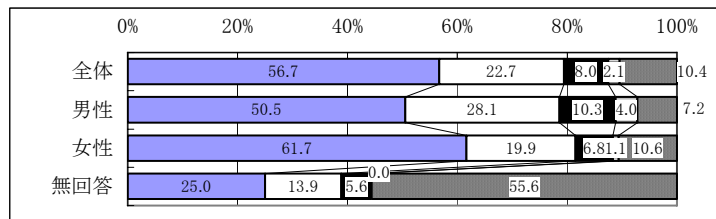
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が過半数を占める。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <買い物や食事の時の行動>

— ⑪ 過剰な包装、 unnecessaryなレジ袋は断る —

過剰な包装、 unnecessaryなレジ袋は断る



⑫ 買物袋(マイバッグ)を使っている

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多い。特に女性は男性より 19.7 ポイント高く 6 割近くを占める。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多いが、20 代では数値が低い。

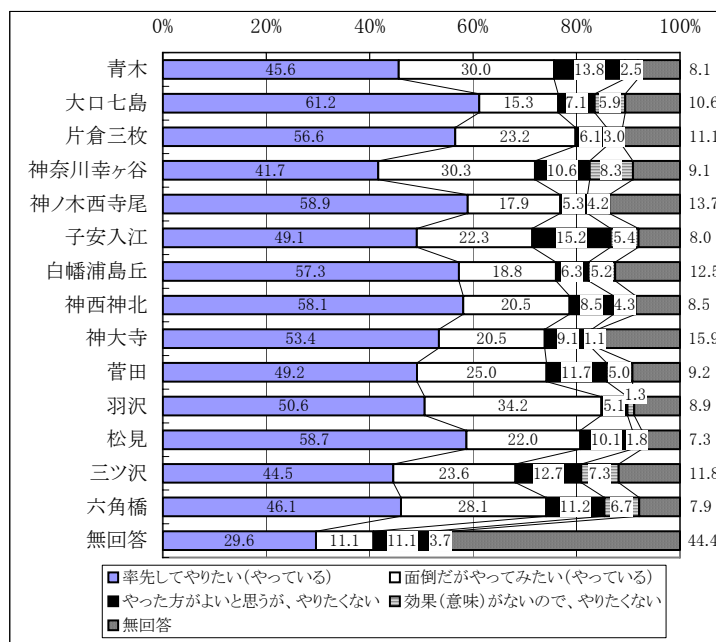
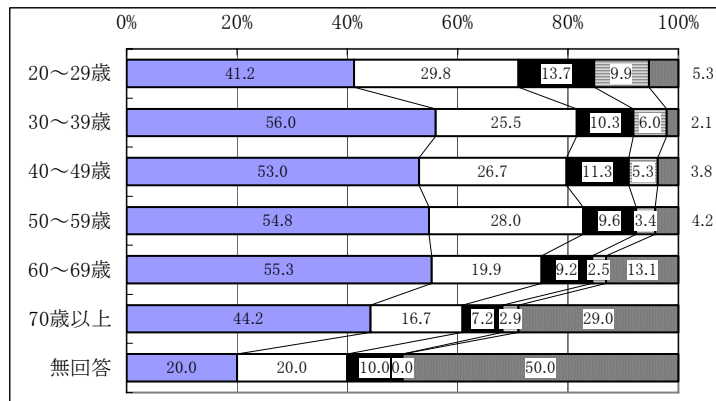
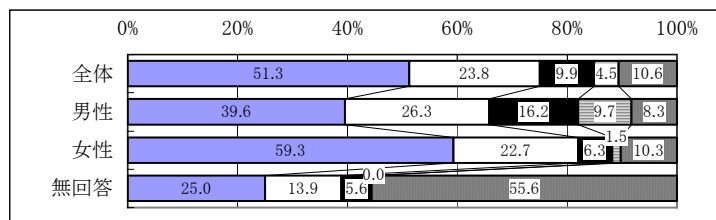
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多く、特に「大口七島」で他より数値が高い。また「羽沢」では「面倒だがやってみたい」が他に比べて高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <買い物や食事の時の行動>

－ ⑫ 買物袋(マイバッグ)を使っている －

買物袋(マイバッグ)を使っている



⑬ 詰め替えが可能な商品を選ぶ

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く、特に女性は男性より 13.8 ポイント多く 7 割を超える。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多い。特に 30 代では 8 割近い高い数値で、「面倒だがやってみたい」を合わせると 96.1%となっている。

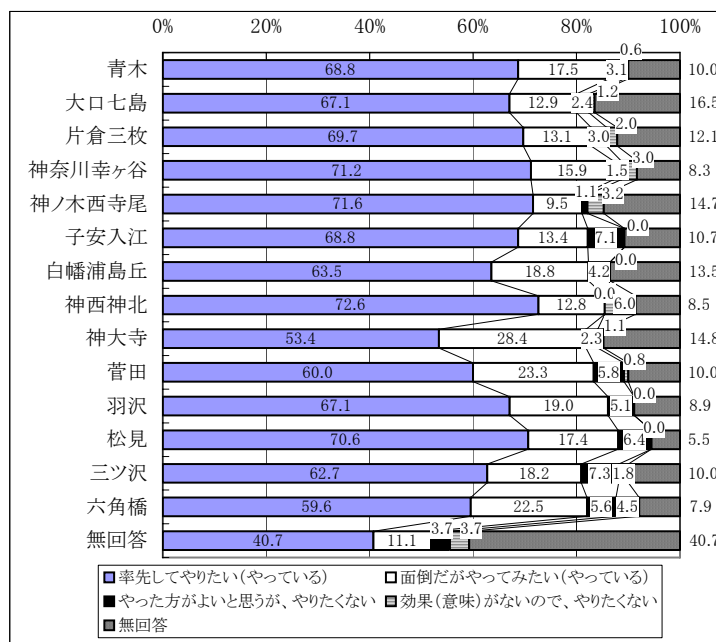
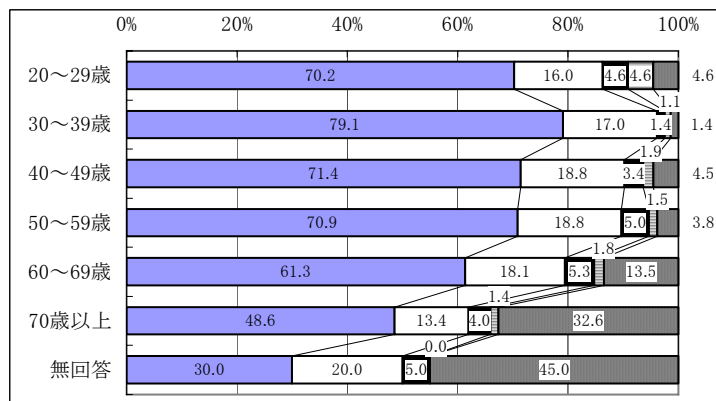
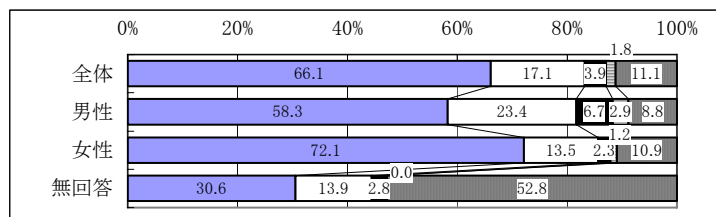
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多いが、「神大寺」で数値が低く、「面倒だがやってみたい」が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <買い物や食事の時の行動>

－ ⑬ 詰め替えが可能な商品を選ぶ －

詰め替えが可能な商品を選ぶ



⑭ マイ箸を持ち歩くようにする

<男女別>

- ・ 男性は「やった方がよいと思うが、やりたくない」、女性は「面倒だがやってみたい」が最も多い。また男性は女性より「効果がないので、やりたくない」が16.9ポイント多く効果に懐疑的である。

<年齢別>

- ・ 50代、60代では「やった方がよいと思うが、やりたくない」、それ以外は「面倒だがやってみたい」が最も多い。また20代で「効果がないので、やりたくない」の数値が高い。

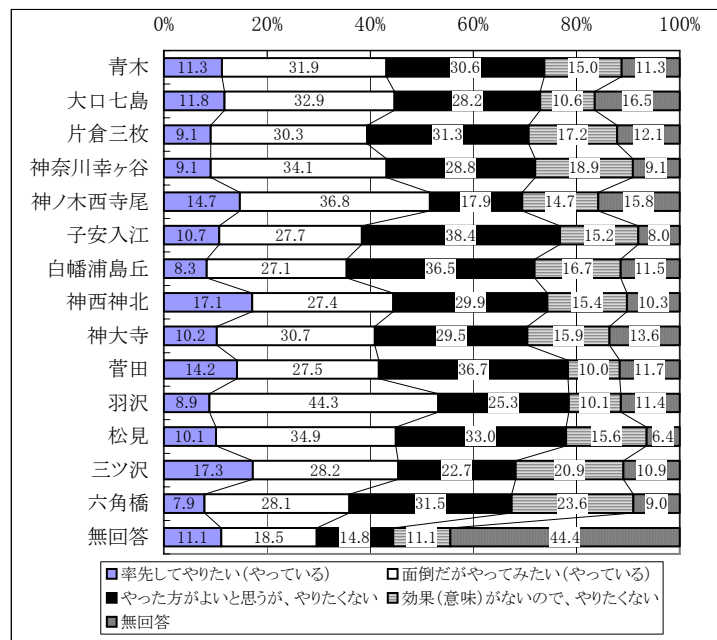
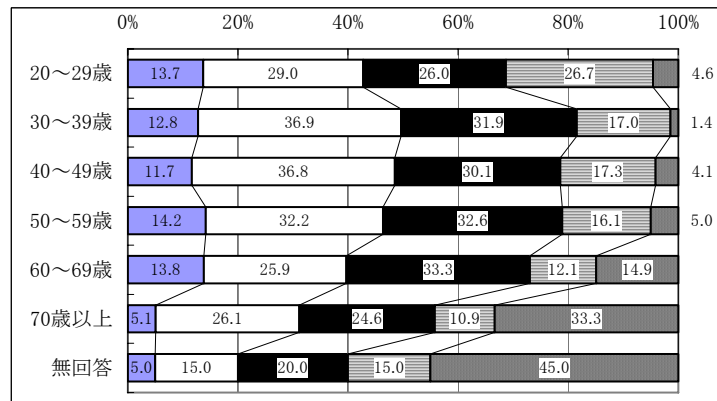
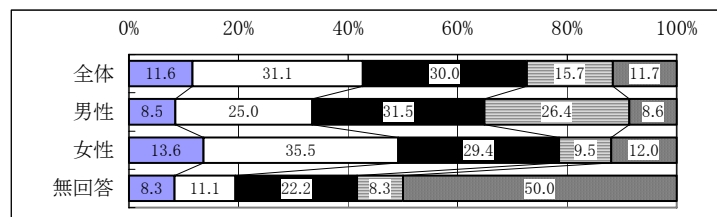
<地域別>

- ・ 「片倉三枚」「子安入江」「白幡浦島丘」「神西神北」「菅田」「六角橋」で「やった方がよいと思うが、やりたくない」、それ以外は「面倒だがやってみたい」が高く、回答は2分した。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <買い物や食事の時の行動>

－ ⑭ マイ箸を持ち歩くようにする －

マイ箸を持ち歩くようにする



⑮ 地産地消を心がける

<男女別>

- ・ 男性は「面倒だがやってみよう」、女性は「率先してやりたい」が最も多くなっている。

<年齢別>

- ・ 20代から40代では「面倒だがやってみよう」、それ以上の世代では「率先してやりたい」が最も多く、世代間で傾向が分かれた。

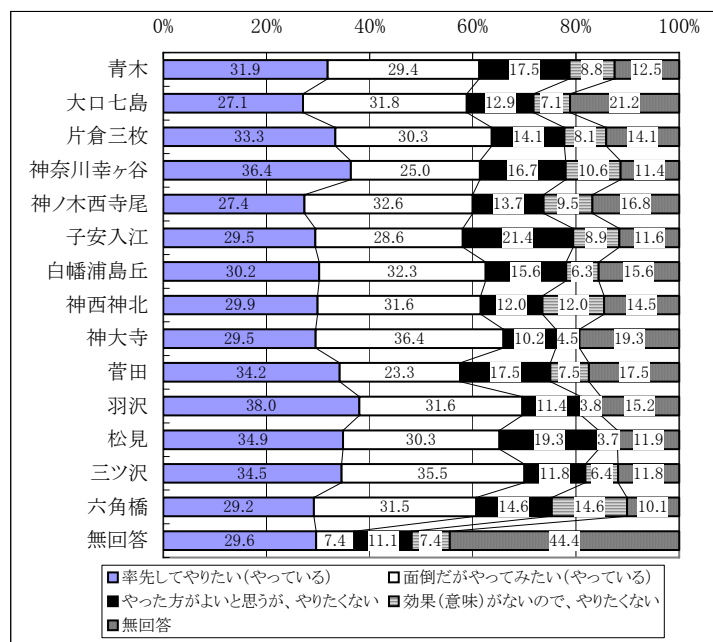
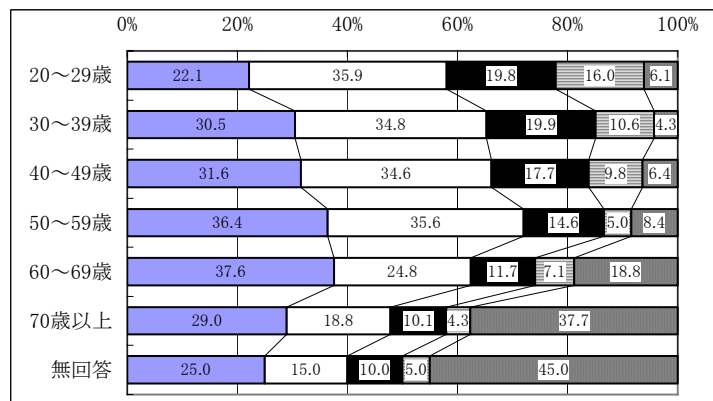
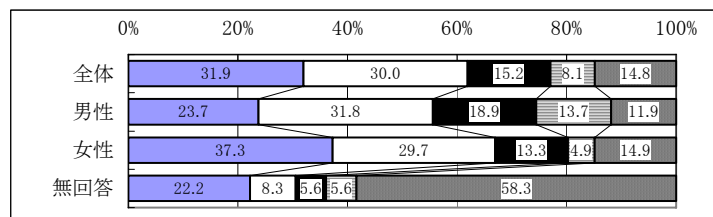
<地域別>

- ・ 「青木」「片倉三枚」「神奈川幸ヶ谷」「子安入江」「菅田」「羽沢」「松見」では「率先してやりたい」、それ以外では「面倒だがやってみよう」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <買い物や食事の時の行動>

－ ⑮ 地産地消を心がける －

地産地消を心がける



⑩ 外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く、半数弱である。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が半数前後となっている。

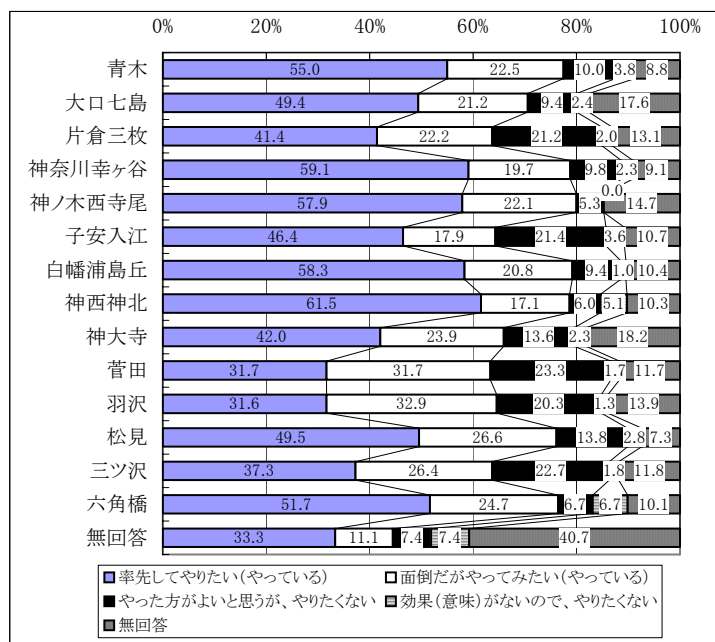
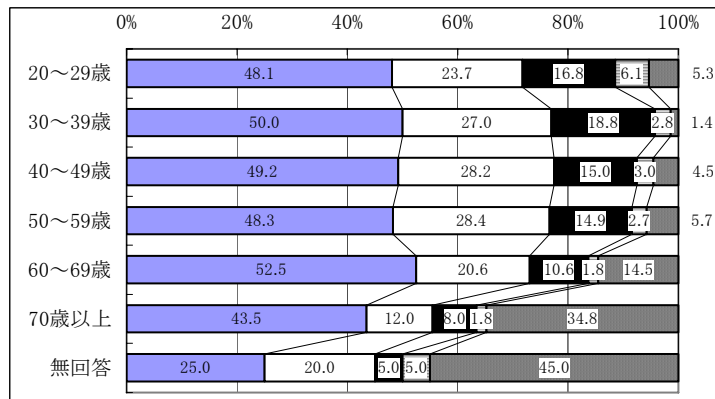
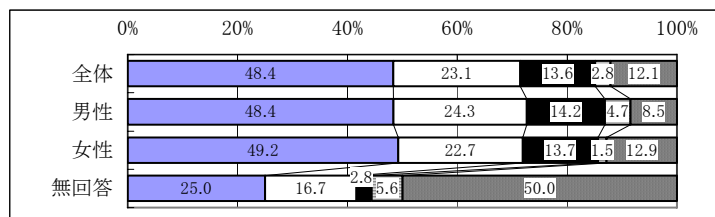
<地域別>

- ・ 「羽沢」で「面倒だがやってみたい」、「菅田」でこれと「率先してやりたい」が同率、それ以外の地域では「率先してやりたい」が最も多い。また「菅田」と「三ツ沢」で「やった方がよいと思うが、やりたくない」が他に比べてやや高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <交通手段に関する行動>

－ ⑩ 外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する －

外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する



⑰ 外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く半数強となっている。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多い。30代では「面倒だがやってみたい」の数値がやや高くなっている。

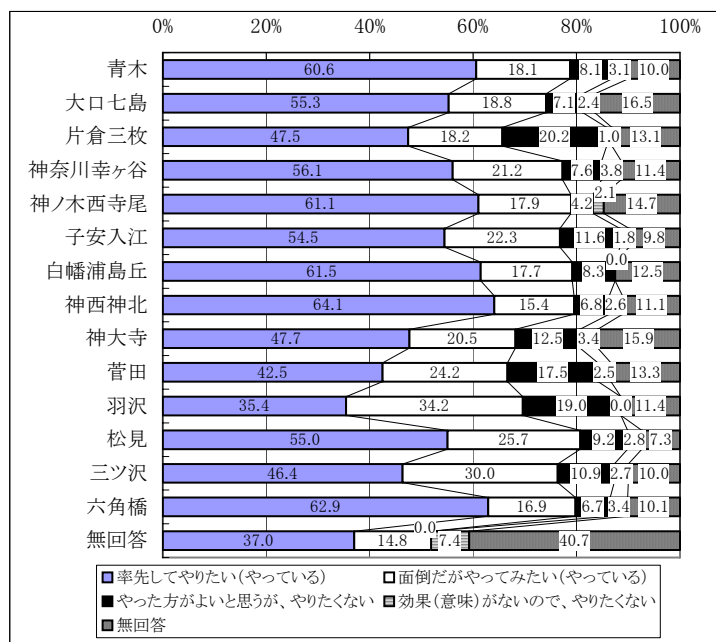
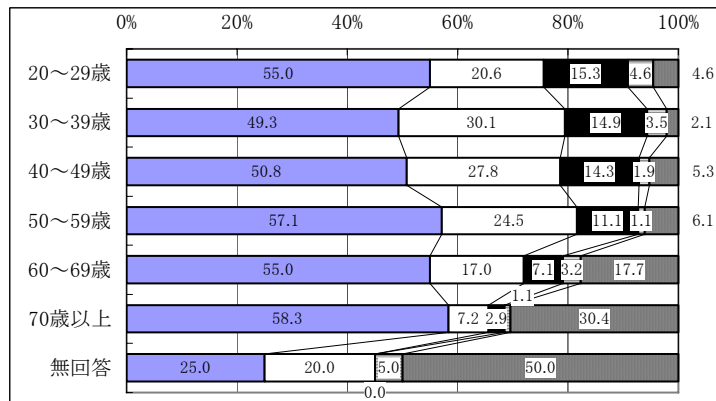
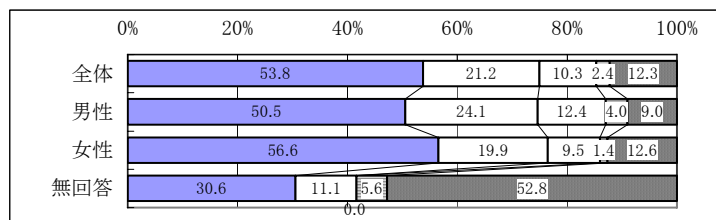
<地域別>

- ・ いずれの地域も「率先してやりたい」が最も多く、特に「神西神北」「六角橋」では数値が高い。一方「羽沢」は数値が低く「面倒だがやってみたい」が高くなっている。「片倉三枚」で「やった方がよいと思うが、やりたくない」の数値が他に比べてやや高い。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <交通手段に関する行動>

⑰ 外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する

外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する



⑩ 車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす)

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く、半数弱である。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多い。40代では「面倒だがやってみたい」を合わせると85%となっている。

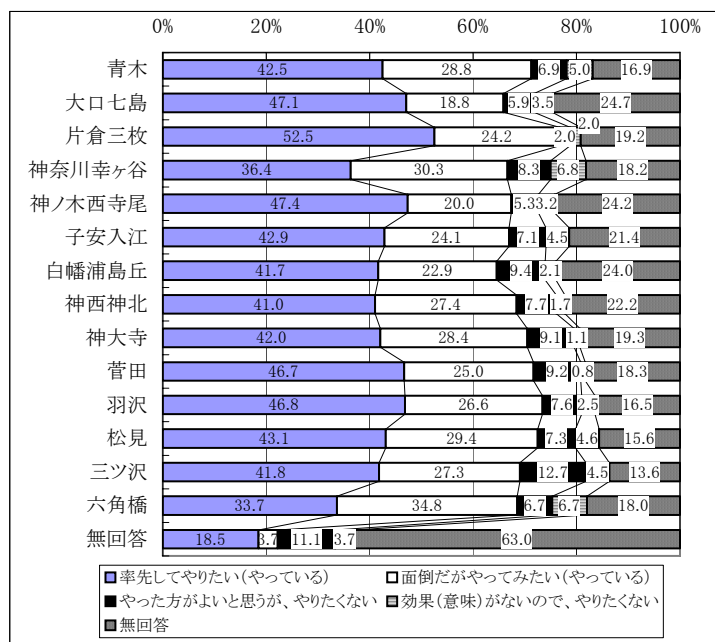
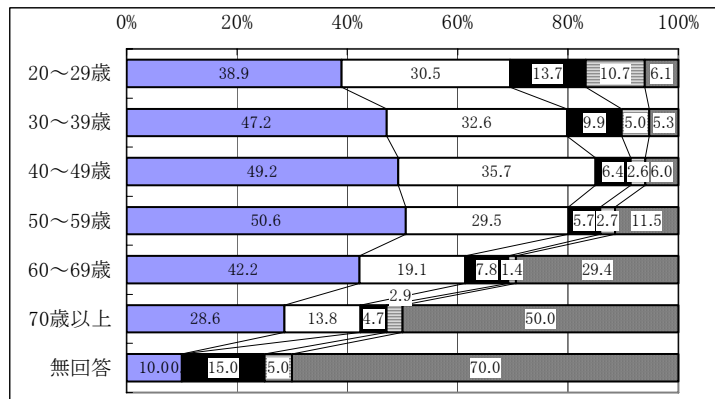
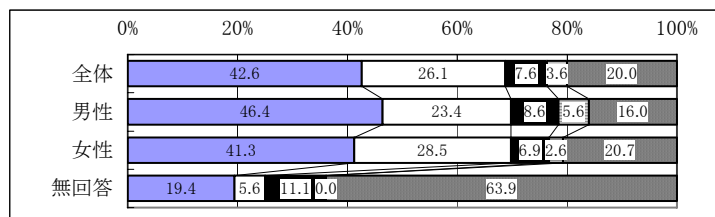
<地域別>

- ・ 「六角橋」のみ「面倒だがやってみたい」、それ以外の地域は「率先してやりたい」が最も多く、「片倉三枚」では数値が高くなっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <交通手段に関する行動>

⑩ 車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす)

車で外出するときは、エコドライブを心がける (うながす)



⑱ 車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす)

<男女別>

- ・ 男女とも「率先してやりたい」が最も多く、4割台である。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「率先してやりたい」が最も多くなっている。

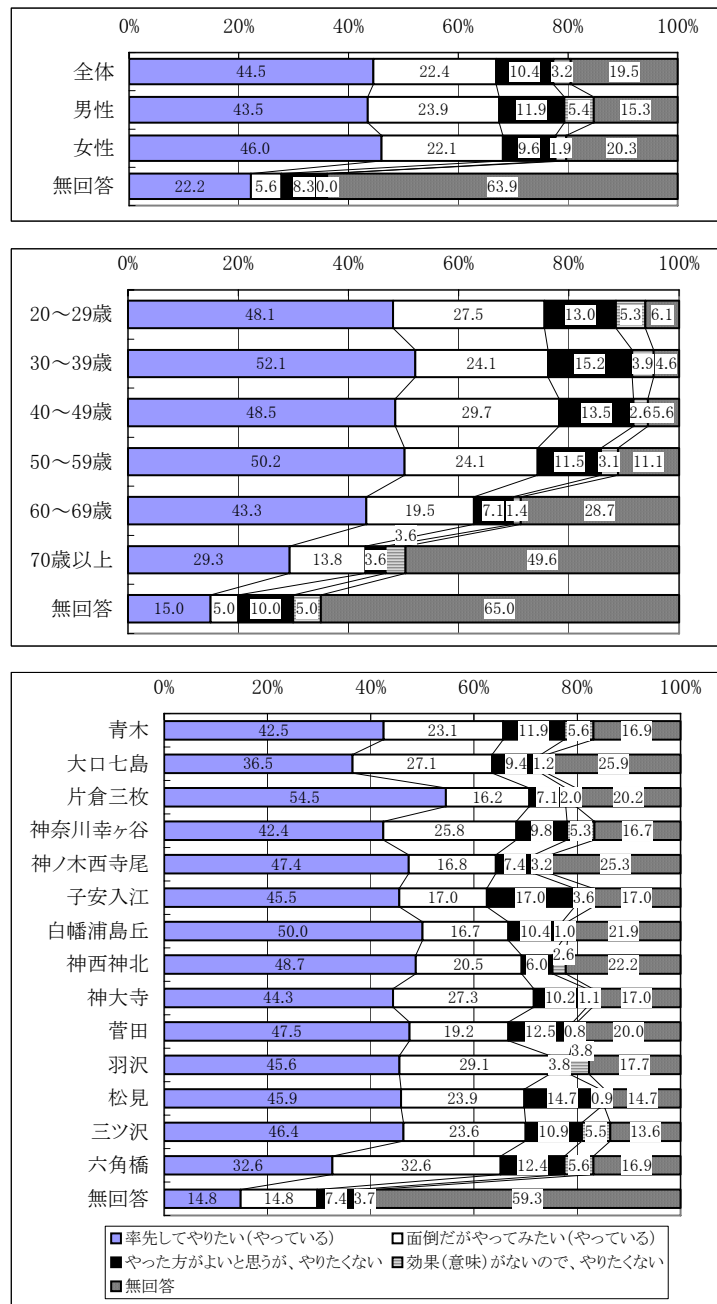
<地域別>

- ・ 「六角橋」のみ「面倒だがやってみたい」と「率先してやりたい」が同率、それ以外の地域では「率先してやりたい」が最も多く、「片倉三枚」では高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 環境行動への意欲 <交通手段に関する行動>

－ ⑱ 車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす) －

車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車選ぶ(うながす)



■ 年齢・地域別 環境行動への意欲 平均点

平均点の算出方法は、「率先してやりたい(やっている)」+2点、「面倒だがやってみたい(やっている)」+1点、「やった方がよいと思うが、やりたくない」-1点、「効果(意味)がないので、やりたくない」-2点として、項目ごとに得点を算出した。

① 長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く

- ・ 区全体での数値は、1.25 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは60代 (1.40)、最も低いのは20代 (0.98)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「大口七島」(1.53)、最も低いのは「六角橋」(0.98)。

② 冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする

- ・ 区全体での数値は、1.73 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは70代以上 (1.82)、最も低いのは20代 (1.54)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「神ノ木西寺尾」(1.88)、最も低いのは「六角橋」(1.60)。

③ 家族で一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)

- ・ 区全体での数値は、1.05 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは70代以上 (1.20)、最も低いのは20代 (0.70)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「羽沢」(1.43)、最も低いのは「三ツ沢」(0.78)。

④ 使っていない部屋の電気を消す

- ・ 区全体での数値は、1.87 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは70代以上 (1.89)、最も低いのは20代 (1.82)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「松見」(1.93)、最も低いのは「三ツ沢」(1.76)。

⑤ 歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない

- ・ 区全体での数値は、1.64 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは60代 (1.73)、最も低いのは20代 (1.54)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「神ノ木西寺尾」(1.84)、最も低いのは「三ツ沢」(1.49)。

⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使う

- ・ 区全体での数値は、0.83 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは50代 (0.89)、最も低いのは20代 (0.63)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「菅田」(1.13)、最も低いのは「六角橋」(0.59)。

⑦ 部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする

- ・ 区全体での数値は、1.04 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは70代以上 (1.22)、最も低いのは20代 (0.83)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「神ノ木西寺尾」(1.21)、最も低いのは「白幡浦島丘」(0.87)。

⑧ 緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める)

- ・ 区全体での数値は、0.43 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは60代 (0.61)、最も低いのは30代 (0.34)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「神大寺」(0.68)、最も低いのは「白幡浦島丘」(0.19)。

⑨ ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する

- ・ 区全体での数値は、1.72 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは70代以上 (1.81)、最も低いのは20代 (1.52)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「片倉三枚」(1.85)、最も低いのは「子安入江」(1.61)。

⑩ エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する

- ・ 区全体での数値は、1.16 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは60代 (1.42)、最も低いのは20代 (0.71)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「羽沢」(1.49)、最も低いのは「六角橋」(0.77)。

⑪ 過剰な包装、不必要なレジ袋は断る

- ・ 区全体での数値は、1.38 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは50代(1.43)、最も低いのは20代(1.29)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「羽沢」(1.52)、最も低いのは「六角橋」(1.25)。

⑫ 買物袋(マイバッグ)を使っている

- ・ 区全体での数値は、1.20 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは60代(1.34)、最も低いのは20代(0.83)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「神ノ木西寺尾」(1.41)、最も低いのは「神奈川幸ヶ谷」(0.95)。

⑬ 詰め替えが可能な商品を選ぶ

- ・ 区全体での数値は、1.60 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは30代(1.74)、最も低いのは20代(1.50)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「大口七島」(1.70)、最も低いのは「六角橋」(1.38)。

⑭ マイ箸を持ち歩くようにする

- ・ 区全体での数値は、-0.08 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは30代(-0.04)、最も低いのは20代(-0.24)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「神ノ木西寺尾」(0.23)、最も低いのは「六角橋」(-0.38)。

⑮ 地産地消を心がける

- ・ 区全体での数値は、0.73 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは70代以上(0.93)、最も低いのは20代(0.30)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「羽沢」(1.04)、最も低いのは「六角橋」(0.51)。

⑯ 外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する

- ・ 区全体での数値は、1.15 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは70代以上(1.34)、最も低いのは20代(0.96)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「神ノ木西寺尾」(1.56)、最も低いのは「菅田」(0.77)。

⑰ 外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する

- ・ 区全体での数値は、1.29 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは70代以上(1.71)、最も低いのは30代(1.09)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「神ノ木西寺尾」(1.54)、最も低いのは「羽沢」(0.97)。

⑱ 車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす)

- ・ 区全体での数値は、1.21 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは50代(1.35)、最も低いのは20代(0.78)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「片倉三枚」(1.53)、最も低いのは「神奈川幸ヶ谷」(0.99)。

⑲ 車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車を選ぶ(うながす)

- ・ 区全体での数値は、1.18 となっている。
- ・ 年齢別では、最も高いのは60代(1.35)、最も低いのは20代(1.07)。
- ・ 地域別では、最も高いのは「片倉三枚」(1.43)、最も低いのは「六角橋」(0.89)。

図 年齢・地域別 環境行動への意欲 平均点

問5 普段の生活における環境行動 - 意欲

		長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く	冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする	家族と一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)	使っていない部屋の電気を消す	歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなどの際、水を流しっぱなしにしない	洗濯にお風呂の残り湯を使う	部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする	緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組み(夏季の建物内の冷房効率を高める)	ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する
全体		1.25	1.73	1.05	1.87	1.64	0.83	1.04	0.43	1.72
F 2 年齢	20~29歳	0.98	1.54	0.70	1.82	1.54	0.63	0.83	0.42	1.52
	30~39歳	1.18	1.72	1.14	1.86	1.62	0.87	0.89	0.34	1.63
	40~49歳	1.18	1.71	1.02	1.87	1.63	0.82	0.93	0.36	1.72
	50~59歳	1.29	1.74	1.04	1.88	1.67	0.89	1.12	0.43	1.79
	60~69歳	1.40	1.75	1.07	1.89	1.73	0.87	1.22	0.61	1.76
	70歳以上	1.38	1.82	1.20	1.89	1.59	0.75	1.22	0.39	1.81
	無回答	1.36	1.64	1.09	1.60	1.70	1.10	1.45	0.75	1.55
F 3 居住地域	青木	1.26	1.70	1.12	1.81	1.58	0.70	1.10	0.54	1.66
	大口七島	1.53	1.79	1.15	1.92	1.68	0.90	1.21	0.37	1.81
	片倉三枚	1.27	1.82	1.05	1.93	1.74	0.91	0.95	0.39	1.85
	神奈川幸ヶ谷	1.28	1.73	1.11	1.93	1.76	0.72	1.01	0.50	1.80
	神ノ木西寺尾	1.37	1.88	0.95	1.93	1.84	0.99	1.21	0.63	1.73
	子安入江	1.07	1.64	1.13	1.77	1.58	0.65	0.98	0.41	1.61
	白幡浦島丘	1.13	1.64	0.89	1.83	1.68	0.73	0.87	0.19	1.74
	神西神北	1.38	1.80	1.09	1.91	1.57	0.80	1.07	0.40	1.78
	神大寺	1.30	1.68	1.14	1.81	1.50	1.00	1.14	0.68	1.63
	菅田	1.29	1.72	1.00	1.92	1.61	1.13	1.12	0.28	1.74
	羽沢	1.25	1.74	1.43	1.90	1.69	0.86	1.14	0.65	1.79
	松見	1.23	1.75	1.01	1.93	1.63	0.85	0.89	0.25	1.69
	三ツ沢	1.22	1.68	0.78	1.76	1.49	0.79	1.01	0.31	1.69
	六角橋	0.98	1.60	0.88	1.85	1.61	0.59	0.99	0.42	1.61
無回答	1.44	1.81	1.00	1.88	1.88	1.06	1.00	0.50	1.44	

		エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する	過剰な包装、不必要なレジ袋は断る	買物袋(マイバッグ)を使っている	詰め替えが可能な商品を選ぶ	マイ箸を持ち歩くようにする	地産地消を心がける	外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する	外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する	車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす)	車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車を選ぶ(うながす)
全体		1.16	1.38	1.20	1.60	-0.08	0.73	1.15	1.29	1.21	1.18
F 2 年齢	20~29歳	0.71	1.29	0.83	1.50	-0.24	0.30	0.96	1.11	0.78	1.07
	30~39歳	1.08	1.37	1.18	1.74	-0.04	0.57	1.04	1.09	1.13	1.10
	40~49歳	1.05	1.40	1.15	1.62	-0.05	0.65	1.11	1.17	1.30	1.14
	50~59歳	1.23	1.43	1.26	1.59	-0.04	0.92	1.11	1.33	1.35	1.20
	60~69歳	1.42	1.43	1.34	1.52	-0.05	0.91	1.30	1.38	1.32	1.35
	70歳以上	1.31	1.32	1.30	1.54	-0.15	0.93	1.34	1.71	1.21	1.22
	無回答	1.10	1.20	1.00	1.36	-0.45	0.82	1.00	1.20	-0.17	0.43
F 3 居住地域	青木	1.12	1.37	1.12	1.67	-0.07	0.66	1.26	1.39	1.17	1.02
	大口七島	1.12	1.32	1.33	1.70	0.08	0.75	1.29	1.41	1.33	1.19
	片倉三枚	1.24	1.51	1.40	1.66	-0.20	0.78	0.92	1.05	1.53	1.43
	神奈川幸ヶ谷	1.11	1.35	0.95	1.64	-0.16	0.68	1.36	1.33	0.99	1.08
	神ノ木西寺尾	1.30	1.52	1.41	1.70	0.23	0.66	1.56	1.54	1.36	1.31
	子安入江	1.01	1.25	1.03	1.61	-0.21	0.55	0.92	1.29	1.19	1.01
	白幡浦島丘	1.26	1.39	1.33	1.64	-0.29	0.77	1.41	1.51	1.22	1.33
	神西神北	1.14	1.43	1.31	1.60	0.01	0.65	1.38	1.48	1.26	1.37
	神大寺	1.18	1.37	1.38	1.53	-0.12	0.94	1.10	1.15	1.25	1.25
	菅田	1.24	1.35	1.12	1.51	-0.01	0.72	0.77	1.00	1.32	1.25
	羽沢	1.49	1.52	1.40	1.63	0.19	1.04	0.85	0.97	1.29	1.32
	松見	1.15	1.46	1.36	1.61	-0.10	0.83	1.15	1.31	1.17	1.16
	三ツ沢	1.24	1.38	0.97	1.47	-0.02	0.91	0.85	1.18	1.03	1.09
	六角橋	0.77	1.25	1.04	1.38	-0.38	0.51	1.20	1.44	1.00	0.89
無回答	0.81	1.00	0.93	1.38	0.07	0.73	0.94	1.25	0.60	0.73	

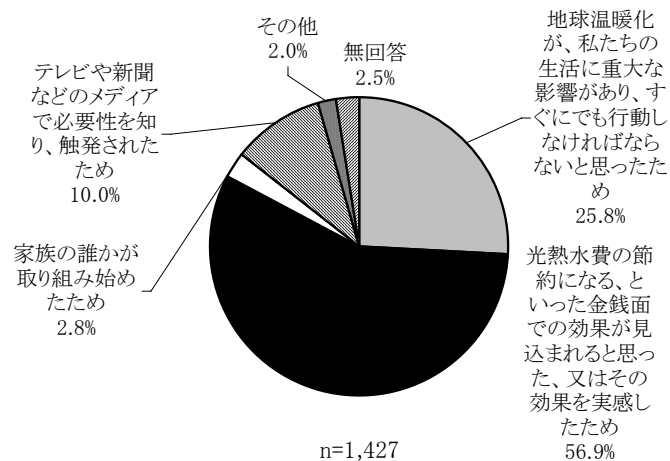
問6 あなたが次のような環境行動を始めたのは、どのようなことがきっかけでしたか。(それぞれに○は1つ)

問6-1 問5の①～⑧のうち一つでも【B 実践】「やっている」に○をした方のみお答えください。

◀電気・水道の節約▶ (○は一つ)

- 「光熱水費の節約になる、といった金銭面での効果が見込まれると思った、又はその効果を実感したため」が56.9%で最も多く、全体の6割近くを占めている。次いで「地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならなかったため」が25.8%、「テレビや新聞などのメディアで必要性を知り、触発されたため」が10.0%、「家族の誰かが取り組み始めたため」が2.8%、「その他」が2.0%となっている。

図 環境行動をはじめたきっかけ <電気・水道の節約>



■ 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ<電気・水道の節約>(問6-1× F2)

- いずれの年代も「光熱水費の節約になる、といった金銭面での効果が見込まれると思った、又はその効果を実感したため」が最も多い。

図 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ<電気・水道の節約>

問6-1 電気・水道の節約を始めたきっかけ

		全体	地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならなかったため	光熱水費の節約になる、といった金銭面での効果が見込まれると思った、又はその効果を実感したため	家族の誰かが取り組み始めたため	テレビや新聞などのメディアで必要性を知り、触発されたため	その他	無回答
全体		1,427	368	812	40	142	29	36
		100.0	25.8	56.9	2.8	10.0	2.0	2.5
F 2 年齢	20～29歳	127	18.1	63.8	9.4	6.3	2.4	0.0
	30～39歳	280	20.7	62.5	1.8	11.4	2.1	1.4
	40～49歳	257	24.1	61.5	1.9	8.9	2.7	0.8
	50～59歳	252	27.4	57.5	1.6	9.9	2.0	1.6
	60～69歳	267	31.5	51.7	2.2	9.0	0.7	4.9
	70歳以上	230	29.6	47.0	3.5	12.2	2.2	5.7
	無回答	14	28.6	50.0	0.0	14.3	7.1	0.0

■ 地域別 環境行動をはじめたきっかけ＜電気・水道の節約＞(問6-1× F3)

- ・ いずれの地域も「光熱水費の節約になる、といった金銭面での効果が見込まれると思った、又はその効果を実感したため」が最も多く、過半数を占めている。特に「神ノ木西寺尾」「神大寺」では数値が高い。

図 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ＜電気・水道の節約＞

問6-1 電気・水道の節約を始めたきっかけ

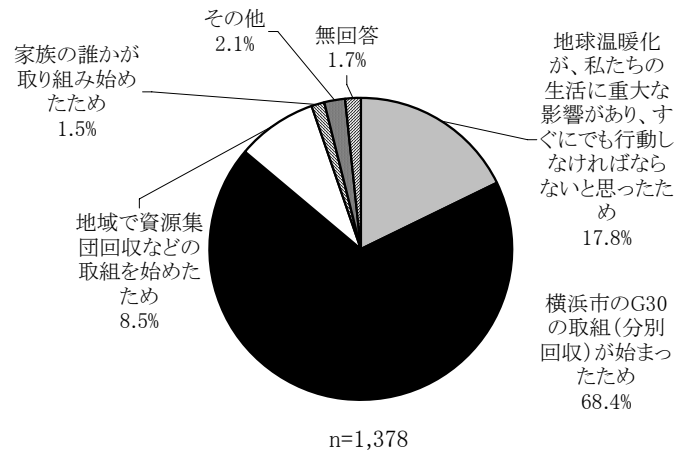
		全体	地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならぬと思ったため	光熱水費の節約になる、といった金銭面での効果が見込まれると思った、又はその効果を実感したため	家族の誰かが取り組み始めたため	テレビや新聞などのメディアで必要性を知り、触発されたため	その他	無回答
全 体		1,427	368	812	40	142	29	36
		100.0	25.8	56.9	2.8	10.0	2.0	2.5
F 3	青木	152	28.9	50.7	5.3	11.8	1.3	2.0
居住地域	大口七島	81	25.9	55.6	1.2	13.6	2.5	1.2
	片倉三枚	92	31.5	50.0	1.1	13.0	2.2	2.2
	神奈川幸ヶ谷	126	32.5	50.8	4.0	7.9	2.4	2.4
	神ノ木西寺尾	86	19.8	69.8	1.2	9.3	0.0	0.0
	子安入江	106	18.9	63.2	4.7	8.5	1.9	2.8
	白幡浦島丘	89	28.1	56.2	1.1	10.1	3.4	1.1
	神西神北	113	30.1	55.8	4.4	5.3	1.8	2.7
	神大寺	79	20.3	67.1	3.8	6.3	2.5	0.0
	菅田	113	11.5	65.5	3.5	12.4	1.8	5.3
	羽沢	77	33.8	53.2	0.0	6.5	1.3	5.2
	松見	105	27.6	59.0	1.0	10.5	1.9	0.0
	三ツ沢	103	26.2	54.4	1.9	10.7	1.9	4.9
	六角橋	86	23.3	52.3	3.5	11.6	3.5	5.8
	無回答	19	31.6	47.4	0.0	15.8	5.3	0.0

問6-2 問5の⑨の【B 実践】「やっている」に○をした方のみお答えください。

《ごみの分別・リサイクル》(○は一つ)

- 「横浜市のG30の取組(分別回収)が始まったため」が68.4%と、全体の7割弱に達する。以下「地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため」(17.8%)、「地域で資源集団回収などの取組を始めたため」(8.5%)、「家族の誰かが取り組み始めたため」(1.5%)、「その他」(2.1%)の順となっている。

図 環境行動をはじめたきっかけ <ごみの分別・リサイクル>



■ 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ<ごみの分別・リサイクル>(問6-2× F2)

- いずれの年代も「横浜市のG30の取組(分別回収)が始まったため」が最も多く、6~7割を占めている。

図 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ<ごみの分別・リサイクル>

問6-2 ごみの分別・リサイクルを始めたきっかけ

		全体	地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため	横浜市のG30の取組(分別回収)が始まったため	地域で資源集団回収などの取組を始めたため	家族の誰かが取り組み始めたため	その他	無回答
全体		1,378	245	942	117	21	29	24
		100.0	17.8	68.4	8.5	1.5	2.1	1.7
F2 年齢	20~29歳	117	15.4	60.7	7.7	6.8	9.4	0.0
	30~39歳	271	21.8	66.4	6.3	1.8	2.6	1.1
	40~49歳	251	16.7	70.5	10.8	0.4	0.8	0.8
	50~59歳	245	17.6	68.2	8.2	1.2	3.3	1.6
	60~69歳	260	17.7	72.7	6.2	1.2	0.0	2.3
	70歳以上	220	15.5	67.3	12.3	0.5	0.5	4.1
	無回答	14	21.4	71.4	7.1	0.0	0.0	0.0

■ 地域別 環境行動をはじめたきっかけ<ごみの分別・リサイクル>(問6-2× F3)

- ・ いずれの地域も「横浜市のG30 の取組（分別回収）が始まったため」が最も多く、6～7割を占めている。

図 地域別 環境行動をはじめたきっかけ<ごみの分別・リサイクル>

問6-2 ごみの分別・リサイクルをはじめたきっかけ

		全体	地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならぬと思ったため	横浜市のG30の取組（分別回収）が始まったため	地域で資源集団回収などの取組を始めたため	家族の誰かが取り組み始めたため	その他	無回答
全 体		1,378	245	942	117	21	29	24
		100.0	17.8	68.4	8.5	1.5	2.1	1.7
F 3	青木	147	19.7	64.6	10.2	0.7	2.0	2.7
居住地域	大口七島	80	15.0	72.5	8.8	1.3	1.3	1.3
	片倉三枚	94	20.2	72.3	4.3	1.1	0.0	2.1
	神奈川幸ヶ谷	121	24.8	63.6	6.6	0.0	3.3	1.7
	神ノ木西寺尾	81	19.8	67.9	8.6	1.2	1.2	1.2
	子安入江	101	12.9	70.3	10.9	2.0	1.0	3.0
	白幡浦島丘	86	25.6	57.0	9.3	2.3	4.7	1.2
	神西神北	106	19.8	66.0	10.4	0.9	1.9	0.9
	神大寺	77	13.0	76.6	5.2	0.0	5.2	0.0
	菅田	112	9.8	74.1	11.6	2.7	0.9	0.9
	羽沢	73	16.4	67.1	9.6	0.0	2.7	4.1
	松見	102	15.7	73.5	7.8	2.0	1.0	0.0
	三ツ沢	100	21.0	65.0	5.0	5.0	1.0	3.0
	六角橋	81	11.1	69.1	9.9	2.5	4.9	2.5
	無回答	17	23.5	70.6	5.9	0.0	0.0	0.0

問6-3 問5の⑩～⑮のうち一つでも【B 実践】「やっている」に○をした方のみお答えください。

《買い物や食事の時の行動》(○は一つ)

- 「地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため」が41.8%で、全体の4割強である。次に「買い物先などでエコバッグやトレーの回収などの取組を知り、触発されたため」が27.3%で続く。以下「家に帰ってごみを分別するのが大変だと感じたため」(15.4%)、「家族の誰かが取り組み始めたため」(5.8%)、「その他」(5.7%)となっている。
- 「その他」5.7%のうち、75件に具体的な記述があり、計78件の意見が挙げられた。最も多かったのは「経済的だから(安い、ポイントが貯まる、節約のため)」とする意見で、34件であった。次いで「家に物やゴミが多いのはいやだから」「無駄なゴミを減らすため」(各6件)、「取り組みやすかったから」「不要なものは使うべきでないから」(各5件)、「意識はしていない、当然のこと」「社会的な良識に従っている」「レジ袋や包装はサービス過剰だから」(各4件)などとなっている。

図 環境行動をはじめたきっかけ <買い物や食事の時の行動>

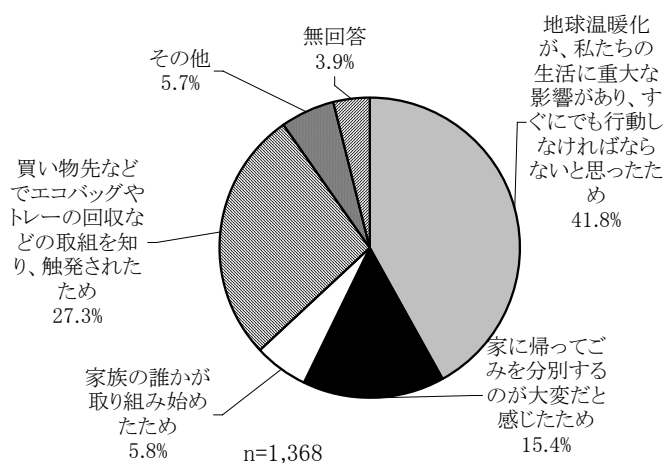


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
経済的だから(安い、ポイントが貯まる、節約のため)	34
家に物やゴミが多いのはいやだから	6
無駄なゴミを減らすため	6
取り組みやすかったから	5
不要なものは使うべきでないから	5
意識はしていない、当然のこと	4
社会的な良識に従っている	4
レジ袋や包装はサービス過剰だから	4
資源の節約のため	3
イベント等で重要性を知ったから	2
エコバッグの方がおしゃれだから	1
友人に子供が産まれたから	1
レジ袋が小さすぎるから	1
レジ袋をくれる数が減ったから	1
レジ袋をもらいゴミ袋は買わないのがエコ	1
計	78

■ 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ＜買い物や食事の時の行動＞(問6-3× F2)

- ・ いずれの年代も「地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため」が最も多い。但し、60代で数値が高い一方、20代では低くなっており、年代による差が見受けられる。

図 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ＜買い物や食事の時の行動＞

問6-3 買い物や食事の時の行動を始めたきっかけ

		全体	地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため	家に帰ってごみを分別するのが大変だと感じたため	家族の誰かが取り組み始めたため	買い物先などでエコバッグやトレーの回収などの取組を知り、触発されたため	その他	無回答
全 体		1,368 100.0	572 41.8	211 15.4	80 5.8	373 27.3	78 5.7	54 3.9
F 2 年齢	20～29歳	121	28.1	22.3	14.0	22.3	13.2	0.0
	30～39歳	273	34.8	16.8	5.1	34.4	7.7	1.1
	40～49歳	247	40.5	15.0	6.1	30.4	6.9	1.2
	50～59歳	245	44.1	15.1	4.9	27.3	4.1	4.5
	60～69歳	255	51.8	10.6	3.1	23.9	2.0	8.6
	70歳以上	214	45.8	16.8	6.1	21.0	3.7	6.5
	無回答	13	38.5	7.7	7.7	30.8	7.7	7.7

■ 地域別 環境行動をはじめたきっかけ＜買い物や食事の時の行動＞(問6-3× F3)

- ・ いずれの地域も「地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため」が最も多く、「松見」では「買い物先などでエコバッグやトレーの回収などの取組を知り、触発されたため」が同率である。

図 地域別 環境行動をはじめたきっかけ＜買い物や食事の時の行動＞

問6-3 買い物や食事の時の行動を始めたきっかけ

		全体	地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため	家に帰ってごみを分別するのが大変だと感じたため	家族の誰かが取り組み始めたため	買い物先などでエコバッグやトレーの回収などの取組を知り、触発されたため	その他	無回答
		1,368 100.0	572 41.8	211 15.4	80 5.8	373 27.3	78 5.7	54 3.9
F 3 居住地域	青木	143	41.3	18.9	6.3	25.2	4.9	3.5
	大口七島	78	44.9	14.1	5.1	26.9	6.4	2.6
	片倉三枚	90	44.4	14.4	5.6	27.8	4.4	3.3
	神奈川幸ヶ谷	123	48.0	17.9	4.9	16.3	8.1	4.9
	神ノ木西寺尾	83	48.2	13.3	2.4	32.5	3.6	0.0
	子安入江	99	35.4	17.2	3.0	33.3	6.1	5.1
	白幡浦島丘	85	48.2	14.1	3.5	28.2	3.5	2.4
	神西神北	110	42.7	12.7	7.3	26.4	8.2	2.7
	神大寺	77	37.7	16.9	9.1	27.3	7.8	1.3
	菅田	110	32.7	11.8	11.8	27.3	7.3	9.1
	羽沢	73	38.4	17.8	5.5	30.1	2.7	5.5
	松見	103	35.0	19.4	4.9	35.0	3.9	1.9
	三ツ沢	97	46.4	15.5	5.2	23.7	4.1	5.2
	六角橋	80	45.0	11.3	6.3	25.0	7.5	5.0
無回答	17	35.3	5.9	5.9	35.3	5.9	11.8	

問6-4 問5の⑯～⑲のうち一つでも【B 実践】「やっている」に○をした方のみお答えください。

《交通手段に関する行動》(○は一つ)

- ・ 「地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため」が31.1%、「ガソリン代など交通手段にかかる費用が値上がりしたため」が27.5%、「健康に注意しなければいけないと思ったため」が27.2%といずれも3割前後で、この3点に回答が分散した。「その他」は8.5%、「家族の誰かが取り組み始めたため」は1.5%となっている。
- ・ 「その他」8.5%のうち、109件に具体的な記述があり、114件の意見が挙げられた。内容としては「車は持っていない、必要ない」が60件で飛び抜けて多く、次いで「公共交通機関が便利だから」が13件であった。他に目立ったものとしては「車や車の運転が嫌い、できない」(9件)、「経済的な理由」(5件)、「車を使わざるを得ないが環境は考慮したい」「健康のため」(各4件)などとなっている。

図 環境行動をはじめたきっかけ <交通手段に関する行動>

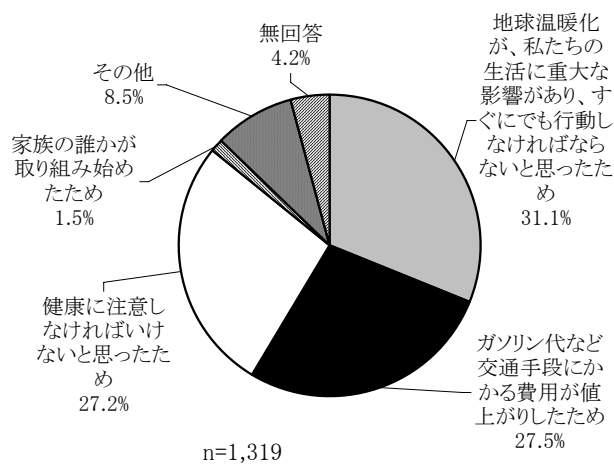


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
車は持っていない、必要ない	60
公共交通機関が便利だから	13
車や車の運転が嫌い、できない	9
経済的な理由	5
車を使わざるを得ないが環境は考慮したい	4
健康のため	4
駐車場の問題 (少ない、料金が高い)	3
当然のこと、道義的に考えて	3
徒歩や自転車に合うから、好きだから	3
エコドライブは安全運転につながる	2
近所に公共交通機関がない	2
乗り物に弱いから	2
以前からやっている	2
今車を買えばだいたいエコカーになる	1
公害の軽減のため	1
計	114

■ 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ＜交通手段に関する行動＞（問6-3× F2）

- ・ 20代から40代で「ガソリン代など交通手段にかかる費用が値上がりしたため」と、金銭面がきっかけになっている一方、50代は「地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため」、60代以上は「健康に注意しなければいけないと思ったため」が最も多くなっている。

図 年齢別 環境行動をはじめたきっかけ＜交通手段に関する行動＞

問6-4 交通手段に関する行動を始めたきっかけ

		全体	地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため	ガソリン代など交通手段にかかる費用が値上がりしたため	健康に注意しなければいけないと思ったため	家族の誰かが取り組み始めたため	その他	無回答
全体		1,319 100.0	410 31.1	363 27.5	359 27.2	20 1.5	112 8.5	55 4.2
F2 年齢	20～29歳	111	25.2	36.9	22.5	3.6	9.9	1.8
	30～39歳	259	29.0	40.9	16.2	1.2	10.4	2.3
	40～49歳	244	29.9	30.7	23.4	2.9	10.2	2.9
	50～59歳	228	32.9	26.3	27.2	0.9	10.5	2.2
	60～69歳	255	32.9	18.8	35.3	1.2	5.5	6.3
	70歳以上	210	31.9	15.7	38.1	0.5	5.2	8.6
	無回答	12	66.7	0.0	25.0	0.0	0.0	8.3

■ 地域別 環境行動をはじめたきっかけ＜交通手段に関する行動＞（問6-3× F2）

- ・ 「青木」「片倉三枚」「神奈川幸ヶ谷」「白幡浦島丘」「三ツ沢」は「地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため」が最も多い。「子安入江」「菅田」「羽沢」は「ガソリン代など交通手段にかかる費用が値上がりしたため」、「大口七島」「神ノ木西寺尾」「神西神北」「神大寺」「六角橋」は「健康に注意しなければいけないと思ったため」が最も多く、「松見」はこの2つが同率である。

図 地域別 環境行動をはじめたきっかけ＜交通手段に関する行動＞

問6-4 交通手段に関する行動を始めたきっかけ

		全体	地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならないと思ったため	ガソリン代など交通手段にかかる費用が値上がりしたため	健康に注意しなければいけないと思ったため	家族の誰かが取り組み始めたため	その他	無回答
全体		1,319 100.0	410 31.1	363 27.5	359 27.2	20 1.5	112 8.5	55 4.2
F3 居住地域	青木	142	30.3	27.5	26.1	2.8	9.9	3.5
	大口七島	75	21.3	28.0	36.0	0.0	12.0	2.7
	片倉三枚	87	40.2	28.7	16.1	3.4	8.0	3.4
	神奈川幸ヶ谷	112	36.6	25.9	24.1	0.0	8.0	5.4
	神ノ木西寺尾	83	30.1	30.1	31.3	0.0	6.0	2.4
	子安入江	101	24.8	36.6	24.8	1.0	8.9	4.0
	白幡浦島丘	87	39.1	21.8	28.7	0.0	6.9	3.4
	神西神北	105	29.5	21.0	32.4	1.0	14.3	1.9
	神大寺	70	24.3	27.1	35.7	2.9	4.3	5.7
	菅田	103	28.2	30.1	24.3	2.9	8.7	5.8
	羽沢	67	28.4	29.9	22.4	3.0	9.0	7.5
	松見	95	29.5	30.5	30.5	0.0	7.4	2.1
	三ツ沢	95	38.9	26.3	25.3	0.0	4.2	5.3
	六角橋	81	25.9	25.9	28.4	4.9	11.1	3.7
	無回答	16	56.3	6.3	18.8	0.0	0.0	18.8

問7 問5の項目のうち【C 意欲】「～やりたくない」にひとつでも○をつけた方のみお答えください。

あなたは、下記の項目のうち、どのようなきっかけがあれば行動をはじめますか。(○は2つまで)

- 「金銭面でメリットがはっきりわかるようになったとき」が 21.3%、「温暖化対策の効果が実証されたとき」が 21.1%で、いずれも 2 割強の人が挙げている。以下「社会全体の流れで、環境行動を行わないと生活しにくくなったとき」(15.0%)、「レジ袋が撤廃されたり、水・電気等の供給が制限されるなど、取り組まざるを得なくなったとき」(12.0%)、「その他」(10.8%)、「光熱水費など生活にかかる費用が大幅に値上がりしたとき」(9.8%)と続いている。なお、無回答が 31.9%と高い数値になっている。
- 「その他」10.8%のうち、111 件に具体的な記述があり、計 128 件の意見が挙げられた。行動をはじめめるきっかけとしては 42 件挙げられ、最も多かったのは「価格が手ごろになったら」の 8 件であった。また個別の取り組みに対しても「マイ箸より国産間伐材の割り箸を使うべき」(9 件)などの意見がみられた。

図 行動をはじめめるきっかけ

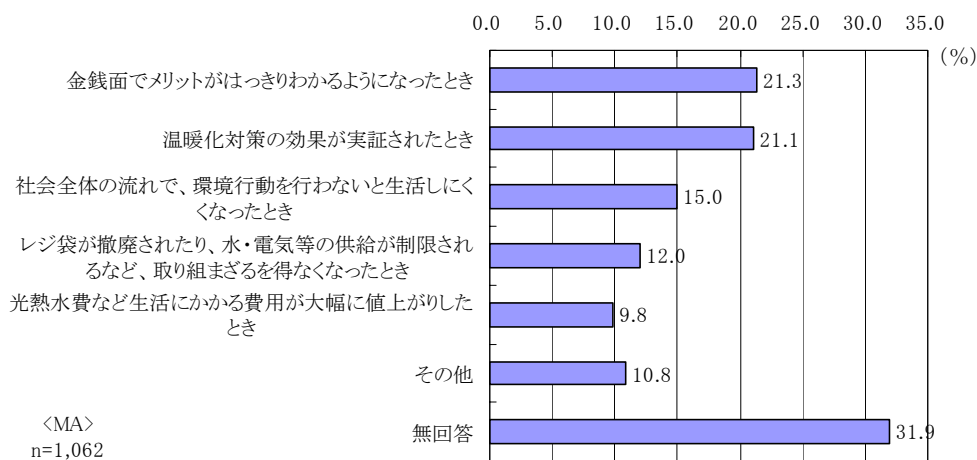


図 「その他」意見内容

意見内容	件数	意見内容	件数		
きっかけ	42	価格が手ごろになったら	8		
		効果のほどが明確になったら	5		
		取り組みやすく、便利になったら	5		
		公共交通機関が使いやすく充実したら	4		
		安全性が保証されたら	3		
		意欲につながる環境が整った時、新しく購入する時	3		
		必要性に迫られたら	3		
		やり方が理解できたら	3		
		生活にゆとりができたら	2		
		人から評価を得たり励まされたら	2		
		機器の再設定が不要になったら	2		
マイ箸	22	マイ箸より国産間伐材の割り箸を使うべき	9		
		飲食店で割箸でなく洗浄可能なものを使用すればよい	5		
		外食はしない	4		
		箸を持ち歩きたくない、現状に馴染まない	3		
		マイ箸は水資源を使う	1		
		分別ゴミ処理に伴う余分なエネルギー消費について認知できたら	1		
		取り組みへの意見	15	風呂の残り湯は不衛生なので使いたくない	7
				洗濯機が残り湯の利用に対応していない	5
				シャワーしか使わない	3
				壁面緑化	8
壁面緑化	8	壁面緑化は一戸建てでないとできない	4		
		壁面緑化は家屋が傷む	2		
		壁面緑化は虫が発生する	2		
冷暖房	8	寒い(暑い)のでやめられない	5		
		これ以上やる必要がない	3		
車	7	車(免許)は持っていない	3		
		車がないと困る状況にある	2		
		車の方が早くて便利	1		
家族	4	低燃費よりも消費量で考えるべき	1		
		家族との生活パターンが異なる	4		
積極的でない理由	11	ひとり暮らしなのでできない	4		
		高齢、健康上の問題があってできない	4		
		現実的に対応できる状況にない	3		
		他にすべきことがあるはず	3		
計	128	エコのために今あるものを捨てるのは逆にエコではない	2		
		衛生面が気になる	2		
		指導的立場の方に率先して実践してほしい	1		
		いかなる理由でもやらない	1		
		新商品、新市場の開拓優先でプラスに感じられない	1		
		恥ずかしい	1		

■ 男女別 行動をはじめめるきっかけ(問7× F1)

- ・ 男性は「温暖化対策の効果が実証されたとき」、女性は「金銭面でメリットがはっきりわかるようになったとき」が最も多くなっている。

図 男女別 行動をはじめめるきっかけ

問7 どのようなきっかけがあれば行動をはじめますか(2つまで回答)

		全体	温暖化対策の効果が実証されたとき	金銭面でメリットがはっきりわかるようになったとき	社会全体の流れで、環境行動を行わないと生活しにくくなったとき	光熱水費など生活にかかる費用が大幅に値上がりしたとき	レジ袋が撤廃されたり、水・電気等の供給が制限されるなど、取り組まざるを得なくなったとき	その他	無回答
		1,062	224	226	159	104	127	115	339
		—	21.1	21.3	15.0	9.8	12.0	10.8	31.9
F 1 性別	男性	432	26.6	23.1	15.5	9.7	13.4	10.4	25.9
	女性	617	17.5	20.1	14.7	9.7	11.0	11.0	35.7
	無回答	13	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	15.4	53.8

■ 年齢別 行動をはじめめるきっかけ(問7× F2)

- ・ 40代、60代、70代以上では「温暖化対策の効果が実証されたとき」、20代、30代、50代は「金銭面でメリットがはっきりわかるようになったとき」が最も多くなっている。

図 年齢別 行動をはじめめるきっかけ

問7 どのようなきっかけがあれば行動をはじめますか(2つまで回答)

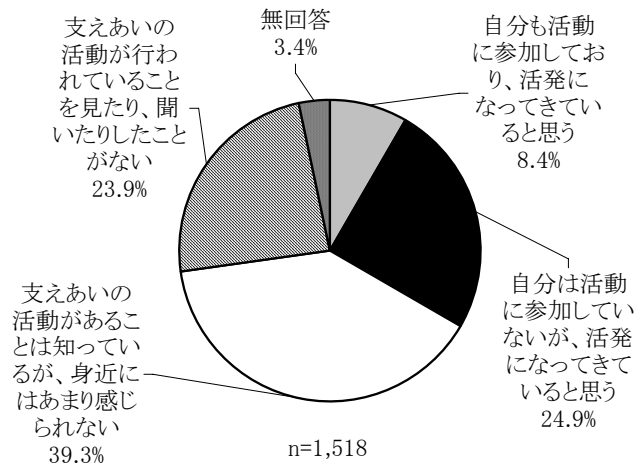
		全体	温暖化対策の効果が実証されたとき	金銭面でメリットがはっきりわかるようになったとき	社会全体の流れで、環境行動を行わないと生活しにくくなったとき	光熱水費など生活にかかる費用が大幅に値上がりしたとき	レジ袋が撤廃されたり、水・電気等の供給が制限されるなど、取り組まざるを得なくなったとき	その他	無回答
全 体		1,062	224	226	159	104	127	115	339
		—	21.1	21.3	15.0	9.8	12.0	10.8	31.9
F 2 年齢	20～29歳	102	23.5	33.3	12.7	10.8	15.7	9.8	22.5
	30～39歳	221	26.7	29.9	12.7	11.8	16.7	9.0	19.9
	40～49歳	213	23.0	18.3	19.2	9.4	12.2	14.1	25.8
	50～59歳	193	19.2	20.2	15.5	8.3	6.7	14.5	36.8
	60～69歳	184	16.3	13.6	14.1	8.2	11.4	6.0	44.6
	70歳以上	141	17.0	16.3	14.2	9.2	9.9	10.6	42.6
	無回答	8	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0	12.5	50.0

2. 地域での支えあいについて

問8 住民相互での、高齢者や子どもの見守り等の支えあい活動が盛んになっていますが、あなたの近所や地域では、それらの活動が活発になっていると思いますか。(〇は1つ)

- 「支えあいの活動があることは知っているが、身近にはあまり感じられない」が 39.3%と全体の4割弱で最も多い。次いで「自分は活動に参加していないが、活発になってきていると思う」が 24.9%、「支えあいの活動が行われているのを見たり、聞いたりしたことがない」が 23.9%でほぼ並び、「自分も活動に参加しており、活発になってきていると思う」は 8.4%となっている。

図 支えあい活動について



■ 年齢別 支えあい活動について(問8× F2)

- 20代では「支えあいの活動が行われているのを見たり、聞いたりしたことがない」、30代より上の世代では「支えあいの活動があることは知っているが、身近にはあまり感じられない」が最も多くなっている。

図 年齢別 支えあい活動について

問8 あなたの近所や地域では、住民相互での、支えあい活動が活発になっていると思いますか

		全体	自分も活動に参加しており、活発になってきていると思う	自分は活動に参加していないが、活発になってきていると思う	支えあいの活動があることは知っているが、身近にはあまり感じられない	支えあいの活動が行われているのを見たり、聞いたりしたことがない	無回答
全体		1,518	128	378	597	363	52
		100.0	8.4	24.9	39.3	23.9	3.4
F2 年齢	20～29歳	131	3.1	14.5	38.9	40.5	3.1
	30～39歳	282	7.8	20.2	38.7	32.6	0.7
	40～49歳	266	9.4	30.8	37.2	20.3	2.3
	50～59歳	261	6.9	23.8	42.9	25.7	0.8
	60～69歳	282	7.8	26.2	42.9	19.5	3.5
	70歳以上	276	13.0	29.0	36.6	13.8	7.6
	無回答	20	5.0	20.0	20.0	20.0	35.0

■ 地域別 支えあい活動について(問8× F3)

- 概ね「支えあいの活動があることは知っているが、身近にはあまり感じられない」が最も多くなっているが、「六角橋」のみ「支えあいの活動が行われていることを見たり、聞いたりしたことがない」も同率となっている。

図 地域別 支えあい活動について

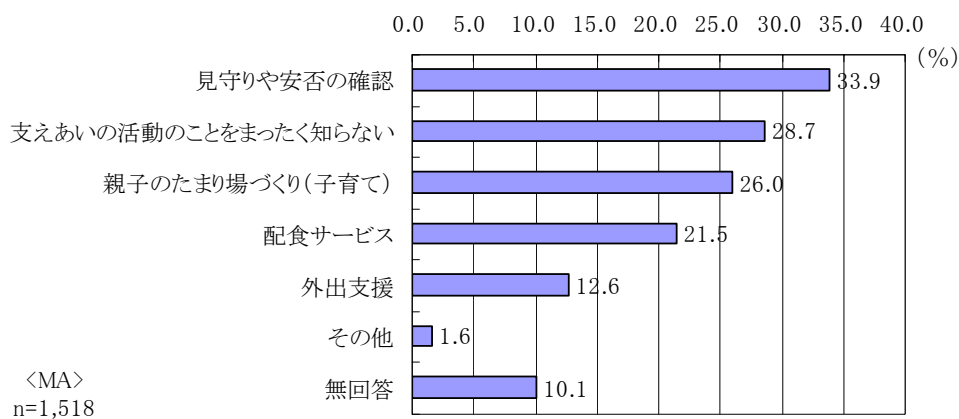
問8 あなたの近所や地域では、住民相互での、支えあい活動が活発になっていると思いますか

		全体	自分も活動に参加しており、活発になってきていると思う	自分は活動に参加していないが、活発になってきていると思う	支えあいの活動があることは知っているが、身近にはあまり感じられない	支えあいの活動が行われていることを見たり、聞いたりしたことがない	無回答
		1,518	128	378	597	363	52
		100.0	8.4	24.9	39.3	23.9	3.4
F3	青木	160	8.8	26.3	33.1	28.1	3.8
居住地	大口七島	85	7.1	31.8	34.1	24.7	2.4
	片倉三枚	99	7.1	32.3	41.4	16.2	3.0
	神奈川幸ヶ谷	132	8.3	21.2	34.1	33.3	3.0
	神ノ木西寺尾	95	10.5	25.3	40.0	23.2	1.1
	子安入江	112	9.8	17.9	41.1	25.9	5.4
	白幡浦島丘	96	8.3	20.8	47.9	19.8	3.1
	神西神北	117	8.5	21.4	43.6	25.6	0.9
	神大寺	88	11.4	26.1	33.0	23.9	5.7
	菅田	120	5.8	30.0	45.8	14.2	4.2
	羽沢	79	10.1	27.8	39.2	21.5	1.3
	松見	109	7.3	19.3	52.3	19.3	1.8
	三ツ沢	110	6.4	32.7	35.5	23.6	1.8
	六角橋	89	9.0	19.1	34.8	34.8	2.2
	無回答	27	11.1	18.5	22.2	14.8	33.3

問9 現在行われている取組について、見たり聞いたりした取組についてお答えください。(〇はいくつでも)

- ・ 「見守りや安否の確認」が最も多く 33.9%と、全体の約3割が挙げている。次いで「支えあいの活動のことをまったく知らない」が 28.7%である。以下「親子のたまり場づくり(子育て)」(26.0%)、「配食サービス」(21.5%)、「外出支援」(12.6%)、「その他」(1.6%)の順となっている。

図 現在行われている取組について



■ 男女別 現在行われている取組について(問9× F1)

- ・ 男性は「支えあいの活動のことをまったく知らない」が最も多い。女性は「見守りや安否の確認」が最も多く、「親子のたまり場づくり(子育て)」も男性を13ポイント上回っている。

図 男女別 支えあい活動について

問9 見たり聞いたりした取組(複数回答)

		全体	見守りや安否の確認	配食サービス	外出支援	親子のたまり場づくり(子育て)	その他	支えあいの活動のことをまったく知らない	無回答
		1,518	515	326	192	394	25	435	154
		—	33.9	21.5	12.6	26.0	1.6	28.7	10.1
F1 性別	男性	556	34.0	16.4	11.3	18.2	2.0	34.4	8.8
	女性	926	34.6	25.1	13.7	31.2	1.5	25.5	9.6
	無回答	36	16.7	8.3	5.6	11.1	0.0	22.2	44.4

■ 年齢別 現在行われている取組について(問9× F2)

- ・ 20代では「支えあいの活動のことをまったく知らない」が最も多い。30代は「親子のたまり場づくり(子育て)」、それ以上の世代では「見守りや安否の確認」が最も多く、世代によって回答が分かれた。

図 年齢別 現在行われている取組について

問9 見たり聞いたりした取組(複数回答)

		全体	見守りや安否の確認	配食サービス	外出支援	親子のたまり場づくり(子育て)	その他	支えあいの活動のことをまったく知らない	無回答
全体		1,518	515	326	192	394	25	435	154
		—	33.9	21.5	12.6	26.0	1.6	28.7	10.1
F2 年齢	20～29歳	131	26.7	13.0	9.9	24.4	0.8	36.6	9.9
	30～39歳	282	30.1	15.2	7.8	37.9	0.7	33.3	5.3
	40～49歳	266	38.7	18.8	12.4	30.5	3.4	27.8	6.8
	50～59歳	261	31.8	25.7	16.9	27.2	1.5	31.4	6.5
	60～69歳	282	33.0	29.8	16.7	23.4	1.8	27.7	9.9
	70歳以上	276	40.6	22.1	11.6	12.7	1.4	20.3	19.9
	無回答	20	20.0	20.0	5.0	10.0	0.0	15.0	40.0

■ 地域別 現在行われている取組について(問9× F3)

- ・ 「神奈川幸ヶ谷」「子安入江」「神西神北」「六角橋」では「支えあいの活動のことをまったく知らない」が最も多い。「三ツ沢」では「配食サービス」、「松見」では「親子のたまり場(子育て)」、それ以外の地域では「見守りや安否の確認」が最も多く、地域によって回答が分かれた。また、「羽沢」「片倉三枚」では「外出支援」が、他に比べて高い数値となっている。

図 地域別 現在行われている取組について

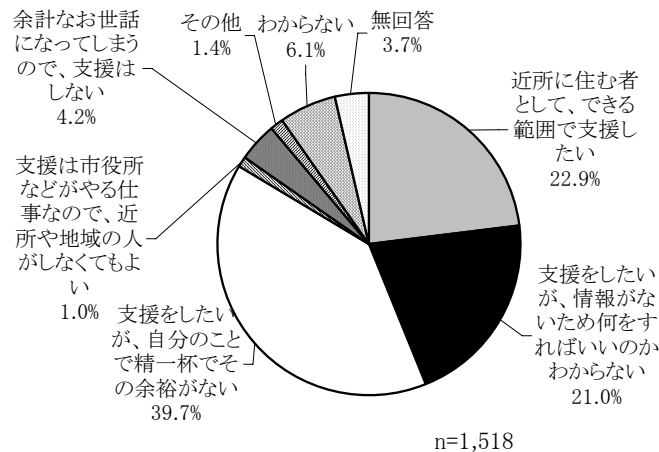
問9 見たり聞いたりした取組(複数回答)

		全体	見守りや安否の確認	配食サービス	外出支援	親子のたまり場づくり(子育て)	その他	支えあいの活動のことをまったく知らない	無回答
全体		1,518	515	326	192	394	25	435	154
		—	33.9	21.5	12.6	26.0	1.6	28.7	10.1
F3 居住地域	青木	160	36.9	25.0	16.3	18.1	1.9	33.8	6.3
	大口七島	85	47.1	21.2	17.6	32.9	0.0	23.5	7.1
	片倉三枚	99	42.4	23.2	22.2	30.3	1.0	18.2	7.1
	神奈川幸ヶ谷	132	25.8	15.2	5.3	25.8	0.0	35.6	12.1
	神ノ木西寺尾	95	38.9	18.9	9.5	36.8	0.0	33.7	4.2
	子安入江	112	29.5	8.0	6.3	25.0	0.9	33.0	11.6
	白幡浦島丘	96	34.4	25.0	10.4	25.0	4.2	24.0	11.5
	神西神北	117	31.6	17.9	9.4	20.5	2.6	32.5	6.8
	神大寺	88	33.0	19.3	11.4	21.6	3.4	27.3	17.0
	菅田	120	37.5	24.2	9.2	26.7	1.7	25.0	11.7
	羽沢	79	41.8	36.7	24.1	34.2	2.5	27.8	6.3
	松見	109	23.9	14.7	11.0	28.4	0.9	27.5	11.9
	三ツ沢	110	30.9	36.4	15.5	29.1	1.8	23.6	9.1
	六角橋	89	29.2	23.6	14.6	20.2	3.4	31.5	12.4
	無回答	27	25.9	3.7	11.1	11.1	0.0	22.2	40.7

問 10 近所や地域に住んでいる、何らかの支援を必要としている方(障害者や高齢者、子育て中の家族等で手助けを必要としている人)への支援(日常生活上の手助け・お手伝い)について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

- 「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が39.7%と最も多く、約4割を占めている。次いで「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」が22.9%、「支援をしたいが、情報がないため何をすればいいのかわからない」が21.0%でほぼ並ぶ。以下、「わからない」(6.1%)、「余計なお世話になってしまうので、支援はしない」(4.2%)、「その他」(1.4%)、「支援は市役所などがやる仕事なので、近所や地域の人がしなくてもよい」(1.0%)、「支援は市役所などがやる仕事なので、近所や地域の人がしなくてもよい」(1.0%)の順である。

図 何らかの支援を必要としている方への支援について



■ 年齢別 何らかの支援を必要としている方への支援について(問10× F2)

- 60代では「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」、それ以外の世代では「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が最も多くなっている。

図 年齢別 何らかの支援を必要としている方への支援について

問10 近所や地域に住んでいる、何らかの支援を必要としている方への支援について

		全体	近所に住む者として、できる範囲で支援したい	支援をしたいが、情報がないため何をすればいいのかわからない	支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない	支援は市役所などがやる仕事なので、近所や地域の人がしなくてもよい	余計なお世話になってしまうので、支援はしない	その他	わからない	無回答
全体		1,518	348	319	603	15	63	21	93	56
		100.0	22.9	21.0	39.7	1.0	4.2	1.4	6.1	3.7
F 2 年齢	20～29歳	131	21.4	19.8	42.7	2.3	3.1	1.5	5.3	3.8
	30～39歳	282	18.4	25.9	40.1	0.7	3.2	1.4	8.5	1.8
	40～49歳	266	15.4	21.4	49.2	0.8	3.8	1.1	6.4	1.9
	50～59歳	261	21.8	22.6	40.2	0.4	3.1	1.9	7.7	2.3
	60～69歳	282	31.6	23.0	31.2	1.1	4.6	1.8	3.9	2.8
	70歳以上	276	27.5	13.4	38.8	1.4	6.5	0.7	4.3	7.2
	無回答	20	25.0	10.0	15.0	0.0	5.0	0.0	10.0	35.0

■ 地域別 何らかの支援を必要としている方への支援について(問10× F3)

- ・ どの地域でも「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が最も多くなっている。また、「羽沢」では「支援をしたいが、情報がなため何をすればいいのかわからない」の数値が他に比べてやや高くなっている。

図 地域別 何らかの支援を必要としている方への支援について

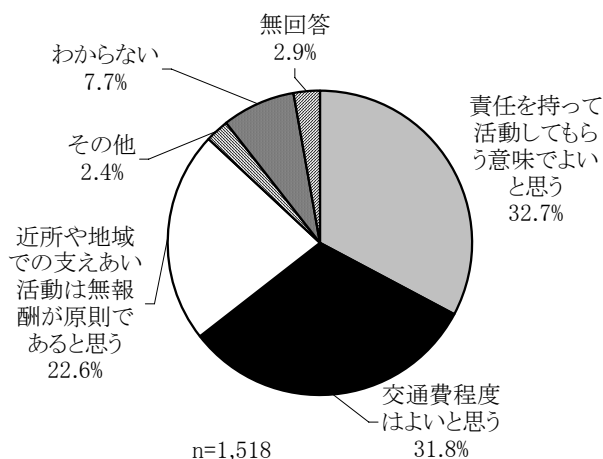
問10 近所や地域に住んでいる、何らかの支援を必要としている方への支援について

		全体	近所に住む者として、できる範囲で支援したい	支援をしたいが、情報がなため何をすればいいのかわからない	支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない	支援は市役所などがやる仕事なので、近所や地域の人がしなくてもよい	余計なお世話になってしまうので、支援はしない	その他	わからない	無回答
		1,518	348	319	603	15	63	21	93	56
		100.0	22.9	21.0	39.7	1.0	4.2	1.4	6.1	3.7
F 3 居住地域	青木	160	26.3	19.4	40.6	1.3	3.8	0.6	5.0	3.1
	大口七島	85	29.4	12.9	43.5	0.0	2.4	3.5	5.9	2.4
	片倉三枚	99	16.2	18.2	52.5	2.0	2.0	1.0	7.1	1.0
	神奈川幸ヶ谷	132	23.5	16.7	40.2	0.8	6.8	3.0	5.3	3.8
	神ノ木西寺尾	95	20.0	21.1	46.3	1.1	3.2	0.0	5.3	3.2
	子安入江	112	23.2	27.7	32.1	1.8	6.3	0.9	4.5	3.6
	白幡浦島丘	96	26.0	14.6	44.8	1.0	2.1	1.0	7.3	3.1
	神西神北	117	23.9	18.8	41.9	0.9	1.7	2.6	7.7	2.6
	神大寺	88	26.1	23.9	31.8	0.0	2.3	2.3	8.0	5.7
	菅田	120	20.8	20.0	42.5	0.0	4.2	0.8	7.5	4.2
	羽沢	79	24.1	30.4	39.2	1.3	0.0	0.0	2.5	2.5
	松見	109	18.3	23.9	38.5	0.9	8.3	0.9	5.5	3.7
	三ツ沢	110	22.7	26.4	34.5	1.8	5.5	0.9	7.3	0.9
	六角橋	89	20.2	25.8	33.7	0.0	6.7	2.2	7.9	3.4
無回答	27	22.2	11.1	14.8	3.7	7.4	0.0	3.7	37.0	

問 11 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて、あなたはどのように考えますか。(〇は一つ)

- ・ 「責任を持って活動してもらい意味でよいと思う」が 32.7%で最も多く、「交通費程度はよいと思う」が 31.8%と僅差で続いており、何からの対価を支払うことに肯定的な意見が過半数となっている。以下、「近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う」(22.6%)、「わからない」(7.7%)、「その他」(2.4%)と続く。

図 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて



■ 男女別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて(問11× F1)

- ・ 男性は「交通費程度はよいと思う」、女性は「責任を持って活動してもらい意味でよいと思う」が最も多くなっており、男女で回答が分かれた。また、男性は女性より「近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う」が9ポイント高くなっている。

図 男女別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

問11 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

		全体	責任を持って活動してもらい意味でよいと思う	交通費程度はよいと思う	近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う	その他	わからない	無回答
		1,518	496	482	343	36	117	44
		100.0	32.7	31.8	22.6	2.4	7.7	2.9
F 1 性別	男性	556	28.8	30.6	28.4	2.9	7.9	1.4
	女性	926	35.3	32.7	19.4	2.2	7.7	2.7
	無回答	36	25.0	25.0	13.9	0.0	5.6	30.6

■ 年齢別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて(問11× F2)

- ・ 20代と50代、60代では「交通費程度はよいと思う」、30代、40代は「責任を持って活動してもらおう意味でよいと思う」、70代以上では「近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う」が最も多く、世代によって明確に傾向が分かれた。

図 年齢別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

問11 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

		全体	責任を持って活動してもらおう意味でよいと思う	交通費程度はよいと思う	近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う	その他	わからない	無回答
全 体		1,518 100.0	496 32.7	482 31.8	343 22.6	36 2.4	117 7.7	44 2.9
F 2 年齢	20～29歳	131	28.2	32.8	26.0	2.3	7.6	3.1
	30～39歳	282	39.4	34.0	14.2	2.1	9.9	0.4
	40～49歳	266	43.2	27.4	16.2	3.0	7.5	2.6
	50～59歳	261	29.5	37.5	21.5	4.2	6.1	1.1
	60～69歳	282	29.8	31.2	28.4	2.1	6.7	1.8
	70歳以上	276	23.9	29.0	31.5	0.7	8.7	6.2
	無回答	20	30.0	20.0	15.0	0.0	0.0	35.0

■ 地域別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて(問11× F3)

- ・ 「菅田」では「近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う」、「大口七島」「神奈川幸ヶ谷」「神ノ木西寺尾」「神西神北」「松見」は「責任を持って活動してもらおう意味でよいと思う」が最も多く、それ以外の地域は「交通費程度はよいと思う」が最も多かった。

図 地域別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

問11 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

		全体	責任を持って活動してもらおう意味でよいと思う	交通費程度はよいと思う	近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う	その他	わからない	無回答
全 体		1,518 100.0	496 32.7	482 31.8	343 22.6	36 2.4	117 7.7	44 2.9
F 3 居住地域	青木	160	33.8	35.0	21.3	1.9	3.8	4.4
	大口七島	85	34.1	27.1	25.9	1.2	5.9	5.9
	片倉三枚	99	31.3	34.3	22.2	2.0	9.1	1.0
	神奈川幸ヶ谷	132	43.2	26.5	20.5	1.5	6.8	1.5
	神ノ木西寺尾	95	34.7	30.5	17.9	1.1	14.7	1.1
	子安入江	112	29.5	36.6	23.2	1.8	6.3	2.7
	白幡浦島丘	96	29.2	34.4	25.0	4.2	4.2	3.1
	神西神北	117	34.2	26.5	25.6	4.3	8.5	0.9
	神大寺	88	22.7	35.2	23.9	4.5	9.1	4.5
	菅田	120	28.3	25.0	33.3	0.8	10.0	2.5
	羽沢	79	34.2	39.2	19.0	2.5	5.1	0.0
	松見	109	36.7	28.4	18.3	4.6	10.1	1.8
	三ツ沢	110	33.6	37.3	18.2	2.7	7.3	0.9
	六角橋	89	29.2	34.8	22.5	1.1	10.1	2.2
	無回答	27	25.9	18.5	18.5	0.0	3.7	33.3

■ 居住年数別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて(問11× F10)

- ・ 居住年数の浅い「3年未満」「3～5年未満」「5年～10年未満」では「責任を持って活動してもらおう意味でよいと思う」が最も多く、居住年数が10年を超える「10～20年未満」「20年以上」では「交通費程度はよいと思う」が最も多くなっている。

図 居住年数別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

問11 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

		全体	責任を持って活動してもらおう意味でよいと思う	交通費程度はよいと思う	近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う	その他	わからない	無回答
		1,518	496	482	343	36	117	44
		100.0	32.7	31.8	22.6	2.4	7.7	2.9
F10 居住年数	3年未満	232	37.9	32.3	18.5	1.7	9.1	0.4
	3～5年未満	144	38.9	26.4	22.2	2.1	7.6	2.8
	5年～10年未満	255	35.7	32.9	17.6	2.0	8.2	3.5
	10～20年未満	275	31.3	34.2	22.2	2.5	8.0	1.8
	20年以上	588	28.7	31.6	26.7	2.9	7.1	2.9
	無回答	24	25.0	20.8	20.8	0.0	0.0	33.3

■ 就労状況別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて(問11× F11)

- ・ 「自営業」では「近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う」が最も多い。「会社員・公務員・団体職員」「パート・アルバイト等」では「責任を持って活動してもらおう意味でよいと思う」が、「学生」「就労していない」「その他」では「交通費程度はよいと思う」が最も多かった。

図 就労状況別 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

問11 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて

		全体	責任を持って活動してもらおう意味でよいと思う	交通費程度はよいと思う	近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う	その他	わからない	無回答
		1,518	496	482	343	36	117	44
		100.0	32.7	31.8	22.6	2.4	7.7	2.9
F11 就労状況	自営業	133	27.1	27.1	32.3	3.0	6.8	3.8
	会社員・公務員・団体職員	530	35.8	34.0	19.8	2.3	7.0	1.1
	学生	27	18.5	44.4	29.6	0.0	3.7	3.7
	パート・アルバイト等	217	37.8	30.4	19.4	4.6	6.9	0.9
	就労していない	479	30.3	30.7	25.1	1.9	9.0	3.1
	その他	93	30.1	33.3	19.4	0.0	11.8	5.4
	無回答	39	25.6	25.6	17.9	2.6	2.6	25.6

問 12 近所や地域に介護や子育て等で困っている家庭があった場合、あなたは下記の項目について、手助けができますか。また、できる場合の対価はどの程度だと考えますか。(A行動、B 対価のそれぞれに○を一つずつ)

- ・ 「できる」が最も多かったのは「災害時の手助け」で、70.2%と7割以上の人が「できる」としている。次いで「見守りや安否の確認」(64.4%)、「ゴミ出し」(59.2%)、「話し相手」(54.3%)、「買い物の手伝い」(51.6%)については、「できる」が過半数を超えている。
- ・ 一方「できない」が最も多かったのは「子どもの預かり」で、64.1%が「できない」としている。また、「家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い」(63.7%)、「お弁当の配食」(62.8%)、「外出の付き添い」(60.9%)についても「できない」が6割を超え、「できる」よりも多くなっている。
- ・ できる場合の対価については、「無料」が最も多かったのは「災害時の手助け」(63.4%)、「ゴミ出し」(54.6%)、「見守りや安否の確認」(53.7%)、「話し相手」(48.3%)、「子どもの預かり」(19.8%)となっており、「子どもの預かり」を除いて前項で「できる手助け」として挙げられていた項目で「無料」の割合が高くなっている。また、「交通費程度」が最も多かったのは「買い物の手伝い」(28.5%)、「外出の付き添い」(24.0%)、「実費相当」が最も多かったのは「お弁当の配食」(21.4%)、「家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い」(20.8%)と、具体的に経費がかかる項目が挙げられている。なお「実費相当+謝礼」が最も多かったものはなかった。

図 近所や地域に介護や子育て等で困っている家庭があった場合にできる手助け

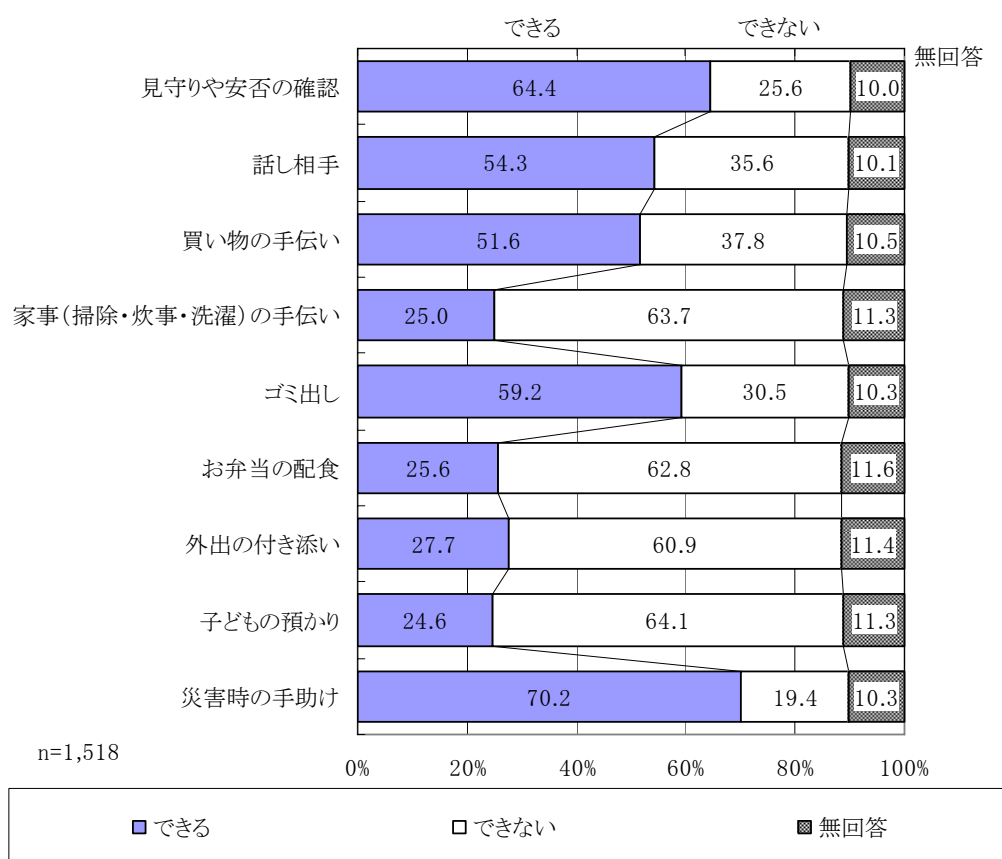
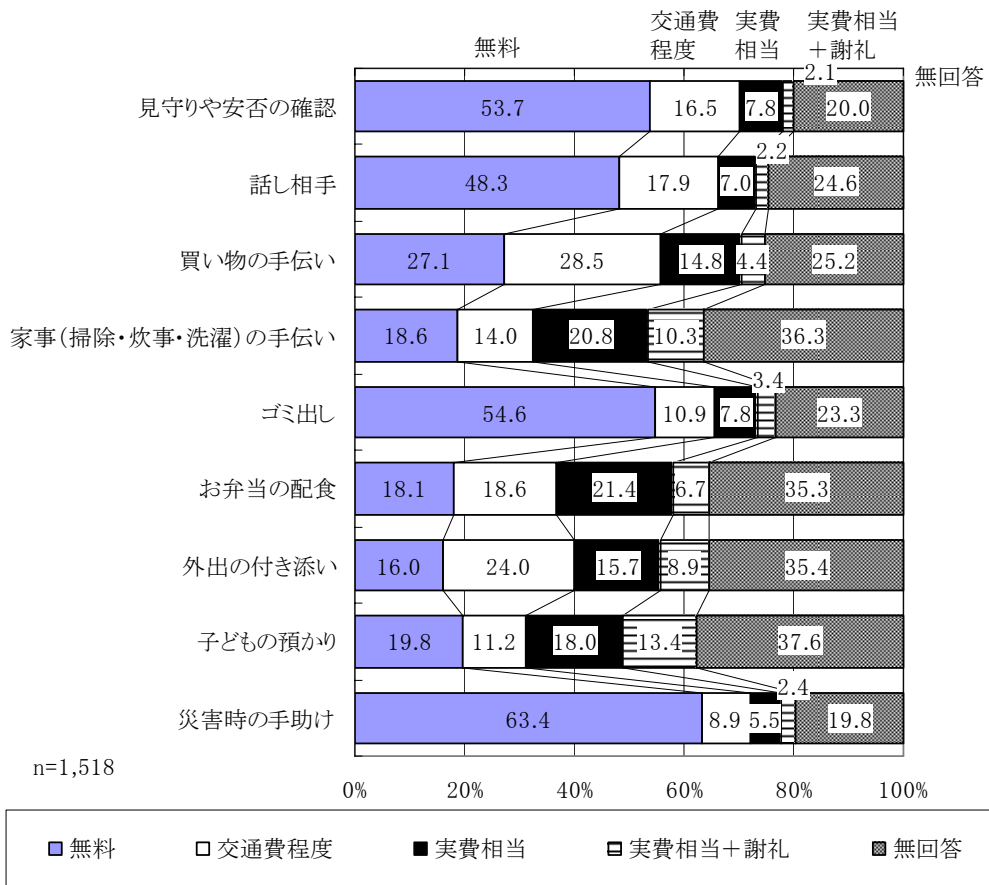


図 手助けができる場合の対価



■ 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価(問12× F1, 2, 3)

① 見守りや安否の確認

<男女別>

- ・ 男女とも「できる」が6割台を占め、対価は共に過半数が「無料」としている。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「できる」の方が多い。対価は「無料」が最多となっており、特に20代では数値が高い。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「できる」の方が多く、「神奈川幸ヶ谷」「羽沢」でやや高い数値となっている。対価はどの地域も「無料」が最も多い。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ① 見守りや安否の確認

		問12 手助けができるか 見守りや安否の確認				問12 手助けする場合の対価 見守りや安否の確認					
		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	977	389	152	1,518	815	250	118	32	303
		100.0	64.4	25.6	10.0	100.0	53.7	16.5	7.8	2.1	20.0
F 1 性別	男性	556	63.8	28.1	8.1	556	54.5	16.7	8.6	2.5	17.6
	女性	926	66.3	24.5	9.2	926	54.4	16.5	7.5	1.9	19.7
	無回答	36	22.2	16.7	61.1	36	22.2	11.1	2.8	0.0	63.9
F 2 年齢	20～29歳	131	69.5	27.5	3.1	131	68.7	15.3	6.1	0.0	9.9
	30～39歳	282	72.0	26.6	1.4	282	53.9	21.6	11.7	4.3	8.5
	40～49歳	266	66.9	28.2	4.9	266	51.9	19.2	11.3	2.3	15.4
	50～59歳	261	67.4	26.4	6.1	261	55.6	19.2	6.5	3.4	15.3
	60～69歳	282	67.0	24.5	8.5	282	57.1	15.6	6.7	1.1	19.5
	70歳以上	276	48.9	22.5	28.6	276	44.6	8.3	4.0	0.7	42.4
	無回答	20	25.0	15.0	60.0	20	30.0	5.0	0.0	0.0	65.0
F 3 居住地域	青木	160	68.1	23.8	8.1	160	53.1	23.1	4.4	2.5	16.9
	大口七島	85	61.2	27.1	11.8	85	48.2	15.3	8.2	3.5	24.7
	片倉三枚	99	65.7	29.3	5.1	99	56.6	18.2	8.1	1.0	16.2
	神奈川幸ヶ谷	132	74.2	16.7	9.1	132	61.4	12.1	10.6	3.0	12.9
	神ノ木西寺尾	95	58.9	27.4	13.7	95	54.7	12.6	5.3	3.2	24.2
	子安入江	112	62.5	30.4	7.1	112	52.7	18.8	7.1	0.9	20.5
	白幡浦島丘	96	59.4	27.1	13.5	96	47.9	19.8	5.2	2.1	25.0
	神西神北	117	65.0	29.1	6.0	117	59.8	12.0	8.5	3.4	16.2
	神大寺	88	72.7	14.8	12.5	88	53.4	13.6	14.8	0.0	18.2
	菅田	120	57.5	30.8	11.7	120	56.7	10.8	7.5	2.5	22.5
	羽沢	79	73.4	19.0	7.6	79	60.8	17.7	3.8	2.5	15.2
	松見	109	63.3	30.3	6.4	109	48.6	22.0	8.3	0.9	20.2
	三ツ沢	110	65.5	25.5	9.1	110	50.9	15.5	10.9	1.8	20.9
	六角橋	89	61.8	29.2	9.0	89	51.7	19.1	6.7	2.2	20.2
	無回答	27	25.9	18.5	55.6	27	25.9	11.1	7.4	0.0	55.6

② 話し相手

<男女別>

- ・ 男女とも「できる」の方が多く、女性は男性を9.4ポイント上回る。対価は共に「無料」が半数弱を占める。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「できる」の方が多いが、40代では「できない」の数値が他に比べるとやや高い。対価は「無料」が最多となっており、特に20代では数値が高い。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「できる」の方が多く、「羽沢」では高い数値となっている。対価はどの地域も「無料」が最も多く、「菅田」ではやや高い数値である。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ② 話し相手

		問12 手助けができるか				問12 手助けする場合の対価					
		話し相手				話し相手					
		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全 体		1,518	824	541	153	1,518	733	271	106	34	374
		100.0	54.3	35.6	10.1	100.0	48.3	17.9	7.0	2.2	24.6
F 1 性別	男性	556	49.1	41.2	9.7	556	49.1	17.1	7.4	2.9	23.6
	女性	926	58.5	32.9	8.5	926	48.9	18.6	6.9	1.9	23.7
	無回答	36	25.0	19.4	55.6	36	19.4	11.1	2.8	0.0	66.7
F 2 年齢	20～29歳	131	61.1	35.9	3.1	131	62.6	15.3	3.1	0.8	18.3
	30～39歳	282	56.7	41.5	1.8	282	43.6	25.9	11.7	4.3	14.5
	40～49歳	266	50.0	44.7	5.3	266	39.5	21.8	12.8	3.4	22.6
	50～59歳	261	53.3	39.8	6.9	261	51.3	19.9	5.4	3.1	20.3
	60～69歳	282	59.6	33.0	7.4	282	55.0	15.2	6.0	1.1	22.7
	70歳以上	276	50.0	21.0	29.0	276	47.1	8.0	1.4	0.4	43.1
	無回答	20	30.0	15.0	55.0	20	20.0	15.0	0.0	0.0	65.0
F 3 居住地域	青木	160	56.3	35.6	8.1	160	48.1	20.0	6.9	1.9	23.1
	大口七島	85	52.9	32.9	14.1	85	45.9	15.3	5.9	3.5	29.4
	片倉三枚	99	54.5	39.4	6.1	99	48.5	22.2	8.1	0.0	21.2
	神奈川幸ヶ谷	132	52.3	38.6	9.1	132	47.0	17.4	8.3	4.5	22.7
	神ノ木西寺尾	95	56.8	33.7	9.5	95	55.8	12.6	5.3	2.1	24.2
	子安入江	112	52.7	42.0	5.4	112	46.4	22.3	8.9	0.9	21.4
	白幡浦島丘	96	46.9	37.5	15.6	96	43.8	18.8	5.2	2.1	30.2
	神西神北	117	58.1	37.6	4.3	117	52.1	13.7	12.8	5.1	16.2
	神大寺	88	47.7	37.5	14.8	88	48.9	14.8	9.1	1.1	26.1
	菅田	120	55.0	33.3	11.7	120	57.5	11.7	3.3	1.7	25.8
	羽沢	79	67.1	25.3	7.6	79	48.1	24.1	2.5	2.5	22.8
	松見	109	57.8	34.9	7.3	109	40.4	24.8	8.3	2.8	23.9
	三ツ沢	110	55.5	33.6	10.9	110	50.0	17.3	6.4	0.0	26.4
	六角橋	89	51.7	39.3	9.0	89	47.2	18.0	4.5	2.2	28.1
	無回答	27	33.3	14.8	51.9	27	29.6	7.4	7.4	3.7	51.9

③ 買い物の手伝い

<男女別>

- 男女とも「できる」の方が多い。対価は男性では「無料」、女性では「交通費程度」が最も多くなっている。

<年齢別>

- 70代以上で「できない」の方が多くなっているが、それ以外は「できる」が過半数を占める。また、対価は60代、70代以上では「無料」が最も多く、60代では高い数値である。20代から50代まででは「交通費程度」が最多となっているほか、30代、40代では「実費相当」の数値が他に比べて高い。

<地域別>

- いずれの地域も「できる」の方が多く、「三ツ沢」で高い数値となっている。対価は「青木」「神ノ木西寺尾」「子安入江」「神西神北」「神大寺」「菅田」では「無料」、「大口七島」「神奈川幸ヶ谷」「白幡浦島丘」「羽沢」「松見」「三ツ沢」「六角橋」では「交通費程度」が最も多く、「片倉三枚」ではこれらが同率となっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ③ 買い物の手伝い

		問12 手助けができるか 買い物の手伝い				問12 手助けする場合の対価 買い物の手伝い					
		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	784	574	160	1,518	412	432	224	67	383
		100.0	51.6	37.8	10.5	100.0	27.1	28.5	14.8	4.4	25.2
F 1 性別	男性	556	47.7	43.3	9.0	556	29.7	25.9	14.7	5.2	24.5
	女性	926	55.2	35.2	9.6	926	26.3	30.3	15.2	4.1	24.0
	無回答	36	22.2	19.4	58.3	36	8.3	19.4	2.8	0.0	69.4
F 2 年齢	20～29歳	131	58.8	38.2	3.1	131	30.5	32.1	14.5	4.6	18.3
	30～39歳	282	57.8	40.8	1.4	282	18.1	33.0	25.2	10.3	13.5
	40～49歳	266	56.8	38.7	4.5	266	19.9	33.5	24.1	4.9	17.7
	50～59歳	261	57.1	36.8	6.1	261	29.9	33.7	13.0	4.2	19.2
	60～69歳	282	56.0	35.8	8.2	282	41.1	27.0	7.8	1.4	22.7
	70歳以上	276	29.3	38.0	32.6	276	26.1	14.5	5.1	1.4	52.9
	無回答	20	25.0	20.0	55.0	20	10.0	20.0	0.0	0.0	70.0
F 3 居住地域	青木	160	58.1	33.1	8.8	160	31.9	30.0	12.5	3.1	22.5
	大口七島	85	50.6	35.3	14.1	85	23.5	24.7	10.6	7.1	34.1
	片倉三枚	99	49.5	43.4	7.1	99	32.3	32.3	14.1	2.0	19.2
	神奈川幸ヶ谷	132	56.1	35.6	8.3	132	26.5	27.3	15.2	8.3	22.7
	神ノ木西寺尾	95	48.4	41.1	10.5	95	28.4	21.1	17.9	3.2	29.5
	子安入江	112	48.2	44.6	7.1	112	27.7	26.8	16.1	2.7	26.8
	白幡浦島丘	96	46.9	38.5	14.6	96	24.0	34.4	11.5	4.2	26.0
	神西神北	117	50.4	41.0	8.5	117	29.1	25.6	16.2	6.0	23.1
	神大寺	88	52.3	34.1	13.6	88	27.3	26.1	18.2	4.5	23.9
	菅田	120	44.2	42.5	13.3	120	33.3	27.5	10.8	1.7	26.7
	羽沢	79	57.0	34.2	8.9	79	27.8	31.6	11.4	6.3	22.8
	松見	109	54.1	38.5	7.3	109	22.9	26.6	22.0	5.5	22.9
	三ツ沢	110	61.8	30.0	8.2	110	23.6	33.6	19.1	3.6	20.0
	六角橋	89	51.7	39.3	9.0	89	21.3	34.8	12.4	4.5	27.0
	無回答	27	14.8	33.3	51.9	27	11.1	14.8	7.4	3.7	63.0

④ 家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い

<男女別>

- 男女とも「できない」の方が多く、特に男性は女性を11.1ポイント上回り7割を超える。対価は男性では「無料」、女性では「実費相当」が最も多い。

<年齢別>

- いずれも「できない」の方が多くなっているが、20代では「できる」の数値が他に比べて高い。また、対価は20代から40代までは「実費相当」が最も多く、20代では数値が高い。50代では「無料」と「実費相当」が同率、60代、70代以上では「無料」が最も多く、50代を境に傾向が分かれた。また30代では「実費相当+謝礼」の数値が他に比べて高い。

<地域別>

- いずれの地域も「できない」の方が多く。対価は「青木」で「交通費相当」が、「子安入江」「菅田」「羽沢」「三ツ沢」では「無料」が最も多く、「菅田」で数値が高い。「大口七島」「神奈川幸ヶ谷」「神ノ木西寺尾」「白幡浦島丘」「神西神北」「神大寺」「松見」「六角橋」では「実費相当」が最も多く、「神西神北」で高い数値となっている。「片倉三枚」では「無料」と「実費相当」が同率となっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ④ 家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い

		問12 手助けができるか				問12 手助けする場合の対価					
		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	379	967	172	1,518	282	212	316	157	551
		100.0	25.0	63.7	11.3	100.0	18.6	14.0	20.8	10.3	36.3
F 1 性別	男性	556	18.3	71.6	10.1	556	22.8	14.2	18.5	10.6	33.8
	女性	926	29.4	60.5	10.2	926	16.5	14.0	22.6	10.6	36.3
	無回答	36	13.9	25.0	61.1	36	5.6	8.3	11.1	0.0	75.0
F 2 年齢	20~29歳	131	35.9	61.1	3.1	131	17.6	15.3	32.1	13.0	22.1
	30~39歳	282	26.2	72.3	1.4	282	12.1	13.5	28.4	21.3	24.8
	40~49歳	266	24.4	70.3	5.3	266	13.9	17.7	25.9	13.2	29.3
	50~59歳	261	26.1	67.8	6.1	261	20.3	18.4	20.3	9.6	31.4
	60~69歳	282	28.7	60.6	10.6	282	27.0	15.6	16.0	3.5	37.9
	70歳以上	276	14.9	51.4	33.7	276	21.4	5.1	8.7	3.6	61.2
	無回答	20	15.0	30.0	55.0	20	0.0	5.0	15.0	0.0	80.0
F 3 居住地域	青木	160	24.4	65.6	10.0	160	16.9	21.9	16.9	10.6	33.8
	大口七島	85	22.4	63.5	14.1	85	11.8	12.9	18.8	12.9	43.5
	片倉三枚	99	23.2	69.7	7.1	99	23.2	17.2	23.2	6.1	30.3
	神奈川幸ヶ谷	132	31.1	59.8	9.1	132	17.4	10.6	25.8	14.4	31.8
	神ノ木西寺尾	95	31.6	57.9	10.5	95	16.8	11.6	20.0	10.5	41.1
	子安入江	112	22.3	69.6	8.0	112	22.3	13.4	16.1	12.5	35.7
	白幡浦島丘	96	25.0	59.4	15.6	96	16.7	13.5	24.0	9.4	36.5
	神西神北	117	29.1	63.2	7.7	117	16.2	8.5	30.8	11.1	33.3
	神大寺	88	26.1	59.1	14.8	88	21.6	12.5	25.0	6.8	34.1
	菅田	120	25.8	61.7	12.5	120	30.0	9.2	19.2	9.2	32.5
	羽沢	79	25.3	62.0	12.7	79	19.0	17.7	12.7	13.9	36.7
	松見	109	27.5	64.2	8.3	109	15.6	17.4	22.0	10.1	34.9
	三ツ沢	110	20.0	70.0	10.0	110	19.1	12.7	17.3	8.2	42.7
	六角橋	89	19.1	70.8	10.1	89	14.6	16.9	20.2	10.1	38.2
	無回答	27	3.7	40.7	55.6	27	7.4	7.4	14.8	3.7	66.7

⑤ ゴミ出し

<男女別>

- ・ 男女とも「できる」の方が多くなっている。対価は共に「無料」が最も多く、男女差はみられなかった。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「できる」の方が多くなっており、20代ではやや高い数値となっている。対価はいずれも「無料」が最も多く、これも20代で数値が高い。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「できる」の方が多く、対価は「無料」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑤ ゴミ出し

問12 手助けができるか

問12 手助けする場合の対価

ゴミ出し

ゴミ出し

		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全 体		1,518	899	463	156	1,518	829	165	119	51	354
		100.0	59.2	30.5	10.3	100.0	54.6	10.9	7.8	3.4	23.3
F 1 性別	男性	556	57.2	34.5	8.3	556	55.2	9.9	8.1	4.1	22.7
	女性	926	61.6	28.8	9.6	926	55.5	11.8	7.8	3.0	21.9
	無回答	36	30.6	11.1	58.3	36	22.2	2.8	5.6	0.0	69.4
F 2 年齢	20～29歳	131	68.7	27.5	3.8	131	64.9	13.0	7.6	3.8	10.7
	30～39歳	282	59.6	39.0	1.4	282	45.7	15.6	14.2	8.2	16.3
	40～49歳	266	59.8	35.7	4.5	266	51.9	13.5	13.2	4.1	17.3
	50～59歳	261	63.6	30.3	6.1	261	61.3	13.8	5.4	2.7	16.9
	60～69歳	282	65.6	25.9	8.5	282	62.1	9.2	5.0	0.4	23.4
	70歳以上	276	44.6	25.0	30.4	276	49.3	1.8	2.2	1.4	45.3
	無回答	20	40.0	5.0	55.0	20	30.0	5.0	0.0	0.0	65.0
F 3 居住地域	青木	160	59.4	31.3	9.4	160	52.5	14.4	6.9	4.4	21.9
	大口七島	85	62.4	25.9	11.8	85	50.6	8.2	10.6	3.5	27.1
	片倉三枚	99	59.6	33.3	7.1	99	62.6	11.1	7.1	2.0	17.2
	神奈川幸ヶ谷	132	56.8	34.1	9.1	132	52.3	9.1	12.1	4.5	22.0
	神ノ木西寺尾	95	60.0	30.5	9.5	95	53.7	8.4	7.4	2.1	28.4
	子安入江	112	56.3	37.5	6.3	112	50.0	13.4	9.8	1.8	25.0
	白幡浦島丘	96	60.4	25.0	14.6	96	55.2	13.5	5.2	3.1	22.9
	神西神北	117	61.5	30.8	7.7	117	58.1	9.4	8.5	3.4	20.5
	神大寺	88	60.2	25.0	14.8	88	60.2	6.8	8.0	2.3	22.7
	菅田	120	56.7	32.5	10.8	120	60.8	10.8	4.2	1.7	22.5
	羽沢	79	62.0	29.1	8.9	79	49.4	12.7	7.6	3.8	26.6
	松見	109	58.7	33.9	7.3	109	50.5	13.8	10.1	4.6	21.1
	三ツ沢	110	67.3	24.5	8.2	110	60.0	9.1	7.3	2.7	20.9
	六角橋	89	58.4	32.6	9.0	89	53.9	11.2	5.6	6.7	22.5
	無回答	27	25.9	18.5	55.6	27	33.3	3.7	3.7	3.7	55.6

⑥ お弁当の配食

<男女別>

- 男女とも「できない」の方が多くなっている。対価は男性では「無料」、女性は「実費相当」が最も多くなっている。

<年齢別>

- いずれの世代も「できない」の方が多くなっているが、20代では「できる」の割合が他に比べてやや高い。対価は、20代と50代では「交通費程度」、30代と40代は「実費相当」が最も多く、30代は数値が高かった。60代、70代以上では「無料」が最も多い。

<地域別>

- いずれの地域も「できない」の方が多く、特に「片倉三枚」では数値が高い。対価については回答が分散し、「子安入江」「菅田」では「無料」、「青木」「神大寺」「羽沢」「六角橋」では「交通費程度」が最も多く「片倉三枚」ではこれらが同率である。「大口七島」「神奈川幸ヶ谷」「神ノ木西寺尾」「白幡浦島丘」「神西神北」「松見」「三ツ沢」では「実費相当」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑥ お弁当の配食

		問12 手助けができるか				問12 手助けする場合の対価					
		お弁当の配食				お弁当の配食					
		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	389	953	176	1,518	274	282	325	101	536
		100.0	25.6	62.8	11.6	100.0	18.1	18.6	21.4	6.7	35.3
F 1 性別	男性	556	22.8	67.1	10.1	556	22.5	18.2	20.3	7.2	31.8
	女性	926	27.6	61.8	10.6	926	15.8	19.1	22.6	6.5	36.1
	無回答	36	16.7	22.2	61.1	36	8.3	11.1	8.3	2.8	69.4
F 2 年齢	20～29歳	131	35.1	60.3	4.6	131	19.1	26.7	22.9	9.2	22.1
	30～39歳	282	30.1	68.4	1.4	282	12.4	20.2	31.2	13.8	22.3
	40～49歳	266	24.4	70.3	5.3	266	15.0	22.2	28.2	8.3	26.3
	50～59歳	261	23.4	69.7	6.9	261	19.2	23.8	19.9	5.0	32.2
	60～69歳	282	30.5	59.2	10.3	282	23.0	16.3	19.1	3.5	37.9
	70歳以上	276	14.5	51.4	34.1	276	20.7	6.9	8.7	1.8	62.0
	無回答	20	30.0	15.0	55.0	20	10.0	20.0	10.0	0.0	60.0
F 3 居住地域	青木	160	28.8	61.9	9.4	160	15.0	23.8	23.1	6.3	31.9
	大口七島	85	24.7	58.8	16.5	85	10.6	12.9	20.0	10.6	45.9
	片倉三枚	99	16.2	73.7	10.1	99	22.2	22.2	17.2	6.1	32.3
	神奈川幸ヶ谷	132	28.0	61.4	10.6	132	18.9	18.2	20.5	9.1	33.3
	神ノ木西寺尾	95	24.2	63.2	12.6	95	21.1	12.6	25.3	5.3	35.8
	子安入江	112	22.3	69.6	8.0	112	22.3	18.8	20.5	3.6	34.8
	白幡浦島丘	96	26.0	59.4	14.6	96	16.7	15.6	26.0	6.3	35.4
	神西神北	117	26.5	66.7	6.8	117	20.5	10.3	28.2	6.8	34.2
	神大寺	88	28.4	56.8	14.8	88	14.8	26.1	18.2	5.7	35.2
	菅田	120	27.5	60.0	12.5	120	24.2	18.3	18.3	7.5	31.7
	羽沢	79	32.9	55.7	11.4	79	15.2	25.3	15.2	10.1	34.2
	松見	109	28.4	65.1	6.4	109	17.4	19.3	22.9	7.3	33.0
	三ツ沢	110	23.6	63.6	12.7	110	15.5	18.2	24.5	2.7	39.1
	六角橋	89	21.3	69.7	9.0	89	18.0	21.3	18.0	7.9	34.8
		無回答	27	18.5	29.6	51.9	27	11.1	7.4	14.8	3.7

⑦ 外出の付き添い

<男女別>

- ・ 男女とも「できない」の方が多く、対価は「交通費程度」が最も多くなっている。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「できない」の方が多くなっているが、20代では「できる」の割合が他に比べてやや高い。対価は、70代では「無料」、40代では「実費相当」が最も多い。それ以外は「交通費程度」が最も多く、特に20代では数値が高かった。また30代では「実費相当+謝礼」の数値が他に比べてやや高い。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「できない」の方が多く、特に「片倉三枚」では数値が高い。対価については「菅田」では「無料」、「神西神北」では「実費相当」、「神奈川幸ヶ谷」では「交通費程度」と「実費相当」が同率となっている。これ以外の地域では「交通費程度」が最も多く、「白幡浦島丘」では数値がやや高い。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑦ 外出の付き添い

		問12 手助けができるか 外出の付き添い				問12 手助けする場合の対価 外出の付き添い					
		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	420	925	173	1,518	243	364	238	135	538
		100.0	27.7	60.9	11.4	100.0	16.0	24.0	15.7	8.9	35.4
F 1 性別	男性	556	23.7	66.2	10.1	556	20.3	23.7	14.0	9.5	32.4
	女性	926	30.6	59.2	10.3	926	13.7	24.5	17.1	8.9	35.9
	無回答	36	13.9	25.0	61.1	36	8.3	13.9	5.6	0.0	72.2
F 2 年齢	20～29歳	131	42.7	54.2	3.1	131	15.3	34.4	19.1	9.2	22.1
	30～39歳	282	31.6	67.0	1.4	282	9.6	27.0	22.7	18.1	22.7
	40～49歳	266	25.6	69.2	5.3	266	15.4	22.6	23.3	10.5	28.2
	50～59歳	261	28.4	65.1	6.5	261	18.0	29.9	13.0	9.6	29.5
	60～69歳	282	30.9	58.9	10.3	282	22.0	24.8	12.4	3.2	37.6
	70歳以上	276	15.2	50.7	34.1	276	15.9	11.6	6.2	3.6	62.7
	無回答	20	20.0	25.0	55.0	20	10.0	15.0	5.0	0.0	70.0
F 3 居住地域	青木	160	27.5	61.9	10.6	160	16.9	27.5	13.1	7.5	35.0
	大口七島	85	24.7	60.0	15.3	85	10.6	17.6	15.3	12.9	43.5
	片倉三枚	99	17.2	73.7	9.1	99	19.2	22.2	20.2	6.1	32.3
	神奈川幸ヶ谷	132	28.8	61.4	9.8	132	15.2	18.9	18.9	13.6	33.3
	神ノ木西寺尾	95	32.6	55.8	11.6	95	11.6	25.3	17.9	8.4	36.8
	子安入江	112	22.3	69.6	8.0	112	19.6	22.3	15.2	7.1	35.7
	白幡浦島丘	96	31.3	53.1	15.6	96	14.6	33.3	12.5	6.3	33.3
	神西神北	117	23.1	69.2	7.7	117	14.5	19.7	20.5	10.3	35.0
	神大寺	88	29.5	55.7	14.8	88	14.8	23.9	17.0	9.1	35.2
	菅田	120	30.0	57.5	12.5	120	25.8	18.3	16.7	6.7	32.5
	羽沢	79	27.8	63.3	8.9	79	12.7	29.1	12.7	10.1	35.4
	松見	109	31.2	61.5	7.3	109	15.6	25.7	15.6	10.1	33.0
	三ツ沢	110	30.9	59.1	10.0	110	13.6	26.4	12.7	10.0	37.3
	六角橋	89	32.6	57.3	10.1	89	15.7	29.2	13.5	7.9	33.7
	無回答	27	22.2	25.9	51.9	27	14.8	18.5	3.7	3.7	59.3

⑧ 子どもの預かり

<男女別>

- 男女とも「できない」の方が多く、特に男性は7割となっている。対価は男性は「無料」、女性は「実費相当」が最も多くなっている。

<年齢別>

- いずれの世代も「できない」の方が多くなっているが、20代では「できる」の割合が他に比べて高い。対価は、20代から40代では「実費相当」、50代以上の世代では「無料」、が最も多い。また30代では「実費相当+謝礼」の数値が他に比べて高い。

<地域別>

- いずれの地域も「できない」の方が多くなっており、特に「子安入江」では数値が高く、「子安入江」でもやや高い。対価については「青木」「大口七島」「神奈川幸ヶ谷」「神西神北」では「実費相当」が最も多く、「子安入江」では「無料」と「実費相当」が同率で、それ以外の地域では「無料」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑧ 子どもの預かり

		問12 手助けができるか 子どもの預かり				問12 手助けする場合の対価 子どもの預かり					
		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	374	973	171	1,518	301	170	273	203	571
		100.0	24.6	64.1	11.3	100.0	19.8	11.2	18.0	13.4	37.6
F 1 性別	男性	556	20.1	70.0	9.9	556	24.1	9.5	16.7	14.9	34.7
	女性	926	27.8	62.0	10.3	926	17.8	12.5	19.0	13.0	37.7
	無回答	36	13.9	27.8	58.3	36	5.6	2.8	11.1	0.0	80.6
F 2 年齢	20～29歳	131	43.5	53.4	3.1	131	22.9	12.2	23.7	18.3	22.9
	30～39歳	282	33.3	65.2	1.4	282	15.2	13.5	25.5	23.4	22.3
	40～49歳	266	27.4	67.3	5.3	266	18.0	12.4	24.8	16.9	27.8
	50～59歳	261	20.7	72.4	6.9	261	22.2	14.6	18.0	13.8	31.4
	60～69歳	282	22.3	68.1	9.6	282	24.8	11.7	11.7	7.4	44.3
	70歳以上	276	10.5	55.4	34.1	276	18.5	4.3	7.6	4.0	65.6
	無回答	20	20.0	30.0	50.0	20	5.0	0.0	15.0	0.0	80.0
F 3 居住地域	青木	160	27.5	62.5	10.0	160	16.9	15.6	21.9	13.1	32.5
	大口七島	85	17.6	67.1	15.3	85	8.2	8.2	18.8	16.5	48.2
	片倉三枚	99	27.3	64.6	8.1	99	23.2	14.1	21.2	9.1	32.3
	神奈川幸ヶ谷	132	26.5	62.1	11.4	132	17.4	10.6	21.2	17.4	33.3
	神ノ木西寺尾	95	29.5	58.9	11.6	95	21.1	9.5	15.8	13.7	40.0
	子安入江	112	13.4	78.6	8.0	112	17.0	12.5	17.0	12.5	41.1
	白幡浦島丘	96	20.8	62.5	16.7	96	21.9	10.4	15.6	14.6	37.5
	神西神北	117	20.5	73.5	6.0	117	15.4	10.3	20.5	17.1	36.8
	神大寺	88	31.8	53.4	14.8	88	23.9	9.1	19.3	10.2	37.5
	菅田	120	28.3	59.2	12.5	120	28.3	6.7	19.2	12.5	33.3
	羽沢	79	22.8	67.1	10.1	79	20.3	15.2	12.7	12.7	39.2
	松見	109	33.0	58.7	8.3	109	23.9	13.8	16.5	15.6	30.3
	三ツ沢	110	20.9	70.9	8.2	110	20.0	10.0	12.7	12.7	44.5
	六角橋	89	24.7	65.2	10.1	89	22.5	12.4	16.9	9.0	39.3
	無回答	27	18.5	33.3	48.1	27	14.8	0.0	11.1	7.4	66.7

⑨ 災害時の手助け

<男女別>

- ・ 男女とも「できる」の方が多く、特に男性は女性を9.8ポイント上回っている。対価は男女とも「無料」が最も多い。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「できる」の方が多く、特に20代と40代での数値が高くなっているが、70代以上では「できない」の割合が他に比べて高い。対価は、いずれも「無料」が最も多く、特に20代では数値が高い。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「できる」の方が多く、7割前後に達する。対価についてはいずれも「無料」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑨ 災害時の手助け

		問12 手助けができるか 災害時の手助け				問12 手助けする場合の対価 災害時の手助け					
		全体	できる	できない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全 体		1,518	1,066	295	157	1,518	962	135	83	37	301
		100.0	70.2	19.4	10.3	100.0	63.4	8.9	5.5	2.4	19.8
F 1 性別	男性	556	77.3	14.2	8.5	556	68.3	8.5	6.1	3.4	13.7
	女性	926	67.5	22.8	9.7	926	62.1	9.4	5.2	1.9	21.4
	無回答	36	30.6	13.9	55.6	36	19.4	2.8	2.8	0.0	75.0
F 2 年齢	20～29歳	131	84.0	12.2	3.8	131	76.3	9.2	4.6	1.5	8.4
	30～39歳	282	78.0	20.6	1.4	282	66.0	11.0	10.3	4.6	8.2
	40～49歳	266	80.5	15.0	4.5	266	68.0	11.3	7.1	3.4	10.2
	50～59歳	261	78.2	15.7	6.1	261	70.1	11.5	3.8	2.3	12.3
	60～69歳	282	72.0	19.5	8.5	282	64.9	8.9	3.5	1.1	21.6
	70歳以上	276	39.1	29.7	31.2	276	44.6	2.5	3.3	1.4	48.2
	無回答	20	35.0	15.0	50.0	20	30.0	0.0	0.0	0.0	70.0
F 3 居住地域	青木	160	76.3	13.8	10.0	160	63.1	15.0	3.8	1.3	16.9
	大口七島	85	69.4	15.3	15.3	85	57.6	12.9	2.4	3.5	23.5
	片倉三枚	99	75.8	18.2	6.1	99	71.7	10.1	6.1	0.0	12.1
	神奈川幸ヶ谷	132	74.2	18.2	7.6	132	64.4	6.8	7.6	3.8	17.4
	神ノ木西寺尾	95	63.2	26.3	10.5	95	61.1	6.3	6.3	4.2	22.1
	子安入江	112	70.5	22.3	7.1	112	64.3	11.6	3.6	1.8	18.8
	白幡浦島丘	96	65.6	20.8	13.5	96	63.5	6.3	4.2	2.1	24.0
	神西神北	117	68.4	23.9	7.7	117	60.7	6.8	9.4	6.8	16.2
	神大寺	88	70.5	15.9	13.6	88	68.2	5.7	4.5	2.3	19.3
	菅田	120	69.2	19.2	11.7	120	64.2	8.3	4.2	1.7	21.7
	羽沢	79	70.9	19.0	10.1	79	70.9	8.9	2.5	1.3	16.5
	松見	109	71.6	22.0	6.4	109	66.1	8.3	6.4	0.0	19.3
	三ツ沢	110	70.0	20.9	9.1	110	58.2	9.1	8.2	2.7	21.8
	六角橋	89	73.0	18.0	9.0	89	64.0	7.9	6.7	2.2	19.1
	無回答	27	33.3	18.5	48.1	27	29.6	0.0	3.7	3.7	63.0

問 13 あなたや家族が困ったとき、下記の項目のうち、近所や地域の方にとどのような手助けをしてほしいと思いますか。また、手助けをしてもらう場合の対価はどの程度だと考えますか。(A行動、B 対価のそれぞれに○を一つずつ)

- ・ 「手助けしてほしい」が最も多いのは「災害時の手助け」の 82.9%で、「手助けしてほしい」が 8 割を超えている。また「見守りや安否の確認」も 71.7%と、7 割超となっている。また「買い物の手伝い」(53.5%)、「ゴミ出し」(49.4%)、「お弁当の配食」(49.1%)、「話し相手」(46.0%)についても「手助けしてほしい」のほうが多くなっている。
- ・ 一方、「手助けしてほしくない」が「手助けしてほしい」よりも僅かではあるが上回っているのは「家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い」(44.1%)、「外出の付き添い」(43.2%)、「子どもの預かり」(40.8%)の3項目である。
- ・ 手助けの対価については、「無料」が最も多かったのは「災害時の手助け」(50.9%)、「見守りや安否の確認」(45.0%)、「ゴミ出し」(40.6%)、「話し相手」(38.2%)である。「交通費程度」が最も多いのは「買い物の手伝い」(27.2%)である。「実費相当」が最も多いのは「家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い」(24.2%)、「お弁当の配食」(27.4%)、「外出の付き添い」(22.1%)、「子どもの預かり」(21.5%)となっている。なお「実費相当+謝礼」が最も多かったものはなかったが、「子どもの預かり」「家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い」ではそれぞれ 15.4%、14.6%と他に比べてやや数値が高くなっている。

図 自分や家族が困ったとき、してほしい手助け

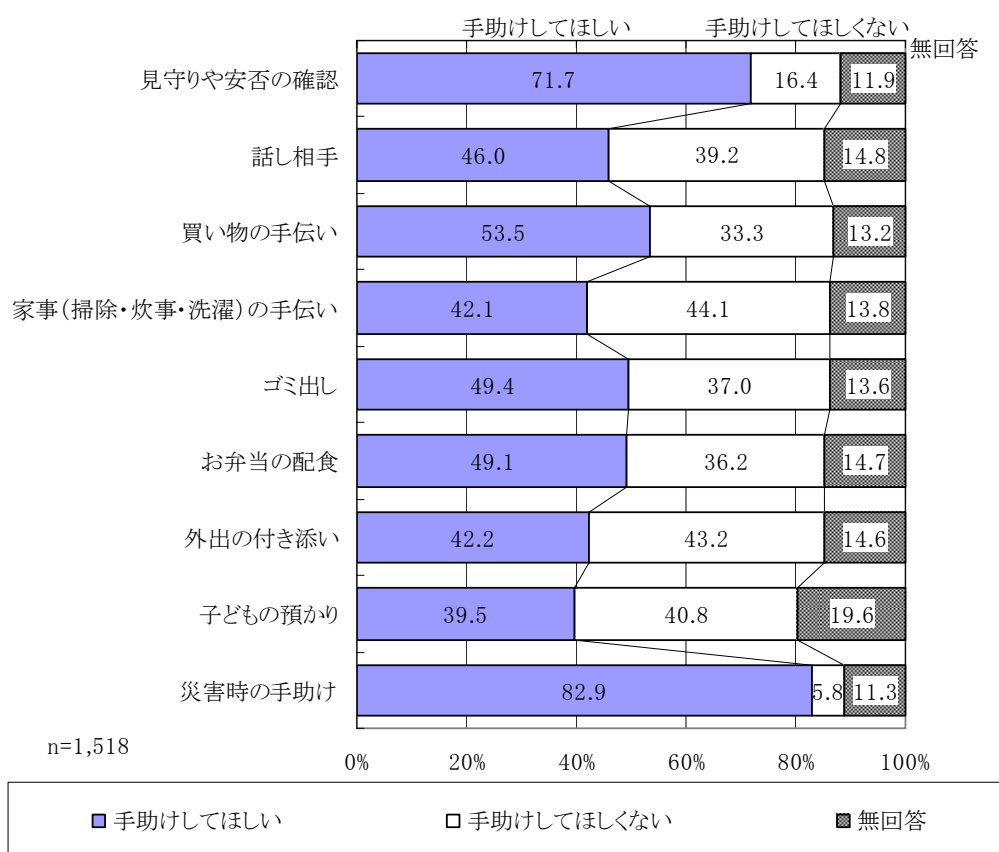
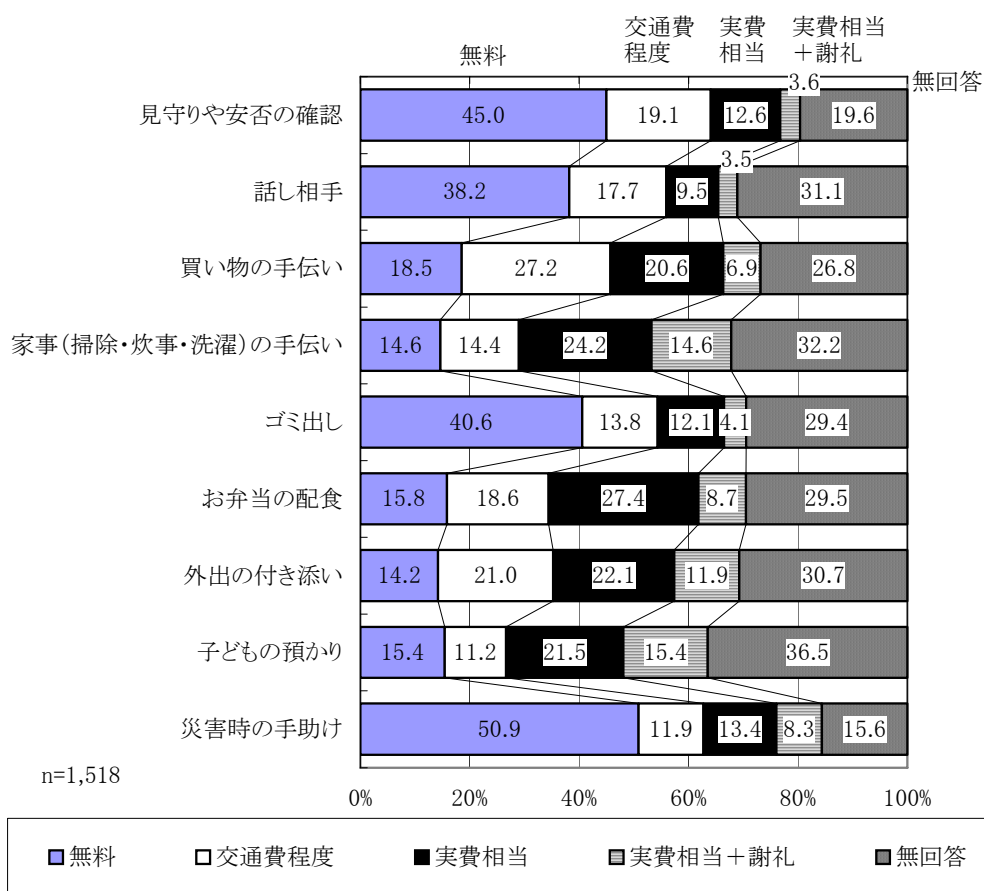


図 手助けの対価



■ 男女・年齢・地域別 希望する手助けと対価(問13× F1, 2, 3)

① 見守りや安否の確認

<男女別>

・ 男女とも「手助けしてほしい」が7割台、対価は半数弱が「無料」としており、男女差はない。

<年齢別>

・ いずれの世代も「手助けしてほしい」の方が多い。対価は「無料」が最多となっており、特に20代では数値が高い。

<地域別>

・ いずれの地域も「手助けしてほしい」の方が多い。対価はどの地域も「無料」が最も多く、特に「菅田」では高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ① 見守りや安否の確認

問13 どのような手助けをしてほしいか 問13 手助けをしてもらう場合の対価

		見守りや安否の確認				見守りや安否の確認					
		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしいくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	1,089	249	180	1,518	683	290	192	55	298
		100.0	71.7	16.4	11.9	100.0	45.0	19.1	12.6	3.6	19.6
F 1 性別	男性	556	71.8	18.2	10.1	556	45.3	19.1	13.5	4.5	17.6
	女性	926	73.0	15.8	11.2	926	45.7	19.5	12.4	3.2	19.1
	無回答	36	38.9	5.6	55.6	36	22.2	8.3	5.6	0.0	63.9
F 2 年齢	20～29歳	131	77.1	17.6	5.3	131	62.6	14.5	9.9	0.8	12.2
	30～39歳	282	78.7	18.1	3.2	282	46.8	20.9	17.4	5.7	9.2
	40～49歳	266	76.7	16.2	7.1	266	43.2	21.4	16.5	3.8	15.0
	50～59歳	261	70.9	22.2	6.9	261	45.2	25.3	11.1	3.8	14.6
	60～69歳	282	73.4	15.2	11.3	282	45.7	19.1	11.7	3.5	19.9
	70歳以上	276	58.3	11.2	30.4	276	37.0	11.6	8.3	2.9	40.2
	無回答	20	45.0	0.0	55.0	20	25.0	15.0	5.0	0.0	55.0
F 3 居住地域	青木	160	78.1	13.8	8.1	160	41.9	25.0	12.5	3.8	16.9
	大口七島	85	65.9	17.6	16.5	85	43.5	17.6	14.1	4.7	20.0
	片倉三枚	99	69.7	18.2	12.1	99	50.5	18.2	13.1	0.0	18.2
	神奈川幸ヶ谷	132	77.3	14.4	8.3	132	45.5	18.2	17.4	5.3	13.6
	神ノ木西寺尾	95	70.5	15.8	13.7	95	45.3	15.8	9.5	4.2	25.3
	子安入江	112	74.1	17.9	8.0	112	51.8	16.1	10.7	3.6	17.9
	白幡浦島丘	96	71.9	12.5	15.6	96	40.6	22.9	12.5	4.2	19.8
	神西神北	117	74.4	17.9	7.7	117	47.0	17.1	17.9	2.6	15.4
	神大寺	88	67.0	20.5	12.5	88	44.3	19.3	13.6	4.5	18.2
	菅田	120	68.3	17.5	14.2	120	55.8	10.0	10.0	2.5	21.7
	羽沢	79	75.9	10.1	13.9	79	39.2	24.1	11.4	3.8	21.5
	松見	109	72.5	15.6	11.9	109	44.0	22.0	10.1	3.7	20.2
	三ツ沢	110	72.7	18.2	9.1	110	40.0	19.1	12.7	6.4	21.8
	六角橋	89	68.5	23.6	7.9	89	40.4	27.0	12.4	0.0	20.2
	無回答	27	37.0	7.4	55.6	27	33.3	3.7	3.7	7.4	51.9

② 話し相手

<男女別>

- ・ 男女とも「手助けしてほしい」の方が多く半数弱である。対価は「無料」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 40代では「手助けしてほしくない」の方が多い。30代では「手助けしてほしい」「手助けしてほしくない」が同率となっている。それ以外の世代では「手助けしてほしい」の方が多く、特に20代では数値が高い。対価はいずれも「無料」が最多となっており、特に20代で数値が高い。

<地域別>

- ・ 「神西神北」「神大寺」「三ツ沢」「六角橋」では「手助けしてほしくない」の方が多い、「六角橋」では数値が高い。それ以外の地域は「手助けしてほしい」の方が多く、「羽沢」で高い数値となっている。対価はどの地域も「無料」が最も多く、特に「菅田」では高い数値となっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ② 話し相手

問13 どのような手助けをしてほしいか 問13 手助けをしてもらう場合の対価
話し相手 話し相手

		話し相手				話し相手					
		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	698	595	225	1,518	580	269	144	53	472
		100.0	46.0	39.2	14.8	100.0	38.2	17.7	9.5	3.5	31.1
F 1 性別	男性	556	45.1	42.6	12.2	556	40.5	15.8	11.5	4.1	28.1
	女性	926	47.2	38.0	14.8	926	37.7	19.1	8.6	3.2	31.3
	無回答	36	27.8	16.7	55.6	36	16.7	11.1	0.0	0.0	72.2
F 2 年齢	20～29歳	131	58.0	36.6	5.3	131	55.0	19.1	6.1	0.0	19.8
	30～39歳	282	48.2	48.2	3.5	282	36.5	21.6	15.2	6.0	20.6
	40～49歳	266	41.0	50.0	9.0	266	35.3	19.5	10.9	4.5	29.7
	50～59歳	261	48.7	41.4	10.0	261	35.2	23.8	10.0	4.6	26.4
	60～69歳	282	47.5	36.5	16.0	282	42.9	16.7	8.2	2.5	29.8
	70歳以上	276	39.9	22.8	37.3	276	34.1	7.2	5.4	1.8	51.4
	無回答	20	30.0	20.0	50.0	20	20.0	10.0	0.0	0.0	70.0
F 3 居住地域	青木	160	51.9	35.0	13.1	160	35.0	21.9	11.3	2.5	29.4
	大口七島	85	47.1	32.9	20.0	85	38.8	15.3	11.8	2.4	31.8
	片倉三枚	99	44.4	39.4	16.2	99	41.4	18.2	9.1	0.0	31.3
	神奈川幸ヶ谷	132	47.7	40.9	11.4	132	34.8	17.4	12.1	7.6	28.0
	神ノ木西寺尾	95	46.3	36.8	16.8	95	44.2	11.6	5.3	4.2	34.7
	子安入江	112	52.7	35.7	11.6	112	38.4	19.6	13.4	4.5	24.1
	白幡浦島丘	96	41.7	37.5	20.8	96	34.4	21.9	6.3	4.2	33.3
	神西神北	117	41.9	47.9	10.3	117	41.9	12.8	13.7	3.4	28.2
	神大寺	88	40.9	43.2	15.9	88	38.6	18.2	8.0	5.7	29.5
	菅田	120	43.3	39.2	17.5	120	50.8	10.0	5.8	2.5	30.8
	羽沢	79	58.2	27.8	13.9	79	32.9	21.5	11.4	5.1	29.1
	松見	109	45.9	42.2	11.9	109	34.9	24.8	5.5	3.7	31.2
	三ツ沢	110	43.6	44.5	11.8	110	33.6	18.2	10.9	2.7	34.5
	六角橋	89	40.4	49.4	10.1	89	38.2	19.1	9.0	0.0	33.7
		無回答	27	29.6	18.5	51.9	27	25.9	7.4	0.0	3.7

③ 買い物の手伝い

<男女別>

- 男女とも「手助けしてほしい」の方が多く半数強である。対価は「交通費程度」が最も多い。

<年齢別>

- いずれの世代も「手助けしてほしい」の方が多いが、30代では「手助けしてほしくない」の数値が他に比べて高い。対価は、70代以上で「無料」、それ以外の世代では「交通費程度」が最多となっている。

<地域別>

- いずれの地域も「手助けしてほしい」の方が多くなっている。対価については、「大口七島」と「神西神北」では「実費相当」が最も多い。「神奈川幸ヶ谷」では「実費相当」と「交通費程度」、「神ノ木西寺尾」では「実費相当」と「無料」がそれぞれ同率となっている。「神大寺」では「無料」と「交通費程度」が同率で、それ以外の地域については「交通費程度」が最も多く、「白幡浦島丘」で高い数値になっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ③ 買い物の手伝い

問13 どのような手助けをしてほしいか 問13 手助けをしてもらう場合の対価
 買い物の手伝い 買い物の手伝い

		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全 体		1,518	812	506	200	1,518	281	413	313	104	407
		100.0	53.5	33.3	13.2	100.0	18.5	27.2	20.6	6.9	26.8
F 1 性別	男性	556	50.0	39.0	11.0	556	21.2	23.2	23.0	7.2	25.4
	女性	926	56.7	30.5	12.9	926	17.3	29.9	19.7	6.8	26.3
	無回答	36	25.0	19.4	55.6	36	8.3	19.4	8.3	2.8	61.1
F 2 年齢	20～29歳	131	53.4	41.2	5.3	131	22.9	29.0	22.1	4.6	21.4
	30～39歳	282	51.8	45.0	3.2	282	18.1	25.9	25.5	10.3	20.2
	40～49歳	266	56.0	36.8	7.1	266	12.8	33.8	24.8	7.9	20.7
	50～59歳	261	61.3	32.2	6.5	261	18.4	33.7	21.5	7.3	19.2
	60～69歳	282	57.8	27.7	14.5	282	24.8	28.0	16.7	5.7	24.8
	70歳以上	276	43.1	22.1	34.8	276	17.0	14.5	15.2	4.3	48.9
	無回答	20	25.0	20.0	55.0	20	5.0	25.0	5.0	5.0	60.0
F 3 居住地域	青木	160	56.3	31.3	12.5	160	21.9	28.8	21.3	5.0	23.1
	大口七島	85	56.5	24.7	18.8	85	14.1	23.5	25.9	8.2	28.2
	片倉三枚	99	48.5	40.4	11.1	99	17.2	28.3	24.2	7.1	23.2
	神奈川幸ヶ谷	132	53.0	37.1	9.8	132	18.9	22.0	22.0	12.9	24.2
	神ノ木西寺尾	95	50.5	35.8	13.7	95	22.1	17.9	22.1	6.3	31.6
	子安入江	112	56.3	33.0	10.7	112	24.1	28.6	16.1	7.1	24.1
	白幡浦島丘	96	54.2	28.1	17.7	96	13.5	37.5	16.7	5.2	27.1
	神西神北	117	53.8	35.9	10.3	117	18.8	23.9	25.6	5.1	26.5
	神大寺	88	56.8	31.8	11.4	88	23.9	23.9	20.5	8.0	23.9
	菅田	120	51.7	31.7	16.7	120	20.8	30.8	15.8	4.2	28.3
	羽沢	79	59.5	27.8	12.7	79	12.7	30.4	19.0	8.9	29.1
	松見	109	52.3	36.7	11.0	109	18.3	29.4	20.2	6.4	25.7
	三ツ沢	110	53.6	37.3	9.1	110	13.6	30.9	20.9	7.3	27.3
	六角橋	89	53.9	36.0	10.1	89	18.0	27.0	23.6	3.4	28.1
	無回答	27	25.9	18.5	55.6	27	7.4	18.5	3.7	11.1	59.3

④ 家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い

<男女別>

- 男女とも「手助けしてほしくない」が「手助けしてほしい」を僅かに上回っている。対価は共に「実費相当」が最も多い。

<年齢別>

- 60代では「手助けしてほしい」の方が多く、70代では「手助けしてほしい」「手助けしてほしくない」が同率となっており、20代から50代までの世代では「手助けしてほしくない」の方が多くなっている。対価は、70代以上で「無料」、それ以外の世代では「実費相当」が最も多くなっている。

<地域別>

- 「青木」「神ノ木西寺尾」「神西神北」「羽沢」では「手助けしてほしい」、それ以外の地域では「手助けしてほしくない」の方が多くなっている。対価については、「子安入江」と「菅田」で「無料」が最も多く、特に「菅田」では数値が高い。「神大寺」では「無料」と「実費相当」が同率で、それ以外の地域については「実費相当」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ④ 家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い

問13 どのような手助けをしてほしいか 問13 手助けをしてもらう場合の対価
家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い 家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い

		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	639	669	210	1,518	222	218	368	221	489
		100.0	42.1	44.1	13.8	100.0	14.6	14.4	24.2	14.6	32.2
F 1 性別	男性	556	42.4	46.4	11.2	556	18.0	15.5	23.0	15.8	27.7
	女性	926	42.9	43.5	13.6	926	13.0	13.8	25.6	14.3	33.4
	無回答	36	16.7	22.2	61.1	36	5.6	11.1	8.3	2.8	72.2
F 2 年齢	20~29歳	131	45.0	49.6	5.3	131	17.6	12.2	34.4	14.5	21.4
	30~39歳	282	45.0	51.4	3.5	282	13.1	14.5	28.4	20.9	23.0
	40~49歳	266	42.5	50.4	7.1	266	10.9	17.3	26.3	17.7	27.8
	50~59歳	261	43.7	47.5	8.8	261	14.2	17.2	26.4	16.5	25.7
	60~69歳	282	47.9	37.9	14.2	282	19.1	16.0	22.7	11.3	30.9
	70歳以上	276	31.9	31.9	36.2	276	15.2	8.0	13.8	7.2	55.8
	無回答	20	15.0	30.0	55.0	20	0.0	15.0	10.0	5.0	70.0
F 3 居住地域	青木	160	50.6	38.8	10.6	160	10.0	17.5	29.4	18.1	25.0
	大口七島	85	35.3	43.5	21.2	85	5.9	12.9	25.9	16.5	38.8
	片倉三枚	99	34.3	52.5	13.1	99	18.2	12.1	27.3	12.1	30.3
	神奈川幸ヶ谷	132	40.9	47.7	11.4	132	14.4	12.1	22.7	22.0	28.8
	神ノ木西寺尾	95	46.3	41.1	12.6	95	17.9	8.4	24.2	14.7	34.7
	子安入江	112	42.9	47.3	9.8	112	21.4	15.2	19.6	11.6	32.1
	白幡浦島丘	96	37.5	42.7	19.8	96	10.4	12.5	27.1	12.5	37.5
	神西神北	117	46.2	45.3	8.5	117	14.5	9.4	32.5	14.5	29.1
	神大寺	88	42.0	43.2	14.8	88	20.5	15.9	20.5	10.2	33.0
	菅田	120	40.8	41.7	17.5	120	25.0	11.7	20.8	10.0	32.5
	羽沢	79	54.4	31.6	13.9	79	7.6	20.3	21.5	17.7	32.9
	松見	109	40.4	48.6	11.0	109	12.8	19.3	24.8	14.7	28.4
	三ツ沢	110	39.1	47.3	13.6	110	12.7	16.4	17.3	16.4	37.3
	六角橋	89	40.4	49.4	10.1	89	12.4	19.1	27.0	11.2	30.3
	無回答	27	22.2	25.9	51.9	27	11.1	11.1	11.1	7.4	59.3

⑤ ゴミ出し

<男女別>

- ・ 男女とも「手助けしてほしい」の方が多くなっている。対価は共に「無料」が最も多く4割強である。

<年齢別>

- ・ 20代から40代までの世代では「手助けしてほしい」、50代以上の世代では「手助けしてほしい」の方が多く、60代では高い数値になっている。対価はいずれも「無料」が最も多く、20代で数値が高い。

<地域別>

- ・ いずれの地域も「手助けしてほしい」の方が多い。対価は「無料」が最多となっており、「菅田」でやや数値が高い。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑤ ゴミ出し

問13 どのような手助けをしてほしいか 問13 手助けをしてもらう場合の対価

		ゴミ出し				ゴミ出し					
		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしいくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	750	561	207	1,518	616	209	184	62	447
		100.0	49.4	37.0	13.6	100.0	40.6	13.8	12.1	4.1	29.4
F 1 性別	男性	556	45.5	43.2	11.3	556	42.4	12.6	13.5	4.9	26.6
	女性	926	52.6	34.0	13.4	926	40.4	14.6	11.7	3.8	29.6
	無回答	36	27.8	16.7	55.6	36	16.7	11.1	2.8	0.0	69.4
F 2 年齢	20～29歳	131	45.8	48.9	5.3	131	51.1	11.5	9.2	3.8	24.4
	30～39歳	282	46.5	50.4	3.2	282	38.3	14.5	17.7	7.8	21.6
	40～49歳	266	44.0	47.4	8.6	266	37.6	19.5	14.3	3.8	24.8
	50～59歳	261	58.2	34.1	7.7	261	44.1	18.8	13.0	4.2	19.9
	60～69歳	282	61.3	25.2	13.5	282	45.4	12.4	11.0	3.2	28.0
	70歳以上	276	40.6	23.6	35.9	276	33.7	5.4	6.9	1.8	52.2
	無回答	20	25.0	20.0	55.0	20	25.0	10.0	0.0	0.0	65.0
F 3 居住地域	青木	160	53.1	33.8	13.1	160	39.4	15.6	15.0	5.6	24.4
	大口七島	85	40.0	37.6	22.4	85	37.6	10.6	15.3	2.4	34.1
	片倉三枚	99	47.5	41.4	11.1	99	44.4	14.1	10.1	5.1	26.3
	神奈川幸ヶ谷	132	47.7	42.4	9.8	132	35.6	14.4	14.4	5.3	30.3
	神ノ木西寺尾	95	47.4	38.9	13.7	95	42.1	7.4	9.5	5.3	35.8
	子安入江	112	51.8	38.4	9.8	112	42.0	13.4	10.7	5.4	28.6
	白幡浦島丘	96	50.0	31.3	18.8	96	38.5	17.7	8.3	4.2	31.3
	神西神北	117	47.9	41.9	10.3	117	42.7	9.4	17.1	1.7	29.1
	神大寺	88	52.3	34.1	13.6	88	48.9	10.2	13.6	3.4	23.9
	菅田	120	45.8	39.2	15.0	120	50.0	10.8	8.3	2.5	28.3
	羽沢	79	57.0	30.4	12.7	79	30.4	17.7	16.5	3.8	31.6
	松見	109	52.3	36.7	11.0	109	39.4	19.3	10.1	4.6	26.6
	三ツ沢	110	56.4	32.7	10.9	110	40.0	14.5	12.7	4.5	28.2
	六角橋	89	49.4	39.3	11.2	89	40.4	19.1	10.1	2.2	28.1
	無回答	27	18.5	25.9	55.6	27	22.2	7.4	0.0	3.7	66.7

⑥ お弁当の配食

<男女別>

- 男女とも「手助けしてほしい」の方が多く、半数前後である。対価は共に「実費相当」が最も多くなっている。

<年齢別>

- いずれの世代でも「手助けしてほしい」の方が多くなっている。対価はいずれも「実費相当」が最も多い。

<地域別>

- 「片倉三枚」のみ「手助けしてほしくない」の方が多くなっているが、それ以外は「手助けしてほしい」の方が多い。対価は、「子安入江」と「羽沢」で「交通費程度」、それ以外の地域では「実費相当」が最多となっており、特に「青木」「神西神北」で数値がやや高い。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑥ お弁当の配食

問13 どのような手助けをしてほしいか 問13 手助けをしてもらう場合の対価

		お弁当の配食				お弁当の配食					
		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	746	549	223	1,518	240	282	416	132	448
		100.0	49.1	36.2	14.7	100.0	15.8	18.6	27.4	8.7	29.5
F 1 性別	男性	556	48.2	40.3	11.5	556	18.0	18.3	28.2	9.4	26.1
	女性	926	51.1	34.1	14.8	926	14.9	19.1	27.8	8.5	29.7
	無回答	36	13.9	25.0	61.1	36	5.6	8.3	5.6	2.8	77.8
F 2 年齢	20～29歳	131	55.0	39.7	5.3	131	22.9	19.1	27.5	9.2	21.4
	30～39歳	282	52.8	43.6	3.5	282	15.6	21.6	33.3	11.7	17.7
	40～49歳	266	52.3	39.5	8.3	266	12.4	19.5	34.6	10.2	23.3
	50～59歳	261	53.6	37.2	9.2	261	18.4	24.9	26.8	8.4	21.5
	60～69歳	282	50.7	33.3	16.0	282	15.6	17.0	26.2	9.9	31.2
	70歳以上	276	35.1	27.2	37.7	276	14.9	9.8	17.4	3.6	54.3
	無回答	20	30.0	15.0	55.0	20	0.0	20.0	10.0	0.0	70.0
F 3 居住地域	青木	160	54.4	32.5	13.1	160	9.4	22.5	36.9	7.5	23.8
	大口七島	85	40.0	38.8	21.2	85	11.8	14.1	22.4	14.1	37.6
	片倉三枚	99	38.4	47.5	14.1	99	21.2	15.2	25.3	8.1	30.3
	神奈川幸ヶ谷	132	50.0	38.6	11.4	132	15.2	17.4	27.3	13.6	26.5
	神ノ木西寺尾	95	42.1	41.1	16.8	95	20.0	12.6	21.1	9.5	36.8
	子安入江	112	57.1	31.3	11.6	112	19.6	25.0	24.1	6.3	25.0
	白幡浦島丘	96	45.8	34.4	19.8	96	16.7	13.5	26.0	9.4	34.4
	神西神北	117	55.6	35.9	8.5	117	14.5	18.8	36.8	5.1	24.8
	神大寺	88	50.0	35.2	14.8	88	21.6	18.2	23.9	9.1	27.3
	菅田	120	45.0	37.5	17.5	120	21.7	15.8	25.8	5.8	30.8
	羽沢	79	57.0	30.4	12.7	79	12.7	22.8	21.5	12.7	30.4
	松見	109	47.7	39.4	12.8	109	16.5	23.9	25.7	7.3	26.6
	三ツ沢	110	58.2	28.2	13.6	110	10.0	20.0	31.8	10.9	27.3
	六角橋	89	47.2	42.7	10.1	89	15.7	19.1	31.5	4.5	29.2
		無回答	27	25.9	18.5	55.6	27	7.4	11.1	7.4	7.4

⑦ 外出の付き添い

<男女別>

- ・ 男性は「手助けしてほしくない」、女性は「手助けしてほしい」の方が多くなっており、男女で傾向が分かれた。対価は共に「実費相当」が最も多くなっている。

<年齢別>

- ・ 60代のみ「手助けしてほしい」、それ以外の世代は「手助けしてほしくない」の方が多く、特に30代で数値が高い。対価は、20代から40代までの世代では「実費相当」、50代、60代では「交通費相当」、70代で「無料」が最も多く、世代間で異なった傾向となっている。

<地域別>

- ・ 「青木」「神ノ木西寺尾」「子安入江」「白幡浦島丘」「羽沢」では「手助けしてほしい」、「大口七島」「神奈川幸ヶ谷」では「手助けしてほしい」「手助けしてほしくない」が同率、それ以外は「手助けしてほしくない」の方が多くなっている。対価は、「菅田」では「無料」、「神ノ木西寺尾」「子安入江」「白幡浦島丘」「松見」「三ツ沢」「六角橋」では「交通費程度」、「神奈川幸ヶ谷」では「交通費程度」と「実費相当」が同率、それ以外の地域では「実費相当」が最多となっている。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑦ 外出の付き添い

問13 どのような手助けをしてほしいか 問13 手助けをしてもらう場合の対価

外出の付き添い

外出の付き添い

		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	640	656	222	1,518	216	319	336	181	466
		100.0	42.2	43.2	14.6	100.0	14.2	21.0	22.1	11.9	30.7
F 1 性別	男性	556	36.0	52.0	12.1	556	18.9	19.1	20.9	12.1	29.1
	女性	926	46.9	38.9	14.3	926	11.8	22.6	23.5	12.3	29.8
	無回答	36	16.7	19.4	63.9	36	5.6	11.1	5.6	0.0	77.8
F 2 年齢	20～29歳	131	46.6	48.1	5.3	131	17.6	25.2	26.7	9.2	21.4
	30～39歳	282	42.6	53.9	3.5	282	13.1	22.7	27.7	15.2	21.3
	40～49歳	266	45.9	46.2	7.9	266	12.0	22.6	27.1	13.9	24.4
	50～59歳	261	45.6	46.0	8.4	261	15.3	23.4	23.0	14.9	23.4
	60～69歳	282	45.7	37.2	17.0	282	15.2	23.4	21.3	9.9	30.1
	70歳以上	276	31.2	31.5	37.3	276	14.9	11.6	10.5	8.0	55.1
	無回答	20	15.0	30.0	55.0	20	0.0	15.0	10.0	0.0	75.0
F 3 居住地域	青木	160	44.4	41.9	13.8	160	10.6	25.0	28.1	8.1	28.1
	大口七島	85	40.0	40.0	20.0	85	10.6	15.3	21.2	18.8	34.1
	片倉三枚	99	35.4	49.5	15.2	99	15.2	17.2	25.3	10.1	32.3
	神奈川幸ヶ谷	132	43.9	43.9	12.1	132	11.4	22.7	22.7	14.4	28.8
	神ノ木西寺尾	95	43.2	42.1	14.7	95	17.9	22.1	16.8	14.7	28.4
	子安入江	112	49.1	41.1	9.8	112	17.0	25.9	18.8	12.5	25.9
	白幡浦島丘	96	43.8	36.5	19.8	96	10.4	26.0	20.8	9.4	33.3
	神西神北	117	44.4	45.3	10.3	117	13.7	18.8	26.5	12.8	28.2
	神大寺	88	39.8	45.5	14.8	88	18.2	12.5	23.9	15.9	29.5
	菅田	120	37.5	45.0	17.5	120	22.5	14.2	22.5	6.7	34.2
	羽沢	79	53.2	32.9	13.9	79	13.9	19.0	21.5	15.2	30.4
	松見	109	41.3	46.8	11.9	109	11.0	29.4	22.0	10.1	27.5
	三ツ沢	110	40.0	46.4	13.6	110	13.6	20.9	17.3	15.5	32.7
	六角橋	89	38.2	51.7	10.1	89	16.9	22.5	21.3	7.9	31.5
	無回答	27	25.9	22.2	51.9	27	7.4	14.8	11.1	7.4	59.3

⑧ 子どもの預かり

<男女別>

- ・ 男性は「手助けしてほしくない」、女性は「手助けしてほしい」の方が多くなっており、男女で傾向が分かれた。対価は共に「実費相当」が最も多くなっている。

<年齢別>

- ・ 20代から40代までの世代では「手助けしてほしい」、それ以上の世代は「手助けしてほしくない」の方が多くなっている。対価は、20代から50代までの世代では「実費相当」が最も多く、30代では数値が高いほか、20代では「実費相当+謝礼」が他世代に比べて高い。60代以上の世代では「無料」が最も多くなっており、世代によって異なった結果がみられた。

<地域別>

- ・ 「青木」「神奈川幸ヶ谷」「神ノ木西寺尾」「神大寺」「羽沢」「松見」では「手助けしてほしい」、それ以外の地域では「手助けしてほしくない」の方が多くなっている。対価は、「子安入江」「菅田」「六角橋」では「無料」、「松見」では「交通費程度」、「片倉三枚」「神奈川幸ヶ谷」「神ノ木西寺尾」「白幡浦島丘」「神西神北」「神大寺」「三ツ沢」では「実費相当」、「大口七島」「羽沢」では「実費相当+謝礼」がそれぞれ最多となっており、地域で回答が分散した。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑧ 子どもの預かり

		問13 どのような手助けをしてほしいか 子どもの預かり				問13 手助けをしてもらう場合の対価 子どもの預かり					
		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全体		1,518	600	620	298	1,518	234	170	326	234	554
		100.0	39.5	40.8	19.6	100.0	15.4	11.2	21.5	15.4	36.5
F 1 性別	男性	556	36.9	46.6	16.5	556	19.2	10.1	21.4	15.8	33.5
	女性	926	41.9	38.6	19.5	926	13.5	12.0	22.0	15.8	36.7
	無回答	36	19.4	11.1	69.4	36	5.6	8.3	8.3	0.0	77.8
F 2 年齢	20～29歳	131	59.5	35.1	5.3	131	17.6	12.2	26.7	24.4	19.1
	30～39歳	282	57.8	37.6	4.6	282	13.1	13.8	30.5	24.1	18.4
	40～49歳	266	50.4	40.2	9.4	266	13.2	13.2	25.9	19.5	28.2
	50～59歳	261	33.3	54.4	12.3	261	17.6	14.2	21.5	15.7	31.0
	60～69歳	282	32.3	40.8	27.0	282	18.1	10.3	17.7	9.9	44.0
	70歳以上	276	15.2	37.0	47.8	276	15.2	4.0	9.8	4.7	66.3
	無回答	20	25.0	10.0	65.0	20	0.0	15.0	15.0	0.0	70.0
F 3 居住地域	青木	160	46.9	35.0	18.1	160	6.9	13.8	28.1	16.9	34.4
	大口七島	85	36.5	38.8	24.7	85	9.4	7.1	18.8	23.5	41.2
	片倉三枚	99	36.4	40.4	23.2	99	17.2	11.1	23.2	7.1	41.4
	神奈川幸ヶ谷	132	46.2	38.6	15.2	132	11.4	13.6	24.2	18.9	31.8
	神ノ木西寺尾	95	45.3	36.8	17.9	95	16.8	10.5	21.1	15.8	35.8
	子安入江	112	37.5	42.9	19.6	112	18.8	13.4	16.1	17.0	34.8
	白幡浦島丘	96	34.4	40.6	25.0	96	14.6	9.4	24.0	13.5	38.5
	神西神北	117	38.5	47.9	13.7	117	12.8	13.7	21.4	18.8	33.3
	神大寺	88	40.9	39.8	19.3	88	19.3	8.0	23.9	13.6	35.2
	菅田	120	35.0	45.8	19.2	120	26.7	5.8	20.0	11.7	35.8
	羽沢	79	49.4	27.8	22.8	79	15.2	13.9	16.5	17.7	36.7
	松見	109	43.1	42.2	14.7	109	16.5	20.2	19.3	13.8	30.3
	三ツ沢	110	32.7	48.2	19.1	110	12.7	5.5	21.8	17.3	42.7
	六角橋	89	32.6	51.7	15.7	89	23.6	9.0	21.3	10.1	36.0
		無回答	27	18.5	18.5	63.0	27	11.1	7.4	7.4	11.1

⑨ 災害時の手助け

<男女別>

・ 男女とも「手助けしてほしい」が8割強、対価は「無料」が半数強で、同様の傾向であった。

<年齢別>

・ いずれの世代も「手助けしてほしい」が大半を占めている。対価は「無料」が最も多く、特に20代で数値が高かった。

<地域別>

・ いずれも「手助けしてほしい」が8割前後である。対価は、「無料」が最も多く、「片倉三枚」で数値が高かった。

図 男女・年齢・地域別 手助けの可否と対価 ⑨ 災害時の手助け

問13 どのような手助けをしてほしいか 問13 手助けをしてもらう場合の対価
災害時の手助け 災害時の手助け

		全体	手助けしてほしい	手助けしてほしくない	無回答	全体	無料	交通費程度	実費相当	実費相当+謝礼	無回答
全 体		1,518	1,259	88	171	1,518	772	180	203	126	237
		100.0	82.9	5.8	11.3	100.0	50.9	11.9	13.4	8.3	15.6
F 1 性別	男性	556	83.6	7.6	8.8	556	52.0	11.5	14.7	8.8	12.9
	女性	926	84.1	4.8	11.1	926	51.4	12.2	12.9	8.1	15.4
	無回答	36	41.7	5.6	52.8	36	19.4	8.3	5.6	5.6	61.1
F 2 年齢	20～29歳	131	90.1	4.6	5.3	131	65.6	11.5	9.2	6.9	6.9
	30～39歳	282	91.1	6.4	2.5	282	57.1	12.8	14.2	11.3	4.6
	40～49歳	266	88.7	5.3	6.0	266	52.3	12.4	15.8	7.9	11.7
	50～59歳	261	87.7	6.1	6.1	261	57.5	14.9	13.0	4.2	10.3
	60～69歳	282	81.6	6.4	12.1	282	47.5	12.8	13.1	10.3	16.3
	70歳以上	276	65.2	5.4	29.3	276	35.1	6.5	13.4	8.7	36.2
	無回答	20	45.0	5.0	50.0	20	25.0	15.0	5.0	0.0	55.0
F 3 居住地域	青木	160	87.5	2.5	10.0	160	45.6	14.4	14.4	10.6	15.0
	大口七島	85	83.5	2.4	14.1	85	47.1	14.1	12.9	10.6	15.3
	片倉三枚	99	85.9	6.1	8.1	99	61.6	11.1	12.1	6.1	9.1
	神奈川幸ヶ谷	132	86.4	6.1	7.6	132	56.8	9.1	13.6	9.1	11.4
	神ノ木西寺尾	95	76.8	10.5	12.6	95	43.2	10.5	13.7	10.5	22.1
	子安入江	112	86.6	4.5	8.9	112	58.9	14.3	11.6	2.7	12.5
	白幡浦島丘	96	81.3	5.2	13.5	96	50.0	11.5	10.4	7.3	20.8
	神西神北	117	86.3	6.0	7.7	117	50.4	11.1	16.2	11.1	11.1
	神大寺	88	78.4	9.1	12.5	88	51.1	11.4	10.2	8.0	19.3
	菅田	120	80.8	6.7	12.5	120	58.3	10.8	10.8	5.0	15.0
	羽沢	79	82.3	5.1	12.7	79	50.6	13.9	13.9	6.3	15.2
	松見	109	87.2	2.8	10.1	109	55.0	12.8	13.8	7.3	11.0
	三ツ沢	110	82.7	7.3	10.0	110	41.8	9.1	18.2	13.6	17.3
	六角橋	89	79.8	10.1	10.1	89	46.1	13.5	16.9	6.7	16.9
		無回答	27	44.4	3.7	51.9	27	25.9	7.4	3.7	7.4

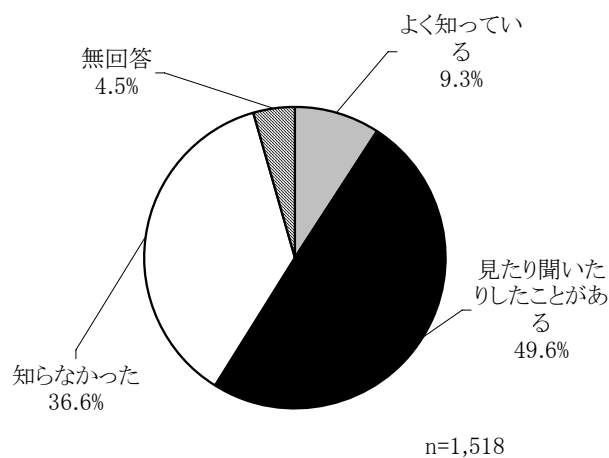
3. 区役所が行っている事業等について

問 14 区役所では区内の名所旧跡などを「わが町 かながわ 50 選」として選定し、その各ポイントを8つの散歩道で紹介する「わが町 かながわ 50 選」散歩道ガイドを発行しています。また、一部のポイントには、案内サインを整備し、魅力あるスポットの情報を広く発信しています。

さらに、散歩道ルート沿いで、休憩スペースや道案内などのご協力をいただける施設を紹介した「おたすけかめの助マップ」の発行や、散歩道ルートに沿ってまち歩きを行う「わが町 かながわ小旅行」など、さまざまな取組が行われています。これらの取組についてご存じですか。(○は1つ)

- ・ 「見たり聞いたりしたことがある」が49.6%で、全体の約半数を占める。次いで「知らなかった」が36.6%である。「よく知っている」は9.3%と1割に満たないが、「見たり聞いたりしたことがある」と合わせると58.9%で、認知度は6割近くになっている。

図 「わが町 かながわ 50 選」などの取組の認知度



■ 年齢別「わが町 かながわ 50 選」などの取組の認知度(問14× F2)

- ・ 20代では「知らなかった」、それ以上の世代は「見たり聞いたりしたことがある」が最も多いほか、年齢が高いほど「よく知っている」が多い傾向にある。

図 年齢別「わが町 かながわ 50 選」などの取組の認知度

問14 名所旧跡、施設、散歩ルート等の情報発信の取り組みについて

		全体	よく知っている	見たり聞いたりしたことがある	知らなかった	無回答
全 体		1,518	141	753	556	68
		100.0	9.3	49.6	36.6	4.5
F 2 年齢	20～29歳	131	4.6	38.9	54.2	2.3
	30～39歳	282	3.5	48.6	45.0	2.8
	40～49歳	266	7.9	48.9	41.0	2.3
	50～59歳	261	9.6	48.3	38.3	3.8
	60～69歳	282	12.4	55.7	27.0	5.0
	70歳以上	276	15.6	51.4	25.0	8.0
	無回答	20	5.0	50.0	20.0	25.0

■ 地域別「わが町 かながわ 50 選」などの取組の認知度(問14× F3)

- ・ 「菅田」のみ「知らなかった」、それ以外の地域は「見たり聞いたりしたことがある」が最も多い。特に「青木」では数値が高く、「知らなかった」が低くなっている。なお、「よく知っている」の数値が一番高かったのは「神大寺」であった。

図 地域別「わが町 かながわ 50 選」などの取組の認知度

問14 名所旧跡、施設、散歩ルート等の情報発信の取り組みについて

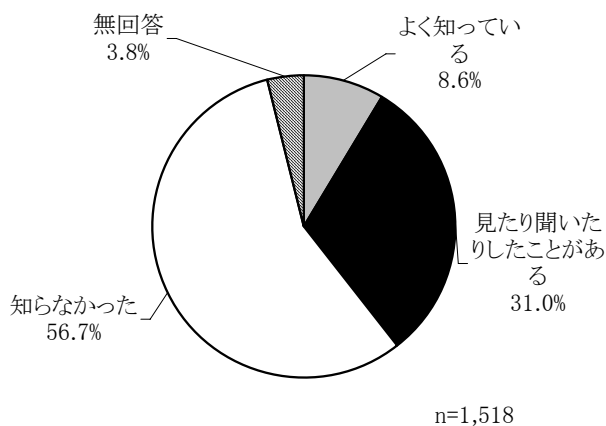
		全体	よく知っている	見たり聞いたりしたことがある	知らなかった	無回答
全 体		1,518	141	753	556	68
		100.0	9.3	49.6	36.6	4.5
F 3	青木	160	9.4	60.0	26.9	3.8
居住地	大口七島	85	8.2	44.7	43.5	3.5
	片倉三枚	99	9.1	52.5	32.3	6.1
	神奈川幸ヶ谷	132	12.1	51.5	33.3	3.0
	神ノ木西寺尾	95	9.5	48.4	37.9	4.2
	子安入江	112	6.3	53.6	37.5	2.7
	白幡浦島丘	96	10.4	51.0	32.3	6.3
	神西神北	117	11.1	50.4	35.9	2.6
	神大寺	88	15.9	44.3	33.0	6.8
	菅田	120	9.2	39.2	45.8	5.8
	羽沢	79	8.9	48.1	41.8	1.3
	松見	109	7.3	47.7	43.1	1.8
	三ツ沢	110	4.5	48.2	41.8	5.5
	六角橋	89	10.1	49.4	37.1	3.4
	無回答	27	3.7	44.4	22.2	29.6

問15 神奈川区では、地域ぐるみで子どもを育ていけるまちづくりを進めるために、地域の方が運営する「すくすくかめっ子事業」や地域子育て支援拠点「かなーちえ」の運営に取り組んでいます。

あなたは、これらの子育て支援に関する取組をご存じですか。(○は1つ)

- ・ 「知らなかった」が56.7%で、全体の過半数を占める。次いで「見たり聞いたりしたことがある」が31.0%、「よく知っている」は8.6%に留まっており、これらを合わせると認知度は4割程度である。

図 子育て支援に関する取組の認知度



■ 男女別 子育て支援に関する取組の認知度(問15× F1)

- ・ 男女とも「知らなかった」が最も多く、特に男性は女性を19.5ポイント上回り7割近くに達している。女性は男性より「見たり聞いたりしたことがある」が12ポイント、「よく知っている」が7.2ポイント高い。

図 男女別 子育て支援に関する取組の認知度

問15 子育て支援に関する取組について

		全体	よく知っている	見たり聞いたりしたことがある	知らなかった	無回答
全 体		1,518	130	470	861	57
		100.0	8.6	31.0	56.7	3.8
F 1 性別	男性	556	4.0	23.7	69.2	3.1
	女性	926	11.2	35.7	49.7	3.3
	無回答	36	11.1	19.4	44.4	25.0

■ 年齢別 子育て支援に関する取組の認知度(問15× F2)

- ・ いずれの世代も「知らなかった」が最も多くなっている。20代では特に数値が高く、「見たり聞いたりしたことがある」の割合も他に比べて少なくなっているなど、認知度が低い。

図 年齢別 子育て支援に関する取組の認知度

問15 子育て支援に関する取組について

		全体	よく知っている	見たり聞いたりしたことがある	知らなかった	無回答
全 体		1,518 100.0	130 8.6	470 31.0	861 56.7	57 3.8
F 2 年齢	20～29歳	131	9.2	19.8	68.7	2.3
	30～39歳	282	13.1	31.9	52.8	2.1
	40～49歳	266	6.8	35.3	56.0	1.9
	50～59歳	261	5.0	29.5	62.1	3.4
	60～69歳	282	9.9	29.1	58.9	2.1
	70歳以上	276	7.2	35.1	49.6	8.0
	無回答	20	10.0	20.0	40.0	30.0

■ 未就学児童・小学生以上18歳未満の子の有無別 子育て支援に関する取組の認知度(問15× F6, 7)

- ・ 未就学児童がいる世帯では「見たり聞いたりしたことがある」が最も多く、「よく知っている」の数値も平均を大きく超えている。未就学児童がいない世帯では「知らなかった」が6割強を占める。
- ・ 小学生以上18歳未満の子の有無でみると、共に「知らなかった」が最も多いが、小学生以上18歳未満の子がいる世帯では「見たり聞いたりしたことがある」の数値が、いない世帯を14.7ポイント上回っている。

図 未就学児童・小学生以上18歳未満の子の有無別 子育て支援に関する取組の認知度

問15 子育て支援に関する取組について

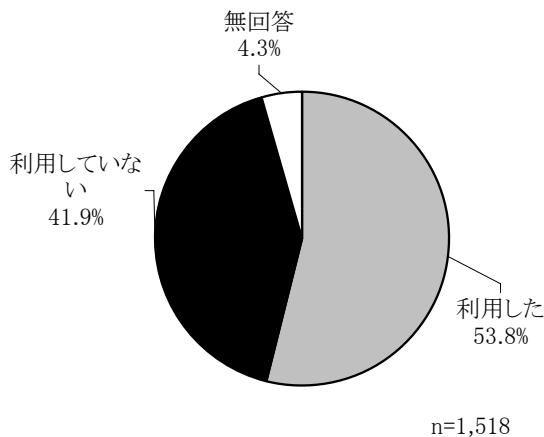
		全体	よく知っている	見たり聞いたりしたことがある	知らなかった	無回答
全 体		1,518 100.0	130 8.6	470 31.0	861 56.7	57 3.8
F 6 小学校入学 前の子供	いる	192	31.3	43.2	23.4	2.1
	いない	1,303	5.3	29.1	62.0	3.6
	無回答	23	4.3	34.8	34.8	26.1
F 7 小学校以上 18歳未満	いる	267	8.6	43.1	46.1	2.2
	いない	1,229	8.6	28.4	59.3	3.7
	無回答	22	4.5	27.3	40.9	27.3

4. 区役所の利用について

問 16 今年(平成 20 年)4月以降に神奈川区役所を利用しましたか。(○は1つ)

- ・ 「利用した」が 53.8%で半数を超え、「利用していない」は 41.9%で4割強である。

図 神奈川区役所利用の有無



■ 地域別 神奈川区役所利用の有無(問16× F3)

- ・ 「子安入江」「羽沢」で「利用した」「利用していない」が同率となっている以外は、どの地域も「利用した」の方が多くなっている。特に「神奈川幸ヶ谷」で「利用した」の数値が高い。

図 地域別 神奈川区役所利用の有無

問16 今年(平成20年)4月以降に神奈川区役所を利用しましたか

		全体	利用した	利用していない	無回答
全 体		1,518	816	636	66
		100.0	53.8	41.9	4.3
F 3	青木	160	48.1	46.9	5.0
居住地域	大口七島	85	55.3	42.4	2.4
	片倉三枚	99	50.5	44.4	5.1
	神奈川幸ヶ谷	132	63.6	34.8	1.5
	神ノ木西寺尾	95	50.5	45.3	4.2
	子安入江	112	49.1	49.1	1.8
	白幡浦島丘	96	55.2	38.5	6.3
	神西神北	117	61.5	35.9	2.6
	神大寺	88	54.5	39.8	5.7
	菅田	120	51.7	44.2	4.2
	羽沢	79	48.1	48.1	3.8
	松見	109	53.2	43.1	3.7
	三ツ沢	110	57.3	38.2	4.5
	六角橋	89	55.1	40.4	4.5
	無回答	27	44.4	25.9	29.6

■ 18歳未満の子、65歳以上の同居家族の有無別 神奈川区役所利用の有無(問16× F6, 7, 8, 9)

- ・ いずれも「利用した」の方が多くなっており、特に未就学児童がいる世帯では、利用率は7割を超えている。

図 18歳未満の子、65歳以上の同居家族の有無別 神奈川区役所利用の有無

問16 今年（平成20年）4月以降に神奈川区役所を利用しましたか

		全体	利用した	利用していない	無回答
全 体		1,518	816	636	66
		100.0	53.8	41.9	4.3
F 6	いる	192	70.8	27.1	2.1
小学校入学	いない	1,303	51.2	44.5	4.3
前の子供	無回答	23	56.5	17.4	26.1
F 7	いる	267	56.6	41.2	2.2
小学校以上	いない	1,229	53.2	42.4	4.4
18歳未満	無回答	22	50.0	22.7	27.3
F 8	いる	284	53.9	42.6	3.5
65～74歳の	いない	1,194	53.7	42.1	4.2
同居家族	無回答	40	55.0	30.0	15.0
F 9	いる	246	57.7	37.4	4.9
75歳以上の	いない	1,234	53.2	42.9	3.9
同居家族	無回答	38	47.4	36.8	15.8

■ 就労状況別 神奈川区役所利用の有無(問16× F11)

- ・ 「自営業」「パート・アルバイト等」「就労していない」「その他」では「利用した」が、「会社員・公務員・団体職員」「学生」では「利用していない」の方が多くなっており、特に「学生」の利用率は低い。

図 就労状況別 神奈川区役所利用の有無

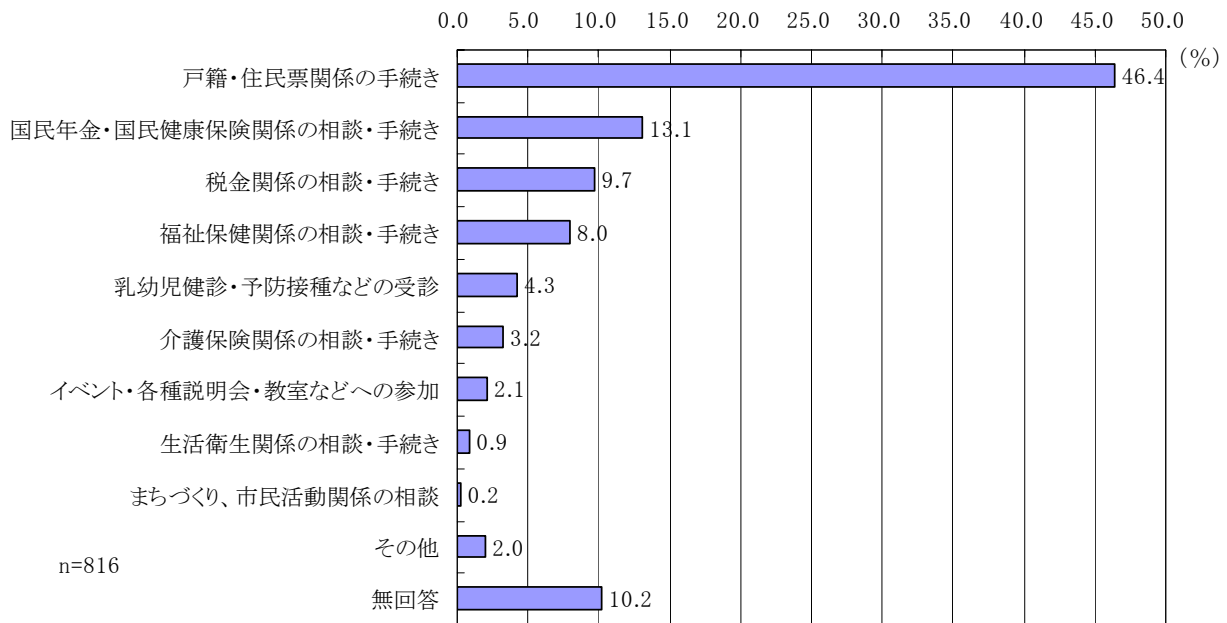
問16 今年（平成20年）4月以降に神奈川区役所を利用しましたか

		全体	利用した	利用していない	無回答
全 体		1,518	816	636	66
		100.0	53.8	41.9	4.3
	無回答	24	58.3	12.5	29.2
F 11	自営業	133	64.7	31.6	3.8
就労状況	会社員・公務員・団体職員	530	47.9	49.2	2.8
	学生	27	37.0	59.3	3.7
	パート・アルバイト等	217	52.1	43.8	4.1
	就労していない	479	58.2	37.8	4.0
	その他	93	59.1	31.2	9.7
	無回答	39	48.7	30.8	20.5

問 17 問 16 で「1 利用した」と答えた方に質問します。次のうちの主にどの用件で利用しましたか(○は1つ)

- ・ 「戸籍・住民票関係の手続き」が突出して多く 46.4%と、利用者の半数近くが挙げている。次いで「国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き」が 13.1%、以下「税金関係の相談・手続き」(9.7%)、「福祉保健関係の相談・手続き」(8.0%)、「乳幼児健診・予防接種などの受診」(4.3%)、「介護保険関係の相談・手続き」(3.2%)、「イベント・各種説明会・教室などへの参加」(2.1%)、「その他」(2.0%)、「生活衛生関係の相談・手続き」(0.9%)、「まちづくり、市民活動関係の相談」(0.2%) の順となっている。

図 区役所を利用した主な用件



■ 年齢別 区役所を利用した主な用件(問17× F2)

- ・ いずれの世代も「戸籍・住民票関係の手続き」が最も多く、特に 20 代では高い数値となっている。30 代では「乳幼児健診・予防接種などの受診」の割合が他に比べて高い。

図 年齢別 区役所を利用した主な用件

問17 区役所での主な用件

		全体	戸籍・住民票関係の手続き	税金関係の相談・手続き	国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き	乳幼児健診・予防接種などの受診	介護保険関係の相談・手続き	福祉保健関係の相談・手続き	生活衛生関係の相談・手続き	まちづくり、市民活動関係の相談	イベント・各種説明会・教室などへの参加	その他	無回答
全体		816	379	79	107	35	26	65	7	2	17	16	83
		100.0	46.4	9.7	13.1	4.3	3.2	8.0	0.9	0.2	2.1	2.0	10.2
F 2 年齢	20～29歳	68	60.3	1.5	11.8	8.8	0.0	2.9	1.5	0.0	1.5	1.5	10.3
	30～39歳	152	40.8	9.9	8.6	15.1	0.0	9.9	0.0	0.0	2.0	0.7	13.2
	40～49歳	132	43.9	12.9	12.1	4.5	0.8	12.1	0.0	0.0	0.8	2.3	10.6
	50～59歳	131	58.8	8.4	9.9	0.0	4.6	3.8	0.8	0.0	3.1	2.3	8.4
	60～69歳	166	51.2	7.2	15.7	0.0	4.2	6.6	1.2	0.6	1.2	3.0	9.0
	70歳以上	154	33.1	13.6	18.8	0.0	7.1	9.7	1.9	0.6	3.2	1.3	10.4
	無回答	13	38.5	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0

■ 地域別 区役所を利用した主な用件(問17× F3)

- ・ いずれの地域も「戸籍・住民票関係の手続き」が最も多い。また「青木」で「税金関係の相談・手続き」、「松見」で「国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き」、「羽沢」で「乳幼児健診・予防接種などの受診」、「三ツ沢」で「福祉保健関係の相談・手続き」が、それぞれ他に比べて高くなっている。

図 地域別 区役所を利用した主な用件

問17 区役所での主な用件

		全体	戸籍・住民票関係の手続き	税金関係の相談・手続き	国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き	乳幼児健診・予防接種などの受診	介護保険関係の相談・手続き	福祉保健関係の相談・手続き	生活衛生関係の相談・手続き	まちづくり、市民活動関係の相談	イベント・各種説明会・教室などへの参加	その他	無回答
全体		816 100.0	379 46.4	79 9.7	107 13.1	35 4.3	26 3.2	65 8.0	7 0.9	2 0.2	17 2.1	16 2.0	83 10.2
F3 居住地域	青木	77	45.5	19.5	7.8	7.8	1.3	5.2	2.6	0.0	1.3	2.6	6.5
	大口七島	47	46.8	8.5	12.8	8.5	4.3	8.5	0.0	0.0	4.3	0.0	6.4
	片倉三枚	50	42.0	10.0	16.0	8.0	2.0	8.0	0.0	0.0	2.0	2.0	10.0
	神奈川幸ヶ谷	84	54.8	6.0	4.8	2.4	4.8	3.6	0.0	1.2	1.2	3.6	17.9
	神ノ木西寺尾	48	33.3	16.7	16.7	4.2	2.1	12.5	2.1	0.0	0.0	2.1	10.4
	子安入江	55	41.8	10.9	14.5	5.5	1.8	10.9	1.8	0.0	1.8	3.6	7.3
	白幡浦島丘	53	49.1	11.3	15.1	1.9	3.8	7.5	1.9	0.0	0.0	1.9	7.5
	神西神北	72	44.4	8.3	18.1	2.8	5.6	2.8	1.4	0.0	4.2	0.0	12.5
	神大寺	48	56.3	8.3	12.5	2.1	2.1	2.1	0.0	0.0	4.2	0.0	12.5
	菅田	62	50.0	14.5	9.7	0.0	0.0	12.9	0.0	0.0	3.2	1.6	8.1
	羽沢	38	21.1	5.3	15.8	15.8	2.6	15.8	0.0	0.0	2.6	2.6	18.4
	松見	58	50.0	5.2	22.4	1.7	3.4	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	13.8
	三ツ沢	63	52.4	4.8	7.9	3.2	4.8	17.5	0.0	0.0	1.6	1.6	6.3
	六角橋	49	49.0	4.1	18.4	2.0	4.1	8.2	2.0	0.0	2.0	4.1	6.1
	無回答	12	50.0	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0

■ 就労状況別 区役所を利用した主な用件(問17× F11)

- ・ いずれも「戸籍・住民票関係の手続き」が最も多い。またサンプル数は少ないが、「学生」で「国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き」が高くなっている。

図 就労状況別 区役所を利用した主な用件

問17 区役所での主な用件

		全体	戸籍・住民票関係の手続き	税金関係の相談・手続き	国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き	乳幼児健診・予防接種などの受診	介護保険関係の相談・手続き	福祉保健関係の相談・手続き	生活衛生関係の相談・手続き	まちづくり、市民活動関係の相談	イベント・各種説明会・教室などへの参加	その他	無回答
全体		816 100.0	379 46.4	79 9.7	107 13.1	35 4.3	26 3.2	65 8.0	7 0.9	2 0.2	17 2.1	16 2.0	83 10.2
F11 就労状況	自営業	86	45.3	8.1	15.1	2.3	5.8	3.5	2.3	0.0	3.5	0.0	14.0
	会社員・公務員・団体職員	254	59.1	8.3	5.9	5.9	1.2	4.7	0.8	0.0	1.2	1.6	11.4
	学生	10	50.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等	113	47.8	12.4	14.2	1.8	0.9	14.2	0.9	0.0	0.9	0.9	6.2
	就労していない	279	38.4	11.1	17.6	3.9	4.7	8.2	0.7	0.4	2.5	3.2	9.3
	その他	55	34.5	7.3	10.9	7.3	3.6	14.5	0.0	1.8	3.6	1.8	14.5
	無回答	19	26.3	5.3	21.1	5.3	10.5	15.8	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3

問 18 その時の区役所職員の対応はいかがでしたか。(項目ごとに、「対応時の状況」「以前と比べて」に○を1つずつ)

- ・ 「対応のていねいさ」「的確さ」「早さ」のいずれの項目も「ふつう」が最も多く6割弱(57.7%、57.1%、57.5%)、次に「満足」が3割前後、次いで「不満」となっている。
- ・ 以前との比較では、「変わらない」が「対応のていねいさ」(58.1%)「的確さ」(60.8%)「早さ」(59.8%)のいずれの項目でも最も多く6割前後である。次いで「良くなった」が3割弱、「悪くなった」は1%に満たない。

図 区役所職員の対応

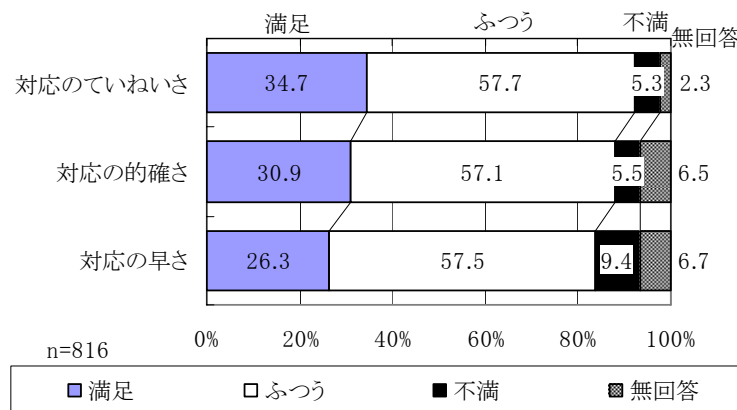
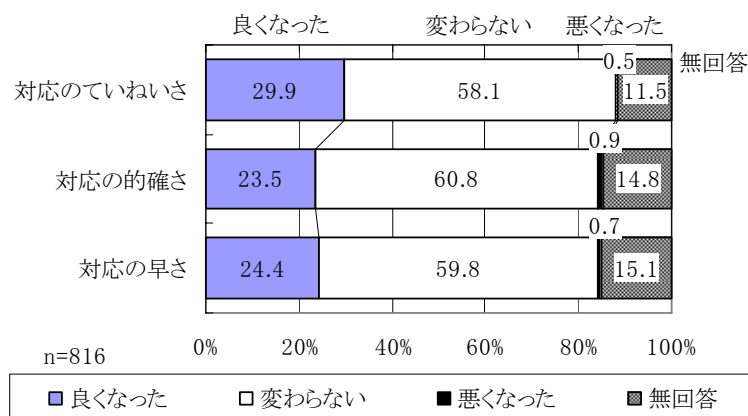


図 区役所職員の対応(以前との比較)



■ 男女・年齢・地域・就労状況別 区役所職員の応対(問18× F1, 2, 3, 11)

「対応のていねいさ」

<男女別>

- ・ 共に「ふつう」が過半数を占める。

<年齢別>

- ・ 70代以上は「満足」、それ以外の世代では「ふつう」が最も多い。

<地域別>

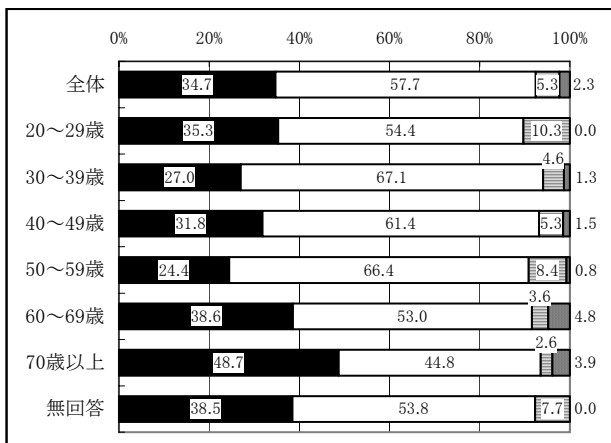
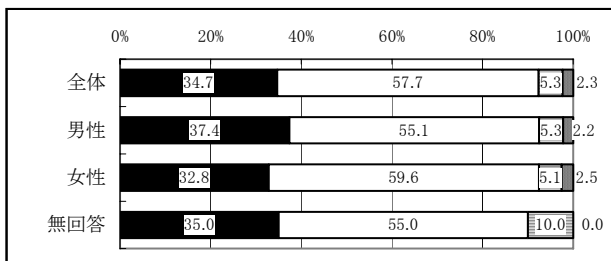
- ・ 「菅田」「羽沢」では「満足」、それ以外の地域では「ふつう」が最も多い。

<就労状況別>

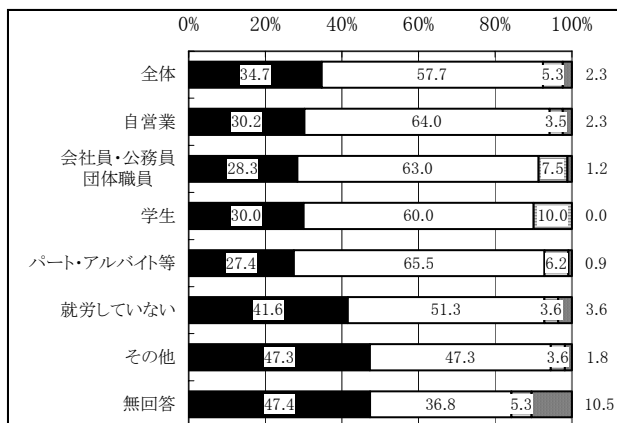
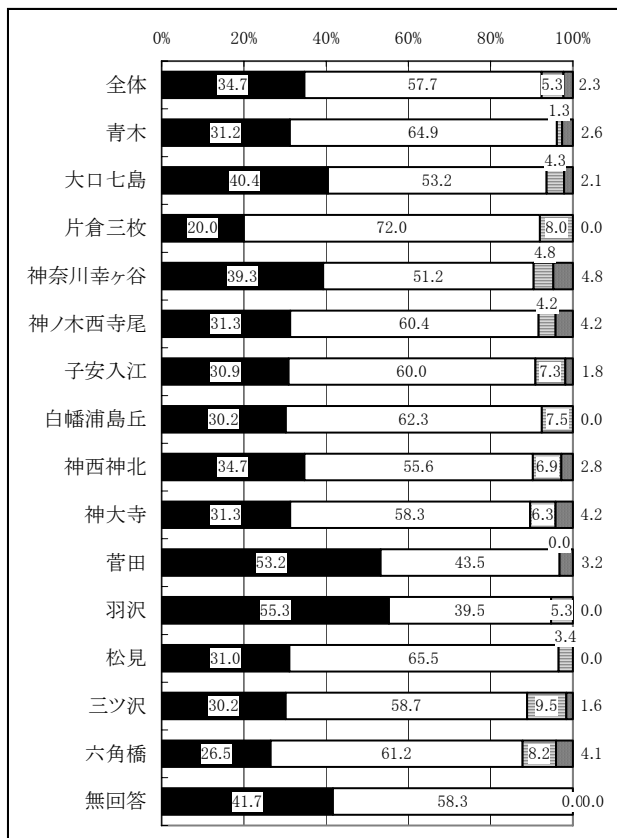
- ・ 「その他」で「満足」と「ふつう」が同率になっている以外は、「ふつう」が最も多い。

図 男女・年齢・地域・就労状況別 区役所職員の応対「対応のていねいさ」

対応のていねいさ



凡例
 ■ 満足
 □ ふつう
 ▨ 不満
 ▩ 無回答



「対応の的確さ」

<男女別>

- ・ 共に「ふつう」が過半数を占める。

<年齢別>

- ・ いずれの世代でも「ふつう」が最も多い。20代では他世代に比べ「満足」の割合が高い。

<地域別>

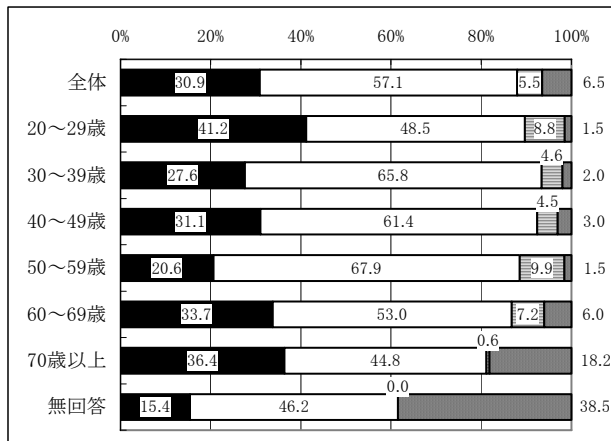
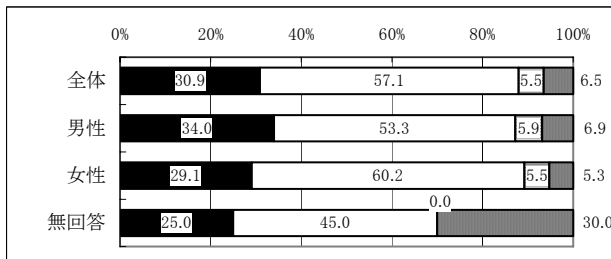
- ・ いずれの地域でも「ふつう」が最も多い。「菅田」「羽沢」「青木」では「満足」の割合が他に比べて高く、一方「三ツ沢」では「不満」の割合がやや高い。

<就労状況別>

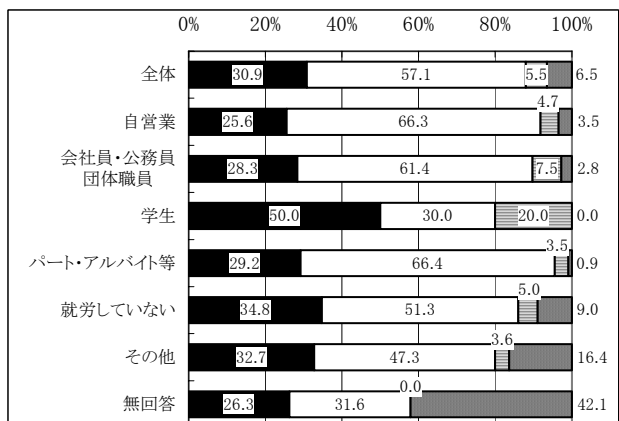
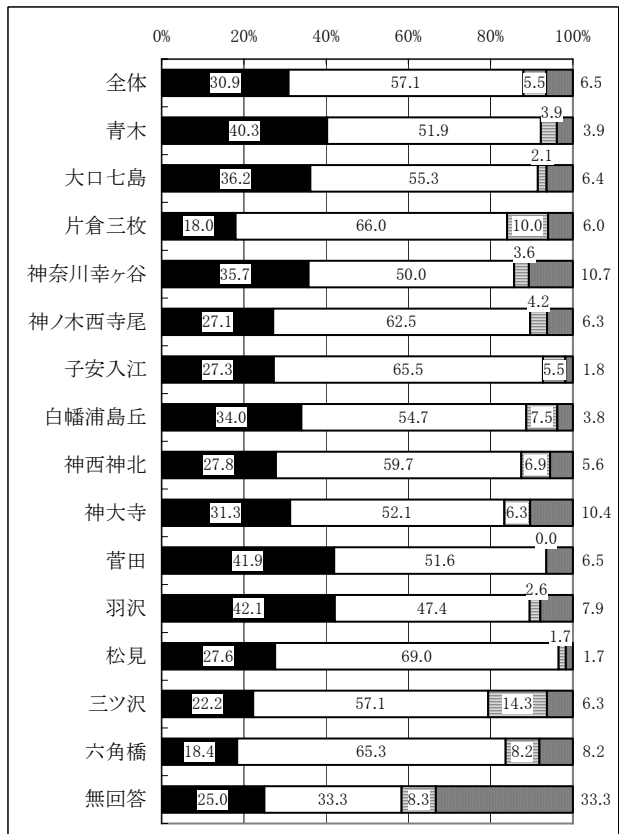
- ・ サンプル数は少ないが「学生」では「満足」が最も多い。それ以外は「ふつう」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域・就労状況別 区役所職員の対応「対応の的確さ」

対応の的確さ



凡例
 ■ 満足
 □ ふつう
 ▨ 不満
 ■ 無回答



「対応の早さ」

<男女別>

- ・ 共に「ふつう」が過半数を占め、男女差はない。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「ふつう」が最も多い。

<地域別>

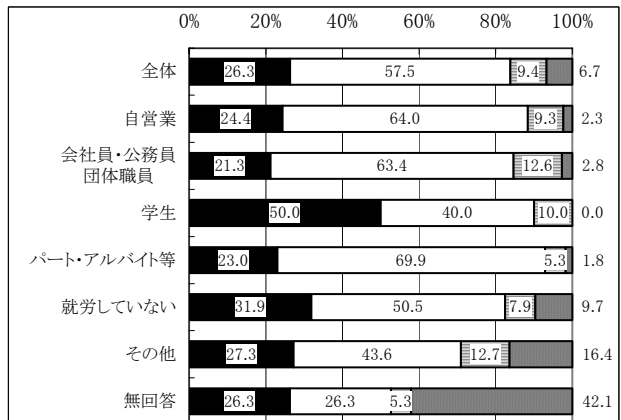
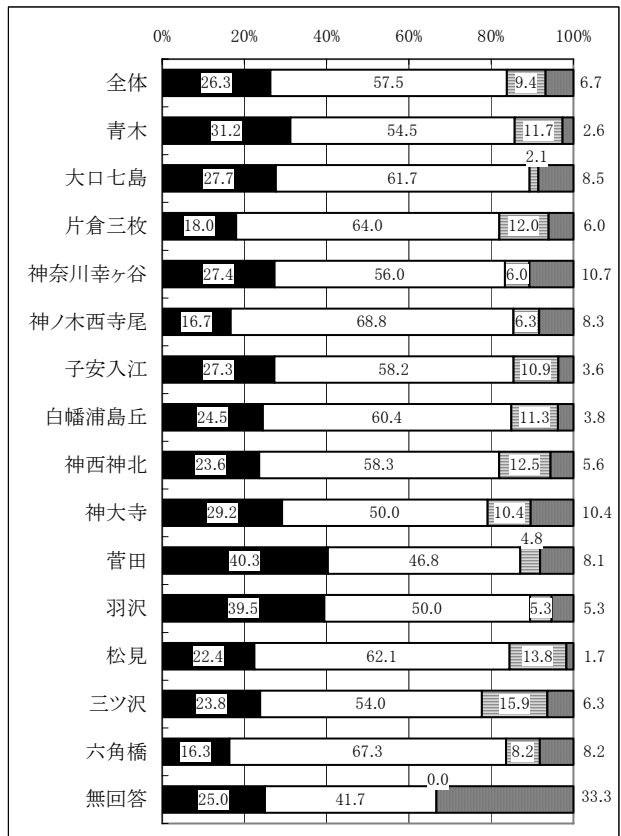
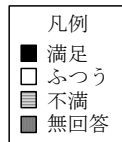
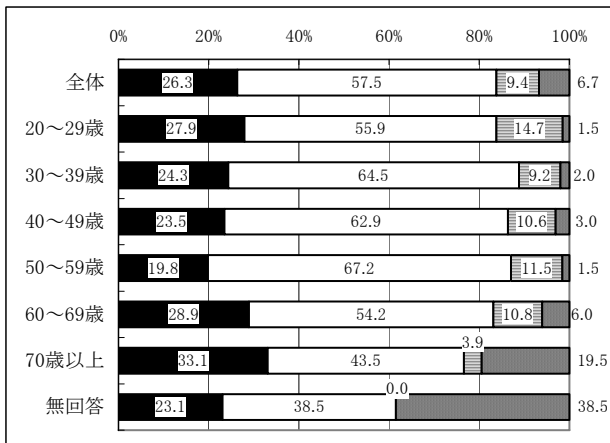
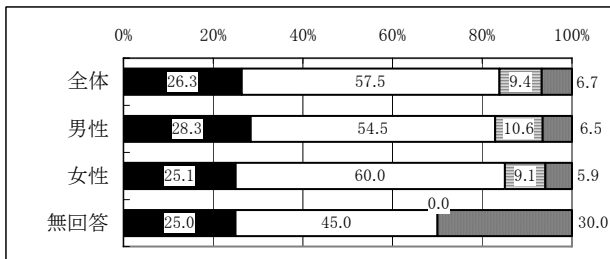
- ・ いずれの地域も「ふつう」が最も多い。「菅田」「羽沢」では「満足」の割合が他に比べて高くなっている。

<就労状況別>

- ・ サンプル数は少ないが「学生」では「満足」が最も多い。それ以外は「ふつう」が最も多くなっている。

図 男女・年齢・地域・就労状況別 区役所職員の対応「対応の早さ」

対応の早さ



■ 男女・年齢・地域・就労状況別 区役所職員の応対(以前との比較)(問18× F1, 2, 3, 11)

「対応のていねいさ」(以前との比較)

<男女別>

- ・ 共に「変わらない」が過半数を占める。

<年齢別>

- ・ 70代以上は「良くなった」、それ以外の世代では「変わらない」が最も多い。以前との比較では、以下のどの項目でも若年層より高齢者世代ほど良くなったとする率が高い傾向にある。

<地域別>

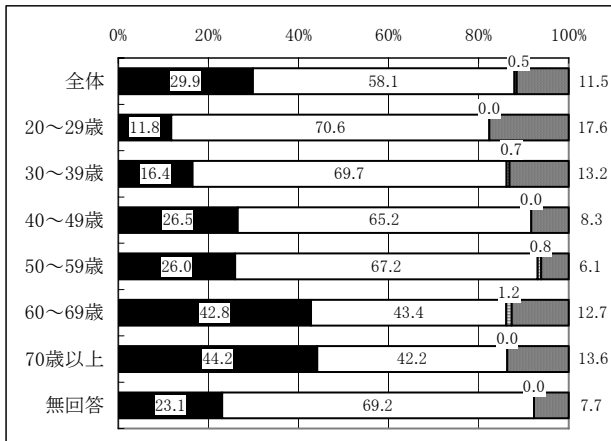
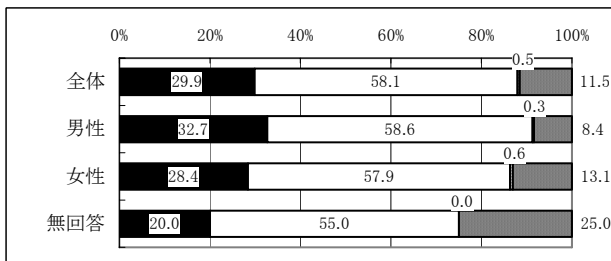
- ・ 「大口七島」では「良くなった」、それ以外の地域では「変わらない」が最も多い。

<就労状況別>

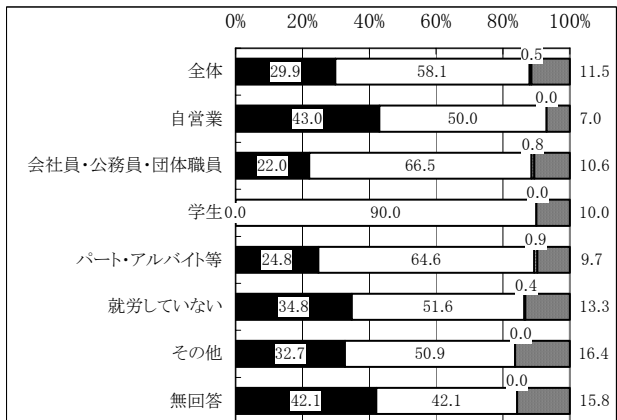
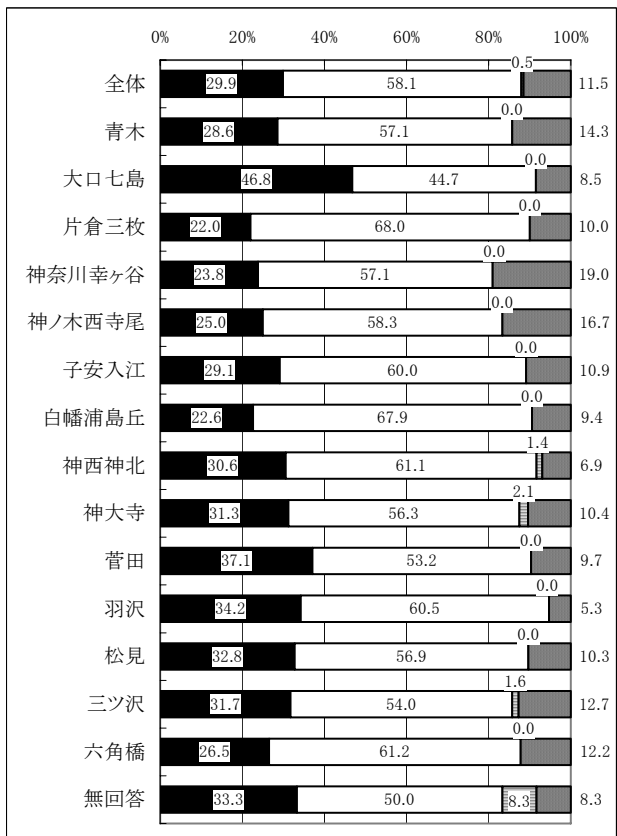
- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。「自営業」では「良くなった」の割合が他に比べて高くなっている。

図 男女・年齢・地域・就労状況別 区役所職員の応対 「対応のていねいさ」(以前との比較)

対応のていねいさ (以前との比較)



凡例
 ■ 満足
 □ ふつう
 ▨ 不満
 ▩ 無回答



「対応の的確さ」(以前との比較)

＜男女別＞

- ・ 共に「変わらない」が6割超を占める。

＜年齢別＞

- ・ いずれの世代でも「変わらない」が最も多い。60代以上では「良くなった」の割合が他世代に比べて高い。

＜地域別＞

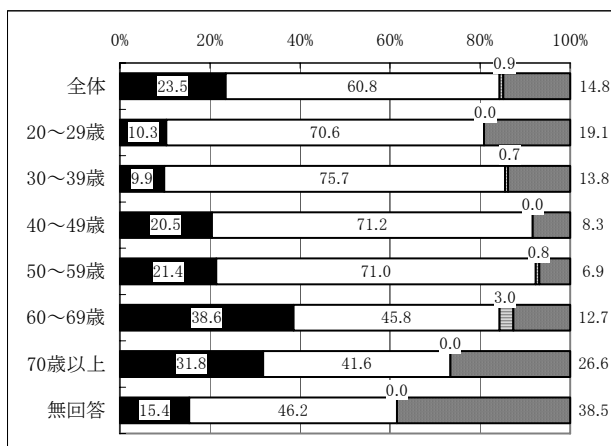
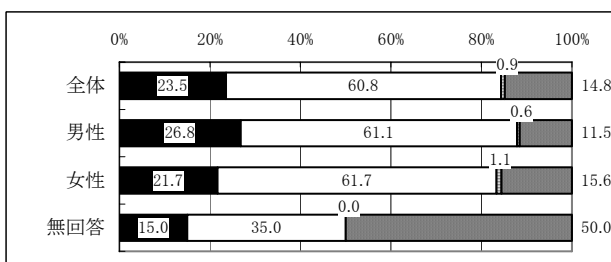
- ・ いずれの地域でも「変わらない」が最も多い。

＜就労状況別＞

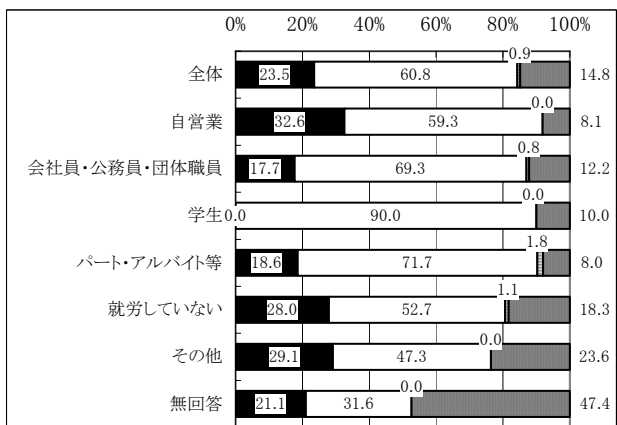
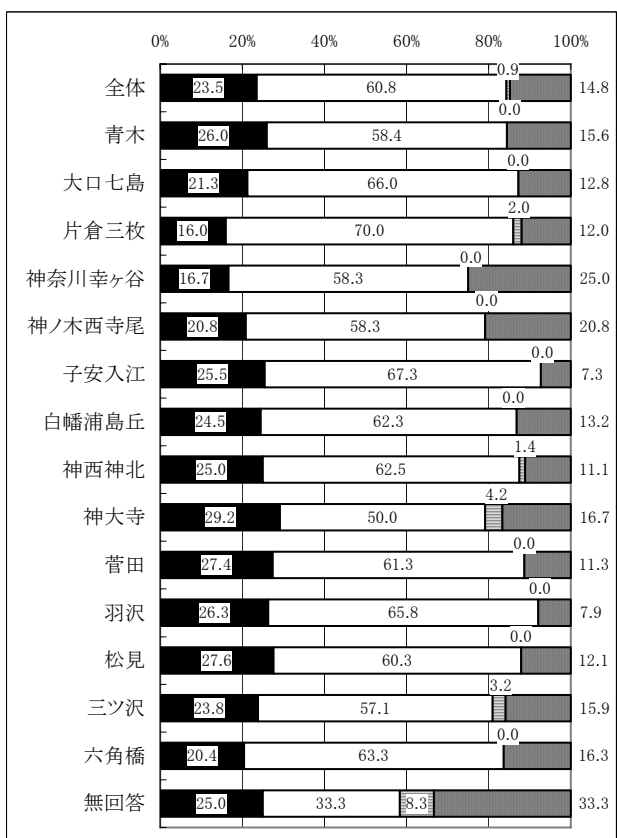
- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。「自営業」で「良くなった」の割合が他に比べてやや高い。

図 男女・年齢・地域・就労状況別 区役所職員の対応「対応の的確さ」(以前との比較)

対応の的確さ (以前との比較)



凡例
 ■ 満足
 □ ふつう
 ▨ 不満
 ■ 無回答



「対応の早さ」(以前との比較)

<男女別>

- ・ 共に「変わらない」が約6割で、男女差はない。

<年齢別>

- ・ いずれの世代でも「変わらない」が最も多い。60代以上では「良くなった」の割合が他世代に比べて高い。

<地域別>

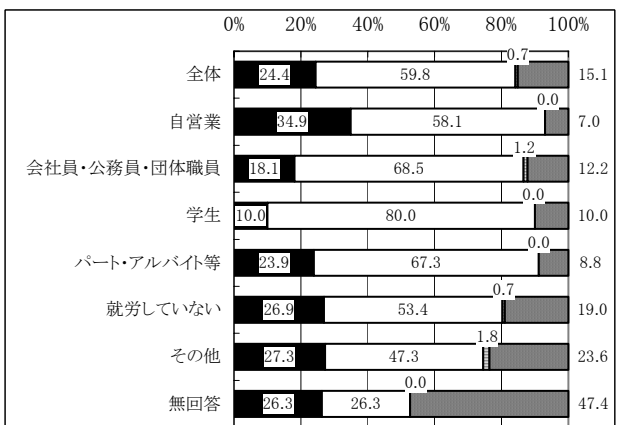
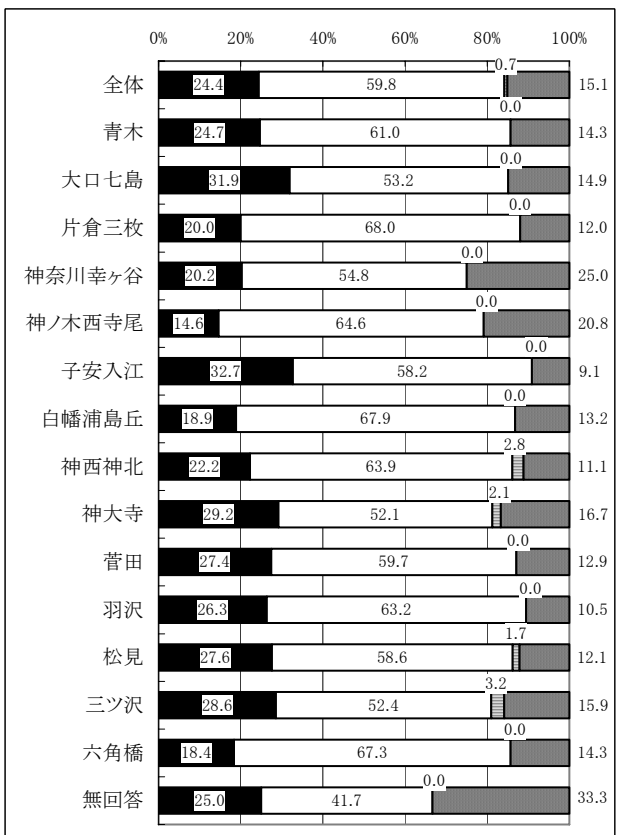
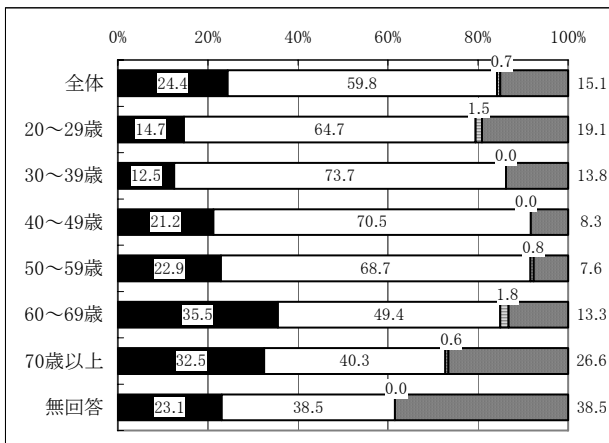
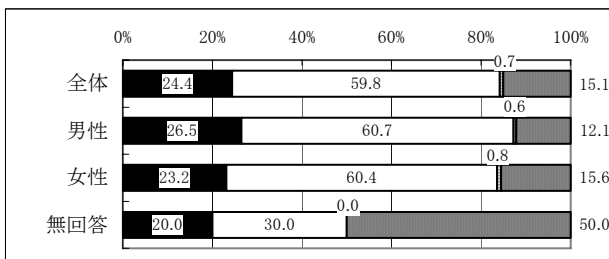
- ・ いずれの地域でも「変わらない」が最も多い。

<就労状況別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。「自営業」で「良くなった」の割合が他に比べて高い。

図 男女・年齢・地域・就労状況別 区役所職員の対応「対応の早さ」(以前との比較)

対応の早さ (以前との比較)

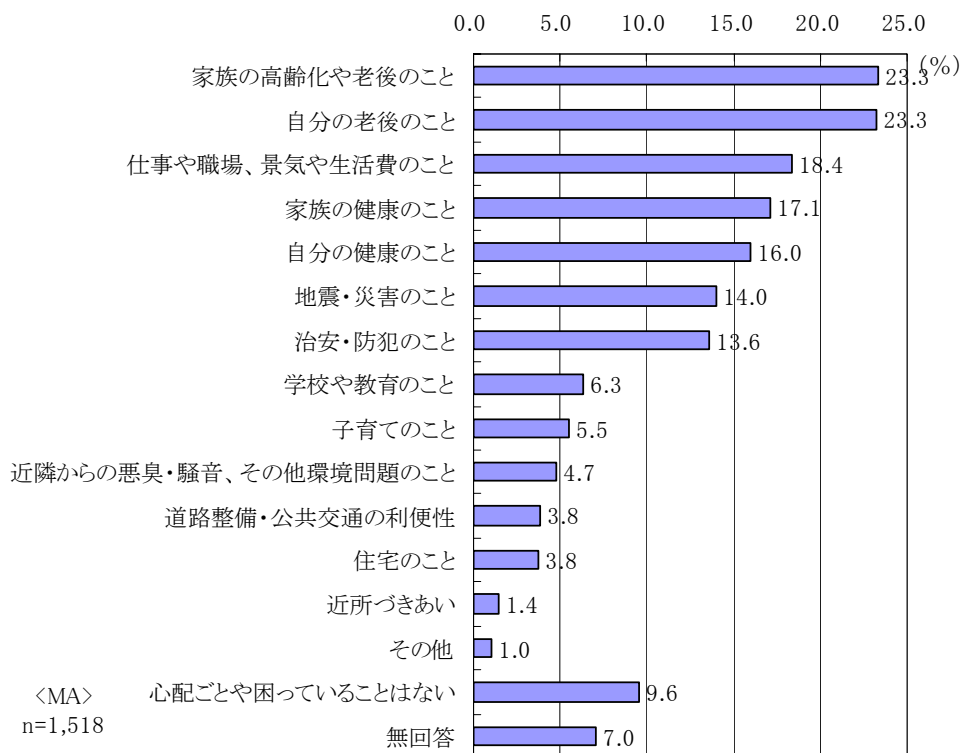


5. 最近困っていること、心配ごとについて

問 19 最近、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていることがありますか。(〇は2つまで)

- 「家族の高齢化や老後のこと」と「自分の老後のこと」の2つが23.3%の同率で最も多く挙げられている。次いで「仕事や職場、景気や生活費のこと」(18.4%)、「家族の健康のこと」(17.1%)、「自分の健康のこと」(16.0%)、「地震・災害のこと」(14.0%)、「治安・防犯のこと」(13.6%)などとなっている。「心配ごとや困っていることはない」は9.6%で、以下、「学校や教育のこと」(6.3%)、「子育てのこと」(5.5%)、「近隣からの悪臭・騒音、その他環境問題のこと」(4.7%)、「道路整備・公共交通の利便性」(3.8%)、「住宅のこと」(3.8%)、「近所づきあい」(1.4%)、「その他」(1.0%)の順で続く。

図 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること



■ 男女別 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること(問19× F1)

- 男性は「自分の老後のこと」、女性は「家族の高齢化や老後のこと」が最も多い。

図 男女別 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること

問19 自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること (2つまで回答)

		全体	自分の老後のこと	自分の健康のこと	家族の高齢化や老後のこと	家族の健康のこと	子育てのこと	仕事や職場、景気や生活費のこと	学校や教育のこと	近隣からの悪臭・騒音、その他環境問題のこと	近所づきあい	地震・災害のこと	治安・防犯のこと	住宅のこと	道路整備・公共交通の利便性	その他	心配ごとや困っていることはない	無回答
全体		1,518	353	243	354	260	83	279	96	72	22	212	207	57	58	15	145	107
		—	23.3	16.0	23.3	17.1	5.5	18.4	6.3	4.7	1.4	14.0	13.6	3.8	3.8	1.0	9.6	7.0
F 1 性別	男性	556	24.1	17.3	23.4	17.8	3.8	23.0	5.6	4.5	1.1	13.1	11.7	4.7	3.8	0.9	10.3	5.6
	女性	926	22.4	15.1	23.2	16.7	6.7	16.1	7.0	5.0	1.7	14.8	15.3	3.1	4.0	1.1	9.3	7.0
	無回答	36	33.3	19.4	25.0	16.7	0.0	5.6	0.0	2.8	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	30.6

■ 年齢別 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること(問19× F2)

- ・ 20代から40代までは「仕事や職場、景気や生活費のこと」、50代は「家族の高齢化や老後のこと」、60代以上は「自分の老後のこと」が最も多い。また30代で「子育てのこと」、40代で「学校や教育のこと」、70代以上で「自分の健康のこと」が他に比べて高い。

図 年齢別 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること

問19 自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること（2つまで回答）

		全体	自分の老後のこと	自分の健康のこと	家族の高齢化や老後のこと	家族の健康のこと	子育てのこと	仕事や職場、景気や生活費のこと	学校や教育のこと	近隣からの悪臭・騒音、その他環境問題のこと	近所づきあい	地震・災害のこと	治安・防犯のこと	住宅のこと	道路整備・公共交通の利便性	その他	心配ごとや困っていることはない	無回答
全体		1,518	353	243	354	260	83	279	96	72	22	212	207	57	58	15	145	107
		—	23.3	16.0	23.3	17.1	5.5	18.4	6.3	4.7	1.4	14.0	13.6	3.8	3.8	1.0	9.6	7.0
F 2 年齢	20～29歳	131	10.7	10.7	13.7	16.8	13.0	40.5	4.6	5.3	1.5	14.5	13.7	3.1	4.6	2.3	6.9	9.2
	30～39歳	282	13.1	8.5	17.7	11.7	15.6	25.2	14.5	5.0	1.4	10.6	19.9	2.8	6.4	0.7	9.6	7.1
	40～49歳	266	18.0	9.8	26.3	15.8	5.3	27.8	15.4	4.5	1.5	12.4	17.3	4.9	2.6	1.1	8.6	3.4
	50～59歳	261	28.4	13.8	31.8	17.6	3.1	17.2	2.7	3.4	1.9	16.9	13.8	5.4	3.8	1.1	9.6	1.9
	60～69歳	282	30.5	19.9	24.1	18.8	0.0	8.9	0.4	6.7	1.8	13.1	8.9	3.5	2.8	1.4	12.8	9.6
	70歳以上	276	32.2	31.2	21.4	21.7	0.0	3.6	0.0	3.6	0.7	17.8	9.1	2.5	3.3	0.0	8.7	9.4
	無回答	20	25.0	5.0	30.0	20.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	40.0

■ 地域別 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること(問19× F3)

- ・ 「片倉三枚」「神西神北」「松見」「三ツ沢」では「家族の高齢化や老後のこと」、「神ノ木西寺尾」で「家族の健康のこと」が最も多い。「大口七島」で「自分の老後のこと」「自分の健康のこと」が同率となっており、それ以外の地域では「自分の老後のこと」が最も多い。また「羽沢」では、「道路整備・公共交通の利便性」の数値が他に比べて高くなっている。

図 地域別 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること

問19 自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること（2つまで回答）

		全体	自分の老後のこと	自分の健康のこと	家族の高齢化や老後のこと	家族の健康のこと	子育てのこと	仕事や職場、景気や生活費のこと	学校や教育のこと	近隣からの悪臭・騒音、その他環境問題のこと	近所づきあい	地震・災害のこと	治安・防犯のこと	住宅のこと	道路整備・公共交通の利便性	その他	心配ごとや困っていることはない	無回答
全体		1,518	353	243	354	260	83	279	96	72	22	212	207	57	58	15	145	107
		—	23.3	16.0	23.3	17.1	5.5	18.4	6.3	4.7	1.4	14.0	13.6	3.8	3.8	1.0	9.6	7.0
F 3 居住地域	青木	160	28.1	12.5	27.5	18.1	6.3	18.8	5.6	8.1	1.3	15.0	16.9	3.8	2.5	1.3	7.5	4.4
	大口七島	85	23.5	23.5	18.8	12.9	9.4	16.5	4.7	2.4	2.4	16.5	12.9	3.5	2.4	0.0	14.1	2.4
	片倉三枚	99	12.1	16.2	22.2	18.2	6.1	18.2	11.1	3.0	3.0	19.2	16.2	3.0	5.1	0.0	9.1	7.1
	神奈川幸ヶ谷	132	23.5	14.4	19.7	12.1	7.6	21.2	10.6	5.3	1.5	18.2	11.4	1.5	6.1	0.8	7.6	6.1
	神ノ木西寺尾	95	12.6	14.7	15.8	26.3	7.4	21.1	6.3	8.4	2.1	5.3	13.7	4.2	5.3	1.1	13.7	6.3
	子安入江	112	22.3	19.6	20.5	18.8	7.1	18.8	3.6	8.0	3.6	8.0	18.8	4.5	0.0	0.9	7.1	8.9
	白幡浦島丘	96	24.0	11.5	22.9	17.7	5.2	19.8	8.3	4.2	1.0	12.5	9.4	4.2	0.0	4.2	10.4	9.4
	神西神北	117	25.6	17.1	28.2	12.8	3.4	20.5	5.1	2.6	2.6	18.8	7.7	2.6	1.7	0.0	11.1	4.3
	神大寺	88	30.7	18.2	23.9	18.2	1.1	20.5	4.5	2.3	1.1	14.8	13.6	11.4	0.0	1.1	11.4	2.3
	菅田	120	29.2	20.8	22.5	21.7	5.8	20.8	6.7	3.3	0.0	10.8	8.3	4.2	5.8	0.0	9.2	5.8
	羽沢	79	20.3	17.7	19.0	13.9	2.5	16.5	3.8	3.8	1.3	11.4	15.2	6.3	13.9	1.3	6.3	10.1
	松見	109	17.4	14.7	28.4	10.1	8.3	16.5	9.2	5.5	0.9	14.7	16.5	2.8	1.8	0.9	11.0	7.3
	三ツ沢	110	24.5	10.9	29.1	20.0	1.8	15.5	5.5	4.5	0.0	13.6	16.4	0.9	6.4	1.8	7.3	10.0
	六角橋	89	27.0	14.6	23.6	21.3	4.5	13.5	3.4	1.1	0.0	16.9	18.0	2.2	5.6	1.1	11.2	7.9
無回答	27	25.9	18.5	22.2	11.1	0.0	7.4	0.0	7.4	0.0	7.4	0.0	3.7	0.0	0.0	7.4	37.0	

■ 就労状況別 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること(問19× F11)

- ・ 「学生」では「仕事や職場、景気や生活費のこと」、「就労していない」では「自分の老後のこと」が最も多く、「自営業」ではこれらが同率となっている。「会社員・公務員・団体職員」「パート・アルバイト等」では「家族の高齢化や老後のこと」、「その他」では「家族の健康のこと」が最も多い。

図 就労状況別 最近、自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること

問19 自分や家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていること（2つまで回答）

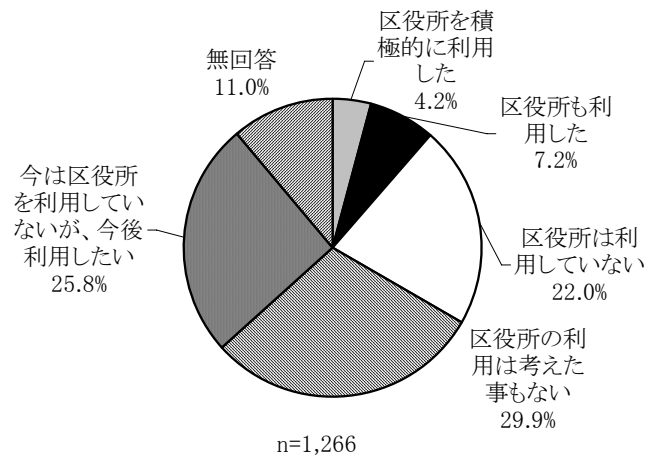
		全体	自分の老後のこと	自分の健康のこと	家族の高齢化や老後のこと	家族の健康のこと	子育てのこと	仕事や職場、景気や生活費のこと	学校や教育のこと	近隣からの悪臭・騒音、その他環境問題のこと	近所づきあい	地震・災害のこと	治安・防犯のこと	住宅のこと	道路整備・公共交通の利便性	その他	心配ごとや困っていることはない	無回答
全 体		1,518	353	243	354	260	83	279	96	72	22	212	207	57	58	15	145	107
		—	23.3	16.0	23.3	17.1	5.5	18.4	6.3	4.7	1.4	14.0	13.6	3.8	3.8	1.0	9.6	7.0
F11	自営業	133	30.1	14.3	23.3	13.5	3.8	30.1	3.8	6.0	1.5	10.5	17.3	0.8	1.5	0.0	6.8	5.3
就労状況	会社員・公務員・団体職員	530	20.8	10.4	24.5	14.7	7.5	22.3	9.1	5.1	1.1	11.9	16.0	6.0	4.5	0.8	9.6	5.7
	学生	27	7.4	14.8	25.9	7.4	7.4	48.1	3.7	7.4	3.7	18.5	11.1	3.7	0.0	14.8	3.7	7.4
	パート・アルバイト等	217	25.3	11.5	30.0	19.4	5.5	23.0	6.9	4.1	1.8	15.7	11.5	2.8	2.3	1.4	8.3	4.6
	就労していない	479	24.8	24.2	20.7	19.6	4.0	7.9	5.0	4.8	1.7	16.7	11.5	2.9	4.6	0.8	11.5	6.7
	その他	93	19.4	17.2	17.2	20.4	5.4	19.4	3.2	2.2	1.1	11.8	15.1	2.2	4.3	0.0	8.6	12.9
	無回答	39	23.1	20.5	15.4	17.9	0.0	5.1	0.0	2.6	0.0	12.8	5.1	2.6	2.6	0.0	7.7	35.9

問 19-1 問 19 で、心配ごとや困っていることがあると回答された方にお聞きます。

それらの心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用しますか。(○は1つ)

- 最も多いのは「区役所の利用は考えた事もない」の 29.9%で、全体の約3割である。次いで「今は区役所を利用していないが、今後利用したい」が 25.8%で全体の約4分の1、「区役所は利用していない」が 22.0%で続く。「区役所も利用した」は 7.2%、「区役所を積極的に利用した」は 4.2%で、これらを合わせると区役所の利用は全体の1割強となっている。

図 心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用するか



■ 年齢別 心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用するか(問19-1 × F2)

- 20代から40代までは「区役所の利用は考えた事もない」が最も多く、それぞれ半数前後を占める。50代より上の世代では「今は区役所を利用していないが、今後利用したい」が最も多く、年齢が高いほど数値も高い。

図 年齢別 心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用するか

問19-1 心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用しますか

		全体	区役所を積極的に利用した	区役所も利用した	区役所は利用していない	区役所の利用は考えた事もない	今は区役所を利用していないが、今後利用したい	無回答
全体		1,266	53	91	278	379	326	139
		100.0	4.2	7.2	22.0	29.9	25.8	11.0
F2 年齢	20～29歳	110	0.0	4.5	21.8	53.6	15.5	4.5
	30～39歳	235	2.6	7.2	21.3	48.1	18.7	2.1
	40～49歳	234	2.6	5.6	26.5	41.5	18.8	5.1
	50～59歳	231	4.3	6.5	24.2	26.8	29.4	8.7
	60～69歳	219	6.8	10.0	21.5	13.2	32.4	16.0
	70歳以上	226	7.1	7.5	16.8	8.0	35.4	25.2
	無回答	11	0.0	18.2	9.1	9.1	18.2	45.5

■ 就労状況別 心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用するか(問19-1× F11)

- ・ 「自営業」「会社員・公務員・団体職員」「学生」「パート・アルバイト等」では「区役所の利用は考えた事もない」が最も多く、特に「会社員・公務員・団体職員」「学生」では数値が高い。「就労していない」「その他」では「今は区役所を利用していないが、今後利用したい」が最も多くなっている。

図 就労状況別 心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用するか

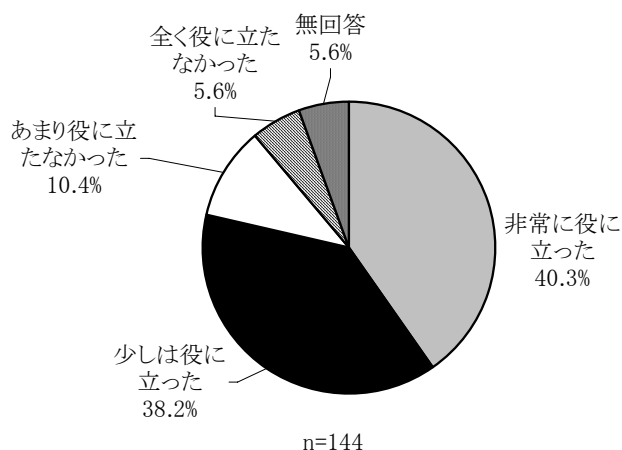
問19-1 心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用しますか

		全体	区役所を積極的に利用した	区役所も利用した	区役所は利用していない	区役所の利用は考えた事もない	今は区役所を利用していないが、今後利用したい	無回答
全体		1,266 100.0	53 4.2	91 7.2	278 22.0	379 29.9	326 25.8	139 11.0
F11 就労状況	自営業	117	2.6	6.0	23.9	29.1	25.6	12.8
	会社員・公務員・団体職員	449	1.6	4.2	21.2	45.2	22.0	5.8
	学生	24	0.0	8.3	8.3	54.2	25.0	4.2
	パート・アルバイト等	189	4.2	11.1	22.8	29.6	25.4	6.9
	就労していない	392	7.4	8.4	24.5	14.0	30.9	14.8
	その他	73	8.2	8.2	17.8	21.9	23.3	20.5
	無回答	22	0.0	13.6	4.5	9.1	22.7	50.0

問19-2 問19-1で、「1 区役所を積極的に利用した」「2 区役所も利用した」に回答された方にお聞きます。
 区役所を利用して心配ごとや困っていることの解決、解消に役立ちましたか。(〇は1つ)

- 「非常に役に立った」が最も多く 40.3%で全体の4割強、次いで「少しは役に立った」が 38.2%で、これらを合わせると利用者の8割が役に立ったと考えている。「あまり役に立たなかった」は 10.4%、「全く役に立たなかった」は 5.6%となっている。

図 区役所を利用して心配ごとや困っていることの解決、解消に役立ったか



■ 年齢別 区役所を利用して心配ごとや困っていることの解決、解消に役立ったか(問19-2× F2)

- 30代、40代では「少しは役に立った」、50代より上の世代では「非常に役に立った」が最も多くなっている。

図 年齢別 区役所を利用して心配ごとや困っていることの解決、解消に役立ったか

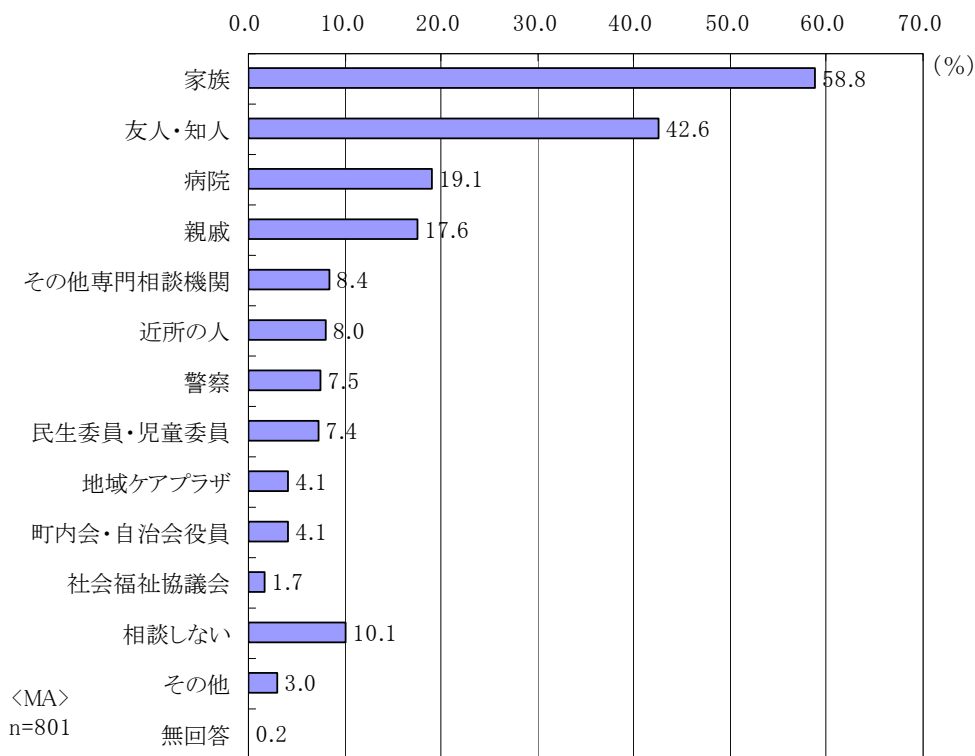
問19-2 区役所を利用して心配ごとや困っていることの解決、解消に役立ちましたか

		全体	非常に役に立った	少しは役に立った	あまり役に立たなかった	全く役に立たなかった	無回答
全体		144	58	55	15	8	8
		100.0	40.3	38.2	10.4	5.6	5.6
F 2 年齢	20～29歳	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	30～39歳	23	21.7	65.2	4.3	4.3	4.3
	40～49歳	19	26.3	42.1	10.5	15.8	5.3
	50～59歳	25	44.0	36.0	8.0	8.0	4.0
	60～69歳	37	43.2	27.0	18.9	2.7	8.1
	70歳以上	33	63.6	24.2	6.1	0.0	6.1
	無回答	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

問19-3 区役所以外で、それらの心配ごとや気になること、困っていることの解決、解消のために、どちらに相談しますか？(〇は3つまで)

- ・ 「家族」が最も多く 58.8%で、全体の6割近くの人が挙げており、次いで「友人・知人」が42.6%と、この2つが飛び抜けて多くなっている。更に2割弱の人が「病院」(19.1%)、「親戚」(17.6%)を挙げている。また「相談しない」は10.1%となっている。以下、「その他専門相談機関」(8.4%)、「近所の人」(8.0%)、「警察」(7.5%)、「民生委員・児童委員」(7.4%)、「地域ケアプラザ」(4.1%)、「町内会・自治会役員」(4.1%)、「その他」(3.0%)、「社会福祉協議会」(1.7%)と続く。

図 区役所以外で相談する相手



■ 年齢別 区役所以外で相談する相手(問19-3× F2)

- ・ いずれも「家族」が最も多く、若い世代で数値が高い。その他、20代、30代では「友人・知人」、60代で「民生委員・児童委員」、70代以上では「病院」の数値が他に比べて高くなっている。

図 年齢別 区役所以外で相談する相手

問19-3 区役所以外では、どちらに相談しますか？(3つまで回答)

		全体	家族	親戚	友人・知人	近所の人	警察	民生委員・児童委員	町内会・自治会役員	地域ケアプラザ	社会福祉協議会	病院	その他専門相談機関	相談しない	その他	無回答
全体		801	471	141	341	64	60	59	33	33	14	153	67	81	24	2
F2		—	58.8	17.6	42.6	8.0	7.5	7.4	4.1	4.1	1.7	19.1	8.4	10.1	3.0	0.2
年齢	20～29歳	88	67.0	10.2	62.5	5.7	9.1	3.4	2.3	1.1	1.1	15.9	8.0	10.2	1.1	0.0
	30～39歳	186	65.1	17.7	53.2	11.3	8.1	5.9	2.7	2.2	0.5	16.7	3.8	11.3	3.8	1.1
	40～49歳	178	60.1	15.7	44.4	6.7	8.4	3.9	3.9	1.1	1.1	17.4	11.8	9.0	5.6	0.0
	50～59歳	143	58.7	21.0	43.4	6.3	7.0	5.6	3.5	3.5	1.4	16.1	10.5	14.0	1.4	0.0
	60～69歳	113	41.6	17.7	26.5	8.8	6.2	17.7	5.3	8.0	3.5	20.4	9.7	8.0	2.7	0.0
	70歳以上	89	57.3	22.5	16.9	6.7	4.5	11.2	7.9	12.4	3.4	33.7	6.7	6.7	1.1	0.0
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 地域別 区役所以外で相談する相手(問19-3× F3)

- ・ いずれも「家族」が最も多い。その他、「六角橋」で「親戚」、「三ツ沢」では「近所の人」の数値が他に比べて高く、「片倉三枚」では「病院」がやや高くなっている。

図 地域別 区役所以外で相談する相手

問19-3 区役所以外では、どちらに相談しますか？（3つまで回答）

		全体	家族	親戚	友人・知人	近所の人	警察	民生委員・児童委員	町内会・自治会役員	地域ケアアブラザ	社会福祉協議会	病院	その他専門相談機関	相談しない	その他	無回答
全体		801	471	141	341	64	60	59	33	33	14	153	67	81	24	2
		—	58.8	17.6	42.6	8.0	7.5	7.4	4.1	4.1	1.7	19.1	8.4	10.1	3.0	0.2
F3 居住地域	青木	79	55.7	22.8	46.8	7.6	6.3	6.3	5.1	5.1	3.8	19.0	8.9	6.3	2.5	0.0
	大口七島	41	51.2	14.6	43.9	9.8	9.8	12.2	2.4	4.9	2.4	19.5	4.9	12.2	2.4	0.0
	片倉三枚	58	70.7	8.6	46.6	12.1	8.6	0.0	1.7	5.2	1.7	27.6	12.1	12.1	6.9	0.0
	神奈川幸ヶ谷	71	53.5	8.5	43.7	5.6	5.6	8.5	4.2	4.2	0.0	16.9	7.0	12.7	2.8	1.4
	神ノ木西寺尾	46	69.6	17.4	39.1	8.7	6.5	6.5	10.9	4.3	4.3	13.0	8.7	6.5	0.0	0.0
	子安入江	61	59.0	13.1	34.4	6.6	13.1	8.2	4.9	4.9	0.0	14.8	8.2	11.5	3.3	0.0
	白幡浦島丘	51	54.9	15.7	47.1	5.9	5.9	7.8	0.0	2.0	0.0	25.5	15.7	7.8	2.0	0.0
	神西神北	67	58.2	22.4	44.8	4.5	11.9	7.5	1.5	6.0	0.0	20.9	7.5	11.9	1.5	0.0
	神大寺	53	52.8	22.6	39.6	13.2	5.7	7.5	9.4	5.7	1.9	15.1	3.8	11.3	0.0	0.0
	菅田	59	66.1	18.6	47.5	8.5	6.8	5.1	6.8	5.1	1.7	23.7	10.2	6.8	3.4	0.0
	羽沢	43	60.5	11.6	32.6	4.7	4.7	9.3	2.3	2.3	0.0	20.9	4.7	9.3	4.7	2.3
	松見	65	53.8	20.0	40.0	4.6	4.6	12.3	1.5	0.0	0.0	15.4	6.2	12.3	4.6	0.0
	三ツ沢	54	55.6	20.4	42.6	20.4	11.1	7.4	5.6	1.9	1.9	20.4	7.4	9.3	3.7	0.0
	六角橋	48	66.7	29.2	45.8	0.0	2.1	2.1	0.0	4.2	4.2	14.6	8.3	12.5	4.2	0.0
	無回答	5	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0

■ 就労状況別 区役所以外で相談する相手(問19-3× F11)

- ・ いずれも「家族」が最も多い。その他、「学生」では他に比べて「友人・知人」の数値が高く、「就労していない」で「病院」がやや高くなっている。

図 就労状況別 区役所以外で相談する相手

問19-3 区役所以外では、どちらに相談しますか？（3つまで回答）

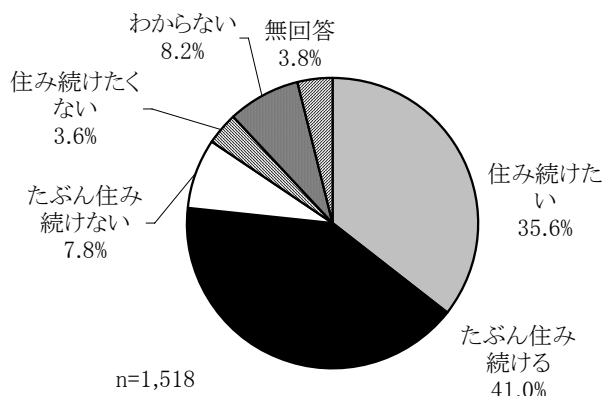
		全体	家族	親戚	友人・知人	近所の人	警察	民生委員・児童委員	町内会・自治会役員	地域ケアアブラザ	社会福祉協議会	病院	その他専門相談機関	相談しない	その他	無回答
全体		801	471	141	341	64	60	59	33	33	14	153	67	81	24	2
		—	58.8	17.6	42.6	8.0	7.5	7.4	4.1	4.1	1.7	19.1	8.4	10.1	3.0	0.2
F11 就労状況	自営業	72	63.9	20.8	43.1	8.3	8.3	2.8	5.6	2.8	1.4	12.5	5.6	9.7	4.2	0.0
	会社員・公務員・団体職員	324	59.3	17.3	47.2	8.3	8.6	5.2	2.8	2.8	0.6	15.1	6.5	12.0	2.2	0.3
	学生	17	70.6	17.6	64.7	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	11.8	5.9	0.0
	パート・アルバイト等	128	54.7	14.1	50.0	7.0	6.3	7.8	5.5	2.3	1.6	18.0	12.5	9.4	6.3	0.0
	就労していない	213	57.3	18.8	30.5	8.0	5.2	12.2	4.7	7.5	2.8	27.7	8.9	8.5	2.3	0.5
	その他	41	63.4	19.5	34.1	7.3	9.8	7.3	2.4	4.9	4.9	22.0	12.2	7.3	0.0	0.0
	無回答	6	50.0	16.7	50.0	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. 神奈川区への居住意向

問 20 あなたは現在お住まいのまちに住み続けたいですか。(○は1つ)

- 「たぶん住み続ける」が41.0%で最も多く、次いで「住み続けたい」が35.6%となっており、これらを合わせると76.6%と8割近くの人が継続居住意向を持っている。次いで「わからない」が8.2%である。「たぶん住み続けない」は7.8%、「住み続けたくない」は3.6%で、これらを合わせると11.4%と、転居意向は1割強になっている。

図 神奈川区への居住意向



■ 年齢別 神奈川区への居住意向(問20× F2)

- 70代以上で「住み続けたい」が最も多くなっている以外は、「たぶん住み続ける」が最も多い。また、20代では他に比べて「たぶん住み続けない」の数値が高い。

図 年齢別 神奈川区への居住意向

問20 神奈川区への居住意向

		全体	住み続けたい	たぶん住み続ける	たぶん住み続けない	住み続けたくない	わからない	無回答
全 体		1,518	541	623	118	54	124	58
		100.0	35.6	41.0	7.8	3.6	8.2	3.8
F 2 年齢	20～29歳	131	27.5	32.8	19.8	3.8	11.5	4.6
	30～39歳	282	25.5	42.6	12.4	4.6	11.3	3.5
	40～49歳	266	28.6	45.9	8.6	3.8	11.3	1.9
	50～59歳	261	37.2	41.8	6.9	4.2	6.9	3.1
	60～69歳	282	38.7	44.0	4.3	3.9	5.3	3.9
	70歳以上	276	52.5	36.6	1.4	1.4	4.3	3.6
	無回答	20	30.0	20.0	0.0	0.0	10.0	40.0

■ 地域別 神奈川区への居住意向(問20× F3)

- ・ 「青木」「大口七島」「片倉三枚」「神奈川幸ヶ谷」「六角橋」では「住み続けたい」、それ以外の地域では「たぶん住み続ける」が最も多い。

図 地域別 神奈川区への居住意向

問20 神奈川区への居住意向

		全体	住み続けたい	たぶん住み続ける	たぶん住み続けない	住み続けたくない	わからない	無回答
全 体		1,518	541	623	118	54	124	58
		100.0	35.6	41.0	7.8	3.6	8.2	3.8
F 3 居住地域	青木	160	41.9	38.8	10.0	1.3	6.3	1.9
	大口七島	85	41.2	36.5	5.9	3.5	12.9	0.0
	片倉三枚	99	42.4	37.4	7.1	2.0	9.1	2.0
	神奈川幸ヶ谷	132	43.2	39.4	6.8	0.8	6.8	3.0
	神ノ木西寺尾	95	28.4	45.3	10.5	5.3	7.4	3.2
	子安入江	112	22.3	42.9	9.8	8.0	13.4	3.6
	白幡浦島丘	96	33.3	43.8	10.4	5.2	5.2	2.1
	神西神北	117	39.3	40.2	4.3	7.7	6.0	2.6
	神大寺	88	36.4	42.0	4.5	3.4	11.4	2.3
	菅田	120	29.2	42.5	9.2	3.3	10.0	5.8
	羽沢	79	32.9	44.3	6.3	3.8	7.6	5.1
	松見	109	31.2	46.8	2.8	4.6	10.1	4.6
	三ツ沢	110	30.9	42.7	15.5	0.9	5.5	4.5
	六角橋	89	47.2	37.1	4.5	1.1	5.6	4.5
	無回答	27	25.9	25.9	3.7	3.7	3.7	37.0

■ 家族構成別 神奈川区への居住意向(問20× F4)

- ・ 「夫婦のみ」では「住み続けたい」が最も多く、「祖父母と親と子(3世代)」では「住み続けたい」「たぶん住み続ける」が同率となっている。それ以外では「たぶん住み続ける」が最も多い。

図 家族構成別 神奈川区への居住意向

問20 神奈川区への居住意向

		全体	住み続けたい	たぶん住み続ける	たぶん住み続けない	住み続けたくない	わからない	無回答
全 体		1,518	541	623	118	54	124	58
		100.0	35.6	41.0	7.8	3.6	8.2	3.8
F 4 同居家族 の構成	ひとり暮らし	212	25.5	38.2	14.2	5.2	15.1	1.9
	夫婦のみ	372	39.8	39.5	7.0	1.9	8.3	3.5
	親と子(2世代)	734	35.6	42.9	6.8	4.1	6.8	3.8
	祖父母と親と子(3世代)	121	43.0	43.0	5.0	2.5	5.8	0.8
	その他	34	29.4	41.2	14.7	5.9	2.9	5.9
	無回答	45	35.6	31.1	2.2	2.2	6.7	22.2

■ 居住年数別 神奈川区への居住意向(問20× F10)

- ・ 「20年以上」では「住みたい」が最も多く、それ以外では「たぶん住み続ける」が最も多い。また「3年未満」では「たぶん住み続けない」が他に比べて高くなっている。

図 居住年数別 神奈川区への居住意向

問20 神奈川区への居住意向

		全体	住みたい	たぶん住み続ける	たぶん住み続けない	住み続けたくない	わからない	無回答
全 体		1,518	541	623	118	54	124	58
		100.0	35.6	41.0	7.8	3.6	8.2	3.8
F10 居住年数	3年未満	232	21.1	36.6	19.0	6.5	14.7	2.2
	3～5年未満	144	27.1	43.1	10.4	4.2	9.7	5.6
	5年～10年未満	255	29.0	48.6	6.7	4.7	5.9	5.1
	10～20年未満	275	34.5	42.9	6.5	3.3	11.3	1.5
	20年以上	588	46.8	39.1	3.9	2.0	4.9	3.2
	無回答	24	37.5	16.7	4.2	0.0	4.2	37.5

■ 就労状況別 神奈川区への居住意向(問20× F11)

- ・ 「その他」で「住みたい」が最も多い以外は「たぶん住み続ける」が最も多い。また「学生」で「たぶん住み続けない」が他に比べて高くなっている。

図 就労状況別 神奈川区への居住意向

問20 神奈川区への居住意向

		全体	住みたい	たぶん住み続ける	たぶん住み続けない	住み続けたくない	わからない	無回答
全 体		1,518	541	623	118	54	124	58
		100.0	35.6	41.0	7.8	3.6	8.2	3.8
F11 就労状況	自営業	133	39.8	42.1	4.5	3.0	8.3	2.3
	会社員・公務員・団体職員	530	31.3	40.6	12.3	4.0	8.7	3.2
	学生	27	29.6	40.7	18.5	0.0	11.1	0.0
	パート・アルバイト等	217	29.0	45.2	6.9	4.1	12.0	2.8
	就労していない	479	40.7	42.4	4.2	3.3	6.1	3.3
	その他	93	43.0	33.3	7.5	3.2	8.6	4.3
	無回答	39	41.0	23.1	0.0	2.6	2.6	30.8

問20-1 現在お住まいのまちに「住み続けたい」というあなたの気持ちが「住み続けたくない」気持ちに変わるとしたら、それはどのようなことがきっかけになるとお考えですか。(〇は3つまで)

- 「交通の便が今よりも悪くなる」が最も多く 38.1%、「自然環境が今よりも豊かでなくなる」が 36.5%、「都市基盤（道路、公園等）が今以上に整備されず、生活環境が悪くなる」が 33.2%で、これら3点は3割以上の人々が挙げている。以下「通勤時間が大幅に長くなる場所に転勤（就職・転職）になる」（25.1%）、「教育・文化環境が今以上には充実しない」（14.7%）、「近隣との関係が疎遠になる」（12.3%）、「家賃に見合った住宅が得られなくなる」（11.5%）、「望ましい持ち家が取得できなくなる」（9.1%）、「その他」（8.1%）、「商売が繁盛しなくなる」（5.0%）と続く。
- 「その他」8.1%のうち、93件に具体的な記述があり、計94件の意見が挙げられた。最も多かったのは「治安の悪化」20件で、次いで「自身や家族の健康状態の悪化、高齢化」が19件、「住環境の悪化（騒音、公害等）」が10件と続いている。以下「家族関係の変化」（8件）、「坂道や階段がきつくなったとき」（5件）、「経済的理由」「災害等で住めなくなったとき」「マンションの増加、ミニ開発」（各4件）などとなっている。

図 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ

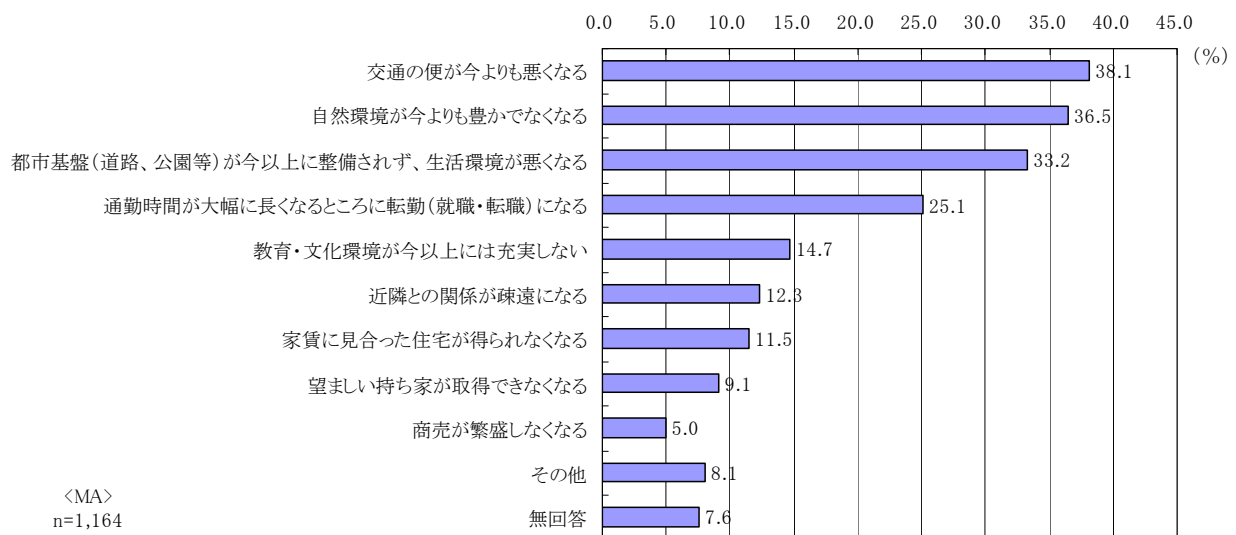


図 「その他」意見内容

意見内容	件数
治安の悪化	20
自身や家族の健康状態の悪化、高齢化	19
住環境の悪化（騒音、公害等）	10
家族関係の変化	8
坂道や階段がきつくなったとき	5
経済的理由	4
災害等で住めなくなったとき	4
マンションの増加、ミニ開発	4
近隣住民とのトラブル	3
生活利便性の悪化（買い物等）	3
一戸建ての購入、住み替え	2
気持ちは変わらない	2
社会保障制度の内容が悪くなった	2
建物の老朽化	2
行政の対応に不満があったら	1
現状が維持できなくなったら	1
仕事がうまくいかなくなったら	1
税金が増える	1
若者が住みにくくなったら	1
駐車禁止の取締内容に不満	1
計	94

■ 年齢別「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ(問20-1× F2)

- ・ 20代から40代までは「通勤時間が大幅に長くなる」ところに転勤（就職・転職）になる」、50代、60代は「自然環境が今よりも豊かでなくなる」、70代以上では「交通の便が今よりも悪くなる」が最も多い。また、20代では「家賃に見合った住宅が得られなくなる」が他に比べて数値が高くなっている。30代では「教育・文化環境が今以上には充実しない」の数値が他に比べて高く、「都市基盤（道路、公園等）が今以上に整備されず、生活環境が悪くなる」もやや高くなっている。

図 年齢別「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ

問20-1 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ（3つまで回答）

		全体	教育・文化環境が今以上には充実しない	都市基盤（道路、公園等）が今以上に整備されず、生活環境が悪くなる	交通の便が今よりも悪くなる	自然環境が今よりも豊かでなくなる	商売が繁盛しなくなる	通勤時間が大幅に長くなるところに転勤（就職・転職）になる	望ましい持ち家が取得できなくなる	家賃に見合った住宅が得られなくなる	近隣との関係が疎遠になる	その他	無回答
全体		1,164	171	387	444	425	58	292	106	134	143	94	88
		—	14.7	33.2	38.1	36.5	5.0	25.1	9.1	11.5	12.3	8.1	7.6
F 2 年齢	20～29歳	79	13.9	34.2	46.8	22.8	7.6	67.1	13.9	31.6	6.3	6.3	0.0
	30～39歳	192	31.8	42.7	40.6	29.7	2.6	52.6	8.9	13.0	6.3	5.7	0.5
	40～49歳	198	19.2	32.3	34.8	32.3	8.1	39.9	11.6	16.7	7.1	10.6	1.5
	50～59歳	206	13.1	35.4	35.4	41.3	4.9	21.4	10.7	8.3	12.1	12.6	3.4
	60～69歳	233	9.4	33.0	35.6	46.4	4.3	3.9	9.4	10.3	18.9	8.2	6.4
	70歳以上	246	4.5	25.2	40.7	37.4	4.5	2.0	4.5	4.1	17.1	4.9	24.0
	無回答	10	10.0	20.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0

■ 地域別「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ(問20× F3)

- ・ 「神奈川幸ヶ谷」「神ノ木西寺尾」「松見」では「都市基盤（道路、公園等）が今以上に整備されず、生活環境が悪くなる」、「子安入江」では「通勤時間が大幅に長くなる」ところに転勤（就職・転職）になる」が最も多い。「青木」「羽沢」「三ツ沢」では「自然環境が今よりも豊かでなくなる」、それ以外の地域では「交通の便が今よりも悪くなる」が最も多く、「神西神北」ではこれらが同率である。「片倉三枚」は「教育・文化環境が今以上には充実しない」の数値が高く、「松見」でもやや高い。

図 地域別「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ

問20-1 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ（3つまで回答）

		全体	教育・文化環境が今以上には充実しない	都市基盤（道路、公園等）が今以上に整備さ	交通の便が今よりも悪くなる	自然環境が今よりも豊かでなくなる	商売が繁盛しなくなる	通勤時間が大幅に長くなるところに転勤（就	望ましい持ち家が取得できなくなる	家賃に見合った住宅が得られなくなる	近隣との関係が疎遠になる	その他	無回答
全体		1,164	171	387	444	425	58	292	106	134	143	94	88
		—	14.7	33.2	38.1	36.5	5.0	25.1	9.1	11.5	12.3	8.1	7.6
F 3 居住地域	青木	129	13.2	34.1	31.0	38.8	6.2	31.8	8.5	14.7	14.7	9.3	6.2
	大口七島	66	16.7	31.8	37.9	33.3	4.5	24.2	13.6	13.6	9.1	3.0	9.1
	片倉三枚	79	25.3	29.1	46.8	36.7	5.1	24.1	10.1	10.1	11.4	3.8	5.1
	神奈川幸ヶ谷	109	15.6	39.4	29.4	31.2	5.5	32.1	8.3	9.2	11.0	7.3	9.2
	神ノ木西寺尾	70	17.1	40.0	34.3	28.6	2.9	15.7	10.0	7.1	11.4	7.1	12.9
	子安入江	73	17.8	34.2	30.1	32.9	9.6	35.6	8.2	11.0	9.6	6.8	6.8
	白幡浦島丘	74	13.5	37.8	43.2	41.9	6.8	23.0	8.1	16.2	6.8	10.8	5.4
	神西神北	93	14.0	33.3	37.6	37.6	3.2	20.4	17.2	12.9	16.1	7.5	6.5
	神大寺	69	7.2	18.8	42.0	33.3	4.3	23.2	11.6	17.4	17.4	8.7	5.8
	菅田	86	3.5	30.2	52.3	32.6	4.7	23.3	4.7	18.6	16.3	9.3	8.1
	羽沢	61	16.4	23.0	41.0	49.2	3.3	14.8	4.9	3.3	16.4	9.8	8.2
	松見	85	23.5	41.2	28.2	36.5	3.5	28.2	4.7	5.9	9.4	10.6	5.9
	三ツ沢	81	8.6	39.5	46.9	49.4	6.2	17.3	11.1	6.2	12.3	14.8	6.2
	六角橋	75	16.0	28.0	42.7	33.3	4.0	29.3	8.0	13.3	9.3	4.0	6.7
無回答	14	7.1	21.4	28.6	21.4	0.0	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	35.7	

■ 家族構成別 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ(問20-1 × F4)

- 「夫婦のみ」では「自然環境が今よりも豊かでなくなる」、「親と子(2世代)」では「都市基盤(道路、公園等)が今以上に整備されず、生活環境が悪くなる」、それ以外では「交通の便が今よりも悪くなる」が最も多くなっている。また「ひとり暮らし」では「家賃に見合った住宅が得られなくなる」の数値が他に比べて高い。

図 家族構成別 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ

問20-1 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ(3つまで回答)

	全体	教育・文化環境が今以上には充実しない	都市基盤(道路、公園等)が今以上に整備されず、生活環境が悪くなる	交通の便が今よりも悪くなる	自然環境が今よりも豊かでなくなる	商売が繁盛しなくなる	通勤時間が長くなる場所に転勤(就職・転職)になる	望ましい持ち家が取得できなくなる	家賃に見合った住宅が得られなくなる	近隣との関係が疎遠になる	その他	無回答
全体	1,164	171	387	444	425	58	292	106	134	143	94	88
	-	14.7	33.2	38.1	36.5	5.0	25.1	9.1	11.5	12.3	8.1	7.6
F4												
ひとり暮らし	135	5.9	22.2	41.5	31.1	5.2	31.9	6.7	26.7	11.9	7.4	13.3
同居家族												
夫婦のみ	295	9.5	31.2	39.7	42.0	4.7	14.9	5.4	11.5	14.2	9.2	8.5
親と子(2世代)	576	19.3	37.0	36.1	36.5	5.2	29.2	11.8	8.5	11.6	7.6	5.0
祖父母と親と子(3世代)	104	18.3	36.5	39.4	36.5	6.7	24.0	8.7	7.7	10.6	10.6	4.8
その他	24	12.5	25.0	37.5	20.8	0.0	20.8	12.5	12.5	20.8	8.3	12.5
無回答	30	6.7	26.7	43.3	20.0	0.0	23.3	3.3	13.3	6.7	0.0	26.7

■ 就労状況別 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ(問20-1 × F11)

- 「会社員・公務員・団体職員」「学生」では「通勤時間が大幅に長くなる場所に転勤(就職・転職)になる」、「自営業」「その他」では「自然環境が今よりも豊かでなくなる」、「パート・アルバイト等」「就労していない」では「交通の便が今よりも悪くなる」が最も多くなっている。また「自営業」は「商売が繁盛しなくなる」、「学生」では「家賃に見合った住宅が得られなくなる」の数値が他に比べて高い。

図 就労状況別 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ

問20-1 「住み続けたくない」気持ちに変わるきっかけ(3つまで回答)

	全体	教育・文化環境が今以上には充実しない	都市基盤(道路、公園等)が今以上に整備されず、生活環境が悪くなる	交通の便が今よりも悪くなる	自然環境が今よりも豊かでなくなる	商売が繁盛しなくなる	通勤時間が長くなる場所に転勤(就職・転職)になる	望ましい持ち家が取得できなくなる	家賃に見合った住宅が得られなくなる	近隣との関係が疎遠になる	その他	無回答
全体	1,164	171	387	444	425	58	292	106	134	143	94	88
	-	14.7	33.2	38.1	36.5	5.0	25.1	9.1	11.5	12.3	8.1	7.6
F11												
自営業	109	8.3	23.9	26.6	37.6	31.2	8.3	6.4	11.0	16.5	8.3	8.3
会社員・公務員・団体職員	381	19.9	38.3	38.8	35.7	1.6	45.1	6.8	12.3	7.1	9.4	1.6
学生	19	10.5	15.8	52.6	31.6	15.8	73.7	15.8	26.3	0.0	5.3	0.0
パート・アルバイト等	161	13.7	31.7	36.6	30.4	3.1	23.6	14.9	16.8	14.9	10.6	3.1
就労していない	398	12.8	33.4	41.0	38.2	1.5	12.3	10.1	8.3	14.6	7.5	11.6
その他	71	14.1	32.4	39.4	49.3	5.6	11.3	8.5	9.9	16.9	1.4	15.5
無回答	25	4.0	20.0	28.0	24.0	0.0	8.0	0.0	12.0	16.0	0.0	44.0

問20-2 現在お住まいのまちに「住み続けたくない」というあなたの気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるとしたら、それはどのようなことがきっかけになるとおもいますか。(〇は3つまで)

- ・ 「都市基盤（道路、公園等）が今以上に整備され、生活環境がよくなる」が32.6%で最も多くなっている。次いで「自然環境が今以上によくなる」（27.3%）、以下「交通の便が今以上によくなる」「望ましい持ち家が取得しやすくなる」（共に20.9%）、「教育・文化環境が今以上によくなる」（20.3%）、「その他」（18.6%）、「家賃に見合った住宅が得られる」「通勤に便利なところに転勤（就職・転職）になる」（共に16.3%）、「近隣との関係が親密になる」（8.7%）、「市内での自分の商売が繁盛する」（3.5%）と続く。
- ・ 「その他」18.6%のうち31件に具体的な記述があり、計33件の意見が挙げられた。最も多かったのは「いずれは実家や故郷に帰る」の8件で、次いで「住環境の改善」「生活利便性の改善（買い物等）」（各4件）、「坂道、階段の改善」（3件）、「家族関係の変化」「行政サービスの改善」「治安の改善」「転勤する、定住予定ではない」（各2件）などとなっている。

図 「住み続けたい」気持ちに変わるきっかけ

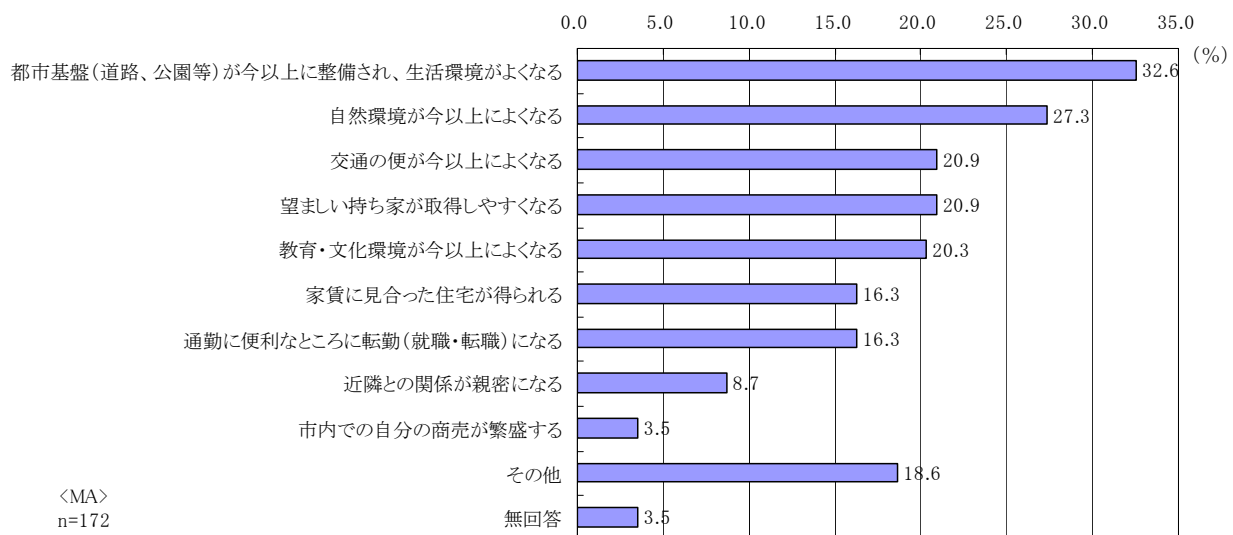


図 「住み続けたい」気持ちに変わるきっかけ

意見内容	件数
いずれは実家や故郷に帰る	8
住環境の改善	4
生活利便性の改善（買い物等）	4
坂道、階段の改善	3
家族関係の変化	2
行政サービスの改善	2
治安の改善	2
転勤する、定住予定ではない	2
天下りの根絶	1
災害弱者や施設が多すぎ支えられない	1
地元住民との関係改善	1
税金の改善	1
物価の改善	1
他に好きな区がある	1
計	33

■ 年齢別「住み続けたい」気持ちに変わるきっかけ(問20-2× F2)

- ・ 20代は「通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる」が最も多い。40代以上の世代では「都市基盤(道路、公園等)が今以上に整備され、生活環境がよくなる」が最も多く、30代はこれと「望ましい持ち家が取得しやすくなる」が同率である。また、20代では「家賃に見合った住宅が得られる」が他に比べて数値が高くなっている。

図 年齢別「住み続けたい」気持ちに変わるきっかけ

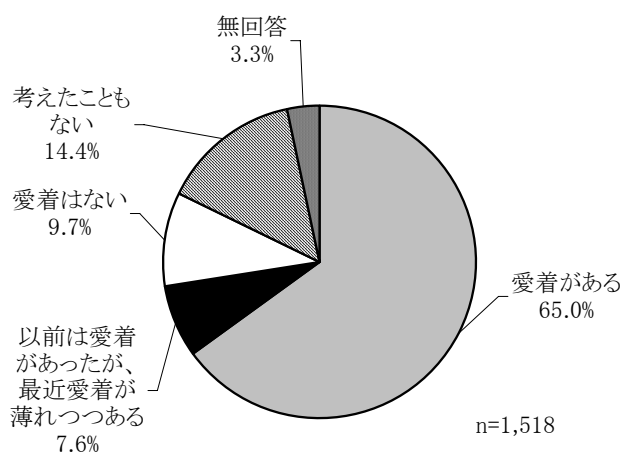
問20-2 「住み続けたい」気持ちに変わるきっかけ(3つまで回答)

		全体	教育・文化環境が今以上によくなる	都市基盤(道路、公園等)が今以上に整備され、生活環境がよくなる	交通の便が今以上によくなる	自然環境が今以上によくなる	市内での自分の商売が繁盛する	通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる	望ましい持ち家が取得しやすくなる	家賃に見合った住宅が得られる	近隣との関係が親密になる	その他	無回答
全体		172	35	56	36	47	6	28	36	28	15	32	6
		—	20.3	32.6	20.9	27.3	3.5	16.3	20.9	16.3	8.7	18.6	3.5
F 2 年齢	20~29歳	31	19.4	25.8	16.1	29.0	3.2	35.5	25.8	29.0	9.7	12.9	0.0
	30~39歳	48	27.1	29.2	25.0	27.1	4.2	16.7	29.2	22.9	2.1	16.7	2.1
	40~49歳	33	27.3	42.4	21.2	27.3	3.0	18.2	24.2	15.2	9.1	21.2	0.0
	50~59歳	29	10.3	31.0	13.8	24.1	0.0	10.3	10.3	6.9	10.3	27.6	3.4
	60~69歳	23	8.7	34.8	26.1	26.1	4.3	0.0	13.0	4.3	8.7	21.7	13.0
	70歳以上	8	25.0	37.5	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 21 あなたは現在お住まいのまちが好きですか。(○は1つ)

- ・ 「愛着がある」が65.0%と、愛着を感じている人が7割近くを占めている。次いで「考えたこともない」(14.4%)、「愛着はない」(9.7%)、「以前は愛着があったが、最近愛着が薄れつつある」(7.6%)と続く。

図 居住地への愛着度



■ 年齢別 居住地への愛着度(問21× F2)

- ・ いずれも「愛着がある」が最も多い。

図 年齢別 居住地への愛着度

問21 現在お住まいのまちが好きですか

		全体	愛着がある	以前は愛着があったが、最近愛着が薄れつつある	愛着はない	考えたこともない	無回答
全体		1,518	986	116	148	218	50
		100.0	65.0	7.6	9.7	14.4	3.3
F 2 年齢	20～29歳	131	60.3	7.6	15.3	13.0	3.8
	30～39歳	282	59.6	5.7	16.3	16.7	1.8
	40～49歳	266	64.3	6.4	10.5	16.5	2.3
	50～59歳	261	67.8	5.7	8.8	17.2	0.4
	60～69歳	282	64.9	10.6	8.2	12.8	3.5
	70歳以上	276	72.1	9.8	2.9	9.1	6.2
	無回答	20	45.0	5.0	0.0	20.0	30.0

■ 地域別 居住地への愛着度(問21× F3)

- ・ いずれも「愛着がある」が最も多く、特に「六角橋」では数値が高い。一方「子安入江」では「愛着はない」の数値が他に比べてやや高い。

図 地域別 居住地への愛着度

問21 現在お住まいのまちが好きですか

		全体	愛着がある	以前は愛着があったが、最近愛着が薄れつつある	愛着はない	考えたこともない	無回答
全 体		1,518 100.0	986 65.0	116 7.6	148 9.7	218 14.4	50 3.3
F 3 居住地域	青木	160	69.4	8.1	8.1	13.1	1.3
	大口七島	85	74.1	7.1	4.7	12.9	1.2
	片倉三枚	99	70.7	6.1	8.1	13.1	2.0
	神奈川幸ヶ谷	132	73.5	6.8	6.8	9.1	3.8
	神ノ木西寺尾	95	58.9	8.4	9.5	18.9	4.2
	子安入江	112	50.0	8.0	18.8	20.5	2.7
	白幡浦島丘	96	69.8	7.3	8.3	13.5	1.0
	神西神北	117	65.0	7.7	12.8	12.8	1.7
	神大寺	88	68.2	5.7	6.8	15.9	3.4
	菅田	120	57.5	6.7	14.2	18.3	3.3
	羽沢	79	59.5	12.7	10.1	16.5	1.3
	松見	109	60.6	5.5	12.8	14.7	6.4
	三ツ沢	110	65.5	10.0	9.1	12.7	2.7
	六角橋	89	75.3	5.6	5.6	9.0	4.5
無回答	27	33.3	14.8	3.7	18.5	29.6	

■ 居住年数別 居住地への愛着度(問21× F10)

- ・ いずれも「愛着がある」が最も多い。また居住年数の浅い「3年未満」では「愛着はない」「考えたこともない」の数値が他に比べて高い。

図 居住年数別 居住地への愛着度

問21 現在お住まいのまちが好きですか

		全体	愛着がある	以前は愛着があったが、最近愛着が薄れつつある	愛着はない	考えたこともない	無回答
全 体		1,518 100.0	986 65.0	116 7.6	148 9.7	218 14.4	50 3.3
F 10 居住年数	3年未満	232	50.4	2.6	19.4	25.9	1.7
	3～5年未満	144	66.0	3.5	14.6	11.8	4.2
	5年～10年未満	255	60.4	7.1	13.3	16.5	2.7
	10～20年未満	275	64.4	7.3	9.1	17.1	2.2
	20年以上	588	73.6	11.1	3.9	8.2	3.2
	無回答	24	41.7	8.3	0.0	16.7	33.3

調查票

平成20年度 横浜市神奈川区 区民意識調査

～アンケート調査ご協力のお願い～

秋冷の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から区政の運営にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

神奈川区役所では、地球温暖化や少子高齢化の加速度的な進展など、社会情勢の変化などから生まれた区民の皆さまの多様なニーズに対応するため、さまざまな取組を行っております。

つきましては、区民の皆さまのご意見・ご要望をうかがい、今後区政を進めていくための基礎資料とさせていただくため「神奈川区区民意識調査」を実施させていただくことになりました。

この調査は、住民基本台帳と外国人登録原票から、区内にお住まいの20歳以上の方々3,000人を無作為に選ばせていただいております。

今年度は、あなた様に調査のご協力をお願いすることになりましたので、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

このアンケート票にご記入の上、同封の封筒にてご返信ください。

なお、アンケート調査の結果につきましては、統計的に処理し、アンケート票そのものを公表することは一切いたしませんので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。(返送の際、住所や氏名のご記入は必要ありません)

【調査項目】

- 1 地球温暖化をはじめとする地球環境問題についておたずねします
- 2 地域での支えあいについておたずねします
- 3 区役所が行っている事業等についておたずねします
- 4 区役所の利用についておたずねします
- 5 最近困っていること、心配ごとについておたずねします
- 6 あなたは、神奈川区に住み続けたいですか
- 7 最後にあなた自身についておたずねします

◎アンケート調査のご記入方法について◎

(1) 各設問の回答は、該当する番号に○印を付けていただく形式になっています。

(2) 番号に○印を付けていただく形式では、該当する番号1つに○をつけていただく場合と、複数の番号に○をつけていただく場合があります。質問文の指示に従ってご回答ください。「その他」に当てはまる場合には、その番号に○をつけて()内に具体的な内容をご記入ください。

(3) ご記入いただきましたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、**11月12日(水)**までにポストにご投函ください。(切手は不要です)

(4) アンケート調査に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

担当:横浜市神奈川区役所 区政推進課 企画調整係

貝田・古瀬

電話:045-411-7026

FAX:045-314-8890

Eメール:kg-kusei@city.yokohama.jp

平成 20 年度神奈川県区民意識調査(調査票)

地球温暖化をはじめとする地球環境問題についておたずねします

～環境生活スタイル(生活におけるあなたの行動について)～

問1 あなたは地球環境問題のひとつである地球温暖化に対して危機感をもっていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 危機感を強くもっている | 2 危機感がある |
| 3 あまり危機感を感じない | 4 まったく危機感を感じない |

問2 あなたは「地球温暖化問題」に関心をもっていますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 強い関心を持っており、温暖化対策について自分自身行動している |
| 2 関心は持っているが、温暖化対策についてほとんど行動していない |
| 3 あまり関心がない |
| 4 まったく関心がない |

問2-1 問2で「3 あまり関心がない」「4 まったく関心がない」と答えた方におたずねします。あなたがそうお答えになった理由は何ですか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 1 自分の生活にあまり関係がない |
| 2 個人で地球温暖化対策を進めても効果があるとは思えない |
| 3 地球温暖化対策は国や企業が取り組めばいい |
| 4 地球温暖化が緊急の問題だとは思っていない |
| 5 地球温暖化よりも気にしなければならないことがある |
| 6 難しくよくわからない |
| 7 その他(具体的に: _____) |

問3 あなたは環境保全のための以下の取組のうち、どれが重要だと思いますか(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 風力発電や太陽光発電など自然エネルギーの利用 |
| 2. 家電製品等の省エネルギー化など革新的な環境・エネルギー技術の研究開発 |
| 3. 都市交通対策や物流対策などによる自動車交通量の抑制 |
| 4. 節電・節水などの日常生活での省エネルギーや省資源の推進 |
| 5. 二酸化炭素の吸収源としての森林保全や都市緑化の推進 |
| 6. 環境学習の充実、環境情報の提供、広報の強化による環境保全意識の高揚 |
| 7. 二酸化炭素など温室効果ガスの排出量に応じた炭素税などの経済的措置の導入 |
| 8. 排出権取引やクリーン開発メカニズム*などの国際的な協力の推進 |
| 9. その他(具体的に: _____) |

※クリーン開発メカニズムとは、先進国が途上国への技術協力などにより、温室効果ガス削減の取組を実施した場合、その削減効果を自国の削減分として算入できるしくみ。

問4 あなたが、横浜市が特に力を入れるべきだと思う環境政策は何ですか。(〇は3つまで)

1. 事業者温室効果ガスの削減を義務付けること
2. 排ガス規制等を満たさない車の通行を制限すること
3. 電気自動車等の低公害車の普及を促進すること
4. 太陽熱利用システム、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を促進すること
5. 徒歩・自転車・公共交通機関によって移動できる便利なまちづくりの整備を進めること
6. 屋上緑化、壁面緑化等ヒートアイランド対策を進めること
7. 子どもに対する環境教育や環境学習を推進すること
8. 市民に対し、広報等を通じた環境啓発活動を行うこと
9. 建築物の省エネルギー対策や長寿命化などを推奨する制度を拡充すること
10. 太陽光発電システムや省エネ機器の導入等に対する補助、低金利融資制度等を設けること
11. 温暖化対策に貢献した事業者を表彰・公表すること
12. 環境ポイント制度^{*}など市民の取組を促進する仕組みを導入すること
13. レジ袋や使い捨て容器の使用を抑制すること
14. 深夜営業時間を制限すること
15. 自動販売機の設置台数を制限する仕組みを導入すること
16. 地球温暖化対策は特に必要と思わない

※環境ポイント制度とは、公共交通機関や商店などと協力して、マイカー利用から鉄道利用への転換など、参加者の環境行動によって、ポイントが貯まり、そのポイントを乗車賃や商品の割引などに使用できる制度。

わが町 かながわ

新鮮野菜市!

区内産の安心で新鮮な野菜はいかがですか?

障害者作業所の皆さんが、作業所の自主製品と新鮮な野菜を販売します。

【日時】平成20年10月22日～平成21年1月7日 毎週水曜日

午前10時から午後3時30分まで

※12月17日、30日は休みとさせていただきます。

【場所】神奈川区総合庁舎(神奈川区役所)別館1階区民ホール



問5 あなたの普段の生活における以下の環境行動に関して、次の3つの項目についてお答えください。

A 必要性について、B 実践について、C 意欲について（それぞれに○は1つずつ）

環境行動		A 必要性			B 実践		C 意欲			
		環境面で必要性を感じる	金銭面(節約)で必要性を感じる	必要性を感じない	やっている	やっていない	率先してやりたい(やっている)	面倒だがやってみたい(やっている)	やった方がよいと思うが、やりたくない	効果(意味)がないので、やりたくない
例	家族と一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化) (記入例)	①	2	3	①	2	①	2	3	4
電気・水道の節約	① 長い時間使わない家電製品は主電源を切り、コンセントを抜く	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	② 冷蔵庫は開けたらすぐに閉めるようにする	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	③ 家族と一緒に過ごす時間を増やす(電力等の効率化)	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	④ 使っていない部屋の電気を消す	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑤ 歯磨き、洗顔、食器洗い、シャワーなど、水を流しっぱなしにしない	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑥ 洗濯にお風呂の残り湯を使う	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑦ 部屋の冷房の温度設定を28℃以上に、暖房の温度設定を20℃以下にする	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑧ 緑のカーテンづくりや壁面緑化等に取り組む(夏季の建物内の冷房効率を高める)	1	2	3	1	2	1	2	3	4
ごみ	⑨ ごみをきちんと分別し、リサイクルに協力する	1	2	3	1	2	1	2	3	4
買い物や食事の時の行動	⑩ エコマーク表示製品や省エネ型の製品など、環境にやさしいものを購入する	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑪ 過剰な包装、不必要なレジ袋は断る	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑫ 買物袋(マイバック)を使っている	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑬ 詰め替えが可能な商品を選ぶ	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑭ マイ箸を持ち歩くようにする	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑮ 地産地消を心がける	1	2	3	1	2	1	2	3	4
交通手段に関する行動	⑯ 外出するときはできるだけ、徒歩や自転車を利用する	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑰ 外出するときはできるだけ、バス・鉄道などの公共交通機関を利用する	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑱ 車で外出するときは、エコドライブを心がける(うながす)	1	2	3	1	2	1	2	3	4
	⑲ 車を購入するときは、低燃費・低排出、ハイブリッド車など環境にやさしい車を選ぶ(うながす)	1	2	3	1	2	1	2	3	4

問6 あなたが次のような環境行動を始めたのは、どのようなことがきっかけでしたか。(それぞれに○は1つ)

問6-1 問5の①～⑧のうち一つでも【B 実践】「やっている」に○をした方のみお答えください。

《電気・水道の節約》(○は一つ)

- 1 地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならなかったため
- 2 光熱水費の節約になる、といった金銭面での効果が見込まれると思った、又はその効果を実感したため
- 3 家族の誰かが取り組みを始めたため
- 4 テレビや新聞などのメディアで必要性を知り、触発されたため
- 5 その他(具体的に:)

問6-2 問5の⑨の【B 実践】「やっている」に○をした方のみお答えください。

《ごみの分別・リサイクル》(○は一つ)

- 1 地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならなかったため
- 2 横浜市での G30 の取組(分別回収)が始まったため
- 3 地域で資源集団回収などの取組を始めたため
- 4 家族の誰かが取り組みを始めたため
- 5 その他(具体的に:)

問6-3 問5の⑩～⑮のうち一つでも【B 実践】「やっている」に○をした方のみお答えください。

《買い物や食事の時の行動》(○は一つ)

- 1 地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならなかったため
- 2 家に帰ってごみを分別するのが大変だと感じたため
- 3 家族の誰かが取り組み始めたため
- 4 買い物先などでエコバッグやトレーの回収などの取組を知り、触発されたため
- 5 その他(具体的に:)

問6-4 問5の⑯～⑲のうち一つでも【B 実践】「やっている」に○をした方のみお答えください。

《交通手段に関する行動》(○は一つ)

- 1 地球温暖化が、私たちの生活に重大な影響があり、すぐにでも行動しなければならなかったため
- 2 ガソリン代など交通手段にかかる費用が値上がりしたため
- 3 健康に注意しなければいけないと思ったため
- 4 家族の誰かが取り組みを始めたため
- 5 その他(具体的に:)

問7 問5の項目のうち【C 意欲】「～やりたくない」にひとつでも○をつけた方のみお答えください。

あなたは、下記の項目のうち、どのようなきっかけがあれば行動をはじめますか。(○は2つまで)

- 1 温暖化対策の効果が実証されたとき
- 2 金銭面でメリットがはっきりわかるようになったとき
- 3 社会全体の流れで、環境行動を行わないと生活しにくくなったとき
- 4 光熱水費など生活にかかる費用が大幅に値上がりしたとき
- 5 レジ袋が撤廃されたり、水・電気等の供給が制限されるなど、取り組まざるを得なくなったとき
- 6 その他(具体的に:)

地域での支えあいについておたずねします

問8 住民相互での、高齢者や子どもの見守り等の支えあい活動が盛んになっていますが、あなたの近所や地域では、それらの活動が活発になっていると思いますか。(〇は1つ)

1. 自分も活動に参加しており、活発になってきていると思う
2. 自分は活動に参加していないが、活発になってきていると思う
3. 支えあいの活動があることは知っているが、身近にはあまり感じられない
4. 支えあいの活動が行われているのを見たり、聞いたりしたことがない

問9 現在行われている取組について、見たり聞いたりした取組についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 見守りや安否の確認
2. 配食サービス
3. 外出支援
4. 親子のたまり場づくり(子育て)
5. その他(具体的に:)
5. 支えあいの活動のことをまったく知らない

問10 近所や地域に住んでいる、何らかの支援を必要としている方(障害者や高齢者、子育て中の家族等で手助けを必要としている人)への支援(日常生活上の手助け・お手伝い)について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

1. 近所に住む者として、できる範囲で支援したい
2. 支援をしたいが、情報がなため何をすればいいのかわからない
3. 支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない
4. 支援は市役所などがやる仕事なので、近所や地域の人がしなくてもよい
5. 余計なお世話になってしまうので、支援はしない
6. その他(具体的に:)
7. わからない

問11 支えあいの活動の対価としてお金を支払うことについて、あなたはどのように考えますか。(〇は一つ)

- 1 責任を持って活動してもらう意味でよいと思う
- 2 交通費程度はよいと思う
- 3 近所や地域での支えあい活動は無報酬が原則であると思う
- 4 その他(具体的に:)
- 5 わからない

問 12 近所や地域に介護や子育て等で困っている家庭があった場合、あなたは下記の項目について、手助けができますか。また、できる場合の対価はどの程度だと考えますか。(A行動、B 対価のそれぞれに○を一つずつ)

手助け項目		A 行動		B 対価			
		できる	できない	無料	交通費程度	実費相当	実費相当 + 謝礼
例	買い物の手伝い(記入例)	①	2	①	2	3	4
①	見守りや安否の確認	1	2	1	2	3	4
②	話し相手	1	2	1	2	3	4
③	買い物の手伝い	1	2	1	2	3	4
④	家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い	1	2	1	2	3	4
⑤	ゴミ出し	1	2	1	2	3	4
⑥	お弁当の配食	1	2	1	2	3	4
⑦	外出の付き添い	1	2	1	2	3	4
⑧	子どもの預かり	1	2	1	2	3	4
⑨	災害時の手助け	1	2	1	2	3	4

問 13 あなたや家族が困ったとき、下記の項目のうち、近所や地域の方にどのような手助けをしてほしいと思いますか。また、手助けをしてもらう場合の対価はどの程度だと考えますか。(A行動、B 対価のそれぞれに○を一つずつ)

手助け項目		A 行動		B 対価			
		手助けしてほしい	手助けしてほしくない	無料	交通費程度	実費相当	実費相当 + 謝礼
例	買い物の手伝い(記入例)	①	2	①	2	3	4
①	見守りや安否の確認	1	2	1	2	3	4
②	話し相手	1	2	1	2	3	4
③	買い物の手伝い	1	2	1	2	3	4
④	家事(掃除・炊事・洗濯)の手伝い	1	2	1	2	3	4
⑤	ゴミ出し	1	2	1	2	3	4
⑥	お弁当の配食	1	2	1	2	3	4
⑦	外出の付き添い	1	2	1	2	3	4
⑧	子どもの預かり	1	2	1	2	3	4
⑨	災害時の手助け	1	2	1	2	3	4

区役所が行っている事業等についておたずねします

問 14 区役所では区内の名所旧跡などを「わが町 かながわ 50 選」として選定し、その各ポイントを8つの散歩道で紹介する「わが町 かながわ 50 選」散歩道ガイドを発行しています。また、一部のポイントには、案内サインを整備し、魅力あるスポットの情報を広く発信しています。

さらに、散歩道ルート沿いで、休憩スペースや道案内などのご協力をいただける施設を紹介した「おたすけかめの助マップ」の発行や、散歩道ルートに沿ってまち歩きを行う「わが町 かながわ小旅行」など、さまざまな取組が行われています。これらの取組についてご存じですか。(〇は1つ)

1. よく知っている

2. 見たり聞いたことがある

3. 知らなかった

まちの魅力アップ

「わが町かながわ50選」の案内サインを整備し、まち歩きを楽しんでいただけるようにします。また、区内の名物名品の発掘や、町の情報収集・発信について区民の皆さまと協働して取り組むことで、区内の地域資源に関する情報共有と、さらなる魅力アップを図ります。



区内に各所に設置している案内サイン



問 15 神奈川区では、地域ぐるみで子どもを育ていけるまちづくりを進めるために、地域の方が運営する「すくすくかめっ子事業」や地域子育て支援拠点「かなーちえ」の運営に取り組んでいます。

あなたは、これらの子育て支援に関する取組をご存じですか。(〇は1つ)

1. よく知っている

2. 見たり聞いたことがある

3. 知らなかった

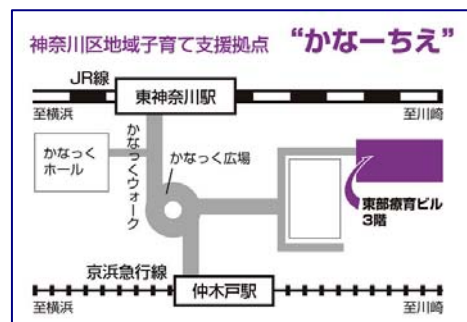
すくすくかめっ子事業とは

地域の方々の運営により、おしゃべりや仲間づくりのできる親子のたまり場「すくすく子がめ隊」として、区内 35 カ所で開催しています。

この「すくすく子がめ隊」には、特別なプログラムはなく、開催時間中は、いつでも自由に参加できます。

地域子育て支援拠点「かなーちえ」とは

地域子育て支援拠点(かなーちえ)では、就学前の子どもとその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供などを行う子育て支援の拠点で、利用登録のうえ、無料で利用いただける施設です。



区役所の利用についておたずねします

問16 今年(平成20年)4月以降に神奈川区役所を利用しましたか。(○は1つ)

1 利用した⇨問17へ

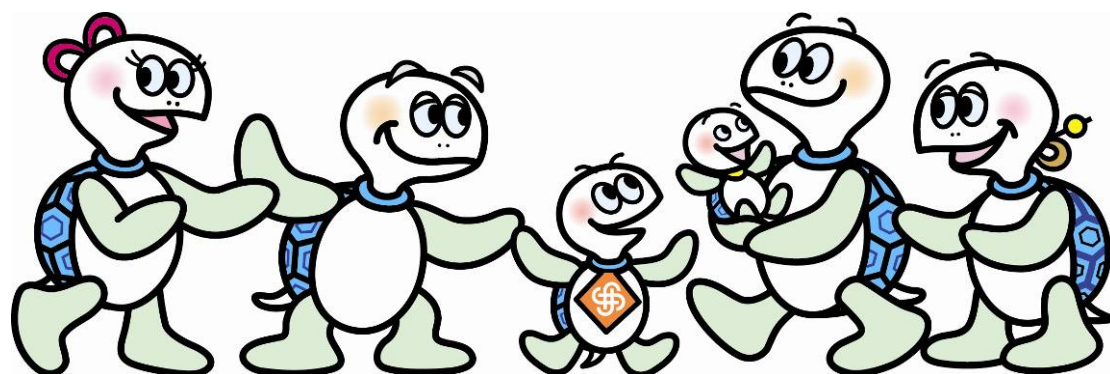
2 利用していない⇨問19へ

問17 問16で「1 利用した」と答えた方に質問します。次のうちの主にどの用件で利用しましたか(○は1つ)

- 1 戸籍・住民票関係の手続き(戸籍全部事項証明書(謄本)又は戸籍個人事項証明書(抄本)、転入・転出届、住民票、外国人登録、印鑑登録等)
- 2 税金関係の相談・手続き(納付、課税証明等)
- 3 国民年金・国民健康保険関係の相談・手続き(加入手続き、医療費助成等)
- 4 乳幼児健診・予防接種などの受診
- 5 介護保険関係の相談・手続き
- 6 福祉保健関係の相談・手続き(児童手当・保育園・母子健康手帳、特別乗車券、障害者手帳、生活保護等)
- 7 生活衛生関係の相談・手続き(食品・環境衛生等)
- 8 まちづくり、市民活動関係の相談
- 9 イベント・各種説明会・教室などへの参加
- 10 その他(具体的に)

問18 その時の区役所職員の対応はいかがでしたか。(項目ごとに、「対応時の状況」「以前と比べて」に○を1つずつ)

項目	対応時の状況			以前と比べて		
	満足	ふつう	不満	良くなった	変わらない	悪くなった
対応のていねいさ	1	2	3	A	B	C
対応の的確さ	1	2	3	A	B	C
対応の早さ	1	2	3	A	B	C



最近困っていること、心配ごとについておたずねします

問 19 最近、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや気になること、困っていることがありますか。
(○は2つまで)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1 自分の老後のこと | 2 自分の健康のこと |
| 3 家族の高齢化や老後のこと | 4 家族の健康のこと |
| 5 子育てのこと | 6 仕事や職場、景気や生活費のこと |
| 7 学校や教育のこと | 8 近隣からの悪臭・騒音、その他環境問題のこと |
| 9 近所つきあい | 10 地震・災害のこと |
| 11 治安・防犯のこと | 12 住宅のこと |
| 13 道路整備・公共交通の利便 | |
| 14 その他(具体的に |) |
| 15 心配ごとや困っていることはない (⇨問 20 へ) | |

問 19-1 問 19 で、心配ごとや困っていることがあると回答された方にお聞きします。
それらの心配ごとや困っていることの解決、解消のために、区役所を利用しますか。
(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1 区役所を積極的に利用した(⇨問 19-2 へ) | 2 区役所も利用した(⇨問 19-2 へ) |
| 3 区役所は利用していない(⇨問 19-3 へ) | 4 区役所の利用は考えた事もない(⇨問 19-3 へ) |
| 3 今は区役所を利用していないが、今後利用したい (⇨問 20 へ) | |

問 19-2 問 19-1 で、「1 区役所を積極的に利用した」「2 区役所も利用した」に回答された方にお聞きします。区役所を利用して心配ごとや困っていることの解決、解消に役立ちましたか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 非常に役に立った | 2 少しは役に立った |
| 3 あまり役に立たなかった | 4 全く役に立たなかった |

問 19-3 区役所以外で、それらの心配ごとや気になること、困っていることの解決、解消のために、どちらに相談しますか？ (○は3つまで)

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 家族 | 2 親戚 | 3 友人・知人 |
| 4 近所の人 | 5 警察 | 6 民生委員・児童委員 |
| 7 町内会・自治会役員 | 8 地域ケアプラザ※1 | 9 社会福祉協議会※2 |
| 10 病院 | 11 その他専門相談機関 | 12 相談しない |
| 13 その他(具体的に | |) |

※1)地域ケアプラザ 市民の誰もが、地域で安心して生活できるよう、地域の福祉・保健活動を振興するとともに、福祉・保健サービスを身近な場所で総合的に提供する施設です。

※2)社会福祉協議会 社会福祉法人として、地域住民との協働による『福祉のまちづくり』をテーマに活動している民間の福祉団体です。

あなたは、神奈川区に住み続けたいですか

問 20 あなたは現在お住まいのまちに住み続けたいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|----------------------|---------|
| 1 住み続けたい | <input type="text"/> | ⇒20-1 へ |
| 2 たぶん住み続ける | <input type="text"/> | |
| 3 たぶん住み続けない | <input type="text"/> | ⇒20-2 へ |
| 4 住み続けたくない | <input type="text"/> | |
| 5 わからない | | |

問 20-1 現在お住まいのまちに「住み続けたい」というあなたの気持ちが「住み続けたくない」気持ちに変わるとしたら、それはどのようなことがきっかけになると思いますか。(○は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1 教育・文化環境が今以上には充実しない |
| 2 都市基盤(道路、公園等)が今以上に整備されず、生活環境が悪くなる |
| 3 交通の便が今よりも悪くなる |
| 4 自然環境が今よりも豊かでなくなる |
| 5 商売が繁盛しなくなる |
| 6 通勤時間が大幅に長くなる場所に転勤(就職・転職)になる |
| 7 望ましい持ち家が取得できなくなる |
| 8 家賃に見合った住宅が得られなくなる |
| 9 近隣との関係が疎遠になる |
| 10 その他(具体的に: _____) |

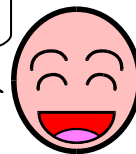
〇〇が××になったから
引っ越そうかな



問 20-2 現在お住まいのまちに「住み続けたくない」というあなたの気持ちが「住み続けたい」気持ちに変わるとしたら、それはどのようなことがきっかけになると思いますか。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 教育・文化環境が今以上によくする |
| 2 都市基盤(道路、公園等)が今以上に整備され、生活環境がよくなる |
| 3 交通の便が今以上によくする |
| 4 自然環境が今以上によくする |
| 5 市内での自分の商売が繁盛する |
| 6 通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる |
| 7 望ましい持ち家が取得しやすくなる |
| 8 家賃に見合った住宅が得られる |
| 9 近隣との関係が親密になる |
| 10 その他(具体的に: _____) |

△△が〇〇になったから
住み続けようかな



問 21 あなたは現在お住まいのまちが好きですか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1 愛着がある |
| 2 以前は愛着があったが、最近愛着が薄れつつある |
| 3 愛着はない |
| 4 考えたこともない |

最後にあなた自身についておたずねします

F1 性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2 年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 20～24 歳 | 2 25～29 歳 | 3 30～34 歳 |
| 4 35～39 歳 | 5 40～44 歳 | 6 45～49 歳 |
| 7 50～54 歳 | 8 55～59 歳 | 9 60～64 歳 |
| 10 65～69 歳 | 11 70～74 歳 | 12 75 歳以上 |

F3 現在お住まいの町をお答えください。(○は1つ)

- | | | | | |
|----|--------------|-------------|-------------|--------------|
| ア行 | 1 青木町 | 2 旭ヶ丘 | 3 出田町 | 4 泉町 |
| | 5 入江1～2丁目 | 6 浦島丘 | 7 浦島町 | 8 恵比須町 |
| | 9 大口通 | 10 大口仲町 | 11 大野町 | |
| カ行 | 12 片倉1～5丁目 | 13 神奈川1～2丁目 | 14 神奈川本町 | 15 上反町 |
| | 16 神之木台 | 17 神之木町 | 18 亀住町 | 19 神大寺1～4丁目 |
| | 20 桐畑 | 21 金港町 | 22 栗田谷 | 23 幸ヶ谷 |
| | 24 子安台1～2丁目 | 25 子安通1丁目 | 26 子安通2～3丁目 | |
| サ行 | 27 斉藤分町 | 28 栄町 | 29 沢渡 | 30 三枚町 |
| | 31 白幡上町 | 32 白幡仲町 | 33 白幡東町 | 34 白幡西町 |
| | 35 白幡南町 | 36 白幡向町 | 37 白幡町 | 38 新浦島町 |
| | 39 新子安1～2丁目 | 40 新町 | 41 菅田町 | 42 鈴繁町 |
| タ行 | 43 台町 | 44 高島台 | 45 宝町 | 46 立町 |
| | 47 反町1～4丁目 | 48 千若町1～3丁目 | 49 鶴屋町1～3丁目 | 50 富家町 |
| | 51 鳥越 | | | |
| ナ行 | 52 中丸 | 53 七島町 | 54 西大口 | 55 西神奈川1～3丁目 |
| | 56 西寺尾1～4丁目 | 57 二本榎 | | |
| ハ行 | 58 白楽 | 59 羽沢町 | 60 羽沢南1～4丁目 | 61 橋本町 |
| | 62 東神奈川1～2丁目 | 63 平川町 | 64 広台太田町 | |
| | 65 二ツ谷町 | 66 星野町 | | |
| マ行 | 67 松ヶ丘 | 68 松見町1～4丁目 | 69 松本町1～6丁目 | 70 瑞穂町 |
| | 71 三ツ沢上町 | 72 三ツ沢中町 | 73 三ツ沢下町 | 74 三ツ沢東町 |
| | 75 三ツ沢西町 | 76 三ツ沢南町 | 77 守屋町 | |
| ヤ行 | 78 山内町 | | | |
| ラ行 | 79 六角橋1～6丁目 | | | |

F4 同居されている家族構成をお答えください(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------|------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦のみ | 3 親と子(2世代) |
| 4 祖父母と親と子(3世代) | 5 その他() | |

神奈川県区民意識調査報告書

平成21年1月

【調査実施 平成20年11月】

発行：神奈川県役所 区政推進課
〒221-8240
横浜市神奈川区広台太田町3-8
電話 045(411)7026
Fax 045(314)8890

◆調査実施機関：株式会社 地域環境計画